

EOS C200 EOS C200B

デジタルシネマカメラ

Firmware ver. 1.0.2.1.00

はじめに

準備

撮影

カスタマイズ

再生

接続

ネットワーク

メニュー

その他

本機の特長

C200 / C200Bは、4K対応のスーパー 35mm相当大判CMOSセンサーを搭載。有効画素数は約885万画素（4096×2160）。4K映像の記録／出力に対応するデジタルシネマカメラです。

シネマ画質4K記録システム

4K対応のスーパー 35mm相当CMOSセンサー搭載
有効画素数約885万画素（4096×2160）のCMOS
センサーと、新映像エンジン「Dual DIGIC DV 6」
を搭載して、中心解像度1800TV本*1を実現。独
自の高感度・低ノイズ技術により、ISO160から
ISO25600まで幅広い感度*2で撮影できます。

*1 取り付けるレンズによって異なります。

*2 ISO100～ISO102400に拡張することもできます。

さまざまな記録信号形式に対応（□ 68）

動画形式、ビットレート、解像度、音声記録方
式、フレームレートの組合せによって、さまざま
な信号形式で映像を記録できます。動画形式は、
HDRの素材データに適したキャノン独自のフォー
マットであるCinema RAW Light形式に加えて、汎
用性の高いMP4形式にも対応。Cinema RAW Light
形式は4K（4096×2160）の59.94P映像を10bitで、
29.97P / 24.00P映像を12bitで記録できます。MP4
形式は、4K（3840×2160）/2K*の59.94P / 29.97P /
24.00P映像を8bitで記録できます。音声は、リニ
アPCM（16ビット、48kHz）の4チャンネル記録が可
能です。また、MP4形式ではMPEG-4 AAC-LC（16
ビット、48kHz）の2チャンネル記録も可能です。

* 解像度が2048×1080（Proxy記録時のみ）、または1920
×1080の映像のこと。

記録メディアにCFastカードとSDカードを採用

転送速度が高く汎用的なCFastカードにCinema
RAW Light形式の4K映像を、SDカードにMP4形式
の4K映像を記録可能。CFastカードへの記録と同
時に、容量の軽いプロキシ映像（□ 118）をSDカー
ドに記録できます。また、2つのSDカードスロッ
トに連続／同時記録*できます。

* Proxy記録時を除く

優れた機動力と汎用性

カスタマイズの自由度が高いボディーデザイン （□ 39）

最小幅の抱え持ちスタイルで使用できる本体ボ
ディーに、着脱可能なLCDモニターやハンドルユ
ニット、カメラグリップを撮影状況に応じて組み
合わせて使用可能。ワンマンオペレーションをサ
ポートします。

ワンマンオペレーションに適した充実のオート機 能（□ 80、86、87）

ボタンを押しているあいだ、絞りを自動的に調整
するブッシュオートアイリスや、常に適切なホワ
イトバランスになるよう自動的に調整するオート
ホワイトバランスを搭載。デュアルピクセルCMOS
AFを搭載しているため、画面中央の被写体に自
動でピントを合わせ続けられるコンティニユアス
AFや、ボタンを押すとフォーカスを自動的に調整
するワンショットAFを使用できます。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な特殊記録（□ 119）
スローモーション記録で、最低1/5倍速のスロー
モーション（オーバー crank）撮影が可能。ま
た、インターバル記録で自然観察などの長時間の
変化を間欠的に収録したり、フレーム記録でクレ
イアニメーションを制作したりすることもできま
す。プレ記録は、撮影開始時点の約3秒前から記
録することで、取り逃がしを防ぎます。

プロの画づくりを実現するカスタムピクチャー (134)

ガンマやカラーマトリックスなどの画質調整により、制作意図に応じた自由な画づくりが可能。Canon Logの特徴を残したままダイナミックレンジを広くとるCanon Log 3ガンマを搭載。用途に応じて選択できます。また、Logガンマを使用し、100本を超えるEFレンズと組み合わせることで、多彩な映像表現を可能にします。

汎用ワークフローに対応するソフトウェア

Cinema RAW Light形式のRAWデータを現像する Cinema RAW Development(163)

CFastカードに記録した4KのCinema RAW Light形式のRAWデータは、Cinema RAW Developmentで現像*してDPX、OpenEXRなどの標準ファイル形式に書き出し可能。カラーグレーディング処理との連携もスムーズです。また、専用のRAWプラグインを使用すれば、Cinema RAW Light形式のRAWデータを直接NLEに取り込むこともできます。

* EDLの入力にも対応しています。

進化したフォーカス機能

デュアルピクセルCMOS AFによるAF機能(87)

コンティニュアスAFやワンショットAFに対応したほか、手動で大まかに調整すると合焦付近は自動調整する「AFブーストMF」を搭載。不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。顔検出AFや顔以外の被写体への追尾も可能です。AF枠のサイズ・位置やAF速度／応答性の調整もできます。

デュアルピクセルフォーカスガイドを搭載(89)

デュアルピクセルフォーカスガイドを表示すると、ピントの状態と調整方向、調整量が視覚的に確認可能。4K撮影時の目視によるフォーカス調整を強力にアシストします。

業務用途に対応する拡張性

Wi-Fiとイーサネットによるネットワーク機能(166)

5 GHz帯、2.4 GHz帯に対応するWi-Fiを内蔵。Wi-Fi、またはイーサネットでネットワークに接続すれば、ネットワーク機器からリモート撮影するブラウザーリモートや、撮影映像のFTP転送が使用できます。

タイムコード生成と重畳出力(103、105)

内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにメモリーカードに記録されるほか、SDI端子／HDMI OUT端子に出力できます。また、出力信号にユーザービットを重畳することもできます。

モノラルマイク(113)

モノラルマイクを使ってボイスメモを記録できます。編集時、映像と音声を同期しやすくなります。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

充実したアシスト表示機能

ピーキング、拡大、マーカー、ゼブラパターン、白黒、波形モニターを表示・出力したり、映像にLUTを適用したりすることが可能。出力先は、SDI端子やLCDモニター、**C200** ファインダーから選択可能*。

* 出力先によって、選択できるアシスト表示機能が異なります。

- 拡張すると5濃度が選べるNDフィルター。
- レンズの周辺光量／倍率色収差補正機能(42)。
- 表示項目は、カスタムディスプレイ(201)で選択可能。
- カスタマイズ可能なマイメニュー(35)。
- メニュー設定やカスタムピクチャー設定は、SDカードに保存／読み出しでき、複数のC200 / C200Bと共有可能(143)。
- 残量の目安や寿命(劣化度)を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- 業界標準の抜け防止プラグを備えたDC IN端子。
- 撮影データを管理しやすいクリップファイル名。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を装着すればGPS情報も記録可能(116)。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)に対応。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	8

はじめに

商品を確認する	10
各部の名称	12
本体の名称	12
LCDモニター LM-V1の名称	17
LCDアタッチメントユニット LA-V1の名称	18
カメラグリップ GR-V1の名称	19
ハンドルユニット HDU-2の名称	20
マイクホルダーの名称	20
4Kワークフローの紹介	21
ACESワークフローによるカラーグレーディング	22

準 備

電源を準備する	24
バッテリーを使う	24
コンセントにつないで使う	26
電源を入れる／切る	27
ハンドルユニット HDU-2を取り付ける	28
LCDモニター LM-V1を取り付ける	29
ハンドルユニット HDU-2に取り付ける	29
カメラ本体に取り付ける	30
日時を設定する	32
日付と時刻を設定する	32
メニューで設定を変える	33
メニュー操作の基本	33
マイメニューを使う	35
カメラを準備する	39
本機の構成例	39
レンズを準備する	40

LCDモニター LM-V1を使う	43
C200 ファインダーを使う	44
LCDモニター LM-V1 / C200 ファインダーの 画面を調整する	45
カメラ本体を三脚に取り付ける	46
カメラグリップ GR-V1を取り外す／取り付ける	46
マイクホルダーを取り付ける	48
ショルダーストラップを取り付ける	48
端子カバーを取り外す／取り付ける	49
有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)を 使用する	50
記録メディアを準備する	51
使用可能な記録メディア	51
CFastカードを入れる	52
CFastカードを取り出す	53
SDカードを入れる／出す	53
初期化する	54
記録／再生に使用するSDカードスロットを 切り換える	55
2つのSDカードに記録する方式を選ぶ	56
CFastカード／SDカードの記録可能時間を 確認する	56
クリップを修復する	56
ブラックバランスを調整する	58

撮 影

動画を撮影する	60
準備する	60
撮影する	60
撮影時の画面表示	62
RAWクリップのクリップファイル名を設定する	64
ファイル番号の付けかたを選ぶ	66
冷却ファンの動作方法を選ぶ	67
映像の信号形式を選ぶ	68

カメラダイレクト設定を使う	70	ドロップフレーム／ノンドロップフレームを 切り換える	104
カメラダイレクト設定の基本操作	70	タイムコードを保持する(タイムコードホールド)....	104
シャッタースピードを調整する	71	ユーザービットを設定する	105
設定可能なシャッタースピード	71	任意の16進数を設定する	105
調整する	72	時刻、または日付を設定する	105
ISO感度／ゲインを調整する	74	音声を記録する	106
設定可能な値	74	記録音声と必要な設定	106
調整する	75	外部マイク／外部ライン入力機器を本機に 接続する	107
電子ダイヤルで調整する	76	INPUT端子の音声を設定する	108
NDフィルターを切り換える	77	音声のオーディオ形式を選ぶ	109
アイリスを調整する	78	録音する入力音声を選ぶ	109
マニュアルで調整する	79	録音レベルを調整する	110
一時的にオートで調整する(プッシュオート アイリス)	80	モノラルマイクを使う	113
オートで調整する(オートアイリス)	81	ヘッドホンでモニターする	113
露出を調整する(AEシフト)	81	カラーバー／テストトーンを出力する	114
測光方式を設定する	82	カラーバーを表示／出力する	114
ホワイトバランスを調整する	83	テストトーンを出力する	114
ホワイトバランスセットで調整する	84	波形モニターを表示する	115
プリセット設定／色温度設定で調整する	85	GPS情報を記録する	116
ホワイトバランスの設定を微調整する	85	GPSレシーバーを取り付ける	116
オートホワイトバランス(AWB)で調整する	86	レックレビューで確認する	117
フォーカスを調整する	87	プロキシ動画を同時に記録する	118
マニュアルで調整する	88	特殊記録を行う	119
ワンショットAFで調整する	92	スローモーション記録を行う	119
AFブーストMFで調整する	93	ブレ記録を行う	120
コンティニユアスAFで調整する	93	フレーム記録を行う	121
AF枠の位置／サイズを変更する	96	インターバル記録を行う	122
顔を検出してフォーカスを合わせる(顔検出AF) ...	96	静止画を記録する	124
選んだ被写体を追尾する	98	カメラモードで静止画を記録する	124
ズームを操作する	99	静止画を再生する	125
マーカー／ゼブラパターンを表示する	100	静止画インデックス画面を表示する	125
マーカーを表示する	100	静止画を再生する	125
ゼブラパターンを表示する	102	静止画を消去する	126
タイムコードを設定する	103	RC-V100(別売)でリモート撮影する	127
カウントアップ方式を選ぶ	103		

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する	130
機能を変更する	133
アサインボタンに割り当てた機能を使う	133
カスタムピクチャーを使用する	134
カスタムピクチャーファイルを選ぶ	135
画質を調整してカスタムピクチャーファイル として登録する	136
カスタムピクチャーファイルをコピーする	138
カスタムピクチャーの設定項目	139
設定データの保存と読み出し	143
設定データを保存する	143
設定データを読み込む	143

再生

クリップを再生する	146
インデックス画面	146
再生する	148
クリップを操作する	151
クリップメニュー一覧	151
クリップメニューで操作する	151
クリップ情報を表示する	152
クリップを消去する	152

接 続

出力信号形式	154
外部のモニター／レコーダーを接続する	156
接続のしかた	156
SDI端子を使用する	156
HDMI OUT端子を使用する	157
HDRで出力する	158
出力映像にLUTを適用する	159
出力映像に画面表示を重畳する	160
音声出力を選択する	161
音声出力チャンネルを選ぶ	161
クリップを保存／現像する	163
MP4クリップを保存する	163
RAWクリップを現像する	163

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする	166
Wi-Fiで接続する	167
イーサネットで接続する	174
ネットワーク接続設定を選ぶ	175
ネットワーク接続設定を確認／変更する	175
ネットワーク機器でリモート撮影する	176
リモート設定を行う	176
ブラウザーリモートを起動する	177
リモート撮影する	179
クリップをFTPで転送する	186
FTP転送の準備をする	186
クリップをFTPで転送する	187

メニュー

メニュー一覧.....	190
メニューの階層	190
メニューの設定項目	194

その他

ステータス画面を表示する	212
操作のしかた	212
ガンマ／色空間／カラーストリックス	
ステータス画面	213
カスタムピクチャステータス画面	213
カメラステータス画面	214
アサインボタステータス画面	215
オーディオステータス画面	216
メディアステータス画面	217
端子出力ステータス画面	217
記録ステータス画面	218
メタデータステータス画面	218
バッテリー／アワーマーターステータス画面	218
ネットワーク設定ステータス画面	219
GPS情報表示ステータス画面	220
トラブルシューティング	221
電源	221
撮影中	221
再生中	222
表示やランプ	223
画面や音	224
アクセサリ	225
他機	226
ネットワーク接続	227
エラーメッセージ	229
ネットワーク機能使用時	232
安全上のご注意	234

取り扱い上のご注意／日常のお手入れ	236
カメラ本体	236
バッテリー	238
メモリーカード	239
充電式内蔵電池	239
その他のご注意	239
カメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）	240
アクセサリ紹介	241
主な仕様	243
C200 / C200B本体	243
付属品	246
対応レンズと機能	248
動画の記録可能時間の目安	249
バッテリーの充電時間の目安	249
索引	250
保証書と修理対応	255

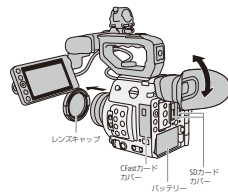
本書の読みかた

動画を撮影する

CAMERA MEDIA RAW MP4

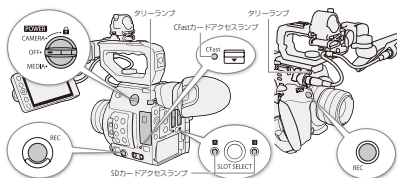
ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、106ページをご覧ください。

■ 準備する



- 1 撮影状況に応じて、ハンドユニット HDU-2*、LCDモニター LM-V1*などの構成を準備する (□ 39)
- 2 充電したバッテリーパックを取り付ける (□ 25)
- 3 記録メディア (CFastカード、SDカード) を入れる (□ 51)
 - リレー記録 (□ 56)、ダブルスロット記録 (□ 56) を行うときは、SDカードを2枚入れる。
 - 静止画を記録するときは、SDカードをSD CARD IIに入れる。
 - 外部レコーダーに記録するときは、外部レコーダーに接続して必要な設定を行う (□ 157)。
- 4 レンズを取り付ける (□ 40)
- 5 LCDモニターやC200ファインダーを調整する (□ 44, 43)

■ 撮影する



60

動画を撮影する

撮影

- 1 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする (□ 27)
 - 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態 (STBY) になる。
 - メモリーカードが入っているCFast / SDカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、記録先として選択されているCFastカード、またはSDカードのアクセスランプが緑色に点灯する。
 - 2 REC(記録開始/停止) ボタンを押す
 - 撮影が始まる。タリランランプが点灯し、画面に「REC」が表示される。
 - カメラクリップのRECボタンで操作して撮影開始することもできる。
 - フロキシ動画の同時記録について (□ 118)。
 - 3 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始/停止) ボタンを押す
 - 撮影が終了してクリップがCFastカード、またはSDカードに記録され、撮影一時停止状態 (STBY) になる。タリランランプは消灯する。
 - 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。クリップには、映像・音声のほかに、メタデータが含まれることがあります。
- 【注意】**
- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - アンインストールしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
 - 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の複製についてはご断念ください。
- 【MEMO】**
- クリップの再生 (□ 117) を受ると、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップを再生して確認できます。マフラーを指定して撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。データの詳細については、「クリップファイル名を設定する」(□ 64)をご覧ください。
 - 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別のクリップとして記録されます。
 - 1つのクリップには、MP4形式で6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。
- 撮影設定をロックする**
- POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする(キーロック)すると、カメラモードのまま、RECボタン以外の操作が無効になり、記録を中止できます*。POWER(電源)スイッチをCAMERAに戻すとキーロックは解除されます。
- * RECボタンを無効にすることもできます (□ 208)。フロッグリーモードからは操作できます。

61

POWER(電源)スイッチの位置を示すマーク

- CAMERA MEDIA CAMERAにする
- CAMERA MEDIA MEDIAにする
- CAMERA MEDIA CAMERAかMEDIAにする

コラムのマーク

- 【注意】** 必ず守っていただきたいこと
- 【MEMO】** 知っておいていただきたいこと

対応する動画形式モード (□ 68)

- RAW MP4 RAWモードとMP4モードで使用可能
- RAW MP4 RAWモードのみで使用可能
- RAW MP4 MP4モードのみで使用可能

本文中の表記



参考 ▶

C200、C200B

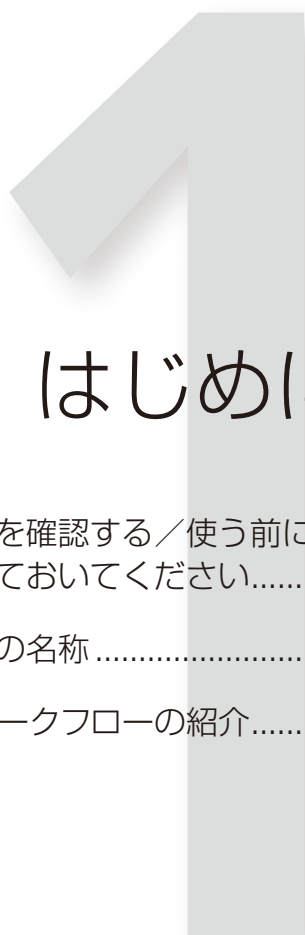
画面

SDカード
メモリーカード
カメラモード
メディアモード

参照ページを示す
参考になるページなどを示す
対象の機種を示す
C200 ファインダー、またはLCDモニター LM-V1 (C200は付属、C200Bは別売) の画面のこと
SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
CFastカード、またはSDカードのこと
動画撮影モードのこと
再生モードのこと

アクセスランプ CFastカードアクセスランプ、またはSDカードアクセスランプのこと
RAWデータ Cinema RAW Light形式で記録したRAWデータのこと

- 本書で使用しているイラストはC200で、レンズはEF50mm F1.4 USMを取り付けています。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。



はじめに

商品を確認する／使う前に 知っておいてください.....	10
各部の名称	12
4Kワークフローの紹介	21

商品を確認する

C200 / C200Bには、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



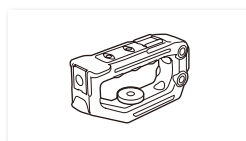
カメラ本体



LCDモニター LM-V1*



LCDアタッチメントユニット
LA-V1*



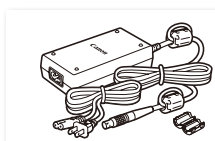
ハンドルユニット HDU-2*



カメラグリップ GR-V1と
グリップアタッチメントリング
(本体装着) *



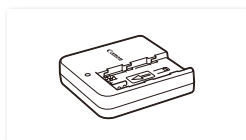
マイクホルダーと
取り付けネジ (M4 / 2個)



ACアダプター CA-A10と
フェライトコア



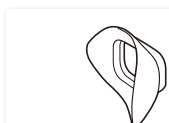
バッテリーパック BP-A30



バッテリーチャージャー
CG-A20



コンパクトパワーアダプター
CA-CP200B (CG-A20用)



アイカップ*



ファインダーキャップ*



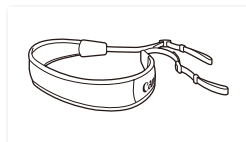
ボディキャップ
(本体装着)



ユニットケーブル UN-5*



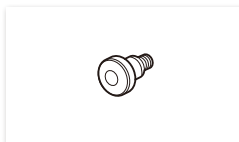
六角穴付きボルト*と六角レンチ*
(1/4インチ / 各1個)、
ボルト抜け止め* (4個)



ショルダーストラップ*
SS-1200



サムレスト
(C200Bは本体装着)



メジャーフック
(本体装着)

* C200のみに付属しています。
一部を除き、別売品で購入可
能です (□ 241)。

レンズキットについて

レンズキットをご購入時は、個装箱に表記した型名のレンズが付属しているか確認してください。レンズの使用説明書が必要なときは、キヤノンのホームページからダウンロードしてください。なお、レンズの使用説明書 (PDF) は、レンズ単体販売用ですので、レンズキットをご購入いただいた場合、レンズに付属するアクセサリが、レンズ使用説明書の記載と一部異なることがあります。ご了承ください。

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

実際の撮影条件で事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、カメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(P.221)をご確認ください。

記録内容の補償はできません

カメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

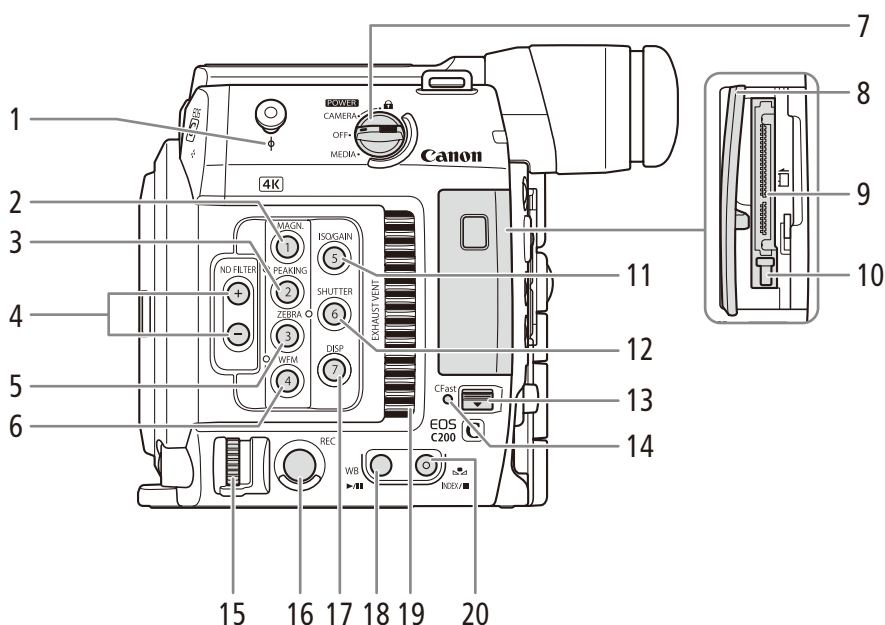
LCDモニターやファインダーの画面について

画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに点灯しない画素や常時点灯する画素が発生することがあります。

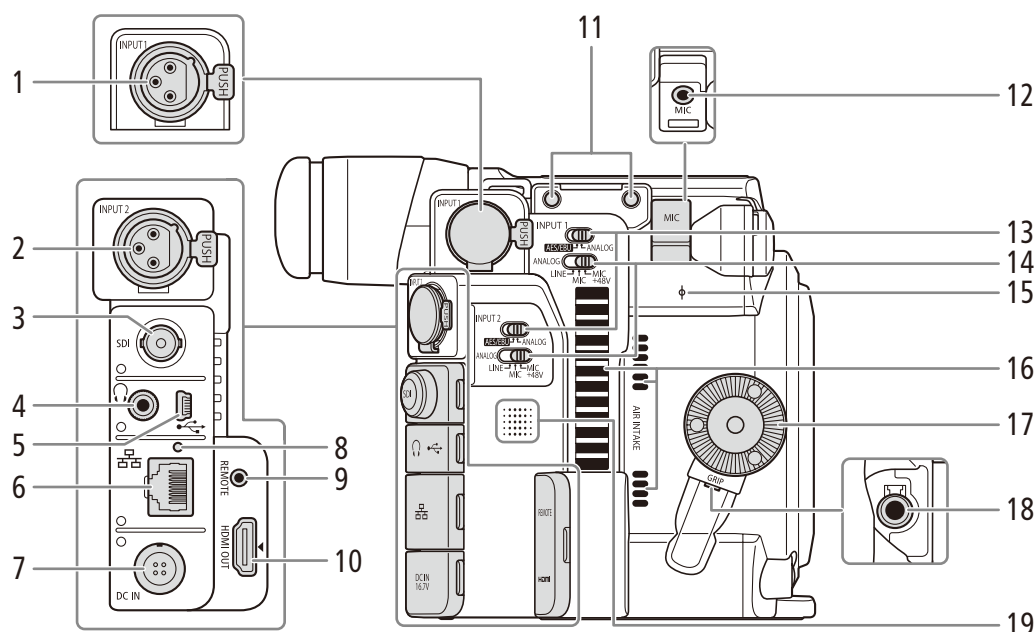
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

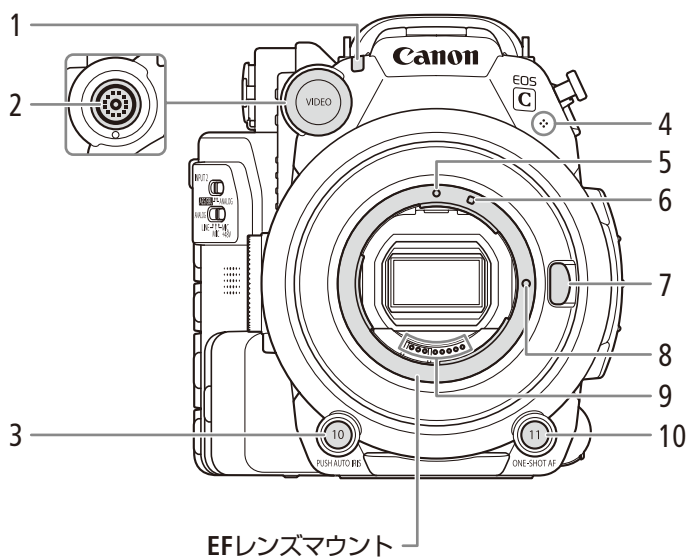
■ 本体の名称



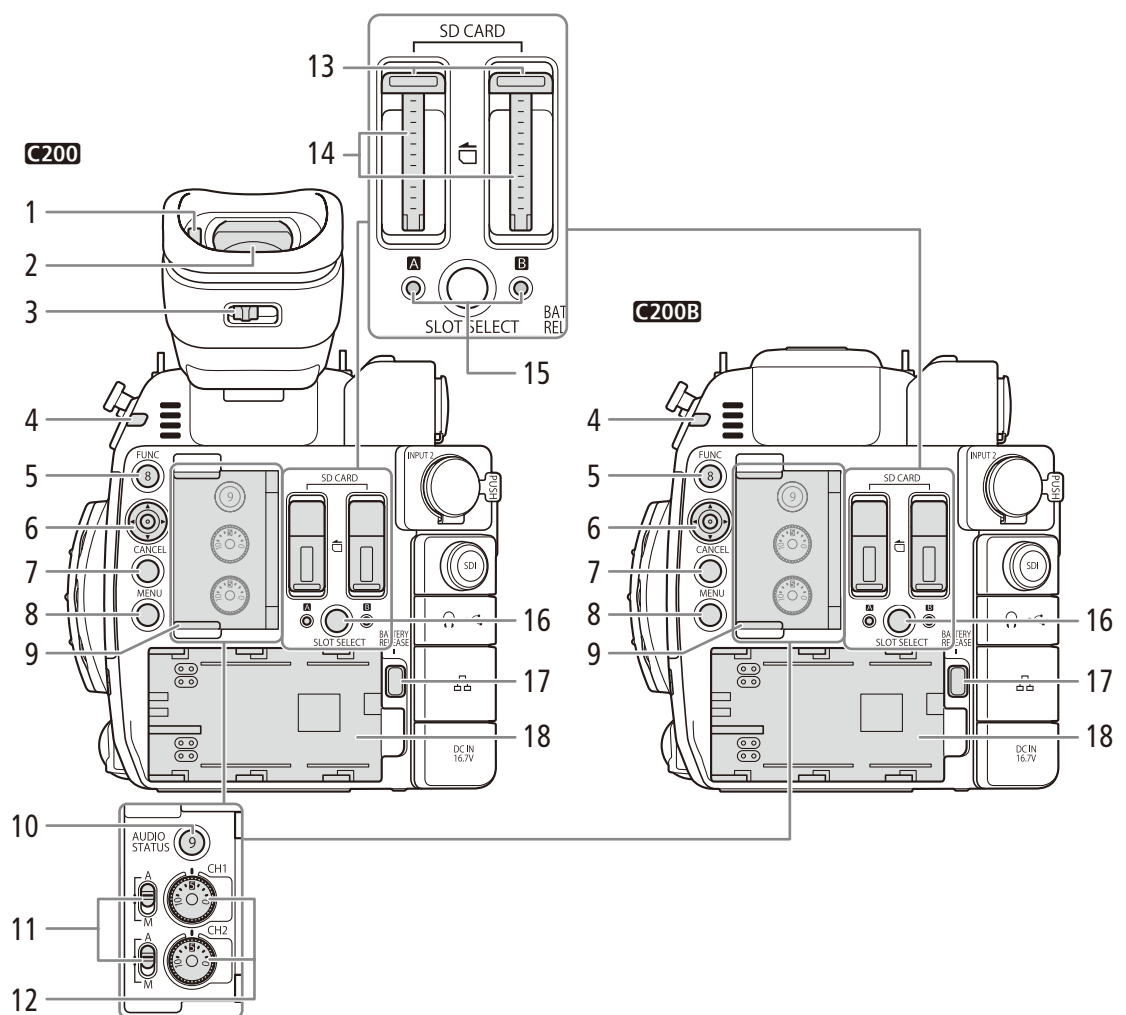
- | | |
|---|--|
| 1 φ 撮影面マーク | 11 ISO/GAIN (ISO感度/ゲイン) / カメラアサイン5
ボタン ▶▶ 74、130 |
| 2 MAGN. (拡大) / カメラアサイン1ボタン
▶▶ 91、130 | 12 SHUTTER (シャッター) / カメラアサイン6ボタン
▶▶ 71、130 |
| 3 PEAKING (ピーキング) / カメラアサイン2ボタン
▶▶ 91、130 | 13 CFastカードカバー開くレバー ▶▶ 52 |
| 4 ND FILTER (NDフィルター) 切り換え + / - ボタン
▶▶ 77、130 | 14 CFastカードアクセスランプ ▶▶ 52 |
| 5 ZEBRA (ゼブラ) / カメラアサイン3ボタン
▶▶ 102、130 | 15 カメラ電子ダイヤル ▶▶ 76、79 |
| 6 WFM (波形モニター) / カメラアサイン4ボタン
▶▶ 115、130 | 16 REC (記録開始/停止) ボタン ▶▶ 60 |
| 7 POWER (電源) スイッチ ▶▶ 27 | 17 DISP (ディスプレイ) / カメラアサイン7ボタン
▶▶ 64、130 |
| 8 CFastカードカバー ▶▶ 52 | 18 WB (ホワイトバランス) /
▶▶ / ■ (再生/一時停止) ボタン ▶▶ 83、148 |
| 9 CFastカードスロット (CFast) ▶▶ 52 | 19 EXHAUST VENT (排気口) ▶▶ 67 |
| 10 CFastカード取り出しボタン ▶▶ 53 | 20 ■ (ホワイトバランスセット) / INDEX / ■ (イ
ンデックス/停止) ボタン ▶▶ 83、147、148 |



- | | |
|---|---|
| 1 INPUT 1端子 ▶▶ 107 | 11 マイクホルダー取り付け用ネジ穴 ▶▶ 48 |
| 2 INPUT 2端子 ▶▶ 107 | 12 MIC(マイク)端子 ▶▶ 107 |
| 3 SDI端子 ▶▶ 156 | 13 INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチ ▶▶ 108 |
| 4 Ω (ヘッドホン)端子 ▶▶ 113 | 14 INPUT端子ANALOG(アナログ)入力切り換えスイッチ ▶▶ 108 |
| 5 USB端子 ▶▶ 116 | 15 ϕ 撮像面マーク |
| 6 $\square$ (イーサネット)端子 ▶▶ 174 | 16 AIR INTAKE(吸気口) ▶▶ 67 |
| 7 DC IN端子 ▶▶ 26 | 17 カメラグリッパ取り付け部(ロゼット) ▶▶ 46
● ARRI社のロゼットに準拠。 |
| 8 イーサネットアクセスランプ ▶▶ 174 | 18 カメラグリッパ接続端子 ▶▶ 46 |
| 9 REMOTE(リモート)端子 ▶▶ 127
● 別売/市販のリモコンを接続する。 | 19 スピーカー ▶▶ 150 |
| 10 HDMI OUT端子 ▶▶ 157 | |

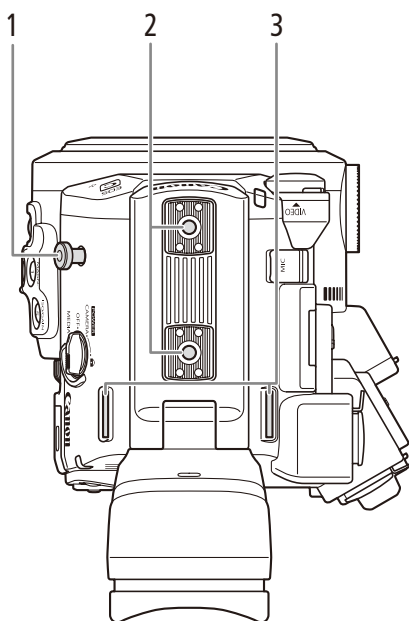


- | | |
|---|--|
| 1 タリーランプ ▶▶ 60 | 6 EF-Sレンズ取り付け指標 ▶▶ 40 |
| 2 VIDEO端子 ▶▶ 29 | 7 レンズロック解除ボタン ▶▶ 40 |
| 3 PUSH AUTO IRIS(プッシュオートアイリス) /
カメラアサイン10ボタン ▶▶ 80、130 | 8 レンズロックピン |
| 4 モノラルマイク ▶▶ 113 | 9 EFレンズ接点 ▶▶ 236 |
| 5 EFレンズ取り付け指標 ▶▶ 40 | 10 ONE-SHOT AF(ワンショットAF) /カメラアサイン11ボタン ▶▶ 92、130 |



- 1 アイセンサー ▶▶ 44
- 2 ファインダー ▶▶ 44
- 3 視度調整レバー ▶▶ 44
- 4 タリールンプ ▶▶ 60
- 5 **FUNC**(ファンクション) /カメラアサイン8ボタン ▶▶ 70、130
- 6 ジョイスティック ▶▶ 33
- 7 **CANCEL**(キャンセル)ボタン ▶▶ 33
- 8 **MENU**(メニュー)ボタン ▶▶ 33
- 9 オーディオ(録音レベル)カバー ▶▶ 110
- 10 **AUDIO STATUS**(オーディオステータス) /カメラアサイン9ボタン ▶▶ 216

- 11 録音レベル切り換えスイッチ (**CH1** / **CH2**) ▶▶ 110
- 12 録音レベル調整つまみ (**CH1** / **CH2**) ▶▶ 110
- 13 SDカードカバー ▶▶ 53
- 14 SDカードスロット (**SD CARD A** / **SD CARD B**) ▶▶ 53
- 15 SDカードアクセスランプ (**SD CARD A** / **SD CARD B**) ▶▶ 54
- 16 **SLOT SELECT**(スロット選択)ボタン ▶▶ 55
- 17 **BATTERY RELEASE**(バッテリー取り外し)ボタン ▶▶ 25
- 18 バッテリー装着部 ▶▶ 25



1 メジャーフック

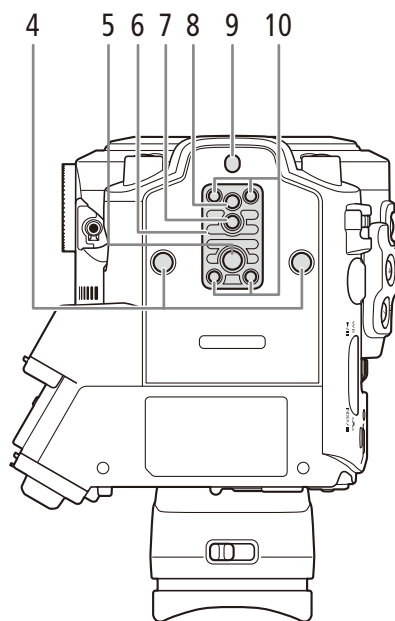
- メジャーを使って撮像面からの距離を測るときに使う。

2 アクセサリー取り付け部 ▶▶ 46

- 固定補助金具と1/4インチネジ穴 (1/4-20 / 深さ6.9 mm。2個) 付き。

3 ストラップ取り付け部 ▶▶ 48

4 1/4インチネジ穴 (1/4-20 / 深さ7.5 mm。2個)



5 3/8インチネジ穴 (3/8-16 / 深さ10 mm。1個)

6 3/8インチネジ用三脚ベース TB-1 ▶▶ 46

7 3/8インチネジ径三脚回転止め穴 (深さ5.5mm。1個)

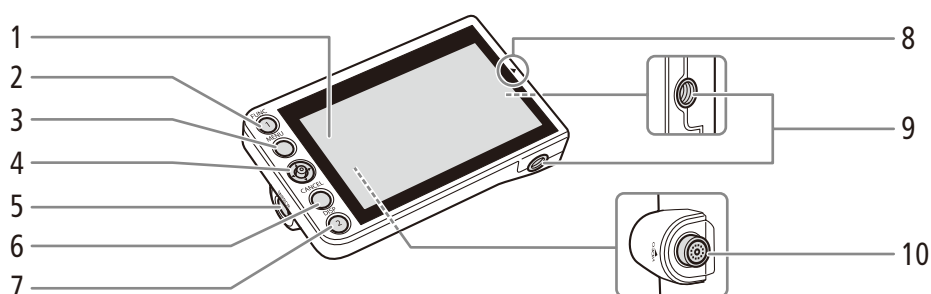
8 1/4インチネジ穴 (1/4-20 / 深さ7 mm。1個)

9 1/4インチネジ径三脚回転止め穴 (深さ5mm。1個)

10 三脚ベース取り付けネジ ▶▶ 46

■ LCDモニター LM-V1*の名称

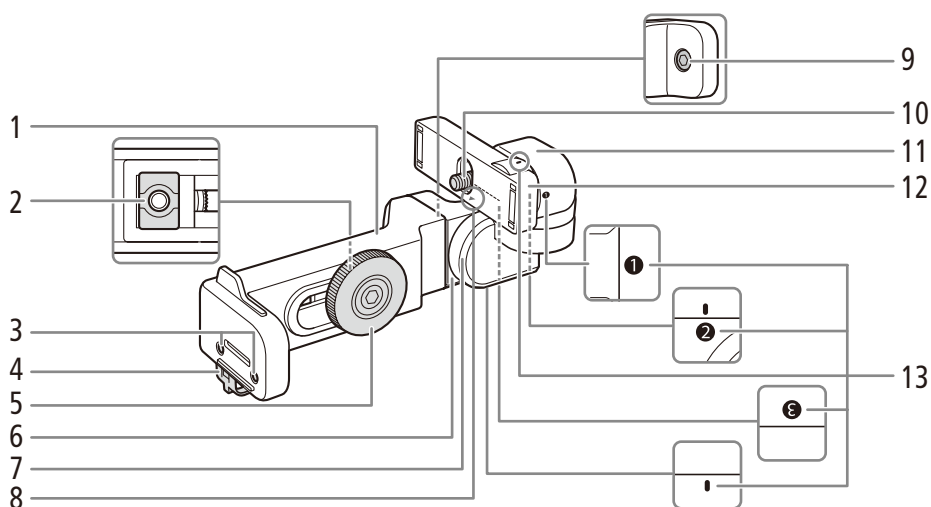
* C200は付属、C200Bは別売。



- | | |
|---|--|
| 1 LCDパネル (タッチパネル) ▶▶ 43 | 6 CANCEL(キャンセル)ボタン ▶▶ 33 |
| 2 FUNC (ファンクション) / LCDモニターアサイン1ボタン ▶▶ 70、130 | 7 DISP (ディスプレイ) / LCDモニターアサイン2ボタン ▶▶ 64、130 |
| 3 MENU (メニュー)ボタン ▶▶ 33 | 8 ▲ (LCDモニター位置合わせ)マーク ▶▶ 29 |
| 4 ジョイスティック ▶▶ 33 | 9 1/4インチネジ穴 (1/4-20 / 深さ11.2 mm。2個) |
| 5 MIRROR (反転表示)切り換えボタン ▶▶ 43 | 10 VIDEO (ビデオ)端子 ▶▶ 29 |

■ LCDアタッチメントユニット LA-V1*の名称

* C200Iは付属、C200Bは別売。

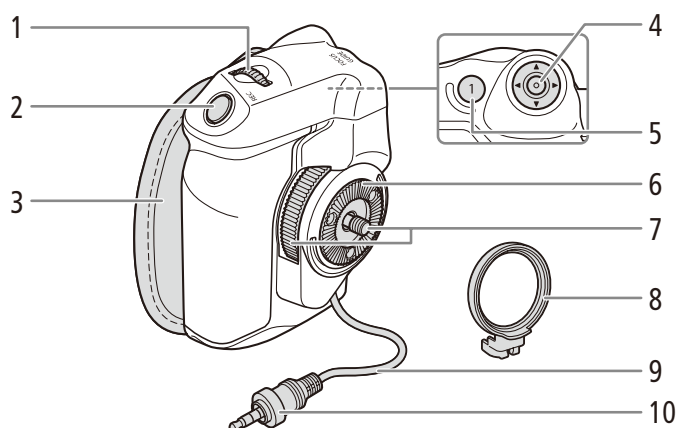


- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1 LCDアタッチメントユニット ベース部1 | 8 ▲ (LCDモニター位置合わせ) マーク ▶▶ 29 |
| 2 LCDアタッチメントユニット取り付け金具 ▶▶ 29 | 9 LCDアタッチメントユニット ベース部接続ネジ |
| 3 マイクホルダー取り付け用ネジ穴 ▶▶ 48 | 10 LCDモニター取り付けネジ ▶▶ 29 |
| 4 ケーブルクランプ ▶▶ 29 | 11 LCDアタッチメントユニット ヒンジ部A ▶▶ 30 |
| 5 LCDアタッチメントユニット取り付けネジ ▶▶ 29 | 12 LCDモニター取り付け部 ▶▶ 29 |
| 6 LCDアタッチメントユニット ベース部2 ▶▶ 30 | 13 LCDアタッチメントユニット位置合わせマーク ▶▶ 43 |
| 7 LCDアタッチメントユニット ヒンジ部B ▶▶ 30 | |

■ カメラグリップ GR-V1*の名称

C200 ご購入時、カメラグリップは本体に取り付けられています。

* C200は付属、C200Bは別売。

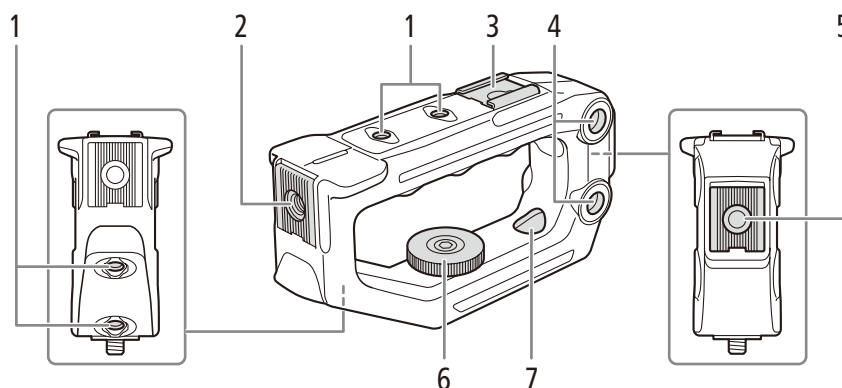


- 1 グリップ電子ダイヤル ▶▶ 76、79
- 2 **REC**(記録開始／停止)ボタン ▶▶ 60
- 3 グリップベルト ▶▶ 47
- 4 ジョイスティック ▶▶ 33
- 5 **FOCUS GUIDE**(フォーカスガイド) / グリップアサイン1ボタン ▶▶ 89、130

- 6 ロゼット
● ARRI社のロゼットに準拠。
- 7 取り付けネジ ▶▶ 46
- 8 グリップアタッチメントリング ▶▶ 46
- 9 接続ケーブル
- 10 接続プラグ ▶▶ 46

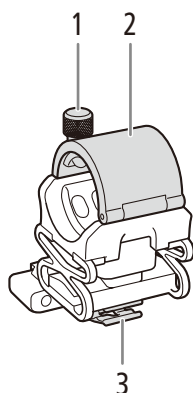
■ ハンドルユニット HDU-2*の名称

* C200は付属、C200Bは別売。



- | | |
|---|--|
| <p>1 1/4インチネジ穴 (1/4-20 / 深さ6 mm。4個)
● ハンドルに4箇所。</p> <p>2 前部アクセサリ取り付け部 ▶ 107
● 固定補助金具と1/4インチネジ穴 (1/4-20 / 深さ8.8 mm。1個)付き。</p> <p>3 アクセサリーシュー</p> | <p>4 汎用取り付け穴 (φ8.8 mm)</p> <p>5 後部アクセサリ取り付け部
● 固定補助金具と1/4インチネジ穴 (1/4-20 / 深さ8.8 mm。1個)付き。</p> <p>6 取り付けネジ</p> <p>7 カメラに取り付け用の穴</p> |
|---|--|

■ マイクホルダーの名称



- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 外部マイク固定ネジ ▶ 107 |
| 2 | 外部マイクホルダー ▶ 107 |
| 3 | ケーブルクランプ ▶ 107 |

4Kワークフローの紹介

CAMERA

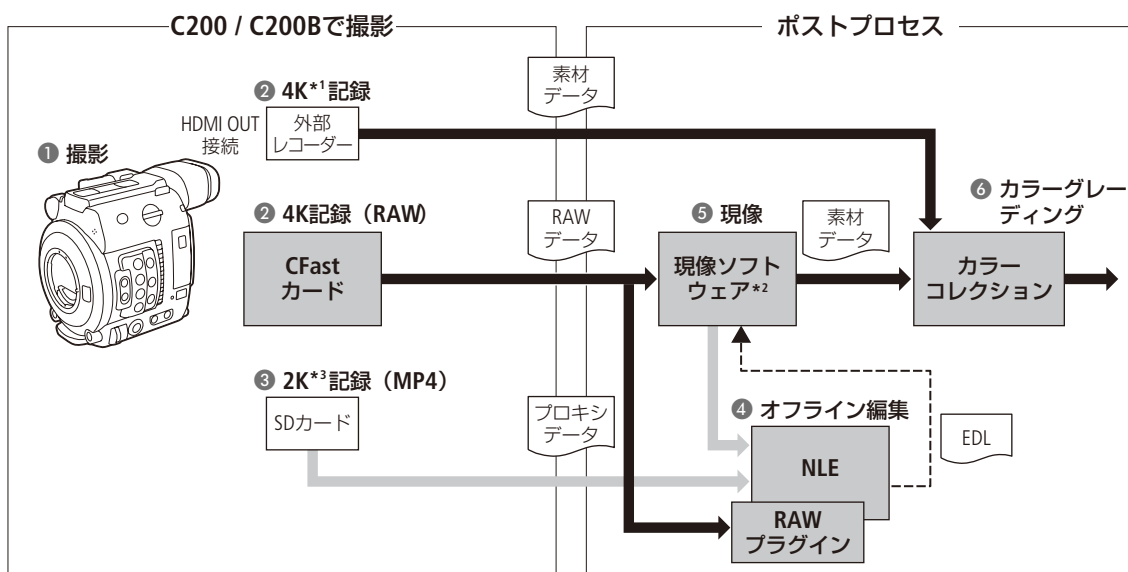
MEDIA

RAW

MP4

はじめに

ここでは、本機を使って4K撮影を行う場合のワークフローの例を紹介します。



*1 MP4記録時は3840×2160。

*2 Cinema RAW Developmentのこと (□ 163)。

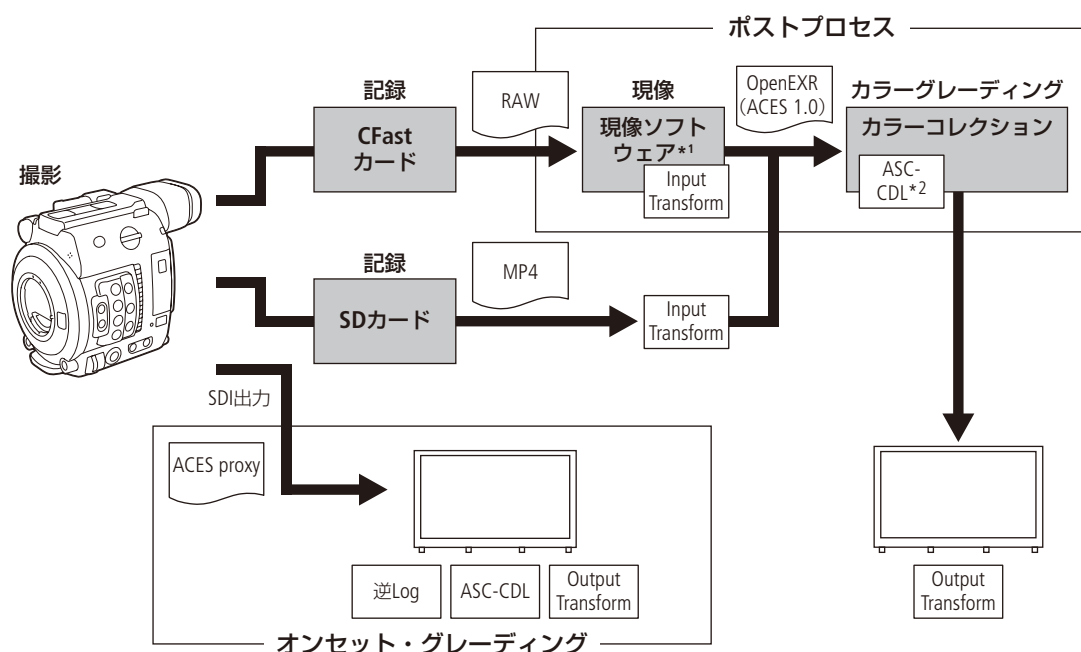
*3 プロキシ動画記録時は2048×1080。

- 1 4Kで撮影し(①)、CFastカードに4K RAWデータを記録するか、またはHDMI OUT端子に接続した外部レコーダーで4Kデータを記録する(②)
 - 4Kデータで撮影したときは、手順5へ進む。**参考**▶「外部のモニター／レコーダーを接続する」(□ 156)
- 2 4K RAWデータの記録と同時に、SDカードに2Kプロキシデータを記録する(③)
- 3 SDカードに記録された2K映像、または現像ソフトウェアで生成したプロキシデータをNLEソフトウェアに取り込み、オフライン編集を行う(④)**参考**▶「クリップを保存／現像する」(□ 163)
- 4 RAWデータを記録したとき 現像ソフトウェアCinema RAW Developmentで現像(□ 163)して、素材データを生成する(⑤)
 - 現像時にプロキシデータを生成することもできる。
- 5 素材データのカラーグレーディング処理を行う(⑥)

■ ACESワークフローによるカラーグレーディング

映画芸術科学アカデミー（AMPAS）が策定したACES2065-1（Academy Color Encoding System）色空間を使用してカラーグレーディングを行うことができます。また、撮影現場でカラーグレーディング後の映像を確認しながら撮影することもできます（オンセット・グレーディング）*。

* ASC-CDLと3D LUTによるカラー調整に対応するモニターが必要。



*1 Cinema RAW Developmentのこと（□ 163）。

*2 ASC-CDLに対応するカラーグレーディング機材が必要。

ACESproxy : オンセット・グレーディング時にSDI端子から出力するACESproxyの映像データ。LUTを「LUT : ACESproxy」に設定すると出力できる（□ 159）。

Input Transform : 入力機器の色情報をACES2065-1色空間に変換するテーブル。

Output Transform : ACES2065-1色空間を出力機器の色情報に変換するテーブル。

ASC-CDL : カラーグレーディングの調整情報を記述したリスト。

準備

電源を準備する	24
ハンドルユニット HDU-2を 取り付ける	28
LCDモニター LM-V1を取り付ける ..	29
日時を設定する	32
メニューで設定を変える	33
カメラを準備する	39
記録メディアを準備する	51
ブラックバランスを調整する	58

電源を準備する

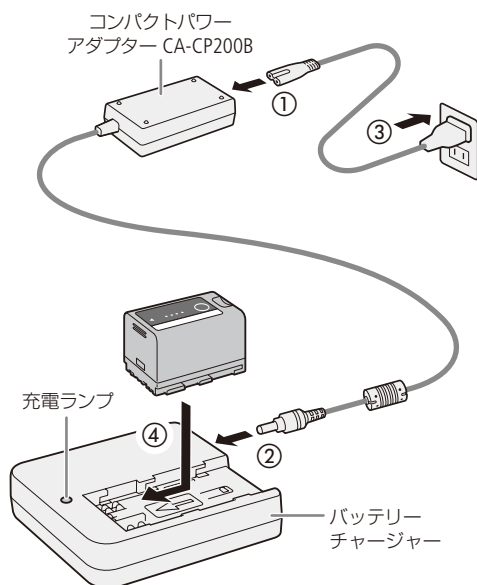
電源は、バッテリーまたはコンセントから使用します。バッテリーが取り付けられている状態で、コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。

■ バッテリーを使う

本機は、バッテリーパック BP-A30(付属)またはBP-A60(別売)を使用できます。インテリジェントシステムに対応しているため、分単位(目安)の残量を確認することができます。残量をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電する

付属のバッテリーチャージャー CG-A20を使って充電します。バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取り外します。(P.238)



- 1 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) に電源コードを差し込む (①)
- 2 バッテリーチャージャーにコンパクトパワーアダプターのDCプラグを差し込む (②)
- 3 電源プラグをコンセントに差し込む (③)
- 4 バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる (④)
 - 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
 - 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量(目安)を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。
- 5 バッテリーパックをスライドさせて、取り外す
- 6 電源プラグをコンセントから抜く
- 7 バッテリーチャージャーからコンパクトパワーアダプターのDCプラグを抜き、コンパクトパワーアダプターから電源コードを抜く

	2秒間に1回点滅 → 0 ~ 49%
	2秒間に2回点滅 → 50 ~ 74%
	2秒間に3回点滅 → 75 ~ 99%

ご注意

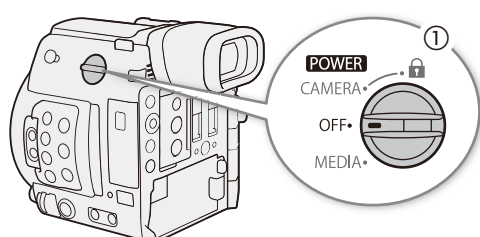
- バッテリーチャージャーに指定された製品以外を接続しないでください。
- 故障の原因となりますので、バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターを固定して使用しないでください。
- 10℃ ~ 30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃を超える場所では充電できません。

MEMO

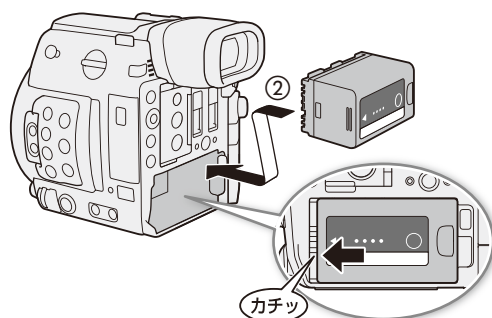
- バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、238ページをご覧ください。

- バッテリーの充電時間は249ページ、フルに充電したときの使用時間の目安は246ページを、それぞれをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- バッテリーは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。バッテリーパックを本機に取り付けると、バッテリー／アワーマーターステータス画面 (218) でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

本体に取り付ける

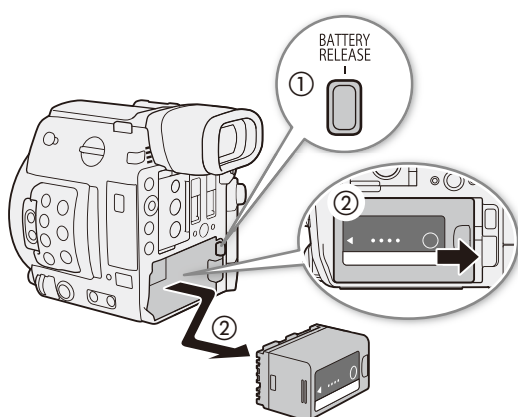


1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)



2 バッテリーパックを図のように奥に押しつけながら左にスライドさせ、カチッと音がするまで入れる (②)

本体から取り外す

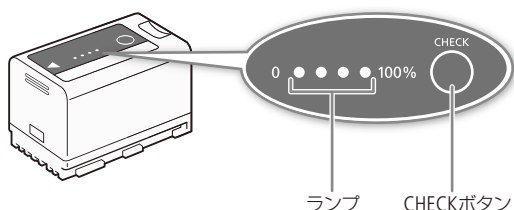


1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

2 BATTERY RELEASE (バッテリー取り外し) ボタンを押しながら (①)、バッテリーパックを右にスライドさせて、バッテリーパックを取り出す (②)

残量を確認する

BP-A30 (付属) または BP-A60 (別売) は、本機に装着しなくても、バッテリー上のボタンを押して残量 (目安) を確認できます。また、本機に取り付けて電源を入れたあとは、カメラモード / メディアモードの各画面 (□□ 62、146) や、バッテリー / アワーメーターステータス画面 (□□ 218) で、分単位の残量 (目安) を確認することもできます。



1 バッテリーパック上のCHECKボタンを押す

- 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量 (目安) を確認できる。

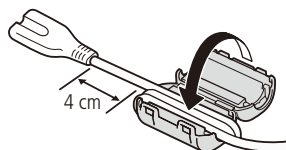
※ ○ ○ ○	0 ~ 25%
※ ※ ○ ○	26 ~ 50%
※ ※ ※ ○	51 ~ 75%
※ ※ ※ ※	76 ~ 100%

■ コンセントにつないで使う

ACアダプター CA-A10 (付属) を使って、本機をコンセントにつないで使用できます。コンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することができます。

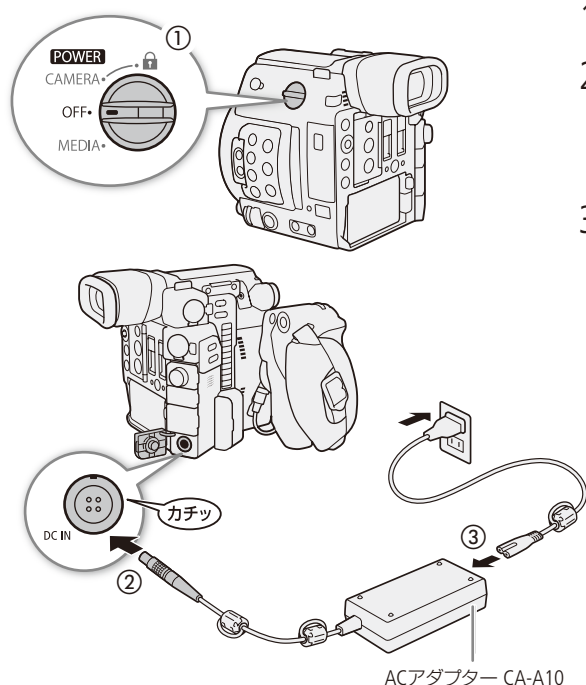
電源コードにフェライトコアを取り付ける

ACアダプター CA-A10は、電源コードにフェライトコア (付属) を取り付けて使用します。これによって、発生するノイズを低減できます。



- 1 電源コードのACアダプター側のプラグの端から約4 cmの位置にフェライトコアを当てる
- 2 コードのコンセント側を持って、図のようにフェライトコアに2回巻き付ける
- 3 フェライトコアを閉じる

コンセントにつなぐ



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)

2 DC IN端子にDCプラグを差し込む (②)

- DCプラグの赤い指標を上にして差し込む。
- DCケーブルを抜くときは、DCプラグ部分を引きながら抜く。

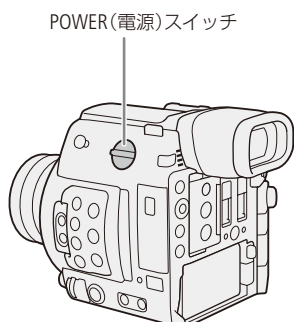
3 ACアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む (③)

ご注意

- ACアダプターを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってください。
- 故障の原因となりますので、ACアダプターを固定して使用しないでください。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。



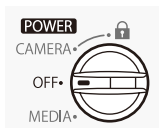
カメラモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをCAMERAにする。



メディアモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする。



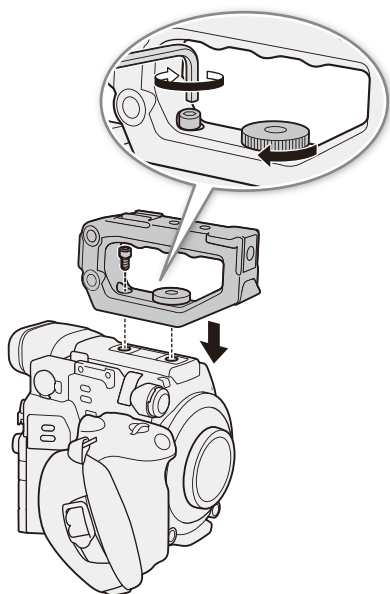
電源を切るとき

POWER(電源)スイッチをOFFにする。

ハンドルユニット HDU-2を取り付ける

ハンドルユニット HDU-2*は、カメラ本体に取り付けることができます。

* C200は付属、C200Bは別売。



1 HDU-2をカメラ本体に取り付ける

- 取り付けネジと六角穴付きボルト（HDU-2に付属）で固定する。
- 六角穴付きボルトは、1/4インチボルト用六角レンチ（HDU-2に付属）を使用して固定する。

MEMO

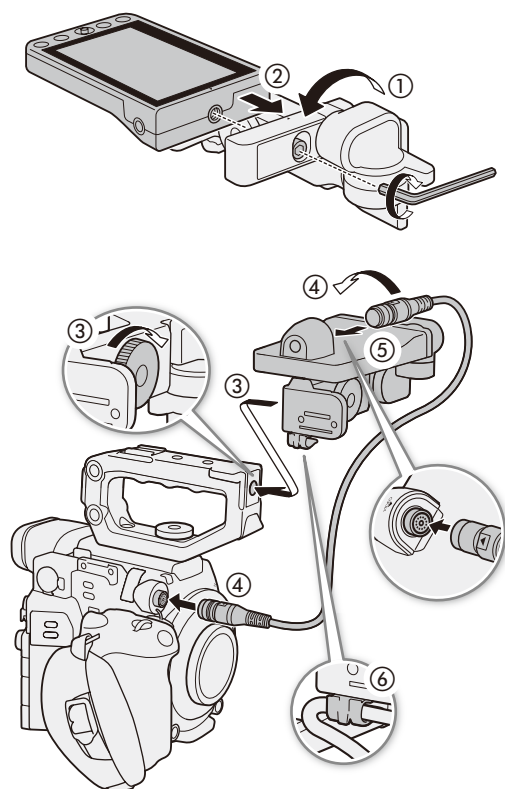
- HDU-2には1/4インチネジ穴があり、市販のアクセサリを取り付けることができます。
- HDU-2には汎用取り付け穴（ $\phi 8.8$ mm）が2つあります。2つの穴の中心間の距離は35.5 mmです。

LCDモニター LM-V1を取り付ける

LCDモニター LM-V1*は、LCDアタッチメントユニット LA-V1*と組み合わせて、ハンドルユニット HDU-2*、またはカメラ本体に取り付けることができます。カメラ本体に取り付けるときは、LCDアタッチメントユニット ベース部2を外して取り付けます。LM-V1の詳細については、「LCDモニター LM-V1を使う」(□43)、「LCDモニター LM-V1 / C200 ファインダーの画面を調整する」(□45)をご覧ください。

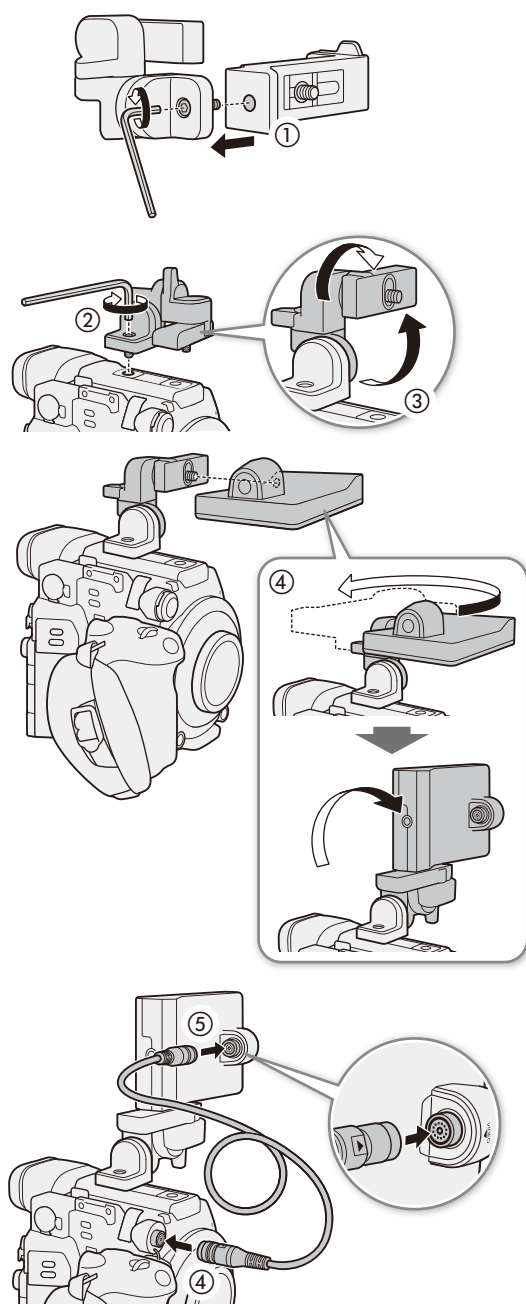
* C200は付属、C200Bは別売。

■ ハンドルユニット HDU-2に取り付ける



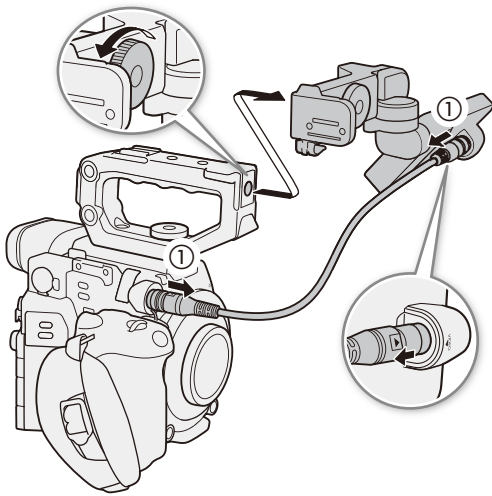
- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 LCDモニター取り付け部をLCDアタッチメントユニット取り付けネジ側に180°回転させて(①)、LCDモニターを取り付ける(②)
 - LM-V1の▲(LCDモニター位置合わせ)マークとLCDアタッチメントユニット位置合わせマークを合わせる。
 - 1/4インチボルト用六角レンチ(HDU-2に付属)を使用してLCDモニター取り付けネジで固定する。
 - LCDモニターは、上下逆にも取り付けられる。
- 3 LCDアタッチメントユニット取り付け金具をHDU-2の前部アクセサリ取り付け部に合わせて、LCDアタッチメントユニット取り付けネジで固定する(③)
- 4 LCDモニター取り付け部をハンドルユニット側に180°回転させる(④)
- 5 ユニットケーブル*で、カメラ本体とLM-V1のVIDEO端子を接続する(⑤)
 - * C200は付属、C200Bは別売。
 - プラグと端子の▼マークを合わせて接続する。
- 6 ケーブルをケーブルクランプにとめる(⑥)

■ カメラ本体に取り付ける



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
 - カメラ本体にHDU-2が取り付けられているときは、取り外す。
- 2 LCDアタッチメントユニット ベース部2を取り外す (①)
 - 1/4インチボルト用六角レンチ (HDU-2に付属)を使用する。
- 3 LCDアタッチメントユニット ベース部2をカメラ本体に取り付ける (②)
 - 1/4インチボルト用六角レンチを使用して、六角穴付きボルトで固定する。
- 4 LCDアタッチメントユニット ヒンジ部BをSDカードスロット側に90°回転させ、LCDモニター取り付け部をメジャーフック側に180°回転させる (③)
- 5 LM-V1を取り付け、LCDアタッチメントユニット ヒンジ部AをSDカードスロット側に180°回転させ、LCDアタッチメントユニット ヒンジ部Bをレンズ側へ90°回転させる (④)
 - LM-V1下部の1/4インチネジ穴を使用する。
 - 1/4ボルト用六角レンチを使用して、六角穴付きボルトで固定する。
- 6 ユニットケーブル*で、カメラ本体とLM-V1のVIDEO端子を接続する (⑤)
 - * C200は付属、C200Bは別売。
 - ユニットケーブルは、プラグと端子の▼マークを合わせて接続する。
 - ユニットケーブルがレンズにかからないように、必要に応じてケーブルの位置を調整する。

LCDモニター LM-V1とLCDアタッチメントユニット LA-V1を取り外す



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 ユニットケーブルをカメラ本体とLM-V1から抜く
(①)
● ケーブル先端の金具を手前に引きながら、ユニットケーブルを引き抜く。
- 3 LCDアタッチメントユニット取り付けネジをゆるめて、LA-V1とLM-V1を取り外す

ご注意

- 落下したりしないように、机などの安定した所で着脱してください。

日時を設定する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*。操作に使用するボタンなどの位置を次ページの図で確認して、日時を設定してください。

* 内蔵の充電式リチウム電池が放電したときも同様です。

■ 日付と時刻を設定する



1 年月日時分の数字を選んで設定する

- ① ジョイスティックを上下に押して「タイムゾーン」を選び、ジョイスティックを垂直に押す。
 - カーソルが「年」に移動する。
 - ジョイスティックを垂直に押すたびに、タイムゾーン→年→月→日→時→分の順にカーソルが移動する。
 - ジョイスティックを左右に押しても、カーソルを移動できる。
- ② ①の操作を繰り返して、日付／時刻を設定する。
- ③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、時報に合わせてジョイスティックを垂直に押す。
 - 日時設定が完了する。



MEMO

撮影画面に日時を表示するには

- ➡ カメラモードのときは、 5 モニタリング設定メニュー ➡ 「Custom Display 2」 ➡ 「日付/時刻」 (📖 202)
- メディアモードのときは、 4 モニタリング設定メニュー ➡ 「Custom Display」 ➡ 「日付/時刻」 (📖 201)

タイムゾーン、日時設定を変更するには

- ➡ 1 システム設定メニュー ➡ 「タイムゾーン」または「日付/時刻」 (📖 207)

- 本機を3 ヶ月近く使わないと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付／時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を使用すると、GPSから得られる時刻情報を本機に自動で設定できます (📖 116)。

メニューで設定を変える

CAMERA

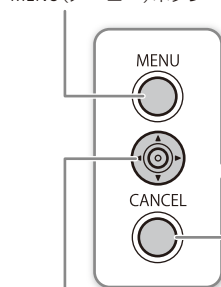
MEDIA

RAW

MP4

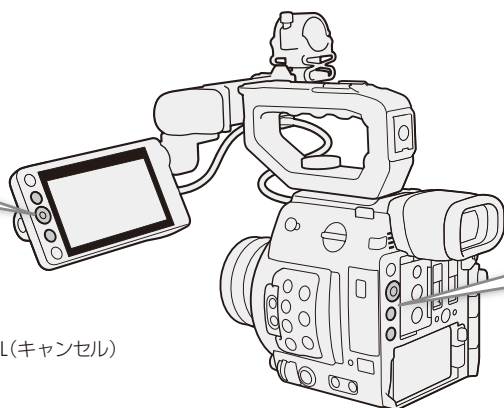
本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。また、よく使うメニュー項目をあらかじめマイメニューに登録して設定することもできます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニュー一覧」(P 190)をご覧ください。

MENU(メニュー)ボタン

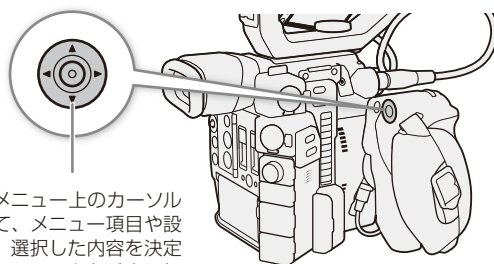
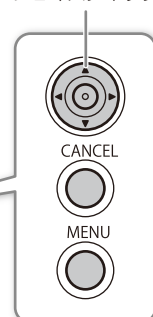


ジョイスティック

CANCEL(キャンセル)ボタン



ジョイスティック



ジョイスティック

上下左右に押すと、メニュー上のカーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。選択した内容を決定するときは、ジョイスティックを垂直に押し込みます。

CANCEL(キャンセル)ボタン
メニューの1つ上の階層に戻ります。実行前の操作はキャンセルされます。

MENU(メニュー)ボタン
メニュー操作を開始するときに押してメニューを表示し、設定が終わったら再度押してメニューを消します。

メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

例：ピーキングに「ピーキング2」を選択する場合

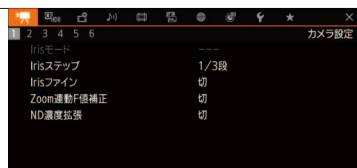
MENU



1 メニューを表示させる

① MENUボタンを押す。

- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- メニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま表示される(電源をOFF/ONすると初期状態に戻る)。





2 設定するメニューを選ぶ

- ① ジョイスティックを左右に押して、設定するメニューを選ぶ。
 - 選んだメニューのサブメニューが表示される。
- ② ジョイスティックを垂直に押す*。
 - カーソルがメニュー項目に移動する。
 - ジョイスティックを下に押して、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
 - メニューとメニュー項目の間に表示される数字は、メニュー項目が複数ページあることを示す。カーソルがメニュー項目に移動しているときにジョイスティックを左右に押すと、ページが切り換わる。

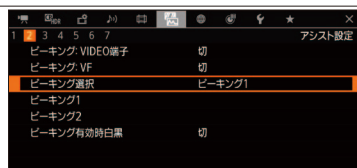
* 以降、この操作を「ジョイスティックを押す」と記載する。



3 設定するメニュー項目を選ぶ

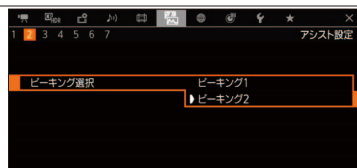
- ① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニュー項目を選ぶ。
- ② ジョイスティックを押す。
 - カーソルが設定内容に移動する。
 - 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。
 - 「CANCELボタンを押す*」、「㊟を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

* 以降、この操作を「CANCELを押す」と記載する。



4 設定内容を選び、設定する

- ① ジョイスティックを上下に押して、設定内容を選ぶ。
- ② ジョイスティックを押す。
 - 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。



5 メニューを消す

- ① MENUボタンを押す。
 - メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。

操作説明におけるメニュー階層の表記のしかた

メニューアイコン メニュー項目のページ数 メニュー名 ▶ 「階層1」 ▶ 「階層2」 ▶ 「階層3」

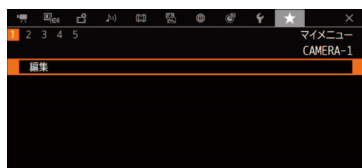
MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 操作ガイドとして画面に **SET**、**CANCEL**、**MENU** が表示されることがあります。このときはガイドに応じて、それぞれ、ジョイスティック、CANCELボタン、MENUボタンを押してください。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使用しているときは、RC-V100の上/下/左/右/SET (設定) ボタンがジョイスティックと同様に機能します。SET (設定) ボタンは、ジョイスティックを垂直に押す操作と同じで、選択した内容を決定するときに使用します。
- 現在の設定内容の一部を、ステータス画面で確認できます (□ 212)。

■ マイメニューを使う

よく使うメニュー項目をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡単に設定することができます。マイメニューにはメニュー項目を6個まで登録できます。また、マイメニューは5セット保存できるので、必要に応じて切り換えて使用できます。アサインボタン (□ 130) にマイメニューを割り当てておけば、1ボタン操作でマイメニューを開くこともできます。

マイメニューを選択する



- ① ★マイメニューを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、「1」から「5」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

マイメニューを登録する

現在選択しているマイメニューにメニュー項目を登録することができます。

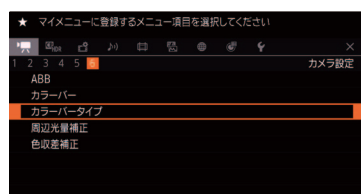
例：マイメニュー 1に「CAMERA 設定メニュー」➡「カラーバertype」を追加する場合



1 マイメニューの「登録」を選ぶ

- ① ★1 マイメニュー ➡ 「編集」 ➡ 「登録」を順に選ぶ ➡ ジョイスティックを押す。
 - マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ画面になる。

登録を中止するとき CANCELを押す。



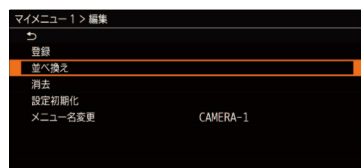
2 マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

- ① 「CAMERA 設定メニュー」➡「カラーバertype」を順に選ぶ ➡ ジョイスティックを押す。
- ② 「OK」を選ぶ ➡ ジョイスティックを2回押す。
 - 「カラーバertype」が現在選択しているマイメニューに登録される。

登録したメニュー項目を並べ換える

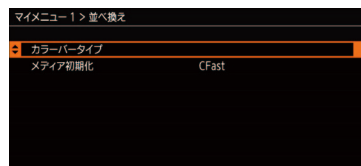
現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を並べ換えることができます。

例：マイメニュー 1の場合



1 マイメニューの「並べ換え」を選ぶ

- ① ★1 マイメニュー ➡ 「編集」 ➡ 「並べ換え」を選ぶ ➡ ジョイスティックを押す。
 - 現在選択しているマイメニューに登録されているメニュー項目が一覧表示される。



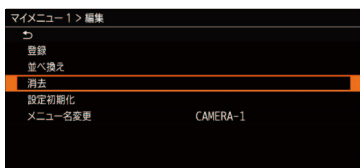
2 メニュー項目を選んで並べ換える

- ① 並べ換えるメニュー項目を選ぶ ➡ ジョイスティックを押す。
 - 選んだメニュー項目の左に◆が表示される。
- ② ジョイスティックを上下にして、移動先を選ぶ ➡ ジョイスティックを押す。
 - メニュー項目が移動する。

登録したメニュー項目を消去する

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を1項目ずつ、またはすべて消去することができます。

例：マイメニュー 1の場合



1 マイメニューの「消去」または「設定初期化」を選ぶ

- ① ★1 マイメニュー ▶ 「編集」 ▶ 「消去」または「設定初期化」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 消去する

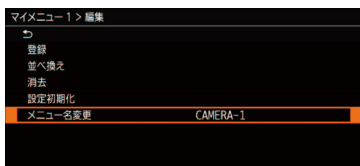
「消去」を選んだとき 消去するメニュー項目を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- ① 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 ● 「消去」を選んだときは選んだメニュー項目が、「設定初期化」を選んだときは、現在選択しているマイメニューに登録されているすべてのメニュー項目が、消去される。
 ② ジョイスティックを押す。

マイメニューの名前を変更する

5セットのマイメニューそれぞれに名前を設定できます。

例：マイメニュー 1の場合



- ① ★1 マイメニュー ▶ 「編集」 ▶ 「メニュー名変更」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 ② 8桁の任意の英数字記号を入力し、「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

参考 ▶ 「文字入力のしかた」

文字入力のしかた



No.	意味
①	入力フィールド* * 入力できる文字数は、メニューによって異なる。
②	文字入力キー
③	カーソルの移動
④	1文字消去 (MENUボタンでも操作可能)
⑤	現在の文字数 / 入力可能文字数
⑥	入力を決定 キーボードを終了
⑦	入力を中止

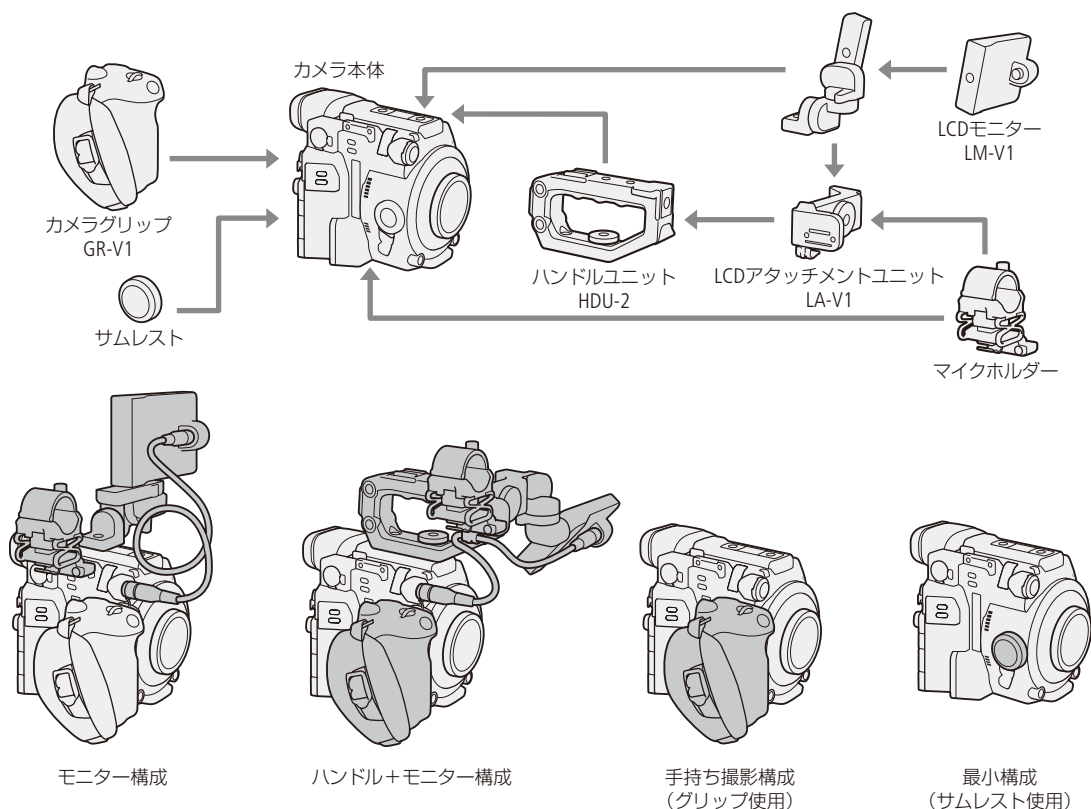
カメラを準備する

ここでは、本機の構成例を紹介した後、レンズの取り付け／取り外し、LCDモニター LM-V1* / **C200** ファインダーの調整、カメラグリップ GR-V1*の取り外し／取り付け、マイクホルダーの取り付けなど、はじめに行うカメラの準備について説明します。

* C200は付属、C200Bは別売。

■ 本機の構成例

本機は、ハンドルユニット HDU-2、LCDモニター LM-V1、LCDアタッチメントユニット LA-V1、カメラグリップ GR-V1を着脱できるので、撮影シーンに応じて必要なユニットを自由に組み合わせて撮影できます。



ご注意

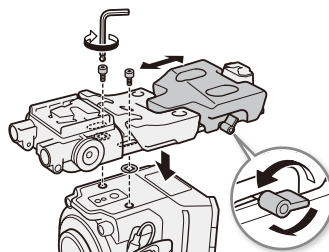
- 構成を変更するときは、本機やアクセサリが落下したりしないように、机などの安定した所で装着・調節してください。

MEMO

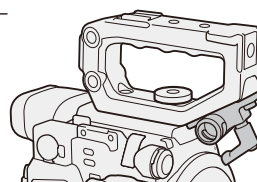
ショルダーサポートユニット SU-15(別売)を使用する

ショルダースタイルが可能になるSU-15を装着できます。SU-15を本機に取り付けるときは、SU-15の三脚用ベース側のカメラ取り付け穴を使用して取り付けます。

参考 ▶ ショルダーサポートユニット SU-15の使用説明書「カメラに取り付ける」



- ロッドクランプ RD-1 (別売) を使用して、 $\Phi 15$ mmのロッドを備える市販のファインダーなどを取り付けることができます。



■ レンズを準備する

レンズの取り付け／取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。取り付けるレンズの説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

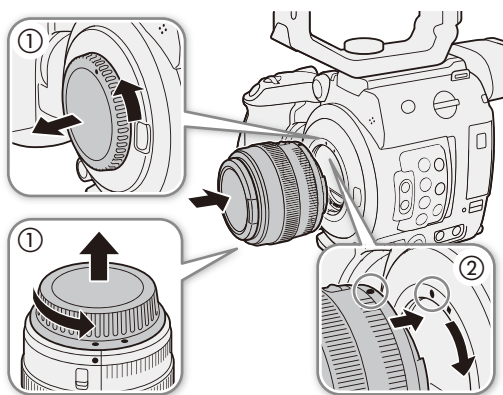
- レンズの取り付け／取り外しは、直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、カメラやレンズを落とさないようにご注意ください。

MEMO

レンズを取り外したとき

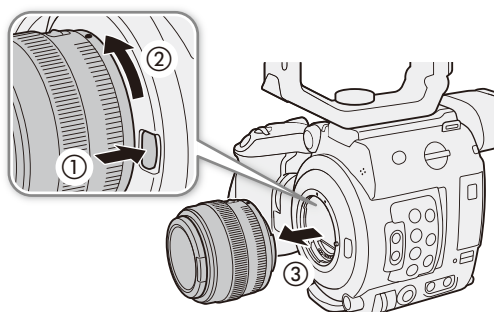
- レンズ／本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
- 本体のレンズマウントにボディキャップを、レンズにダストキャップを取り付けてください。キャップはゴミやほこりを落としてから使用してください。

EFレンズを取り付ける



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 EFレンズマウントからボディキャップを、レンズからダストキャップを取り外す (①)
- 3 レンズを取り付ける (②)
 - 本機とレンズの取り付け指標を合わせ、レンズを図のようにカチッと音がするまで回す。
 - EFレンズの指標は赤い丸、EF-Sレンズの指標は白い四角。

EFレンズを取り外す



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 レンズロック解除ボタンを押しながら(①)、レンズを図のように回して(②)取り外す(③)
 - 回転が止まるまで回してから取り外す。
- 3 EFレンズマウントにボディキャップを取り付ける
- 4 取り外したレンズにダストキャップを取り付ける

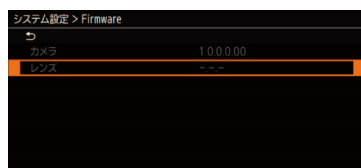
MEMO

- 手ブレ補正機能を搭載したEFレンズを使用する場合、手ブレ補正をONにするとバッテリーの持ちが悪くなることがあります。三脚使用時など補正の必要がないときは、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。
- 取り付けしたレンズによっては、次の動作になることがあります。
 - レンズ型名情報の一部が省略されて表示される。
 - フォーカスモードスイッチがAFのときに手動でフォーカス調整できない。
 - フォーカスプリセットが動作しない(超望遠レンズ)。
 - レンズに搭載されたパワーズーム機能が使用できない。
- 本機のセンサーサイズは、EF-Sレンズが対応するサイズ(APS-C)より大きいため、EF-Sレンズを装着すると、ケラレが発生することがあります。
- レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できます(対応レンズのみ。☞ 209)。

EFレンズのファームウェアを更新する

CAMERA MEDIA RAW MP4

本機に装着したEFレンズのファームウェアを更新することができます。EFレンズの最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。



- ① レンズのファームウェアをキヤノンのサイトからダウンロードしてSDカードに保存し、SDカードをSD CARD **B** に入れる。
- ② レンズを取り付けたあと、**6** システム設定 > 「Firmware」 > 「レンズ」を順に選ぶ > ジョイスティックを押す。
 - 取り付けているレンズのバージョン情報が画面に表示される。

「レンズ」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けしたレンズがファームウェアの更新に対応していないか、本機に入れたSDカードにファームウェアが保存されていない。
- SDカードをSD CARD **A** に入れている。
レンズやSDカード、SDカードを入れているSDカードスロットを確認して①から操作する。

- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ ファームウェアの更新ファイル (XXX.LFU) を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ⑤ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - レンズのファームウェアの更新が開始される。
 - ファームウェアの更新は中止できない。
- ⑥ 更新が終了したらジョイスティックを押す。

ご注意

ファームウェアの更新中は次のことを必ず守ってください。

- 電源を切らない。バッテリーやレンズを取り外さない。
- 他のボタンを操作しない。
- SDカードカバーを開けて、SDカードを取り出さない。

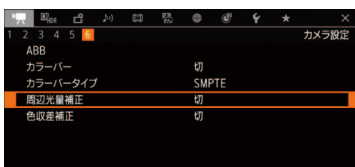
MEMO

- プレ記録 (120) 中はファームウェアの更新を行うことができません。
- ACアダプター、または十分に充電したバッテリーを装着して操作してください。
- エクステンダー EFを装着しているときは、取り外してから操作してください。

EFレンズの周辺光量／倍率色収差を補正する

CAMERA MEDIA RAW MP4

レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなる（周辺光量の低下）、映像の周辺部に色ずれや色にじみが発生する（倍率色収差）などの現象が見られますが、レンズごとの補正データを用いて補正することができます。



- ① レンズを取り付けたあと、 6 カメラ設定メニュー ▶ 「周辺光量補正」または「色収差補正」を順に選ぶ。

「周辺光量補正」／「色収差補正」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けているレンズの補正データが本機にない。
- ① 取り付けているレンズがこれらの補正に対応しているかどうか、キヤノンのホームページで確認する。
 - ② これらの補正に対応している場合は、ファームウェアをダウンロードし、本機のファームウェアを更新する。
 - ③ ①から操作する。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 以降の撮影時、取り付けているレンズの周辺光量／倍率色収差が補正される。

MEMO

レンズごとの補正データについて

本機発売時点で販売している周辺光量／倍率色収差補正対応レンズ（一部を除く）の補正データは、あらかじめ本機に格納しています。将来発売されるレンズの補正データについては、補正データを含むファームウェアで本機のファームウェアを更新することによって、本機に取り込むことができます。最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

周辺光量／倍率色収差の補正ができないとき

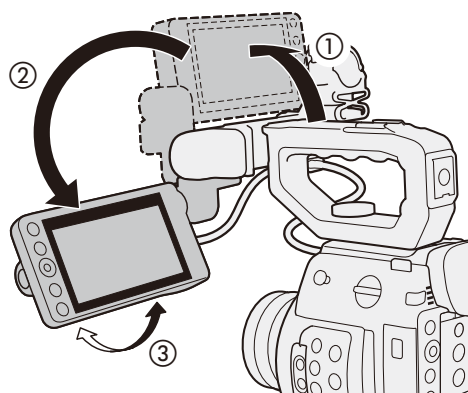
- レンズの補正データが本機に格納されていないとき。
- 他社製レンズを装着しているとき。他社製レンズを装着して各補正を「入」に設定できる場合でも、「切」にすることをおすすめします。

周辺光量補正を行うとき

- 撮影条件によっては、記録される映像の周辺部にノイズが発生することがあります。
- 距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなります。
- ISO感度／ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなります。
- EF-Sレンズのときは、周辺光量の低下が大きくなることがあります。

■ LCDモニター LM-V1を使う

LCDアタッチメントユニット LA-V1は回転可能なため、さまざまな撮影スタイルに対応できます。



1 LCDモニター取り付け部をレンズ側に90°回転させる (①)

- LCDアタッチメントユニット位置合わせマークの① (LCDアタッチメントユニット ヒンジ部A) とー (LCDモニター取り付け部)を合わせる。

2 LCDアタッチメントユニット ヒンジ部BをCFastカードスロット側に180°回転させる (②)

- LCDアタッチメントユニット位置合わせマークの③ (LCDアタッチメントユニット ベース部2) とー (LCDアタッチメントユニット ヒンジ部B)を合わせる。

3 LM-V1を見やすい角度に調整する (③)

MEMO

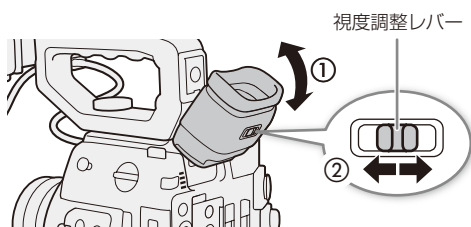
- 撮影スタイルに合わせて、画面の反転のしかたを切り換えてください。LM-V1のMIRROR (反転表示) 切り換えボタンを押すたびに、左右反転→上下反転→上下左右反転→反転なしの順に切り換わります。左右反転と上下反転のときは、画面表示が消去されます。

C200 ファインダーを使う

本機ファインダーは有機ELパネルを採用しており、ファインダーをのぞくと自動的に点灯し、のぞくのをやめると自動的に消灯します。

ファインダーの角度と視度を調整する

ファインダーを見やすい角度に調整し、映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



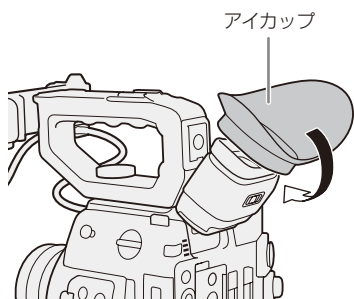
- 1 ファインダーを見やすい角度に調整する (①)
- 2 本機の電源を入れる (27)
- 3 視度調整レバーを左右に動かして調整する (②)

MEMO

ファインダーを常に点灯させるには

➔ 2 モニタリング設定メニュー ➔ 「VFアイセンサー」(200)。

アイカップを取り付ける



ファインダーのゴム部分にアイカップをかぶせるようにして取り付けます。左目でファインダーを見るときはアイカップを逆向きに取り付けてください。取り外すときは、アイカップの側面を引っ張るようにして外します。

ご注意

ファインダーキャップを取り付けてファインダー内部を保護する

太陽光によってファインダー内部が破損するのを防ぐため、ファインダーを使用しないときはファインダーキャップを取り付けてください。ファインダー内のキズ／ゴミの防止にも有効です。取り付けるときは、ファインダーユニットのゴム部分の内側にはめ込んでください。

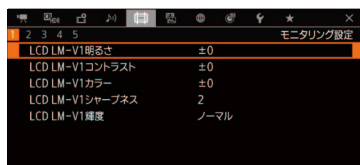


LCDモニター LM-V1 / C200 ファインダーの画面を調整する

CAMERA MEDIA RAW MP4

画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス、輝度の各項目を、LM-V1とファインダーそれぞれ個別に調整できます。なお、この設定は記録される映像には影響しません。



1 調整する

- ① 1 モニタリング設定メニュー、または 2 モニタリング設定メニューを選ぶ。
- ② 調整する項目を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 「LCD LM-V1」または「VF」がつく「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「輝度」から選ぶ。
 - ファインダーが消灯していると、 2 モニタリング設定メニューの調整する項目は灰色で表示される。
- ③ ジョイスティックを上下に押して調整する ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 調整する項目について、②、③を繰り返す。

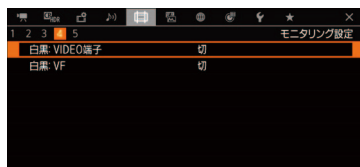
MEMO

- 「LCD LM-V1設定」を割り当てたアサインボタンを押して、 1 モニタリング設定メニューを表示することができます（ 130）。「VF設定」についても同様です。

LCDモニター LM-V1とファインダーを白黒にする

CAMERA MEDIA RAW MP4

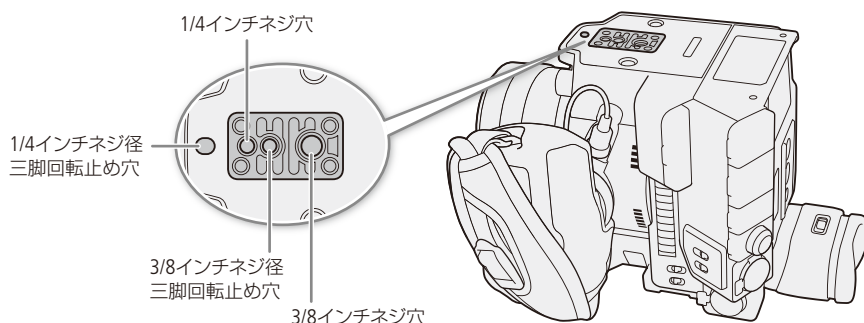
画面を白黒表示にします。白黒表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。



- ① 4 モニタリング設定メニュー ▶ 「白黒：VIDEO端子」または「白黒：VF」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

■ カメラ本体を三脚に取り付ける

ご購入時、カメラ本体には三脚ベース TB-1が取り付けられています。取り付けネジ径が3/8インチ、または1/4インチの三脚を取り付けることができます。



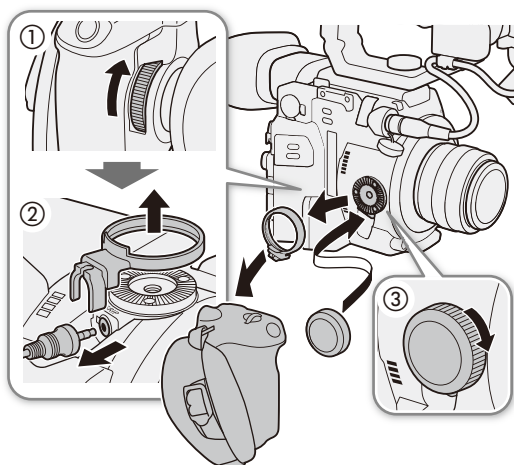
● ご注意

- ネジの長さがネジ穴の深さを超える三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

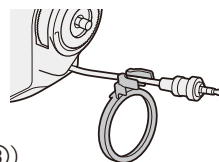
■ カメラグリップ GR-V1を取り外す／取り付ける

カメラグリップ GR-V1を取り外す

GR-V1を取り外してサムレストを取り付ければ、手持ち撮影用の最小幅構成にできます。

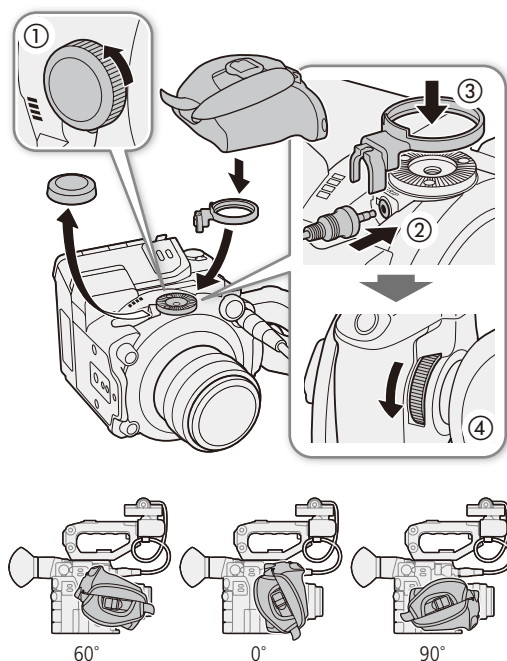


- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 GR-V1の取り付けネジを回して、カメラグリップを取り外す (①)
 - このとき接続プラグが接続されているので、無理に引っ張らない。
- 3 グリップアタッチメントリングを外して、GR-V1の接続プラグを抜く (②)
 - グリップアタッチメントリングは、紛失しないようにGR-V1の接続ケーブルに取り付けておける。
- 4 サムレストを取り付ける (③)



カメラグリップ GR-V1を取り付ける

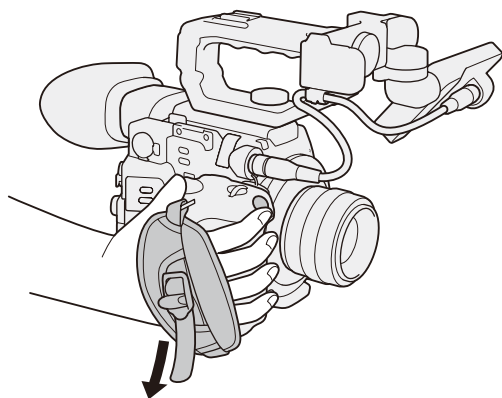
GR-V1は、150°（レンズ側90°、ファインダー側60°）の範囲で角度を変えて取り付け可能です。角度は6°刻みで調節できるため、撮影の状況に応じて好みの角度で固定できます。



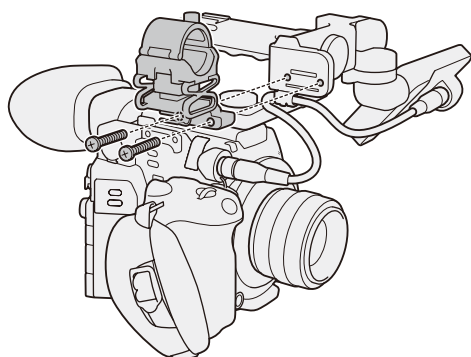
- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 サムレストを取り外す (①)
- 3 ロゼットが上を向くように本機を横にして平らな場所に置き、グリップの接続プラグを奥までしっかり差し込んで接続する (②)
 - 接続プラグの端子が見えなくなるまでしっかり差し込む。
 - 接続が不十分だと、カメラ本体の操作が利かなくなることがある。
- 4 グリップアタッチメントリングを取り付ける (③)
- 5 本機の底面を下にして平らな場所に置き、グリップをお好みの角度に合わせ、取り付けネジを回して固定する (④)

グリップベルトを調節する

人さし指をRECボタンに添え、グリップを軽く握った状態でベルトの長さを調節します。



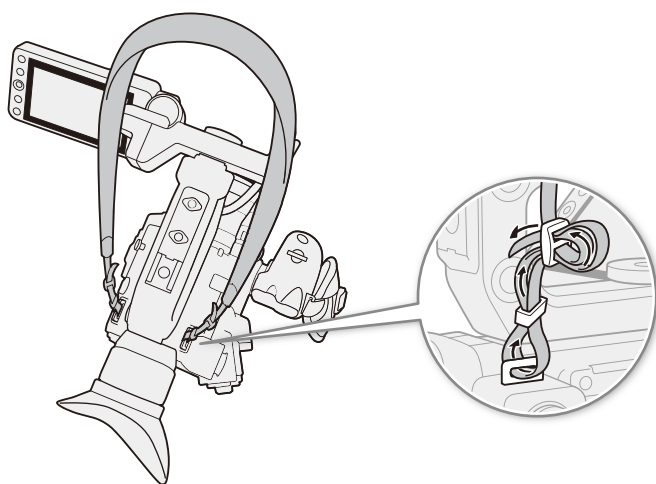
■ マイクホルダーを取り付ける



1 マイクホルダーをLCDアタッチメントユニット LA-V1に取り付ける

- +のドライバー（市販）を使用して、2本のM4ネジ（付属）で固定する。
- マイクホルダーはカメラ本体にも取り付けることができる（[P.13](#)）。

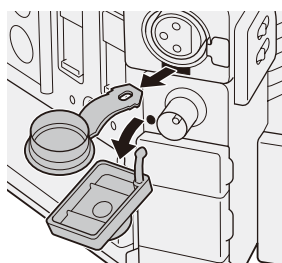
■ ショルダーストラップを取り付ける



■ 端子カバーを取り外す／取り付ける

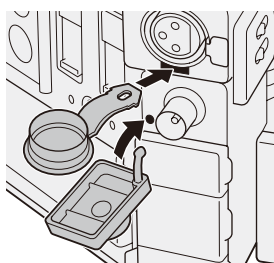
本機の端子カバーは、すべて取り外すことができます。

取り外す



端子カバーを開けて、まっすぐに引き出す。

取り付ける



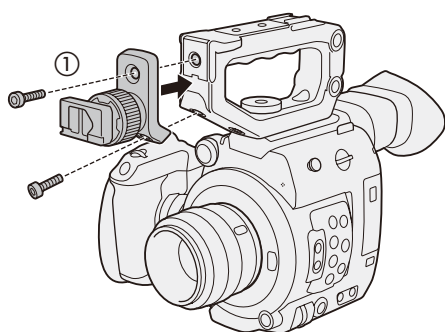
端子カバーの取り付け部を、取り付け口に差し込む。

MEMO

- 取り外し／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

■ 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)を使用する

LCDモニター LM-V1の代わりに1920×1080画素のEVF-V70を装着できます。EVF-V70には、LM-V1と同様にVIDEO端子に出力可能なアシスト設定を表示できます。EVF-V70を装着すると、EVF-V70のボタンやダイヤルなどで本機を操作することができます。EVF-V70の装着には、ハンドルユニット HDU-2とクランプベース CL-V2(別売)が必要です。



1 HDU-2を取り付ける (28)

2 POWER(電源)スイッチをOFFにする

3 EVF-V70の取り付け準備をする

参考 ▶ 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70の使用説明書「カメラに取り付ける」

- クランプベースをカメラ本体に取り付ける前までの操作を行う。

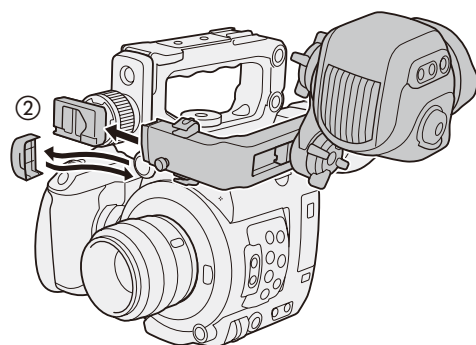
4 CL-V2をハンドルユニットに取り付ける (①)

- 六角レンチ (CL-V2に付属) で2本の六角穴付きボルト (CL-V2に付属) で固定する。

5 EVF-V70を取り付ける (②)

参考 ▶ 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70の使用説明書「カメラに取り付ける」

- クランプベースをカメラ本体に取り付けた後の操作を行う。



記録メディアを準備する

本機では、動画*¹をCFastカード、またはSDカード*²に、静止画をSDカード*²に記録します。SDカードスロットは2つあり、2つのSDカード*³に同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化してください(□ 54)。

*¹ メインの動画(以降、「メイン動画」と記載)はCFastカードやSDカードに、オフライン編集用の動画(以降、「プロキシ動画」と記載)はSDカードに記録します。

*² SDカードは、カスタムピクチャーファイルや設定データの保存にも使用します。

*³ 以降、SD CARD **A**に入れるSDカードを「SDカードA」、SD CARD **B**に入れるSDカードを「SDカードB」と記載します。

■ 使用可能な記録メディア

本機で使用可能な記録メディアです。動作確認済みのメモリーカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

CFastカード

CFast 2.0規格に準拠したCFastカード。

SDカード

メモリーカードのタイプ	 SDメモリーカード、  SDHCメモリーカード、  SDXCメモリーカード
SDスピードクラス* ¹	CLASS  CLASS 
UHSスピードクラス* ¹ * ²	 
メーカー * ³	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*¹ SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*² スローモーション記録や4K(3840×2160)記録をするときは、UHSスピードクラス3のSDカードの使用をおすすめします。

*³ これらのメーカー製のSDカードについて、動画記録時の動作を確認しています(2017年03月現在)。

ご注意

CFastカードを使用するとき

カメラ内部の発熱により、カードが熱くなっていることがあります。撮影直後にカードを取り出すと、やけどの原因になる恐れや、カードを落下させてカードが破損する恐れがあります。

CFastカード、またはSDXCメモリーカードを使用するとき

これらのメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコン、またはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OS、またはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**
- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化(SDカードのときは完全初期化)してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

MEMO

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

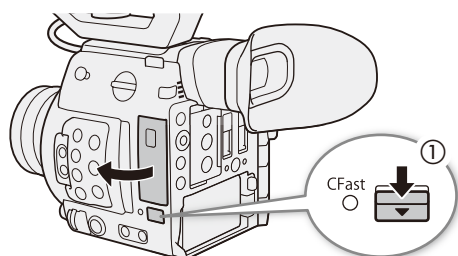
CFastカードを入れる

CAMERA

MEDIA

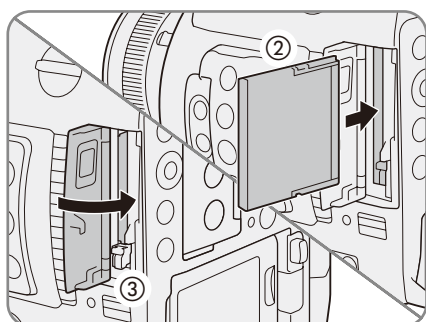
RAW

MP4



- 1 CFastカードカバー開くレバーを下にスライドさせる (①)

- CFastカードカバーが左に開く。



- 2 カードのおもて面をSDカードスロット側にして、奥までしっかり入れる。(②)

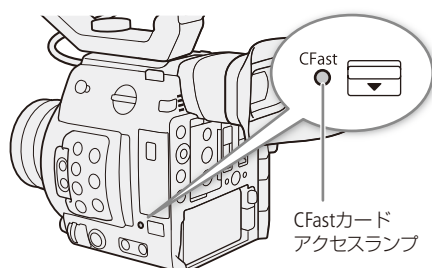
- 3 CFastカードカバーを閉じる (③)

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

CFastカードアクセスランプの光りかた

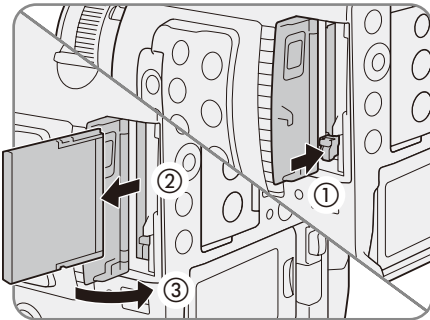
	スロットの状態
点灯 (赤)	カードにアクセス中
点灯 (緑)	記録／再生可能
消灯	カードが入っていない

CFastカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます (P.208)。



■ CFastカードを取り出す

CAMERA MEDIA RAW MP4



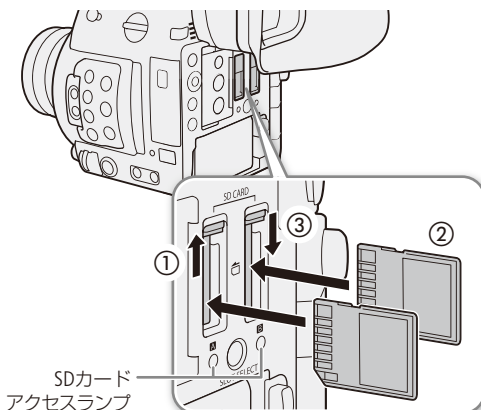
- 1 CFastカードを取り出すとき CFastカードアクセスランプが消灯または緑色に点灯していることを確認する
- 2 CFastカードカバー開くレバーを下にスライドさせる
 - CFastカードカバーが左に開く。
- 3 CFastカードアクセスランプが消灯していることを確認して、CFastカード取り出しボタンを押す (①)
 - CFastカードが出てくる。
- 4 CFastカードを取り出す (②)
- 5 CFastカードカバーを閉じる (③)

■ ご注意

- CFastカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - アクセスしているCFastカードスロットのカードカバーを開けない。

■ SDカードを入れる／出す

CAMERA MEDIA RAW MP4



- 1 SDカードカバーを開ける (①)
- 2 カードのラベル面をAIR INTAKE (吸気口) 側にし、カチッと音がするまでしっかり入れる (②)

■ SDカードを出すとき

- 1 SDカードアクセスランプが消灯していることを確認する。
- 2 カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。
- 3 SDカードカバーを閉じる (③)
 - カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

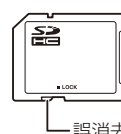
ご注意

- SDカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - SDカードを取り出さない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作2のような正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にあると、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

SDカードアクセスランプの光りかた

	SDカードスロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑色）	メイン動画（MP4形式）やプロキシ動画、静止画*が記録／再生可能かつ、スロットが記録／再生先として選択されている * SDカードBのみ。
消灯	● カードが入っていない、またはカードにアクセスしていない。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている。 ● 別のスロットが選択されている。

SDカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます（[P.208](#)）。

初期化する

CAMERA MEDIA RAW MP4

記録メディアをはじめて使用するときや、記録メディアに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときは初期化します。SDカードの初期化には「完全初期化」と「高速初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

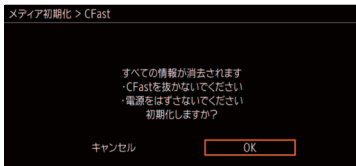


1 初期化する記録メディアを選ぶ

- ① 1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「メディア初期化」を順に選ぶ。
- ② 「CFast」、「SDカードA」、「SDカードB」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

「SDカードA」または「SDカードB」を選んだとき

「完全初期化」または「高速初期化」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 初期化を実行する

- ① 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。

SDカードの「完全初期化」を中止するとき

ジョイスティックを押す。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消去される。

- ② ジョイスティックを押す。

ご注意

- 初期化すると、動画、静止画、プロテクトしたカスタムピクチャーファイルなど、メモリーカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- SDカードの「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。

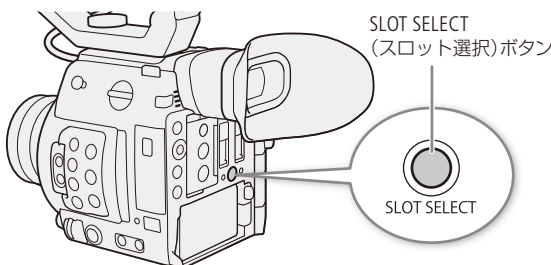
MEMO

- 動画記録中に、もう一方のSDカードを初期化することができます。
- 「メディア初期化」を割り当てたアサインボタンを押して、「メディア初期化」サブメニューを表示することができます (130)。

■ 記録／再生に使用するSDカードスロットを切り換える

CAMERA MEDIA RAW MP4

本機は、2つのSDカードスロットを備えています (SD CARD **A** / SD CARD **B**)。両方のスロットにSDカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。



1 SLOT SELECT(スロット選択) ボタンを押す

- 選択されたスロットのSDカードアクセスランプが緑色に点灯する。

MEMO

- 両方のスロットにSDカードを入れている、選択しているスロットのカードカバーを開けると、スロットが切り換わります。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。
- ブラウザーリモートを使って撮影するときは、ブラウザーリモート画面の「SLOT SELECT」を押して切り換えることもできます。

2つのSDカードに記録する方式を選ぶ

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

2つのSDカードに、連続して映像を記録するリレー記録と、同時に映像を記録するダブルスロット記録があります。

リレー記録

撮影中にカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わります。映像が途切れることなく連続して記録することができます。SD CARD **A** ⇄ SD CARD **B** 両方向で連続記録が可能です。

📷 3 記録／メディア設定メニュー ▶ 「リレー記録」で「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

ダブルスロット記録

同じ映像をA/B両方のSDカードに同時に記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。

📷 3 記録／メディア設定メニュー ▶ 「ダブルスロット記録」で「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

MEMO

- スローモーション撮影時はリレー記録されません。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないSDカードの空き容量がなくなると、両カードへの記録を停止します。なお、一方のSDカードに書き込みエラーが発生しても、他方のSDカードへの記録は継続します。
- ダブルスロット記録は、リレー記録、またはスローモーション記録との併用はできません。

CFastカード／SDカードの記録可能時間を確認する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

カメラモードのときは、各スロットに入っている記録メディアの記録可能時間（分単位）*¹と、選択されているスロットを画面で確認できます（📖 62）。メディアステータス画面（📖 217）を表示すると、各カードの総容量、使用量、記録可能時間*¹、静止画記録可能枚数*²、スピードクラス*²を確認できます。

*¹ 記録可能時間は、現在設定しているビットレート（📖 68）を元に算出します。

*² SDカードのみ。静止画はSDカードBのみ。

クリップを修復する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

記録中に停電する、記録中にメモリーカードを取り出すなどの原因によって、メモリーカードに記録したクリップに異常が発生することがあります。異常が発生したクリップは、修復することによって正常な状態に戻すことができます。



1 RAWクリップまたはMP4クリップのインデックス画面を表示する（📖 147）

- エラーメッセージが表示されたカードのインデックス画面を表示する。



2 クリップを修復する

- ① ? が表示されているサムネイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 「クリップ修復」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選んだクリップが修復される。
 - 「データの修復を終了しました。クリップを確認してください」が表示されたら終了。
- ④ ジョイスティックを押す。

MEMO

修復したクリップについて

- インデックス画面では、サムネイルに▶が表示される。
- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。
- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 修復は、本機で撮影したクリップのみ行えます。また、静止画は修復できません。

ブラックバランスを調整する

CAMERA

MEDIA

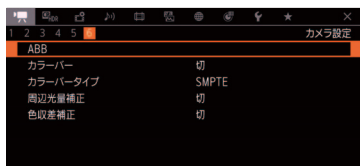
RAW

MP4

使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを自動的に調整することができます。

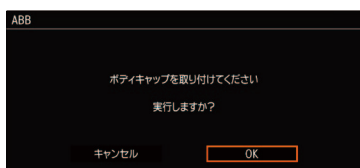
1 本体にボディキャップを取り付ける

- レンズを取り付けているときは、本機の電源を切ってレンズを取り外し、ボディキャップを取り付ける (□ 40)。



2 オートブラックバランス (ABB)を選ぶ

- ① 本機の電源を入れる。
- ② 6 カメラ設定メニュー ▶ 「ABB」を順に選ぶ。
 - 画面に「ボディキャップを取り付けてください 実行しますか？」が表示される。



3 ABBを実行する

- ① 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 画面に「実行中」が表示され、ブラックバランス調整が行われる。
 - 調整には約40秒かかる (23.98P / 24.00Pの場合)。

4 終了する

- 画面に「処理が完了しました」が表示されたら調整完了。ジョイスティックを押して終了する。

画面に「エラー」が出たとき

- センサーの遮光が正しく行われていない。
ジョイスティックを押し、再度操作1から操作する。

MEMO

ブラックバランス調整が必要な場合

- 本機を初めて使用するとき、または長時間使用しなかった後に使用するとき。
 - 周囲の温度が大幅に変化したとき。
 - ISO感度／ゲインの設定を変更したとき。
 - スローモーション記録モードを有効または無効 (別の記録モードに切り換える) にしたとき。
 - 1 システム設定メニュー ▶ 「リセット」 ▶ 「全設定」または「カメラ設定」で、本機の設定をリセットしたとき。
- ブラックバランス調整中、画面の表示が乱れますが、故障ではありません。

撮 影

動画を撮影する.....	60	ユーザービットを設定する	105
映像の信号形式を選ぶ.....	68	音声を記録する	106
カメラダイレクト設定を使う	70	カラーバー／ テストトーンを出力する.....	114
シャッタースピードを調整する... 71		波形モニターを表示する	115
ISO感度／ゲインを調整する	74	GPS情報を記録する.....	116
NDフィルターを切り換える	77	レックレビューで確認する.....	117
アイリスを調整する	78	プロキシ動画を同時に記録する... 118	
ホワイトバランスを調整する	83	特殊記録を行う	119
フォーカスを調整する	87	静止画を記録する	124
ズームを操作する	99	静止画を再生する	125
マーカー／ ゼブラパターンを表示する	100	RC-V100(別売)で リモート撮影する	127
タイムコードを設定する.....	103		

動画を撮影する

CAMERA

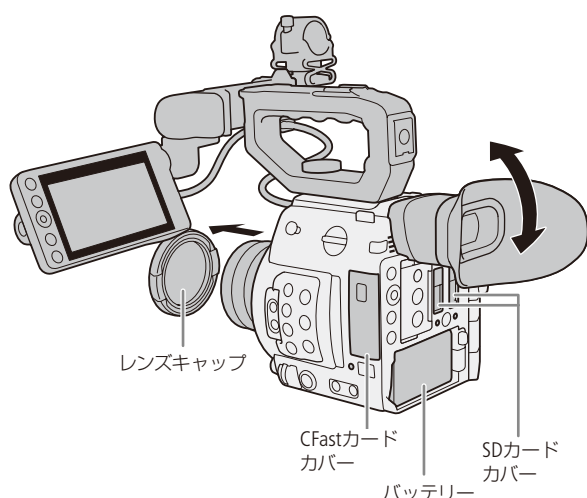
MEDIA

RAW

MP4

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、106ページをご覧ください。

■ 準備する



- 1 撮影状況に応じて、ハンドルユニット HDU-2*、LCDモニター LM-V1*などの構成を準備する (39)

* C200は付属、C200Bは別売。

- 2 充電したバッテリーパックを取り付ける (25)

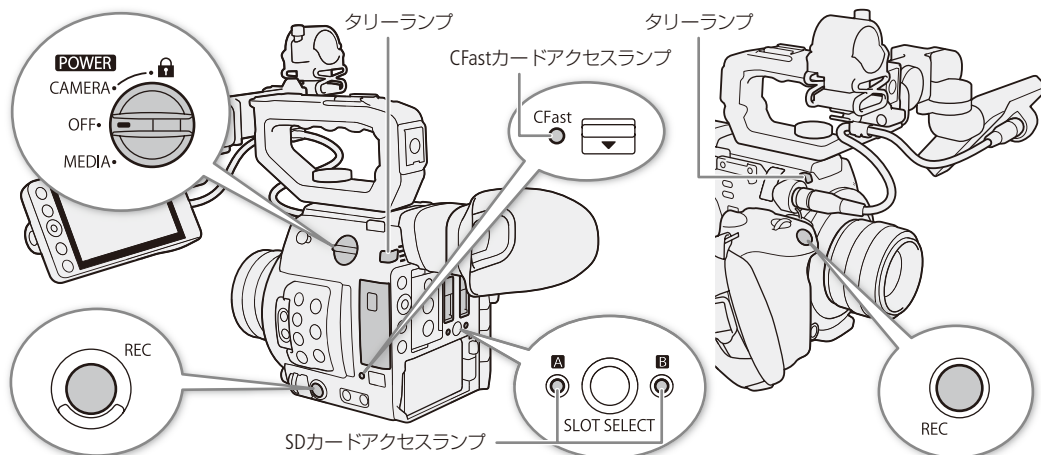
- 3 記録メディア (CFastカード、SDカード) を入れる (52、53)

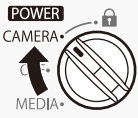
- リレー記録 (56)、ダブルスロット記録 (56)を行うときは、SDカードを2枚入れる。
- 静止画を記録するときは、SDカードをSD CARD **B**に入れる。
- 外部レコーダーに記録するときは、外部レコーダーに接続して必要な設定を行う (157)。

- 4 レンズを取り付ける (40)

- 5 LM-V1や **C200** ファインダーを調整する (43、44)

■ 撮影する



	1 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする (27) ● 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態 (STBY) になる。 ● メモリーカードが入っているCFast / SDカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、記録先として選択されているCFastカード、またはSDカードのアクセスランプが緑色に点灯する。
	2 REC(記録開始／停止)ボタンを押す ● 撮影が始まる。タリーランプが点灯し、画面に「●REC」が表示される。 ● カメラグリップのRECボタンで操作して撮影開始することもできる。 ● プロキシ動画の同時記録について (118)。
	3 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始／停止)ボタンを押す ● 撮影が終了してクリップ*がCFastカード、またはSDカードに記録され、撮影一時停止状態 (STBY) になる。タリーランプは消灯する。 * 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。クリップには、映像・音声のほかに、メタデータが含まれることがあります。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- レックレビュー機能 (117) を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップを再生して確認できます。
- メタデータを設定して撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。データの詳細については、「RAWクリップのクリップファイル名を設定する」(64) をご覧ください。
- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- 1つのクリップには、MP4形式で6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。

撮影設定をロックする

POWER(電源)スイッチを  (キーロック) にすると、カメラモードのまま、RECボタン以外の操作が無効になり、誤操作を防止できます*。POWER(電源)スイッチをCAMERAに戻すとキーロックは解除されます。

* RECボタンを無効にすることもできます (208)。ブラウザーリモートからは操作できます。



■ 撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。各項目の表示の入／切はカスタムディスプレイ（「Custom Display 1」／「Custom Display 2」。📖 201）で指定できます。以下の表内では「CD1」、「CD2」と省略表記します。



画面の左側と中央

アイコン／表示	説明
0000 min	記録メディア状態／記録可能時間（分） CD2 ▶ 記録可能時間
(赤色)	CFastカードの状態 緑色：記録可能（メイン動画：RAW形式） ／白色：認識中／黄色：記録可能時間5分以下／赤色：記録可能時間1分未満。
0000 min	SDカードの状態 緑色：記録可能（メイン動画：MP4形式、プロキシ動画：MP4形式）／白色：認識中／黄色：記録可能時間5分以下／赤色：記録可能時間1分未満。選択中のSDカードに▶が付く。
(赤色)	SDカードなし／記録不可能
0000 mm	焦点距離（目安） CD1 ▶ 焦点距離
	フォーカスモード （📖 87） CD1 ▶ フォーカスモード
	顔検出AF （📖 96） CD1 ▶ フォーカスモード
	HDR （📖 158） カスタムピクチャーのガンマ （📖 139） CD1 ▶ Custom Picture/HDR

アイコン／表示	説明
	カスタムピクチャー （📖 139）： Activate Other SettingsがOn CD1 ▶ Custom Picture/HDR
	測光方式 （📖 82） CD1 ▶ 測光方式
	LUT （📖 159） CD1 ▶ LUT
	拡大表示 （📖 91） CD1 ▶ Magnification
	ピーキング （📖 91） CD1 ▶ ピーキング
	GPS信号の受信状態* （📖 116） 衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。 * GPSレシーバー GP-E2接続時のみ。 CD2 ▶ GPS
	ワンショットAF枠 （📖 92） CD1 ▶ フォーカスモード
(黄色／白色)	AFブーストMF枠 （📖 93） CD1 ▶ フォーカスモード
(白色)	コンティニュアスAF枠 （📖 93） CD1 ▶ フォーカスモード
	顔検出枠 （📖 96） CD1 ▶ フォーカスモード
	追尾 （📖 98）

画面の上側

アイコン／表示	説明
AP 品 Remote	ネットワークの接続状態／機能 (176) 白色：接続完了 黄色：接続／切断処理中 赤色：エラー状態 CD2 ▶ ネットワーク機能
	ダブルスロット記録 (56)
撮影状態 (記録モード) CD2 ▶ 記録モード	
STBY、●REC	動画記録：撮影一時停止中／撮影中
INT STBY*、 ●INT、 ●INT REC	インターバル記録：撮影一時停止中 (撮影開始前／開始後)、撮影中 * INTが点滅する。
FRM STBY*、 ●FRM STBY、 ●FRM REC	フレーム記録：撮影一時停止中 (撮影開始前／開始後)／撮影中 * FRMが点滅する。
SLOW STBY、 ●SLOW REC	スローモーション記録：撮影一時停止中／撮影中
PRE REC STBY、 ●PRE REC	ブレ記録：撮影一時停止中／撮影中
1s ~ 10m00s	インターバルカウンター (122) CD2 ▶ インターバルカウンター
00.00P、 000/00.00P	撮影フレームレート* (119)／フレームレート (68) * スローモーション記録時のみ。 CD2 ▶ フレームレート
REC ➡、STBY ➡	記録コマンド状態 (157) CD2 ▶ 記録コマンド
00:00:00.00 00:00:00.00 R / P / F / H	タイムコード (103) CD2 ▶ Time Code
0000	静止画の記録可能枚数 CD2 ▶ 静止画記録可能枚数
00 bit、 YCC420 8 bit	色深度、カラーサンプリング (68) CD2 ▶ 解像度/カラーサンプリング
0000x0000	解像度 (68) CD2 ▶ 解像度/カラーサンプリング

画面の右側

アイコン／表示	説明
	映像出力 (157) CD2 ▶ 映像出力
(赤色)	画面表示出力 (160) CD2 ▶ オンスクリーン表示
	オーディオリミッター (111) CD2 ▶ オーディオレベル
	オーディオレベルメーター (110) CD2 ▶ オーディオレベル
yyyy.mm.dd HH:MM	日時表示 CD2 ▶ 日付/時刻
CH0/CH0	音声出力チャンネル (161) CD2 ▶ モニターチャンネル
/ / / / (赤色) 000 min	バッテリー残量と撮影／再生可能時間 (分単位)の目安。は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。 CD2 ▶ バッテリー残量

画面の下側

アイコン／表示	説明
00 00 00 00	ユーザービット (105) CD2 ▶ User Bit
A000C000	カメラインデックス、リール番号、クリップ番号* (64) * 主記録形式が「RAW(CFast)」のときのみ。 CD2 ▶ リール番号/クリップ番号
	キーロック (61) CD1 ▶ キーロック
(緑色／黄色／赤色)	高温警告 (67)内部温度が上昇すると (黄色)が、本機を使い続けてさらに上昇すると (赤色)が表示される。 CD2 ▶ 温度/ファン
 (赤色)	冷却ファン (67) 冷却ファン警告 (223) CD2 ▶ 温度/ファン
	レンズ警告 CD1 ▶ レンズ

アイコン／表示	説明	アイコン／表示	説明
A / B 0000 K ±0CC、、 、 K 0000 K ±0CC、 AWB 0000 K ±0CC	ホワイトバランス (📖 83) CD1 ▶ White Balance	F0.0 / T0.0 / closed	アイリス／F値 (T値) (📖 78) CD1 ▶ Iris
	ヘッドホン音量 (📖 113)	ISO 000000 00.0dB	ISO感度／ゲイン (📖 74) CD1 ▶ ISO/Gain
	ヘッドホン音量 (📖 113)	AE ±0.00	AEシフト (📖 81) CD1 ▶ AEシフト
	露出バー (📖 82) CD1 ▶ 露出バー	1/0000、000.00°、 000.00Hz	シャッタースピード (📖 71) CD1 ▶ Shutter
ND 00 stops	NDフィルター (📖 77) CD1 ▶ ND Filter		

MEMO

- DISP (ディスプレイ) ボタン、または「Display」を割り当てたアサインボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。

全表示 → マーカー *1 → 全消去*2

*1 マーカーの表示 (📖 100) を「入」にしているときのみ。AF枠などフォーカス用の枠も表示される。

*2 撮影状態を除くほとんどの画面表示が消去される。

RAWクリップのクリップファイル名を設定する

CAMERA MEDIA RAW MP4

本機内のCFastカードに記録されるRAWクリップのファイル名を設定します。カメラやCFastカードごとに割り振る文字や、任意の文字列 (5文字) を設定することができます。

RAWクリップファイル名の構成

A 0 0 1 C 0 0 1 - y y m m d d X X - C A N O N

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

	項目	内容
①	カメラインデックス	A ～ Zの1文字。カメラごとに異なる文字を設定する。
②	リール番号	001 ～ 999の3桁の数字。記録メディアごとに異なる番号を設定する。
③	クリップ番号	001 ～ 999の3桁の数字で、先頭に「C」が付いてC001 ～ C999となる。999を超えると「C」が「D」に変わり、D001 ～ D999となる。クリップ番号はクリップごとに自動的に振られる。任意の初期値を設定したり、初期値 (C001) にリセットしたりすることもできる。
④	年月日	撮影した年月日が自動的に設定される。
⑤	ランダムID	クリップごとにランダムに付加される、A ～ Z、0 ～ 9からなる2文字。
⑥	ユーザー定義	A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字。

- 同時に記録したメイン動画とプロキシ動画のクリップは、ファイル名が異なる。

設定する



1 カメララインデックスを設定する

- ① ④ 記録／メディア設定メニュー ▶ 「メタデータ」 ▶ 「カメララインデックス」を順に選ぶ。
- ② ジョイスティックを上下に押して、A～Zのいずれかの文字を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 リール番号／クリップ番号を設定する

- ① ④ 記録／メディア設定メニュー ▶ 「メタデータ」 ▶ 「リール番号」または「クリップ番号」を順に選ぶ。
 - 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、番号が「001」にリセットされる。
- ② 「変更」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- ③ ジョイスティックを上下に押して、数字を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。
- ④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数字を選ぶ ▶ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



3 ユーザー定義を設定する

- ① ④ 記録／メディア設定メニュー ▶ 「メタデータ」 ▶ 「ユーザー定義」を順に選ぶ。
 - 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、「CANON」にリセットされる。
- ② 「変更」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- ③ 操作2の③～④と同じ要領で、5文字の英数字を入力する ▶ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

4 リール番号を設定したとき 使用するカードをすべて初期化する (□ 54)

メイン動画 (MP4形式)やプロキシ動画 (□ 118)のクリップファイル名について

メイン動画 (MP4形式) やメイン動画 (RAW形式) と同時に記録するプロキシ動画のクリップのファイル名は、自動的に付けられます (□ 66)。そのため、メイン動画 (RAW形式) とプロキシ動画のクリップのファイル名は異なります。

■ ファイル番号の付けかたを選ぶ

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

本機で記録するMP4クリップ／静止画には、連続した番号（ファイル番号）が自動的に付けられます。ファイル番号の付けかたはメニューで設定できます。

フォルダー名

フォルダー名の上3桁は100～999の番号、「_」以下の下4桁は記録した月日を表します。

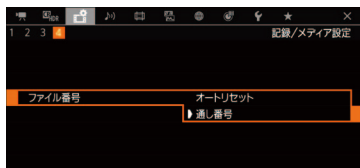
ファイル名

ファイル名の上4文字はMP4クリップのときは「MVI_」、静止画のときは「IMG_」の固定文字列、下4桁は固有の番号（0001～9999）です。

ファイル番号

- ファイル番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁（100～999）、下4桁はMP4クリップ／静止画固有の番号（0001～9999）に対応します。
- ファイル番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。12月10日に記録したファイル番号が「100-0006」のMP4クリップ／静止画は、「DCIM ¥100_1210」というフォルダーの中に「MVI_0006.MP4」「IMG_0006.JPG」というファイル名で表示されます。

オートリセット	初期化されたSDカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。SDカード内にすでにMP4クリップ／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	最後に記録したMP4クリップ／静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカード内に記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。通常はこの設定をおすすめします。



- ① ④ 記録/メディア設定メニュー ▶ 「ファイル番号」を順に選ぶ。
- ② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

MEMO

- 1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。

■ 冷却ファンの動作方法を選ぶ

CAMERA MEDIA RAW MP4

本機内部の熱を排出する冷却ファンは、カメラモードではファンのモード設定に応じた方式で回転し、メディアモードでは常時回転します。ファンの回転速度は、カメラモードとメディアモードで個別に設定できます。

カメラモードのとき

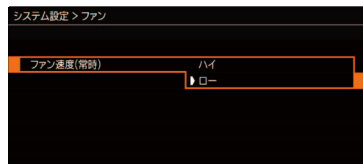
オート：撮影一時停止中は回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇（（赤色）が出る）すると、冷却ファンが自動的に回転する（画面にFANが出る）。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。

常時：常に回転する（初期設定）。「ファン速度(常時)」で回転速度を選択できる。



1 ファンのモードを選ぶ

- ①  5 システム設定メニュー ▶ 「ファン」 ▶ 「モード」を順に選ぶ。
- ② 「オート」または「常時」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 ファンの回転速度を選ぶ

- ①  5 システム設定メニュー ▶ 「ファン」 ▶ 「ファン速度（常時）」を順に選ぶ。
- ② 「ハイ」または「ロー」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

メディアモードのとき



1 ファンの回転速度を選ぶ

- ①  4 システム設定メニュー ▶ 「ファン速度」を順に選ぶ。
- ② 「ハイ」または「ロー」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

ご注意

- 冷却ファンの回転中は、EXHAUST VENT(排気口)から暖かい空気が排出されます。
- 冷却ファンの吸排気口（ 12、13）をテープなどで塞がないでください。

MEMO

- 高温下など撮影環境によっては「オート」にしてもファンが停止しないことがあります。

映像の信号形式を選ぶ

CAMERA MEDIA^{*1} RAW MP4^{*2}

^{*1} メディアモードはシステム周波数のみ。

^{*2} RAW形式の解像度/カラーサンプリングは除く。

映像（メイン動画）を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、解像度とカラーサンプリング、ビットレート、フレームレートの組み合わせからなります。RAW（Cinema RAW Light）形式は、HDRの素材データに適したキヤノン独自のフォーマットです。MP4（H.264）形式は、データ容量も軽く、汎用性の高いフォーマットです。RAW形式の動画はCFastカードに、MP4（H.264）形式の動画はSDカードに記録されます。フレームレートは、システム周波数によって選択できる値が異なります。メディアモードでは、システム周波数のみ設定できます。プロキシ動画については、「プロキシ動画を同時に記録する」（[P.118](#)）をご覧ください。

RAW（Cinema RAW Light^{*}）形式

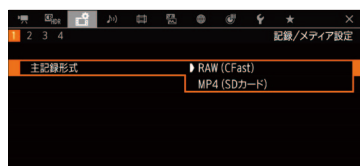
解像度	色深度	ビットレート	システム周波数／フレームレート					
			59.94 Hz			50.00 Hz		24.00 Hz
			59.94P	29.97P	23.98P	50.00P	25.00P	24.00P
4096×2160	10 bit	1 Gbps	●	—	—	●	—	—
	12 bit		—	●	●	—	●	●

^{*} Cinema RAWとは異なる記録形式。

MP4（H.264）形式

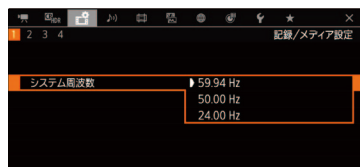
解像度	カラーサンプリング	ビットレート [*]	システム周波数／フレームレート					
			59.94 Hz			50.00 Hz		24.00 Hz
			59.94P	29.97P	23.98P	50.00P	25.00P	24.00P
3840×2160	YCC420 8 bit	150 Mbps Long GOP	●	●	●	●	●	●
1920×1080	YCC420 8 bit	35 Mbps Long GOP	●	●	●	●	●	●

^{*} ビットレートの方式はVBR（可変）。「Long GOP」は前後のフレームの差分を圧縮し、高圧縮で長時間の録画が可能。



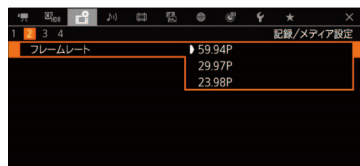
1 メイン動画の形式を選ぶ

- ① 1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「主記録形式」を順に選ぶ。
- ② 1 「RAW（CFast）」または「MP4（SDカード）」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



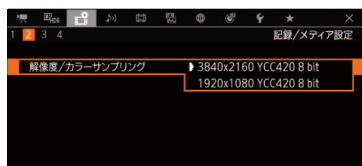
2 システム周波数を選ぶ

- ① 1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「システム周波数」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選んだシステム周波数に設定され、本機が再起動する。



3 フレームレートを選ぶ

- 24.00 Hzを選んだ場合、この操作は不要。
- ① 2 記録／メディア設定メニュー ▶ 「フレームレート」を順に選ぶ。
 - ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選んだフレームレートが画面に表示される。



4 解像度とカラーサンプリングを選ぶ

- ① 2 記録／メディア設定メニュー ▶ 「解像度/カラーサンプリング」を順に選ぶ。
 - 「主記録形式」が「RAW (CFast)」のときは、選んだフレームレートによって「解像度/カラーサンプリング」が自動で設定される。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 5 モニタリング設定メニュー ▶ 「Custom Display 2」▶ 「解像度/カラーサンプリング」が「入」のときは、選んだ解像度とカラーサンプリングが画面に表示される。

MEMO

- 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」(154)をご覧ください。

カメラダイレクト設定を使う

CAMERA

MEDIA

RAW

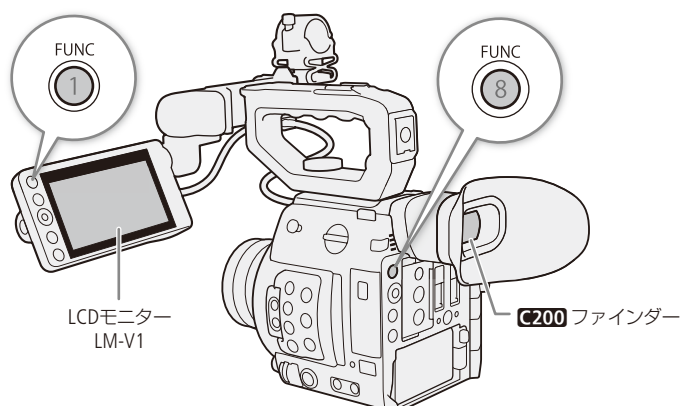
MP4

画面*や**C200**ファインダーを見ながら、以下の項目を設定できます(カメラダイレクト設定)。ここでは基本的な操作を説明します。各機能の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

* LCDモニター LM-V1装着時 (C200Iは付属、C200Bは別売)。

設定できる項目

- ホワイトバランス
- ホワイトバランスのプリセット調整／色温度
- ISO感度／ゲイン
- シャッタースピード



カメラダイレクト設定の基本操作



1 カメラダイレクト設定に入る

- ① FUNCボタンを押す。
 - いずれかの背景がオレンジ色になる。
- ② FUNCボタンを押すか、ジョイスティックを左右に押して、設定したい項目に切り換える。
 - 操作するたびに設定対象が順に切り換わる。



2 値を調整する

- ① ジョイスティックを上下に押して調整方法や数値を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 設定が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面のオレンジ色の表示は解除される。

MEMO

カメラダイレクト設定が終了する場合

- 約6秒間操作しなかったとき。
- メニューやステータス画面を開いたとき。

シャッタースピードを調整する

CAMERA MEDIA RAW MP4

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードの調整には、次の5種類のモードがあります。ブラウザーリモート（ 177）を使って調整することもできます。

- スピード： 秒数でシャッタースピードを設定する。設定時の刻み幅は、メニューで1/3段と1/4段から選べる。
- アングル： 開角度でシャッタースピードを設定する。
- クリアスキャン： 周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。
- スロー： フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。スローモーション記録のときは選択できない。
- 切： 各フレームレートの基準シャッタースピードを使用する。

設定可能なシャッタースピード

選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

シャッタースピードのモード		フレームレート					
		59.94P	29.97P	23.98P	24.00P	50.00P	25.00P
スピード*1	1/3段刻み	1/24 ～ 1/2000秒*2					
	1/4段刻み						
アングル*1*3		360°、240°、180°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°					
クリアスキャン*1		23.98 Hz ～ 250.38 Hz			24.00 Hz ～ 250.40 Hz		
スロー *4		1/4、1/8、 1/15、1/30秒	1/4、1/8、 1/15秒	1/3、1/6、1/12秒		1/3、1/6、 1/12、1/25秒	1/3、1/6、 1/12秒
切*1		1/60秒	1/30秒	1/24秒	1/24秒	1/50秒	1/25秒

*1 スローモーション記録の場合、設定できる値は撮影フレームレートによって変わる。

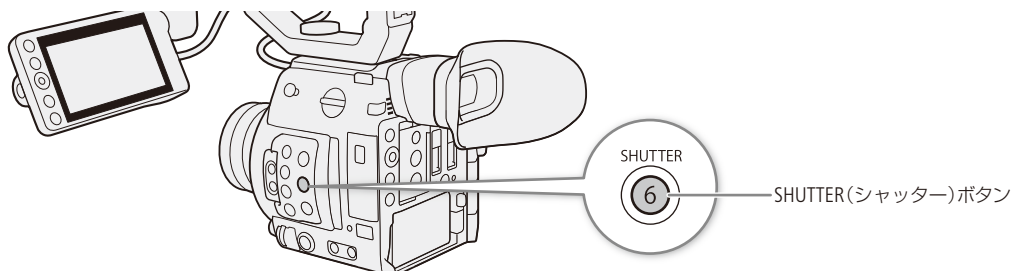
*2 設定可能なスピードは、フレームレートや刻み幅の設定によって異なる。

*3 1/100秒、1/60秒、1/50秒、1/40秒、3/100秒、1/30秒、1/25秒相当のアングルも設定可能。設定可能なアングルはフレームレートによって異なる。

*4 スローモーション記録のときは使用できない。

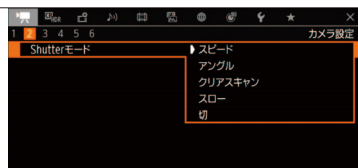
調整する

カメラダイレクト設定の詳細については、70ページをご覧ください。



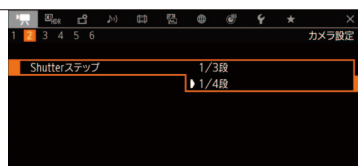
1 シャッタースピードのモードを選ぶ

- ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「Shutterモード」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す



2 「スピード」を選んだとき 設定時の刻み幅を選ぶ

- ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「Shutterステップ」を順に選ぶ。
- ② 「1/3段」または「1/4段」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

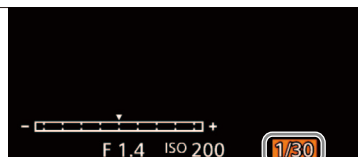


SHUTTER



3 値を調整する

- ① SHUTTER(シャッター)ボタンを押す。
 - カメラダイレクト設定に入り、設定対象がシャッタースピードに切り換わる。
 - FUNCボタンで操作することもできる。
- ② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
- ③ ジョイスティックを押す。
 - 設定値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面のオレンジ色の表示は解除される。



スローによる撮影について

スローを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。

- 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。

MEMO

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*、または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒、または1/120秒を選んでください。

* フレームレートによっては選択できません。

小絞りによるボケを防ぐには

- 晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りを絞り込むと、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、NDフィルターの濃度を濃くするか、シャッタースピードを高速にして、絞りを開くことによって防止できます。
- シャッタースピードのモードをスローにすると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)のSHUTTER SELECTボタン、SHUTTER上／下ボタンで、シャッタースピードのモード／設定値をそれぞれ切り換えることもできます。

ISO感度／ゲインを調整する

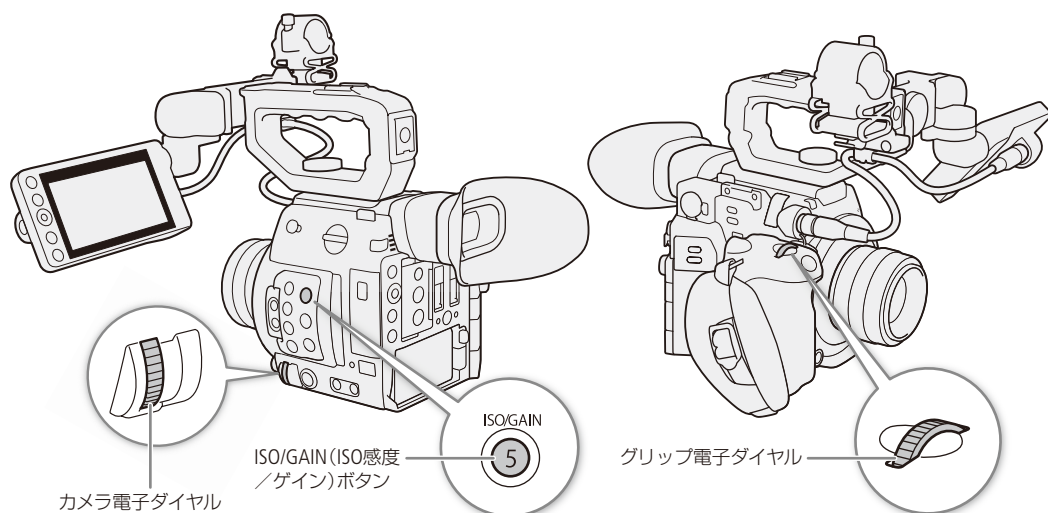
CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

映像アンプの増幅量をISO感度、またはゲインで設定できます。設定時の刻み幅は、ISO感度／ゲインそれぞれ個別に設定できます。ブラウザーリモート (177) を使って調整することもできます。



設定可能な値

	刻み幅	設定可能な値*1	
			感度拡張時のみ*2
ISO感度	1段	160*3、200、400、800、1600、3200、6400、12800、25600	100、51200、102400
	1/3段	160、200、250、320、400、500、640、800、1000、1250、1600、2000、2500、3200、4000、5000、6400、8000、10000、12800、16000、20000、25600	100、125、32000、40000、51200、64000、80000、102400
ゲイン	ノーマル (3 dB)	−2 dB*3、0 dB ~ 42 dB	−6 dB、−3 dB、45 dB ~ 54 dB
	ファイン (0.5 dB)	−2 dB ~ 42 dB	42.5 dB ~ 54 dB

*1 推奨のダイナミックレンジを実現するために必要な感度は、Canon Logガンマ／Wide DRガンマ使用時はISO400 (ゲイン6 dB) 以上、Canon Log 3ガンマ使用時は、ISO800 (ゲイン12 dB) 以上。

*2 2 カメラ設定メニュー ▶ 「ISO/Gain感度拡張」を「入」にすると、推奨以外の感度を選択できる (194)。

*3 「ISO/Gain感度拡張」が「切」のときのみ設定可能。

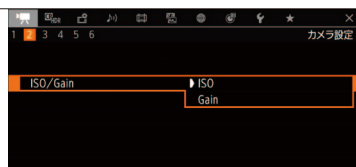
調整する

カメラダイレクト設定の詳細については、70ページをご覧ください。



1 設定方法を選ぶ

- ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「ISO/Gain」を順に選ぶ。
- ② 「ISO」または「Gain」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 設定時の刻み幅を選ぶ

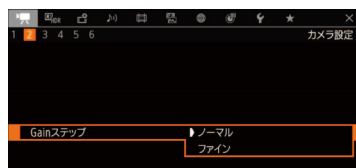
「ISO」を選んだとき

- ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「ISOステップ」を順に選ぶ。
- ② 「1段」または「1/3段」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



「Gain」を選んだとき

- ① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「Gainステップ」を順に選ぶ。
- ② 「ノーマル」または「ファイン」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



ISO/GAIN



3 値を調整する

- ① ISO/GAIN (ISO感度／ゲイン) ボタンを押す。
 - カメラダイレクト設定に入り、設定対象がISO感度／ゲインに切り換わる。
 - FUNCボタンで操作することもできる。
- ② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
- ③ ジョイスティックを押す。
 - 設定値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面はオレンジ色の表示が解除される。



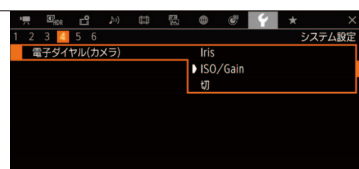
電子ダイヤルで調整する

電子ダイヤルにISO感度／ゲインを割り当てると、カメラ本体、またはカメラグリップ GR-V1の電子ダイヤルでISO感度／ゲインを調整できます。なお、カメラ本体とGR-V1の電子ダイヤルに割り当てる機能は、それぞれ個別に設定できます。



1 電子ダイヤルにISO感度／ゲインを割り当てる

- ①  4 システム設定メニュー ▶ 「電子ダイヤル (カメラ)」または「電子ダイヤル (本体グリップ)」を順に選ぶ。
- ② 「ISO/Gain」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 電子ダイヤルを回してISO感度／ゲインを調整する

MEMO

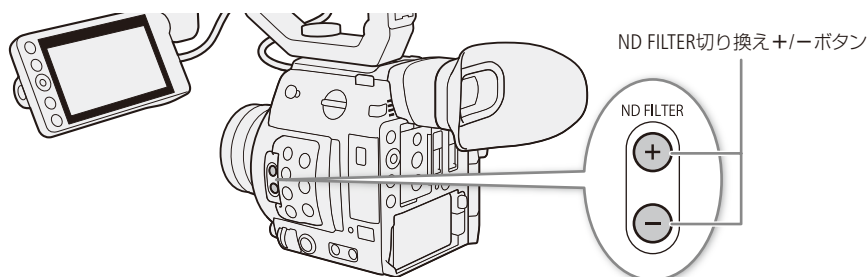
- ISO感度／ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。
- ISO感度／ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が出る場合があります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- ISO感度／ゲインの切り換え時、画面にノイズが現れることがあります。撮影中は、ISO感度／ゲインを切り換えないでください。
-  4 システム設定メニュー ▶ 「電子ダイヤル方向 (カメラ)」または「電子ダイヤル方向 (本体グリップ)」で、カメラ本体、またはGR-V1の電子ダイヤルの操作方向を個別に変更することができます (P.208)。
- ISO感度／ゲインの値を、リモートコントローラー RC-V100(別売)のISO/GAIN上／下ボタンを押して調整することもできます。

NDフィルターを切り換える

CAMERA MEDIA RAW MP4

NDフィルターを使用することにより、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像表現が可能となります*。NDフィルターは標準では3段階から選択でき、拡張設定をすると5段階から選択できます。切り換えは、本機のほかブラウザーリモート（□ 177）を使って操作することもできます。

* アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。



撮影

ND FILTER



1 NDフィルターを切り換える

① ND FILTER (NDフィルター) 切り換え+ボタンを押す。

- +ボタンを押すたびに、次の順にNDフィルターが切り換わる（-ボタンは逆順）。

OFF → 2 stops → 4 stops → 6 stops → 8 stops*
→ 10 stops* → OFF

* 1 カメラ設定メニュー ▶ 「ND濃度拡張」が「入」のときのみ選択可能。

② 希望のNDフィルターに切り換わるまで①の操作を繰り返す。

- 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。



MEMO

- 「ND+」または「ND-」を割り当てたアサインボタンを押して操作することもできます。
- シーンによっては、NDフィルターを入／切すると、わずかに発色が変わることがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（□ 84）。
- 8 stops / 10 stopsと他の濃度を切り換えると、次のようになることがあります。
 - ピントがずれる。レンズの距離目盛りもずれる。
 - レンズによっては無限遠にピントが合わない。

リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

- RC-V100のND切り換えボタンを押して、NDフィルターを切り換え可能（本機のND FILTER切り換え+ボタンと同じ動作）。
- RC-V100のNDフィルターランプは、2 stops ～ 8 stops選択時はランプの1 ～ 4が点灯し、10 stops選択時はランプの1と4が同時に点灯する。

アイリスを調整する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。本機では次の3種類の方法でアイリスを調整できます*。設定可能な値（F値）は取り付けしたレンズによって異なり、設定時の刻み幅は、「1/2段」、「1/3段」、「ファイン」をメニューで設定できます。

* レンズによって使用できる調整方法が異なる（□ 248）。

マニュアルアイリス： カメラ本体／カメラグリップ GR-V1の電子ダイヤルやブラウザーリモート（□ 177）で手動調整する。

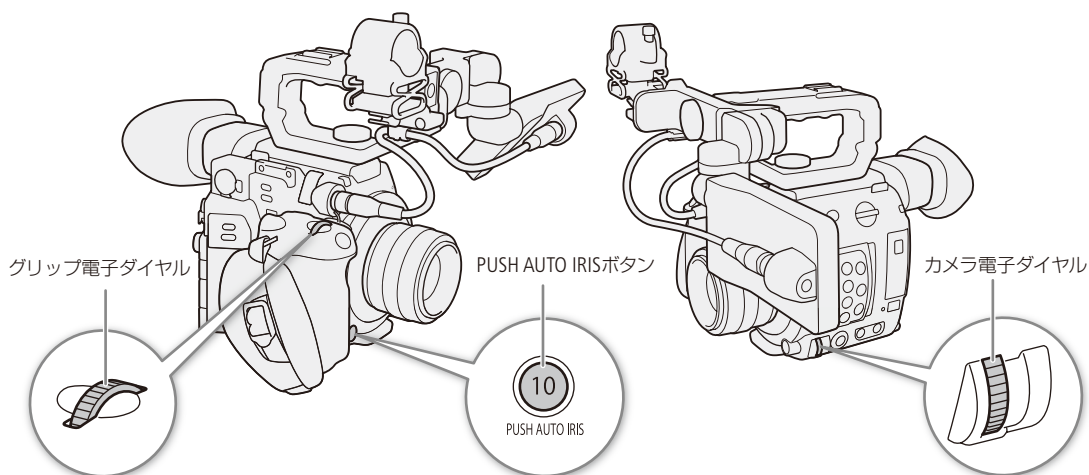
プッシュオートアイリス： PUSH AUTO IRISボタンやブラウザーリモート（□ 177）で一時的に自動調整する。

オートアイリス： 適正露出になるように常に自動調整する。

カメラからのアイリス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	アイリス動作モード切替えスイッチ	A
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	アイリスオート／マニュアル切替えスイッチ	AUTO



■ マニュアルで調整する

EFレンズを装着している場合、電子ダイヤルにアイリスを割り当てると、カメラ本体、またはカメラグリップ GR-V1の電子ダイヤルでアイリスを調整できます。なお、カメラ本体とGR-V1の電子ダイヤルに割り当てる機能は、それぞれ個別に設定できます。

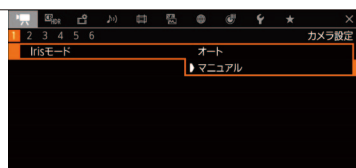


1 アイリスモードをマニュアルに設定する

- オートアイリス対応レンズ装着時のみ設定可能。
非対応レンズ装着時は「マニュアル」固定となる。

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「Irisモード」を順に選ぶ。
- ② 「マニュアル」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする (□ 78)。



2 設定時の刻み幅を選ぶ

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「Irisステップ」または「Irisファイン」を順に選ぶ。

「Irisステップ」を選んだとき

- ② 「1/2段」または「1/3段」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

「Irisファイン」を選んだとき

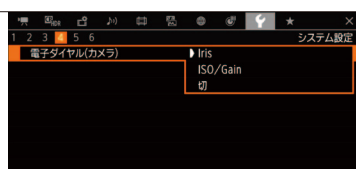
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



3 電子ダイヤルにアイリスを割り当てる

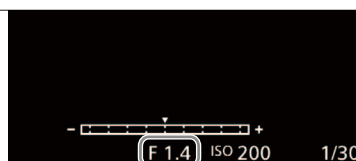
- ① 4 システム設定メニュー ▶ 「電子ダイヤル (カメラ)」または「電子ダイヤル (本体グリップ)」を順に選ぶ。

- ② 「Iris」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



4 電子ダイヤルを回してF値を調整する

- 調整したF値が画面に表示される。



MEMO

- 4 システム設定メニュー ▶ 「電子ダイヤル方向 (カメラ)」または「電子ダイヤル方向 (本体グリップ)」で、カメラ本体、またはカメラグリップ GR-V1の電子ダイヤルの操作方向を個別に変更することができます (□ 208)。
- 「Iris +」または「Iris -」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます (□ 130)。
- 接点のないEFレンズやEFシネマレンズ*を装着しているときは、本機でアイリスを調整できません。レンズ側で調整してください。

* アイリス調整に対応するEFシネマレンズ (□ 248)を除く。

- ズーム操作によりF値が変化するEFレンズを使うときは、 1 カメラ設定メニュー ▶ 「Zoom連動F値補正」で、ズームに連動してF値を補正するかどうかを指定できます (194)。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) でアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS (アイリス) ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります (初期状態)。
- EFシネマレンズを装着したときは、T値が表示されます。その際、画面に表示されるT値が、レンズの指標と異なることがあります。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズを装着時、アイリスがクローズに近づくときT値が灰色で表示されます。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズを装着して、アイリスがオープン、またはクローズの状態からT値を変更するとき、アイリスが動作するまでに複数回の操作が必要なことがあります。

■ 一時的にオートで調整する (プッシュオートアイリス)

PUSH AUTO IRIS (プッシュオートアイリス) ボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正な露出にします。

	1 アイリスモードを設定可能なときはマニュアルに設定する (79) ●アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする (78)。
	2 PUSH AUTO IRIS ボタンを押し続ける ●適正露出になるように絞りが自動的に調整される。 ●画面のF値の左に A が表示され、調整にともなって画面のF値が更新される。
	3 PUSH AUTO IRIS ボタンを離す ●絞りの自動調整が終了し、ボタンを離したときのF値が固定される。F値の左の A は消える。

MEMO

- アイリスを自動で調整するときの応答性を、 3 カメラ設定メニュー ▶ 「AEレスポンス」で設定できます (195)。
- スローモーション記録のときは、プッシュオートアイリスを使用できません。

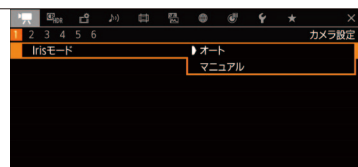
■ オートで調整する（オートアイリス）

対応するEFレンズ（□ 248）を装着しているときは、アイリスを常に自動調整できます。



1 アイリスモードをオートに設定する

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「Irisモード」を順に選ぶ。
- ② 「オート」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（□ 78）。
 - 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。
 - 画面のF値の左に **A** が表示され、調整にともなって画面のF値が更新される。

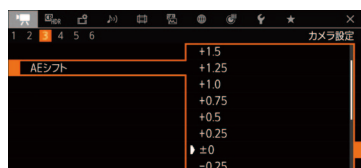


MEMO

- オートアイリス対応レンズ装着時、「Irisモード」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（□ 130）。
- スローモーション記録のときは、オートアイリスを使用できません。
- 次の場合、F値が変わることがあります。
 - EFシネマレンズの内蔵エクステンダーとアイリス補正機能を使用にしている、オートアイリスからマニュアルアイリスに切り換えたとき。
 - レンズのアイリス設定のオート／マニュアルを切り換えたとき。
- アイリスのゲインを調整できるEFシネマレンズの装着時、レンズのアイリスゲインが高いと撮影シーンによってはハンチング（絞りが不安定になること）が発生することがあります。このときは、レンズのアイリスゲインを初期設定に戻してください。

■ 露出を調整する（AEシフト）

ブッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整するとき、露出を意図的に補正して明るめや暗めに撮影することができます。補正量は－2段～＋2段まで17段階で設定できます。



- ① 3 カメラ設定メニュー ▶ 「AEシフト」を順に選ぶ。

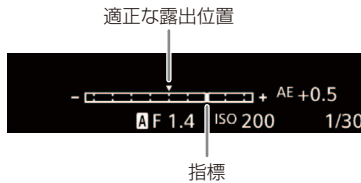
- ② いずれかの値を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

－2.0、－1.75、－1.5、－1.25、－1.0、－0.75、－0.5、－0.25、±0、
+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+1.75、+2.0

MEMO

- 「AEシフト+」と「AEシフト－」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（□ 130）。

露出バー

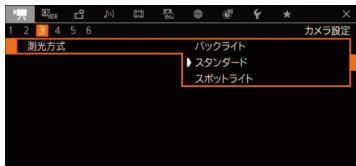


現在の露出位置を露出バー *の指標の位置で確認できます。図の「適正な露出位置」は補正量が±0の時の明るさの目標値を示します。測光方式 (82) を変更すると、適正露出は変化します。

* 1/2段の刻み幅で-2段～+2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

測光方式を設定する

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整する場合、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影することができます。



① 3 カメラ設定メニュー ▶ 「測光方式」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

バックライト： 逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。

スタンダード： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。

スポットライト： スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。

● バックライトを選ぶと画面に が、スポットライトを選ぶと画面に が表示される。

MEMO

● 「バックライト」または「スポットライト」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます (130)。

ホワイトバランスを調整する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。調整のしかたには次の4種類があります。蛍光灯下で撮影するときは、ホワイトバランスセットで調整してください。ブラウザーリモート (P.177) を使って調整することもできます。

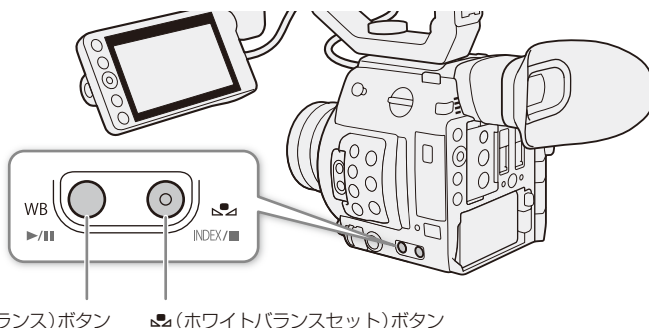
ホワイトバランスセット： グレーカードや白い無地の被写体を写して基準白色を取り込む。セットAとセットBの2種類の設定を登録できる。

プリセット設定： 「☀ (太陽光)」または「💡 (電球)」のいずれかを選ぶ。色温度 (K) と色補正值 (CC) *の微調整が可能。

色温度設定： 2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。色補正值 (CC) *の微調整が可能。

オートホワイトバランス (AWB)： 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

* マゼンタ／グリーン方向の補正。Color Compensation。



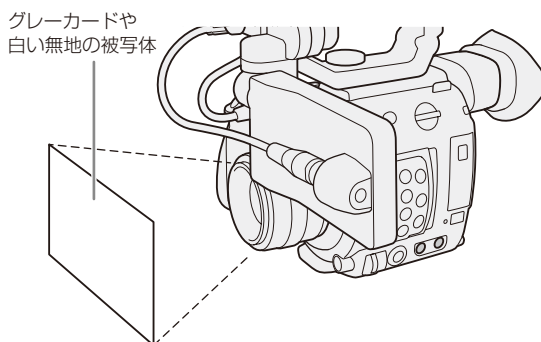
WB(ホワイトバランス)ボタン INDEX(ホワイトバランスセット)ボタン

MEMO

- カスタムピクチャーの「Color Matrix Tuning」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- カメラ設定メニュー ▶ 「ショックレスWB」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します (P.195)。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)のA / Bボタン、PRESETボタン、INDEXボタン、AWBボタンを使って、調整することもできます。
- 本機で表示、または設定する色温度は目安です。

■ ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。「A」と「B」の2種類の設定を登録できます。



1 調整方法を選ぶ

- ① WB(ホワイトバランス)ボタンを押す。
 - カメラダイレクト設定に入り、設定対象がホワイトバランスに切り換わる。
 - FUNCボタンで操作することもできる。
- ② ジョイスティックを上下に押して、「A」または「B」を選ぶ。



登録済みのホワイトバランスセットを選ぶとき
ジョイスティックを押す。以降の操作は不要。

2 実撮影と同じ照明条件下にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面いっぱいに写す



3 基準白色を取り込んで、登録する

- ①  (ホワイトバランスセット) ボタンを押す。
 - カメラダイレクト設定から抜け、「A」または「B」が速く点滅する。
 - 調整中は、グレーカードや白い無地の被写体を画面いっぱいに写し続ける。
 - 点滅→点灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

MEMO

ホワイトバランスセットで調整するとき

- 場所や明るさが変わったとき、NDフィルターを切り換えたときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれに  が速い点滅→点灯に変わらない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがあります。その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。
- 調整後に色温度値と色補正値が灰色で表示されることがあります。これは、表示可能な範囲を超えたためで、調整自体は適切に行われています。

■ プリセット設定／色温度設定で調整する

屋外（太陽光）用／屋内（電球）用にプリセットされた設定を選ぶ、または色温度を指定してホワイトバランスを調整します。色温度は、2000K ～ 15000Kの範囲で設定できます。

 	1 調整方法を選ぶ ① WB(ホワイトバランス)ボタンを押す。 ● カメラダイレクト設定に入り、設定対象がホワイトバランスに切り換わる。 ● FUNCボタンで操作することもできる。 ② ジョイスティックを上下に押して、「☀（太陽光）」、「💡（電球）」、「K（色温度）」のいずれかを選ぶ。	
	2 必要に応じて微調整する（☞ 85）	

■ ホワイトバランスの設定を微調整する

ホワイトバランスセットとオートホワイトバランス以外の調整方法で行ったホワイトバランス設定は、色温度 (K) と色補正值 (CC) *の2つの方法で微調整することができます。

* マゼンダ／グリーン方向の補正。Color Compensation。

調整可能な範囲

ホワイトバランスの調整方法	調整可能範囲	
	色温度 (K)	色補正值 (CC)
☀ 太陽光	4300K ～ 8000K	-5 CC ～ +5 CC
💡 電球	2700K ～ 3700K	
K (色温度)	2000K ～ 15000K	-20 CC ～ +20 CC

	1 微調整するホワイトバランスの調整方法を選ぶ（☞ 85）
---	---



2 微調整する

- ①  (ホワイトバランスセット) ボタンを押す。
 - 画面上の調整用入力エリアがオレンジ色で表示される。
 - FUNCボタンを押すか、ジョイスティックを右に押して切り換えることもできる。
- ② ジョイスティックを右に押して、カーソルを微調整値に移動する。
- ③ ジョイスティックを上下に押して調整する。
- ④ ジョイスティックを押す。
 - 微調整値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
 - 画面のオレンジ色の表示は解除される。



プリセット設定の微調整時



色温度の微調整時

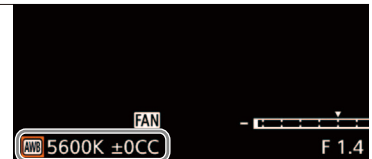
オートホワイトバランス (AWB) で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。



1 オートに切り換える

- ① WB(ホワイトバランス)ボタンを押す。
 - カメラダイレクト設定に入り、設定対象がホワイトバランスに切り換わる。
 - FUNCボタンで操作することもできる。
- ② ジョイスティックを上下に押して、**AWB** を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - **AWB** の右に現在の色温度と色補正値が表示される。



MEMO

オートホワイトバランスでうまくいかないとき

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは  (ホワイトバランスセット) で調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯／LED照明下での撮影。

- オートホワイトバランスの応答性を、 3 カメラ設定メニュー ▶ 「AWBレスポンス」で設定できます (P.195)。
- 「AWBホールド」を割り当てたアサインボタンを押して、オートホワイトバランスの動作を一時停止させることができます。もう一度押すか、他の調整方法に切り換えると解除されます。
- スローモーション記録のときは、オートホワイトバランスを使用できません。

フォーカスを調整する

CAMERA

MEDIA

RAW

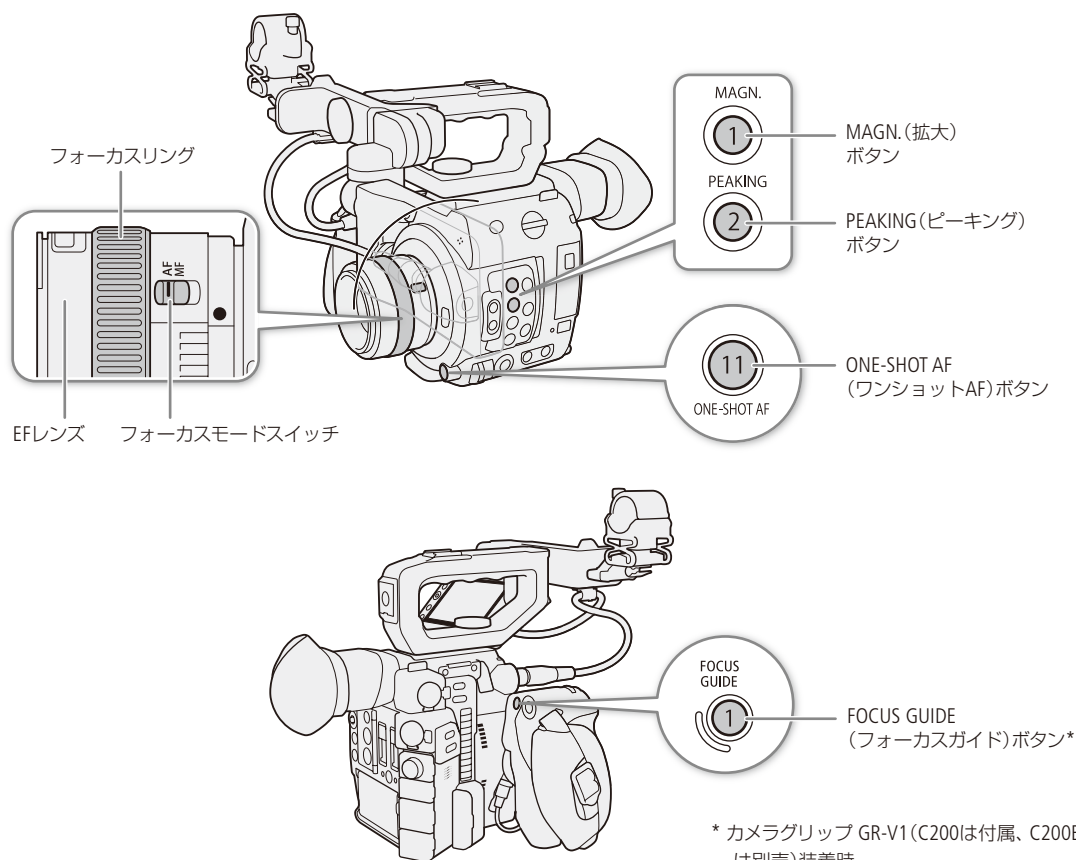
MP4

フォーカス調整のしかた*1には、次の6種類があり、AFの方式にはデュアルピクセルCMOS AFを使用します。マニュアルフォーカスで調整中は、デュアルピクセルフォーカスガイドやピーキング（輪郭強調）表示、拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。ブラウザーリモート（□177）を使って調整することもできます。

- マニュアルフォーカス： レンズのフォーカスリングを回すか、ブラウザーリモートのフォーカス操作ボタンを押して手動でフォーカスを調整する。
- ワンショットAF*2： ONE-SHOT AFボタンやブラウザーリモートで一時的に自動調整する。
- AFブーストMF*2： 大まかな調整はマニュアルで行い、合焦位置に近づくときAFで自動調整する。AFロックでフォーカス位置を固定することも可能。
- コンティニュアスAF*2： フォーカスを常に自動調整する。AFロックでフォーカス位置を固定することも可能。
- 顔検出AF*2： 人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾する。
- 追尾*2： 選んだ被写体を認識し、被写体が動いても追尾する。

*1 レンズによって使用できる調整方法が異なる（□248）

*2 マニュアルフォーカスレンズ装着時を除く。



* カメラグリップ GR-V1 (C200は付属、C200Bは別売)装着時。

調整方法と必要な設定

調整方法		EFレンズのフォーカス モードスイッチ*1	AFモード*2
マニュアルフォーカス	フォーカスリング	MF	—
		AF*3	ワンショット
	ブラウザーリモート	AF	
ワンショットAF	ONE-SHOT AFボタン	AF	ワンショット
	ブラウザーリモート		
AFブーストMF	フォーカスリング+自動	AF	AFブーストMF
	ブラウザーリモート+自動	AF	
コンティニュアスAF	自動（カメラ本体）	AF	連続
	自動（ブラウザーリモート）		
顔検出AF*4／追尾*5	カメラ本体	AF	ワンショット／ AFブーストMF／連続
	ブラウザーリモート		

*1 フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ (□ 248) の操作については、下表を参照のこと。

*2 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」の設定。

*3 レンズによってはフォーカスリングによる調整ができないことがある。

*4 5 カメラ設定メニュー ▶ 「顔検出」を有効にする。

*5 アサインボタンに「追尾」を割り当てて、「追尾」を有効にする。

カメラからのフォーカス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート	マニュアル
EFレンズ	フォーカスモードスイッチ	AF	MF
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	フォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ	SERVO	MANU.
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	オートフォーカス／マニュアルフォーカス切替えスイッチ	AF	MF

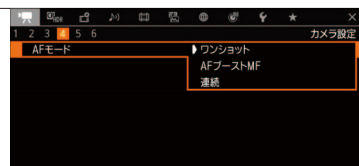
■ マニュアルで調整する

マニュアルでフォーカスを調整します。



1 AFモードを「ワンショット」に設定する

- ① 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」を順に選ぶ。
- ② 「ワンショット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - EFレンズの場合は、レンズのフォーカスモードスイッチをMFにしても良い。フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの場合は、レンズのフォーカス設定をマニュアルにしても良い (□ 88)。

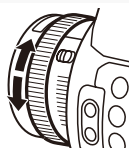


FOCUS
GUIDE



2 フォーカスを合わせたい被写体を決める

- ① FOCUS GUIDE(フォーカスガイド)ボタンを押す
- ② 画面中のフォーカスガイド枠をジョイスティックで上下左右に移動するか、フォーカスを合わせたい被写体にタッチ*する
 - * LCDモニター LM-V1(C200Iは付属、C200BIは別売)装着時のみ。
 - ガイド枠 (□ 89)がタッチした位置に移動する。
 - ガイド枠 (□ 89)が表示されていないときは、タッチできない。



3 フォーカスリングを回して、ピントを合わせる

MEMO

- EFレンズによっては、フォーカスモードスイッチをAFにしたまま、フォーカスリングで調整できるものがあります。
- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。
- 「フォーカスガイド」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます (□ 130)。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使うとき、初期設定では、RC-V100のFOCUS (フォーカス) ダイアルを右に回すと無限方向に、左に回すと至近方向に調整できます。

フォーカスアシスト機能を使う

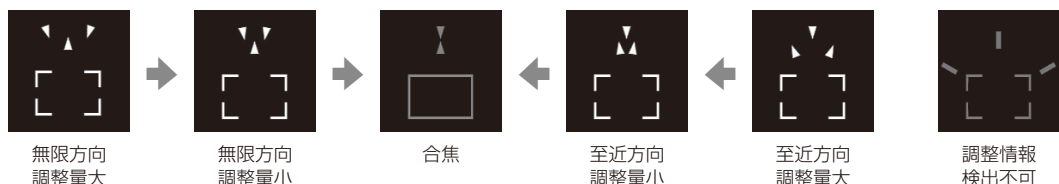
フォーカスを調整するとき、デュアルピクセルフォーカスガイド、ピーキング (輪郭強調) 表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。デュアルピクセルフォーカスガイドとピーキング、ピーキングと拡大表示を同時に使うこともできます。

デュアルピクセルフォーカスガイド

FOCUS
GUIDE

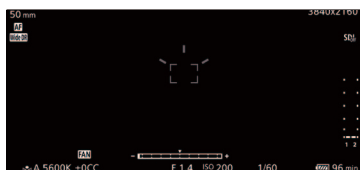


FOCUS GUIDE(フォーカスガイド)ボタンを押すと、現在のフォーカス位置から合焦位置への調整方向と調整量を、ガイド枠で視覚的に表示します。ガイド枠の意味(調整方向、調整量)は次のとおりです。「顔検出」と併用すると、ガイド枠は主な被写体と判断した顔の目の付近に表示されます。☒ 1 アシスト設定メニュー ▶ 「フォーカスガイド」で入/切することもできます。



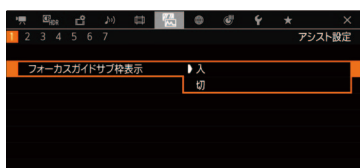
フォーカスガイド枠を移動する

フォーカスを合わせたい部分にフォーカスガイド枠 (□ 89) を移動します。フォーカスガイド枠と同時にフォーカスガイドサブ枠を表示することもできます。



1 フォーカスガイド枠を移動する

- ① ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をタッチ*する。
* LCDモニター LM-V1 (C200は付属、C200Bは別売) 装着時のみ。
● ガイド枠が移動する。



2 必要に応じて、フォーカスガイドサブ枠を表示する

- ①  1 アシスト設定メニュー ▶ 「フォーカスガイドサブ枠表示」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
● 画面にガイド枠とサブ枠が表示されているときにジョイスティックを押すと、ガイド枠とサブ枠が入れ換わる。



MEMO

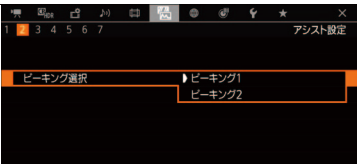
- オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件／設定 (□ 95) では、ガイドが正しく表示されないことがあります。

デュアルピクセルフォーカスガイドが使えないとき

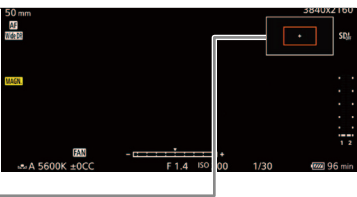
- ワンショットAF、AFブーストMF、またはコンティニュアスAFの調整中。
- 現在のF値がF11以上のとき。
- 一部のEFシネマレンズ (□ 248) を除く、マニュアルフォーカスレンズ装着時。
- デュアルピクセルフォーカスガイドを「顔検出」、「追尾」と併用する場合、顔の向きによっては、ガイドが目の位置からずれることがあります。

ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

PEAKING 	1 PEAKING(ピーキング)ボタンを押す ● 画面に PEAK1 または PEAK2 が表示され、画面の映像の輪郭が合焦状態に応じて強調される。 ● もう一度、PEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。 ●  2 アシスト設定メニュー ▶ 「ピーキング：VIDEO端子」または C200 「ピーキング：VF」でピーキング表示を入／切することもできる。
	2 ピーキング1、またはピーキング2を選ぶ ①  2 アシスト設定メニュー ▶ 「ピーキング選択」を順に選ぶ。 ② 「ピーキング1」または「ピーキング2」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。 

拡大表示

MAGN. 	1 MAGN.(拡大)ボタンを押す ● 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部*を中心にして約2倍に拡大される。 * 各種AF枠や顔検出枠、フォーカスガイド枠が表示されているときは、枠の中心部となる。 ● 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。 
	2 必要に応じて拡大位置を移動させる ① ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をドラッグ*して拡大位置を移動させる。 * LCDモニター LM-V1 (C200は付属、C200Bは別売) 装着時のみ。 ● 拡大位置を中央に戻すときはCANCELを押す。 ● もう一度MAGN.ボタンを押すと拡大表示が解除される。

MEMO

ピーキング／拡大表示を使うとき

- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、 2 アシスト設定メニュー ▶ 「ピーキング1」または「ピーキング2」でそれぞれ設定できます。
- ピーキングはVIDEO端子または **C200** ファインダーに出力できます。各出力はメニューで個別に入／切できます (203)。拡大表示はVIDEO端子、**C200** ファインダー、出力端子 (SDI端子またはHDMI OUT端子*)に出力できます (203)。
- * 4K (3840×2160) 出力時は除く。
-  2 アシスト設定メニュー ▶ 「ピーキング有効時白黒」または  3 アシスト設定メニュー ▶ 「Magnification有効時白黒」 (203) を「入」にすると、画面を自動的に白黒表示にできます。
- 記録される動画／静止画には影響しません。

ワンショットAFで調整する

AF枠内の被写体に自動でピントを合わせます。操作を行ったときに1度だけ合焦動作を行います。AF枠の位置・サイズは変更できます。



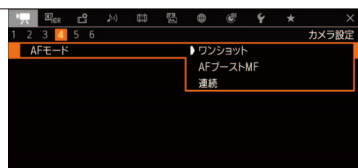
1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする (☞ 88)。
- 画面に **AF** が表示される。



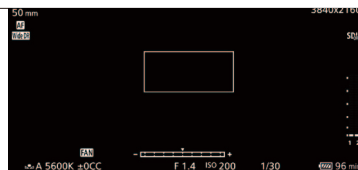
2 AFモードを「ワンショット」に設定する

- ① 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」を順に選ぶ。
- ② 「ワンショット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する (☞ 96)。



3 ONE-SHOT AFボタンを押し続ける

- 画面に白い枠 (ワンショットAF枠) が表示され、自動的にフォーカスの調整を行う。顔検出AF (☞ 96) 使用中は、主な被写体と判断した顔の枠が白いAF枠に変わる。
- ピントが合うと、枠が緑色に変わる。ピントが合わないときは、枠が赤色に変わる。
- ONE-SHOT AFボタンを離すと枠が消える。



MEMO

ワンショットAFが動作しないとき

- スローモーション記録のとき。
 - シャッタースピードのモードがスローで、設定値が1/4秒または1/3秒のとき。
 - 顔検出AFが「顔限定」で、顔が検出されていないとき。
- 現在のF値がF11以上のときは、従来方式 (コントラストAF) で調整します。

■ AFブーストMFで調整する

ねらった被写体に対して、大まかなフォーカス調整をマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整します。4K撮影でピントが甘くなるのを防ぎたいときなどに使用します。また、調整情報が検出できないときに不確実な調整動作を行わないため、コンティニユアスAFよりも安定して調整できます。



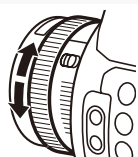
1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする (88)。
- 画面に **AF** が表示される。



2 AFモードを「AFブーストMF」に設定する

- ① 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」を順に選ぶ。
- ② 「AFブーストMF」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - フォーカス位置が手動調整領域内のときは、画面に黄色の枠 (AFブーストMF枠) が表示される。
- ③ 必要に応じてAF枠の位置 / サイズを変更する (96)。



3 フォーカスリングを回して、調整する

- フォーカス位置が合焦位置に近づき自動調整領域に入ると、画面の枠が白色に変わり、自動的にピント合わせを行う。
- フォーカス位置が自動調整領域内にある間は、常に自動調整する。

■ コンティニユアスAFで調整する

画面中央の縦横それぞれ80%のエリア内の被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。



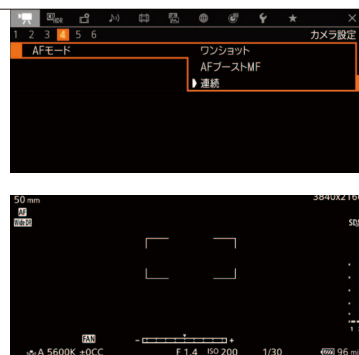
1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする (88)。
- 画面にAFが表示される。



2 AFモードを「連続」に設定する

- ① 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」を順に選ぶ。
- ② 「連続」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 画面に白い枠（コンティニユアスAF枠）が表示され、継続したピント合わせを行う。
- ③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する（ 96）。
 - 顔検出AF（ 96）使用中は、主な被写体と判断した顔に白い枠が表示される。



MEMO

- オートフォーカスで調整するときにピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

ピント合わせに時間がかかるとき

- フレームレートが29.97P、25.00P、24.00P、23.98Pのいずれかのとき。
- 一部のEFレンズでは、ピントが合うまでの時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

オートフォーカスの調整速度や応答性を変更するとき

対応するEFレンズ装着時はオートフォーカスの調整速度や応答性を変更できます。対応レンズの詳細については、キヤノンのホームページをご覧ください。

- 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AFスピード適用条件」で、AFスピードの設定が常に有効か、記録中のみ有効かを選択できます（ 195）。
- 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AFスピード」で、AFスピード*を10段階で選択できます（ 195）。
* ピントが合うまでの速度。
- 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AFレスポンス」で、AFの応答性を7段階で選択できます（ 195）。
- コンティニユアスAFで調整中にONE-SHOT AFボタンを押し続けると、一時的に最大のAFスピード／応答性で調整します。ピントが大きく外れた状態から素早く合焦させたいときや、合焦状態を維持して被写体に追従したいときなどに使用します。

コンティニユアスAF が動作しないとき

- フォーカスモードスイッチがないEFレンズを装着時。
- アイリスの調整中。オートアイリスに対応したEFレンズ（ 248）装着時を除く。
- REMOTE端子に接続したリモコンでフォーカス操作中。
- スローモーション記録のとき。

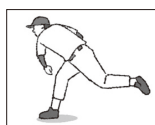
オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件



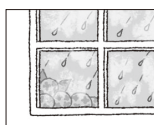
強い光が反射



明暗差がない



動きが速い



水滴が付いた
ガラス越しの撮影



夜景



繰り返し模様

- ISO感度／ゲインの感度を拡張して (74)、拡張領域のISO/Gain値を設定しているとき
- カスタムピクチャーのガンマ (134)をCanon LogなどのLogガンマ、またはWide DRに設定したとき
- 絞りを小絞り設定したとき
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき

フォーカス位置を固定する (AFロック)

コンティニュアスAF、またはAFブーストMF中にフォーカス位置を固定することができます。「AFロック」を割り当てたアサインボタン (130)を押して操作します。

例： カメラアサイン8ボタンに「AFロック」を割り当てる場合



1 カメラアサイン8ボタンに「AFロック」を割り当てる (130)



2 オートフォーカスの動作中 カメラアサイン8ボタンを押す

- フォーカスが固定され、画面の白い枠 (AF枠) と **AF** が灰色に変わる。顔を検出中は、主な被写体の顔に灰色の枠が表示される。
- もう一度押すと解除される。

MEMO

AFロックが自動的に解除されるとき

- 電源の切／入、システム周波数の変更を行ったとき。
- レンズを着脱したとき。
- AFモードを「ワンショット」に変更したとき。
- スローモーション記録のとき。

AF枠の位置／サイズを変更する

オートフォーカスで調整するときに、画面に表示されるAF枠の位置・サイズを変更することができます。



1 AF枠の位置を変更する

- ① 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AF枠位置」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
可動： AF枠の位置を変更可能。
中央固定： AF枠は中央に固定。
- ③ 「可動」を選んだとき ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をタッチ*してAF枠の位置を変更する。CANCELを押すと、中央に戻る。
* LCDモニター LM-V1 (C200は付属、C200Bは別売)装着時のみ。



2 AF枠のサイズを変更する

- ① 4 カメラ設定メニュー ▶ 「AF枠サイズ」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
大： 標準的なAF枠のサイズ。
小： 「大」の横幅を1/3にしたサイズ。



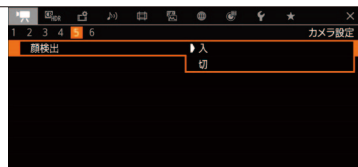
顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF）

人物の顔を検出して、検出した複数の人物の中からメインの被写体を自動的に決定し、メインの被写体が動いても自動的に追尾します。オートフォーカス機能を併用すれば、メインの被写体に自動的にピントを合わせることができます（顔検出AF）。また、デュアルピクセルフォーカスガイドを使用すれば、メインの被写体に手動でフォーカス調整することもできます。さらに、メインの被写体を変更することもできます。



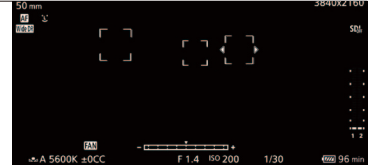
1 顔検出を有効にする

- ① 5 カメラ設定メニュー ▶ 「顔検出」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
● 「切」を選ぶと顔の検出を行わない。
- ③ 5 カメラ設定メニュー ▶ 「顔検出AF」を順に選ぶ。
- ④ 顔が検出されないときの動作を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
顔優先： AFモードの設定に応じた調整方法になる。
顔限定： ピントが固定される。
● 画面に (顔優先) または (顔限定) が表示される。



2 カメラを人物に向ける

- 検出したすべての顔に枠が表示される。複数の顔が検出されたときはメインの被写体を自動的に決定し、メインの被写体の顔の枠に◀と▶が付く。
- コンティニュアスAFのときは、メインの被写体と判断した顔に継続してピントを合わせる。
- ワンショットAFのときは、ONE-SHOT AFボタンを押すと、メインの被写体と判断した顔にピントを合わせる。
- 追尾 (□ 98) と併用すると、メインの被写体を確実に追尾することができる。



フォーカス対象の人物を選ぶとき

ジョイスティックを左右に押すか、フォーカス対象の人物をタッチすると、メインの被写体が切り換わる。

AFモード／フォーカス操作と顔検出AFの動作

AFモード	フォーカス操作	顔検出AF			
		顔優先		顔限定	
		顔の検出あり	顔の検出なし	顔の検出あり	顔の検出なし
ワンショットAF	ボタン押下なし (マニュアルフォーカス)	マニュアルフォーカス			
	ボタン押下あり (ワンショットAF動作中)	検出した 顔に合焦	AF枠内の 被写体に合焦	検出した 顔に合焦	マニュアル フォーカス
コンティニュアスAF	自動調整				
AFブーストMF	自動調整中	検出した 顔に合焦	AF枠内の 被写体に合焦	検出した 顔に合焦	マニュアル フォーカス
	自動調整していないとき (黄色の枠が表示中)				

MEMO

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い、または明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。顔が上下逆さまのとき。

顔検出AFが使用できない場合

- シャッタースピードが1/30秒未満 (システム周波数が59.94 Hz時)、1/25秒未満 (同50.00 Hz時)、1/24秒未満 (同24.00 Hz時) のとき。
- スローモーション記録モードのとき。
- マニュアルフォーカスレンズ装着時。
- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「顔検出」を「切」にしてください。
- 「顔検出」や「顔検出AF」を割り当てたアサインボタンを押して、それぞれの操作をすることもできます (□ 130)。

■ 選んだ被写体を追尾する

ねらった被写体を追尾し、AFモードの設定に応じて、追尾対象の被写体にピントを合わせることができます。

例：カメラアサイン8ボタンに「追尾」を割り当てる場合



1 カメラアサイン8ボタンに「追尾」を割り当てる (P.130)



2 カメラアサイン8ボタンを押す

- 追尾待機モードになり、画面に「追」が表示される。
- カメラアサイン8ボタン、またはCANCELを押すと追尾待機モードを終了する。

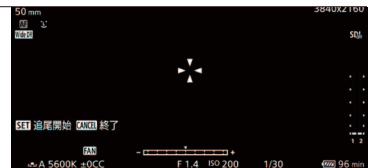


3 追尾する被写体を選ぶ

- ① ジョイスティックを上下左右に押して、「追」の中央を被写体に合わせる ▶ ジョイスティックを押す。
- 画面内の被写体をタッチ*しても、追尾を開始できる。

* LCDモニター LM-V1 (C200は付属、C200Bは別売) 装着時のみ。

- 追尾に失敗（「追」が約1秒間赤色になる）したときは、もう一度被写体を選ぶ。
- コンティニュアスAFのときは、被写体にピントを合わせ続ける。
- ワンショットAFのときは、ONE-SHOT AFボタンを押すと、被写体にピントを合わせる。
- ジョイスティック、またはカメラアサイン8ボタンを押すと、追尾を終了して追尾待機モードに戻る。
- CANCELを押すと追尾を終了し、AFモードに応じたAF枠が表示される。



4 「追」が追尾枠に変わり、選んだ被写体の追尾が開始される



MEMO

- 特徴が似た別の被写体を誤って追尾することがあります。そのときは、被写体を選択しなおしてください。

ズームを操作する

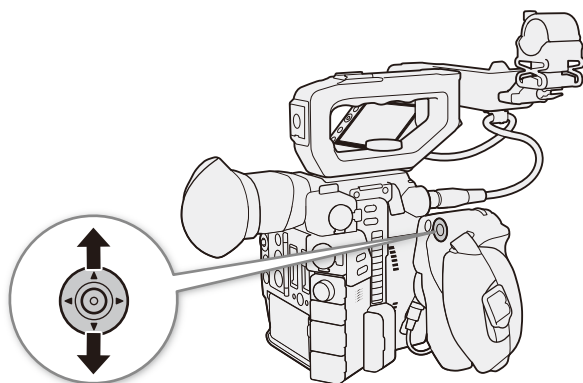
CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

ズーム調整に対応するEFシネマレンズ、またはパワーズームアダプター PZ-E1 (別売) を装着したEFレンズ (P. 248) を取り付けると、本機からズームを操作することができます。また、ブラウザーリモート (P. 177) から操作することもできます。



カメラからのズーム調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 / CN20×50 IAS H/E1	ズームサーボ/マニュアル切替えノブ	SERVO
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	ズーム切替えノブ	SERVO
EF-S 18-135mm F3.5-5.6 IS USM*1	ズームモードスイッチ*2	PZ(パワーズーム)*3

*1 PZ-E1装着時

*2 PZ-E1の操作部名称

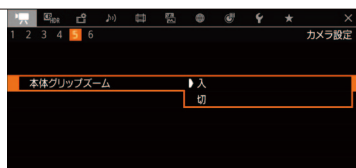
*3 PZ-E1の設定値

1 レンズのズーム設定をSERVOにする



2 ズーム操作を有効にする

- ① 5 カメラ設定メニュー ▶ 「本体グリップズーム」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



3 ズームスピードを選ぶ

- ① 5 カメラ設定メニュー ▶ 「本体グリップズームスピード」を順に選ぶ。
 - ② 「1」から「16」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ズームスピードは固定速で、値が大きいほど高速になる。



4 カメラ本体のグリップのジョイスティックを上下に操作して、ズームを調整する

- 上に操作すると望遠 (テレ) 方向に、下に操作すると広角 (ワイド) 方向に調整できる。

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100 (別売) のZOOMダイヤルを使って、調整することもできます。
- ズームスピードを低速に設定していると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

マーカー／ゼブラパターンを表示する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は**C200**ファインダーとVIDEO端子、出力端子*(SDI端子またはHDMI OUT端子)に出力でき、個別に入/切できます(□ 204)。記録される映像には影響しません。

*ゼブラパターンは除く。

マーカーを表示する

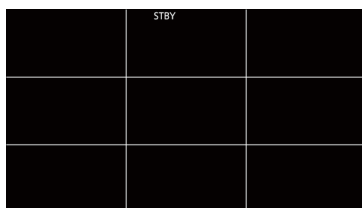
構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。



センターマーカー



水平マーカー



グリッド



セーフティーゾーンマーカー *1



アスペクトマーカー *2

*1 セーフティーゾーンの領域は基準となる領域と、それに対する面積で設定できます。

*2 アスペクト比は「4:3」、「13:9」、「14:9」、「16:9」、「1.375:1」、「1.66:1」、「1.75:1」、「1.85:1」、「1.90:1」、「2.35:1」、「2.39:1」の11個、または任意のカスタム比から選択できます。

マーカー表示を有効にする

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。



① ④ 6 アシスト設定メニュー ▶ 「マーカー：VF+VIDEO端子」*または「マーカー：SDI/HDMI」を順に選ぶ。

* **C200B**「マーカー：VIDEO端子」

② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

● マーカーが表示可能*になる。

● マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

* HDMI OUT端子は4K(3840×2160) 59.94P / 50.00P出力時を除く。

表示したいマーカーを選ぶ

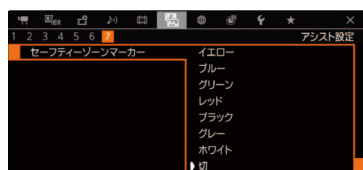
異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の設定をします。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合



1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

- ① ⑥ アシスト設定メニュー ▶ 「センターマーカー」を順に選ぶ。
- ② 「切」以外を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。
 - センターマーカー表示を解除するときは、ここで「切」を選ぶ。



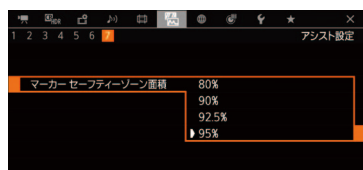
2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ

- ① ⑦ アシスト設定メニュー ▶ 「セーフティーゾーンマーカー」を順に選ぶ。
- ② 「切」以外を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。
 - セーフティーゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。



3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の個別設定（セーフティーゾーン基準、セーフティーゾーン面積）を行う

- ① ⑥ アシスト設定メニュー ▶ 「アスペクトマーカー」を順に選ぶ。
- ② 「切」以外を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - アスペクトマーカーの表示が有効になる。
- ③ ⑦ アシスト設定メニュー ▶ 「マーカー セーフティーゾーン基準」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「映像全体」または「アスペクトマーカー領域」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ⑤ ⑦ アシスト設定メニュー ▶ 「マーカー セーフティーゾーン面積」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ⑥ 「80%」、「90%」、「92.5%」、「95%」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選択した基準と面積を元にセーフティーゾーンの領域が変更される。



MEMO

アスペクトマーカーのアスペクト比をカスタマイズするには

- ① ⑥ アシスト設定メニュー ▶ 「マーカー アスペクト比」で「カスタム」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ② ⑥ アシスト設定メニュー ▶ 「マーカー カスタムアスペクト比」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ③ ジョイスティックを上下に押して値を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ④ ③を繰り返して任意のアスペクト比を入力し、「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます (P.64)。
 - 「マーカー」を割り当てたアサインボタンを押して、マーカー表示を入／切することもできます (P.130)。

ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

ゼブラ1

設定した輝度レベル $\pm 5\%$ の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは $5 \pm 5\% \sim 95 \pm 5\%$ の範囲（5%刻み）で設定可能。



ゼブラ2

設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは0% ～ 100%の範囲（5%刻み）で設定可能。



ゼブラ1+ゼブラ2

ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。

ゼブラパターン表示を入／切する

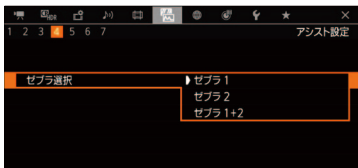
ZEBRA



ZEBRA(ゼブラ)ボタンを押す。4 アシスト設定メニュー ▶ 「ゼブラ：VIDEO端子」または「C200」ゼブラ：VF」で入／切することもできます。

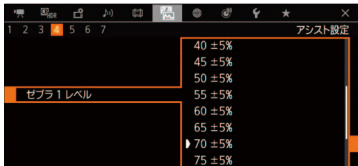
ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



1 ゼブラパターンを選ぶ

- ① 4 アシスト設定メニュー ▶ 「ゼブラ選択」を順に選ぶ。
- ② 「ゼブラ1」、「ゼブラ2」、「ゼブラ1+2」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

- ① 4 アシスト設定メニュー ▶ 「ゼブラ1レベル」または「ゼブラ2レベル」を順に選ぶ。
- ② 輝度レベルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

MEMO

- ゼブラパターンはVIDEO端子または「C200」ファインダーに出力できます。各出力はメニューで個別に入／切できます（203）。

タイムコードを設定する

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、SDI端子、またはHDMI OUT端子に出力できます。再生時は、記録メディアから読み出したタイムコードをSDI端子に出力できます。また、「システム周波数」が「59.94 Hz」のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

■ カウントアップ方式を選ぶ

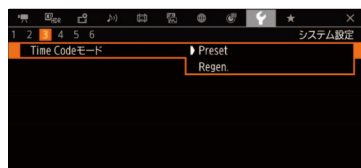
CAMERA

MEDIA

RAW

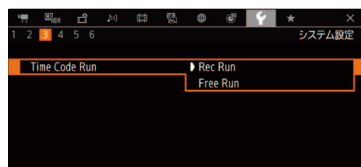
MP4

歩進モード	歩進方法	内容
Preset (プリセット)	Rec Run (レックラン)	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run (フリーラン)	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen. (リジェネ)	—	タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。



1 歩進モードを選ぶ

- ① 3 システム設定メニュー ▶ 「Time Codeモード」を順に選ぶ。
- ② 「Preset」または「Regen.」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。



2 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

- ① 3 システム設定メニュー ▶ 「Time Code Run」を順に選ぶ。
- ② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



3 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する

- ① 3 システム設定メニュー ▶ 「Time Code設定」を順に選ぶ。
 - 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、タイムコードが「00:00:00.00」（NDF時は「00:00:00:00」）にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
- ② 「変更」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
 - 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。
- ③ ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ▶ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。



■ ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

CAMERA MEDIA RAW MP4

ドロップフレーム (DF)、またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換えることができます。なお、フレームレートが 29.97P、59.94P 以外のときは NDF に固定されます。



- ① ③ システム設定メニュー ▶ 「Time Code DF/NDF」を順に選ぶ。
 - ② 「DF」または「NDF」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
- | | |
|--------|-------------------|
| DFのとき | 00 : 00 : 00 . 00 |
| NDFのとき | 00 : 00 : 00 : 00 |

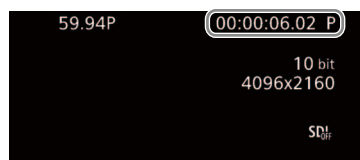
■ タイムコードを保持する (タイムコードホールド)

CAMERA MEDIA RAW MP4

「Time Codeホールド」を割り当てたアサインボタン (□ 130) を押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます*。タイムコード保持中は、画面に「H」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

* SDI端子、またはHDMI OUT端子に重畳されるタイムコードはホールドされません。HDMI OUT端子の出力映像に表示されるタイムコードはホールドされます。

タイムコードの表示について



- | | |
|--------|----------------------|
| R : | Regen. (リジェネ) 設定時 |
| P : | Rec Run (レックラン) 設定時 |
| F : | Free Run (フリーラン) 設定時 |
| H : | タイムコードホールド時 |
| 表示なし : | 再生時 |

MEMO

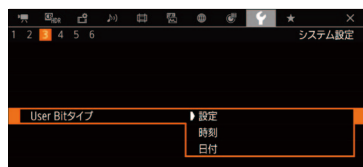
- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが 23.98P / 24.00P のときは 0 ~ 23、25.00P / 50.00P のときは 0 ~ 24、それ以外は 0 ~ 29 となります。
- インターバル記録、フレーム記録、スローモーション記録のときは、「Free Run」は使用できません。また、プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- インターバル記録、フレーム記録、スローモーション記録のときは、SDI端子、またはHDMI OUT端子にタイムコードを出力できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵のリチウム電池の残量があれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。
- 「Time Code」を割り当てたアサインボタンを押して、③ システム設定メニューを表示することができます (□ 130)。

ユーザービットを設定する

CAMERA MEDIA RAW MP4

8桁の16進数 (0 ～ 9、A ～ Fの英数字)、時刻、または日付 (年月日) をユーザービットとして設定し、映像と一緒に記録できます。ユーザービットには、撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付け加えたい情報を自由に設定することができます。

■ 任意の16進数を設定する



1 「設定」を選ぶ

- ① ③ システム設定メニュー ▶ 「User Bit タイプ」 ▶ 「設定」を順に選ぶ。
 - 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
- ② 「変更」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
 - 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。



2 8桁の任意の16進数を入力する

- ① ジョイスティックを上下に押して英数字を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② ①の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ▶ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

■ 時刻、または日付を設定する



- ① ③ システム設定メニュー ▶ 「User Bit タイプ」を順に選ぶ。
- ② 「時刻」または「日付」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

音声を記録する

CAMERA

MEDIA

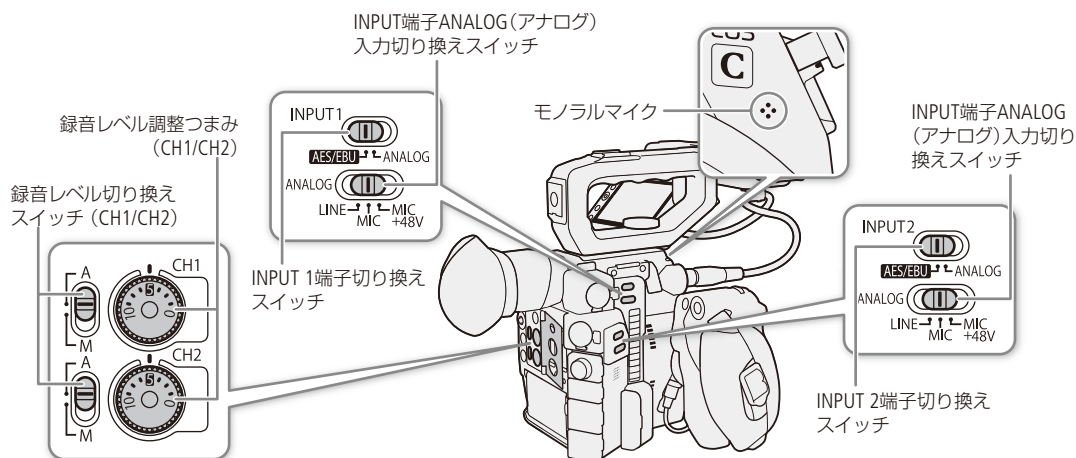
RAW

MP4

本機では、4チャンネルのリニアPCM記録方式の音声、または2チャンネルのMPEG-4 AAC-LC記録方式の音声^{*1}を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHz、量子化ビット数は16ビットです。収録する音声は、INPUT端子（外部マイク、外部ライン、デジタル（AES/EBU））、MIC（マイク）端子、モノラルマイク^{*2}（内蔵）から選びます。また、SDI端子、またはHDMI OUT端子から出力される映像信号には音声信号が重畳されます。この音声信号を外部レコーダーで記録することもできます。

^{*1} MP4記録時のみ。

^{*2} ボイスメモの用途に使用します。



記録音声と必要な設定

CH1～CH4の各チャンネルに記録される入力音声は、INPUT 1／INPUT 2端子切り換えスイッチとメニュー設定から決まります。

記録音声				必要な設定				
CH1	CH2	CH3 ^{*1}	CH4 ^{*1}	CH1 / CH2 Input選択 ^{*2}	CH3 / CH4 Input選択 ^{*2}	INPUT 1 / INPUT 2 端子切替スイッチ		「CH2 Input」 ^{*3}
INPUT1端子 (AES/EBU)		MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	INPUT端子	MIC端子	AES/EBU	—	—
INPUT1端子 (AES/EBU)		INPUT2端子 (AES/EBU)		INPUT端子	INPUT端子	AES/EBU	AES/EBU	—
INPUT1端子 (AES/EBU)		—	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	AES/EBU	ANALOG	—
INPUT1端子 (AES/EBU)		モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	AES/EBU	—	—
INPUT1端子	INPUT2端子	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	INPUT端子	MIC端子	ANALOG	—	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	INPUT端子	MIC端子	ANALOG	—	INPUT1
INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT2端子 (AES/EBU)		INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	AES/EBU	INPUT1
INPUT1端子	—	INPUT2端子 (AES/EBU)		INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	AES/EBU	INPUT2
INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	ANALOG	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	ANALOG	INPUT1
INPUT1端子	INPUT2端子	モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	ANALOG	—	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	ANALOG	—	INPUT1
MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	INPUT1端子	INPUT2端子	MIC端子	INPUT端子	—	ANALOG	—

記録音声				必要な設定				
CH1	CH2	CH3*1	CH4*1	CH1 / CH2 Input選択*2	CH3 / CH4 Input選択*2	INPUT 1 / INPUT 2 端子切替スイッチ		「CH2 Input」 *3
						INPUT 1	INPUT 2	
MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	INPUT2端子 (AES/EBU)		MIC端子	INPUT端子	—	AES/EBU	—
MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	MIC端子	MIC端子	—	—	—
MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	モノラルマイク	モノラルマイク	MIC端子	モノラルマイク	—	—	—
モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT1端子	INPUT2端子	モノラルマイク	INPUT端子	—	ANALOG	—
モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT2端子 (AES/EBU)		モノラルマイク	INPUT端子	—	AES/EBU	—
モノラルマイク	モノラルマイク	MIC端子 (L)	MIC端子 (R)	モノラルマイク	MIC端子	—	—	—
モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	—	—	—

*1 「主記録形式」が「MP4(SDカード)」の場合は、記録時の「MP4オーディオ形式」が「LPCM 16 bit 4CH」のときのみ。

*2 **1** オーディオ設定メニュー ▶ 「CH1 / CH2 Input選択」または「CH3 / CH4 Input選択」の設定 (109)。

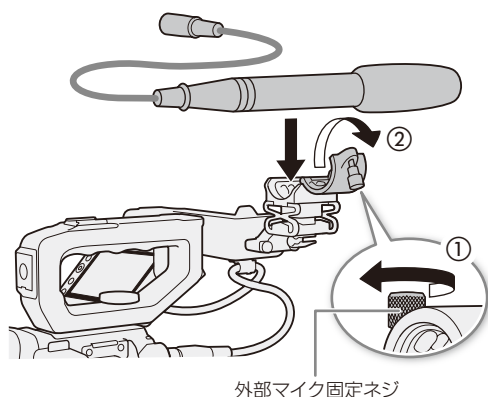
*3 **1** オーディオ設定メニュー ▶ 「CH2 Input」の設定 (109)。

MEMO

- 各記録チャンネルの設定状態は、「AUDIO STATUS」ボタンやステータス画面で確認できます (212)。
- 「AUDIO STATUS」ボタンでオーディオステータス画面を表示したときは、ジョイスティックを押して **1** オーディオ設定メニューを表示することができます (106)。

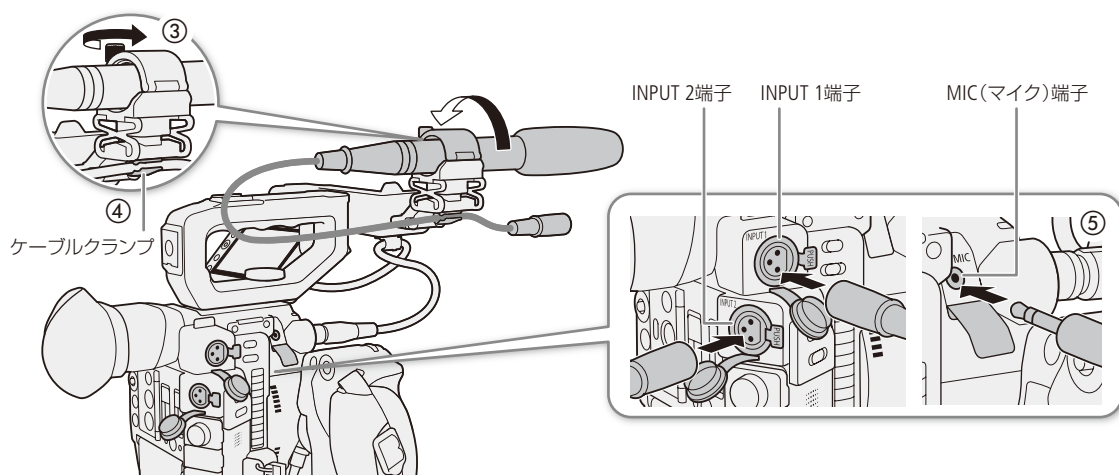
外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する

INPUT端子にはXLRコネクタの外部マイク／外部ライン入力機器（アナログ）、または外部デジタルオーディオ機器（AES/EBU）を、MIC（マイク）端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクをそれぞれ接続できます。なお、マイクホルダーには、Φ19～20mmのマイクを固定できます。



外部マイク固定ネジ

- 1 マイクのとき 外部マイク固定ネジをゆるめ (①)、外部マイクホルダーを開く (②)
- 2 マイクのとき 外部マイクを取り付けて固定し (③)、ケーブルをケーブルクランプにとめる (④)
- 3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する (⑤)



INPUT端子の音声を設定する

INPUT 1端子とINPUT 2端子の音声入力、それぞれ個別に設定できます。

- 1 INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチをAES/EBUまたはANALOGにする

INPUT 1
AES/EBU ↔ ANALOG

INPUT 2
AES/EBU ↔ ANALOG
- 2 ANALOGを選んだとき INPUT端子ANALOG (アナログ) 入力切り換えスイッチをLINE(ライン)、またはMIC(マイク)にする

INPUT 1
ANALOG
LINE ↔ MIC +48V

INPUT 2
ANALOG
LINE ↔ MIC +48V

 - ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC+48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
 - INPUT端子を1チャンネルのみ使用するとき、INPUT 1端子を使用する。

ご注意

- アナログ入力の場合、+48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

■ 音声のオーディオ形式を選ぶ

CAMERA MEDIA RAW MP4

メイン動画をMP4形式で記録するときは、オーディオ形式をMPEG-4 AAC-LC (2チャンネル、16 bit) とリニアPCM (4チャンネル、16 bit) の2種類から選べます。



1 オーディオ形式を選ぶ

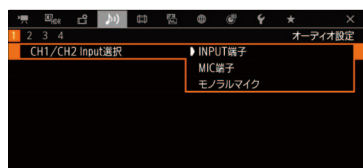
- ① 2 記録／メディア設定メニュー ▶ 「MP4オーディオ形式」を順に選ぶ。
- ② 「AAC 16 bit 2CH」または「LPCM 16 bit 4CH」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

MEMO

- メイン動画をRAW形式で記録するとき、オーディオ形式はリニアPCM(4チャンネル、16 bit)です。
- 汎用性を優先するときは「AAC 16 bit 2CH」を、音質を優先するときは「LPCM 16 bit 4CH」を使用してください。

■ 録音する入力音声を選ぶ

録音する音声はCH1/CH2とCH3/CH4の2チャンネルごとに選択します。「記録音声と必要な設定」(□ 106)を参考にして設定してください。



1 録音する音声を選択する

- ① 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「CH1/CH2 Input選択」または「CH3/CH4 Input選択」を順に選ぶ。
- ② 「INPUT端子」、「MIC端子」または「モノラルマイク」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

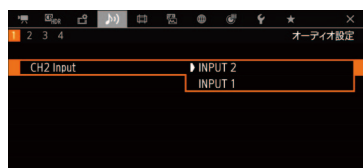
MEMO

モノラルマイクを使う

モノラルマイクを使ってボイスメモ (モノラル音声) を記録すると、編集時、映像と音声を同期しやすくなります。

CH2に記録する入力音声を選ぶ

CH1/CH2の入力がINPUT端子 (アナログ入力) のときは、CH2に録音する入力音声をINPUT 1端子とINPUT 2端子から選択できます。CH1にINPUT 1端子の音声を記録し、CH2にINPUT 1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設定することもできます。



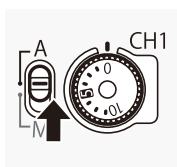
- ① 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「CH2 Input」を順に選ぶ。
- ② 「INPUT2」または「INPUT1」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
INPUT 2 : INPUT 1 / INPUT 2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。
INPUT 1 : INPUT 1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。INPUT 2端子の音声は録音されない。

■ 録音レベルを調整する

INPUT端子（アナログ）、またはMIC端子の録音レベルを調整します。INPUT端子（アナログ）の録音レベルとMIC端子の録音レベルは、CH1～CH4のチャンネルごと、またはCH1 / CH2*、CH3 / CH4*にオート／マニュアルを設定できます。オートにすると自動調整され、マニュアルにするとCH1とCH2、CH1 / CH2は $-\infty \sim +18$ の範囲で、CH3とCH4、CH3 / CH4は0～100の範囲で手動調整できます。INPUT端子（AES/EBU）のときは、録音レベルを調整しません。また、モノラルマイクの録音レベルは常にオートで調整されます。

*「CH1/CH2(CH3/CH4) ALCリンク」を「連動」にする必要があります（□ 198）。

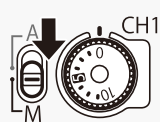
CH1、CH2、またはCH1 / CH2をオートで調整する



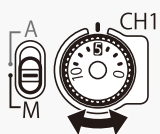
録音レベル切り換えスイッチをA（オート）にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

CH1、CH2、またはCH1 / CH2をマニュアルで調整する

INPUT 1 / INPUT 2端子の録音レベルをCH1、CH2のチャンネルごと、またはCH1 / CH2の2チャンネルをまとめて手動調整できます。調整は $-\infty \sim +18$ dBの範囲で行うことができます。調整後、オーディオ（録音レベル）カバーを閉じることによって、誤操作を防止できます。



1 録音レベル切り換えスイッチをM（マニュアル）にする



2 録音レベル調整つまみを回して、調整する

- つまみの0($-\infty$)～5(0 dB)～10(+18 dB)の範囲でレベルを調整できる。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの -18 dB (-20 dBのひとつ右隣り)より右が時々点灯するように調整する。



3 オーディオカバーを閉じる

CH3、CH4、またはCH3 / CH4を調整する

CH3、CH4、またはCH3 / CH4を調整するには、「主記録形式」(□ 68)で「CFast(RAW)」を選ぶか「MP4(SDカード)」を選び、「MP4オーディオ形式」(□ 109)を「LPCM 16 bit 4CH」に設定してください。



1 調整方法を選ぶ

- ① **1**2 オーディオ設定メニュー ▶ 「録音レベルCH3」、「録音レベルCH4」または「録音レベルCH3 / CH4」を順に選ぶ。
- ② 「オート」または「マニュアル」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 「マニュアル」を選んだとき 録音レベルを調整する

- ① 「CH3レベル」、「CH4レベル」または「CH3 / CH4レベル」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② ジョイスティックを上下に押して、0(−∞) ~ 50(0dB) ~ 100(+18dB)の範囲で録音レベルを調節する。
 - 画面に表示されるオーディオレベルメーターの−18dB(−20dBのひとつ右隣り)より右が時々点灯するように調節する。
- ③ ジョイスティックを押す。

INPUT端子(アナログ)、またはMIC(マイク)端子のCH1とCH2、CH3とCH4の録音レベル調整を連動させる

INPUT 1 / INPUT 2端子、またはMIC(マイク)端子が同じ音声入力(外部ライン、または外部マイク)に設定されている場合、CH1とCH2、またはCH3とCH4のレベル調整を連動させることができます。設定は、**1**1 オーディオ設定メニュー ▶ 「CH1/CH2 ALCリンク」または「CH3/CH4 ALCリンク」(□ 199)で設定します。「CH1/CH2 ALCリンク」を「連動」に設定すると、CH1の録音レベル切り換えスイッチと録音レベル調整つまみでCH1 / CH2の2チャンネルをまとめて調整できます。

「CH3/CH4 ALCリンク」を「連動」に設定すると、「録音レベルCH3 / CH4」と「CH3/CH4 レベル」でCH3 / CH4の2チャンネルをまとめて調整できます。

INPUT端子(アナログ)の音声信号レベルを制限する

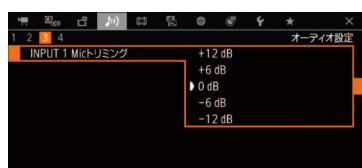
過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力信号が歪みはじめるレベルになると自動的に信号レベルを制限して歪みを低減します。INPUT 1端子 / INPUT 2端子のいずれかがアナログでかつマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、**1**3 オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT 1/2 リミッター」(□ 199)で行います。

MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- 「オーディオレベル」を割り当てたアサインボタンを押して、オーディオレベルメーターの表示を入 / 切することができます。(□ 130)

外部マイク (INPUT端子)の入力感度を調整する

INPUT 1 / INPUT 2端子切換スイッチがANALOGで、INPUT端子ANALOG(アナログ)入力切り換えスイッチがMIC、またはMIC+48Vのときに機能します。



- ① **♪3** オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT 1 Micトリミング」または「INPUT 2 Micトリミング」を順に選ぶ。
- ② 下記のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
+12 dB、+6 dB、0 dB、-6 dB、-12 dB

外部マイク (INPUT端子)のアッテネーターを使う

INPUT 1 / INPUT 2端子切換スイッチがANALOGで、INPUT端子ANALOG(アナログ)入力切り換えスイッチがMIC、またはMIC+48Vのときに機能します (Att.: Attenuator)。



- ① **♪3** オーディオ設定メニュー ▶ 「INPUT 1 Mic Att.」または「INPUT 2 Mic Att.」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - マイク信号にアッテネーター (20 dB)がかかる。

外部マイク (MIC端子)のアッテネーターを使う

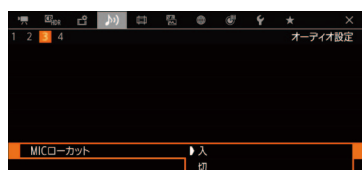
録音する入力音声 (🔊 109)に「MIC端子」を選んだときは、必要に応じてアッテネーターを使用できます。



- ① **♪3** オーディオ設定メニュー ▶ 「MIC Att.」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - マイク信号にアッテネーター (20 dB)がかかる。

外部マイク (MIC端子)のローカットを使う

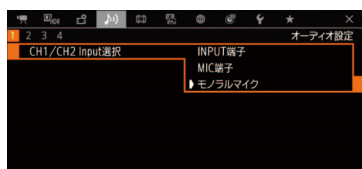
録音する入力音声 (🔊 109)に「MIC端子」を選んだときは、収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。



- ① **♪3** オーディオ設定メニュー ▶ 「MICローカット」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 入：海辺やビルの近くなど風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ポコポコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。
 - 切：一般的な音を録音するとき。

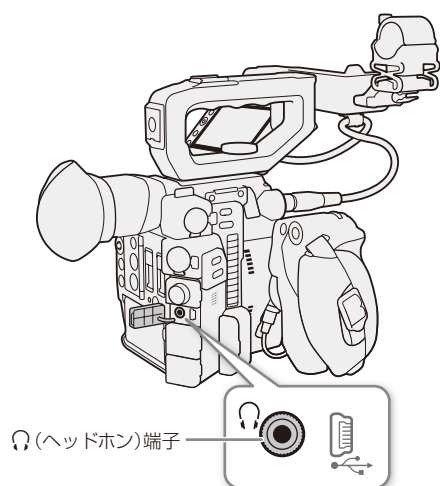
■ モノラルマイクを使う

モノラルマイクを使ってボイスメモ（モノラル音声）を記録すると、編集時、映像と音声を同期しやすくなります。モノラルマイクを使用するときはメニューで有効にします。また、モノラルマイクの録音レベルは常にオートで調整されます。



- ① **🔊1** オーディオ設定メニュー ▶ 「CH1/CH2 Input選択」または「CH3/CH4 Input選択」 ▶ 「モノラルマイク」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

■ ヘッドホンでモニターする



Φ3.5 mmステレオミニプラグのヘッドホンをつなぐ（ヘッドホン）端子に接続して、収録される音声をモニターできます。

MEMO

音量を調整するには

- **🔊4** オーディオ設定メニュー * ▶ 「ヘッドホン音量」で調整する。
* メディアモードのときは、**🔊1** オーディオ設定メニュー。
- 「ヘッドホン+」または「ヘッドホン-」を割り当てたアサインボタンで操作する（[130](#)）。

カラーバー/テストトーンを出力する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

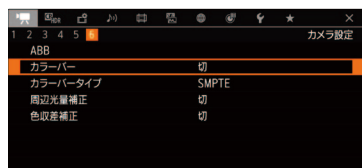
測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを表示／出力できます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力することもできます。

出力先

	VIDEO端子／C200 ファインダー	SDI端子	HDMI OUT端子	Ω(ヘッドホン端子)
カラーバー	●	●	●	—
テストトーン	—	●	●	●

カラーバーを表示／出力する

表示／出力するカラーバーは、SMPTE準拠、EBU準拠、ARIB準拠のいずれかをメニューで選べます。



1 カラーバーを表示する

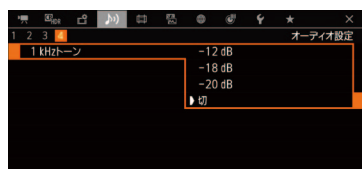
- ① 6 カメラ設定メニュー ▶ 「カラーバー」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 画面にカラーバーが表示される。
- ③ 6 カメラ設定メニュー ▶ 「カラーバータイプ」を順に選ぶ。
- ④ 「SMPTE」、「EBU」、「ARIB」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 電源を切る、メディアモードに切り換える、のいずれかを行うと、自動的に「切」になる。

MEMO

- 「カラーバー」を割り当てたアサインボタンを押して、入／切することもできます (130)。
- カラーバータイプは、プレ記録中や記録中に切り換えられません。

テストトーンを出力する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて-12 dB、-18 dB、-20 dBから選ぶことができます。



- ① 4 オーディオ設定メニュー ▶ 「1 kHz トーン」を順に選ぶ。
- ② 「-12 dB」、「-18 dB」、「-20 dB」、「切」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選択したレベルのテストトーンが出力される。

波形モニターを表示する

CAMERA MEDIA RAW MP4

画面に波形モニター（Waveform Monitor）を表示することができます。波形モニターのタイプは6種類から選択できます。また、波形の倍率を1倍と2倍から選択できます。



1 モニター表示を有効にする

- ① WFM(波形モニター)ボタンを押す。
 - WFM(波形モニター)ボタンを押すたびにモニター表示が入/切される。
 - 5 アシスト設定メニュー *1 ▶ 「WFM:VF+VIDEO端子」*2や「WFM : SDI」で入/切することもできる。

*1 メディアモードのときは、 1 アシスト設定メニュー。以下、同様。

*2 **C200B**「WFM : VIDEO端子」



2 波形モニターのタイプを選ぶ

- ① 5 アシスト設定メニュー *1 ▶ 「WFMタイプ」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ライン： ライン表示する。
 - ライン+スポット： ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
 - ラインセレクト： 赤い横線における波形を表示する。
 - フィールド： フィールド表示する。
 - RGB： R、G、B信号をパレード表示する。
 - YPbPr： Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。



3 ラインセレクトを選んだとき 波形を表示するラインのY座標を設定する

- ① 「WFMラインセレクト」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② ジョイスティックを上下に押して、ラインのY座標値を選ぶ。
- ③ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 垂直解像度が1080のときは0～1079の範囲（1ライン刻み）で、垂直解像度が2160のときは0から2158の範囲（2ライン刻み）で設定する。



4 波形の倍率を選ぶ

- ① 5 アシスト設定メニュー *1 ▶ 「WFM Gain」を順に選ぶ。
- ② 「1x」（1倍）または「2x」（2倍）を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

「2x」を選んだとき

- ① 「WFM Yポジション」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 波形モニターの縦軸（輝度）の表示範囲が50%になり、表示開始輝度（%）を選択できる。
- ② 「0%」、「15%」、「30%」、「45%」、「50%」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

MEMO

- 波形モニターは、VIDEO端子と**C200** ファインダー、SDI端子に出力できます（ 204）。
- VIDEO端子や**C200** ファインダー、SDI端子の映像にLUTを適用していても、波形モニターの波形には影響しません。
- 拡大表示を使用中、波形モニターは表示されません。
- カスタムピクチャーの「Knee」（ニー）を設定しているとき、ニーポイントに相当する輝度値に横線を表示します。

GPS情報を記録する

CAMERA

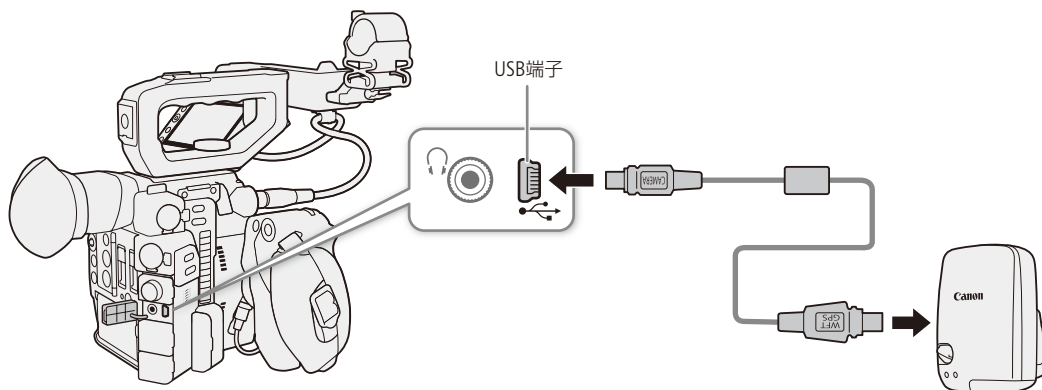
MEDIA

RAW

MP4

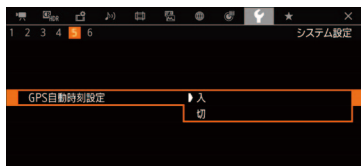
本機のUSB端子 (□ 13) にGPSレシーバー GP-E2 (別売) を接続して撮影すると、クリップや静止画のメタデータにGPSから取得した位置情報 (経度、緯度、標高。以下「GPS情報」) を記録できます。GPS情報の記録の有無は、クリップ情報画面で確認できます (□ 152)。GP-E2の取り付け方や詳細についてはGP-E2の説明書をご覧ください。

■ GPSレシーバーを取り付ける



日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。



- ① **5** システム設定メニュー ▶ 「GPS自動時刻設定」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 以降、本機を起動後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
 - GPS自動時刻設定が有効のときは **1** システム設定メニュー ▶ 「タイムゾーン」や「日付/時刻」を変更できません。

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 動画や静止画に記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画や静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO

- GPSから取得した位置情報や衛星捕捉状態、信号強度などをステータス画面で確認することもできます (□ 220)。
- **5** モニタリング設定メニュー ▶ 「表示単位系」で、長さの単位を選べます (□ 202)。
- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- SDI端子、またはHDMI OUT端子に接続したケーブルやユニットケーブルを、GPSレシーバーの近くに配置しないでください。GPS情報に影響することがあります。
- 動画に記録されるGPS情報は、撮影開始時点の位置情報です。

レックレビューで確認する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

カメラモードのままで、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。再生のしかたは、映像をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。

例：カメラアサイン8ボタンに「レックレビュー」を割り当てる場合



1 カメラアサイン8ボタンに「レックレビュー」を割り当てる (130)



2 レックレビューの再生範囲を設定する

- ① 5 システム設定メニュー ▶ 「レックレビュー」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
クリップ先頭から：クリップの先頭からすべて再生する。
最終4 sec：クリップの最後の4秒間のみを再生する。



FUNC



3 撮影が終了したあと 映像を再生して確認する

- ① カメラアサイン8ボタンを押す。
 - 画面に「▶ REVIEW」が表示される。
 - 操作2で設定した再生範囲に応じて、直前に撮影した映像が再生される。
 - ジョイスティックを左右に押すと、10秒前／10秒後にスキップできる。なお、前の秒数が10秒未満のときは先頭にスキップし、後ろの秒数が4秒未満のときはスキップしない。
 - 音声は、(ヘッドホン)端子、HDMI OUT端子、またはSDI端子から出力されます。

レックレビューを中止するとき

カメラアサイン8ボタン、またはCANCELを押す。

- レックレビューが終了すると、自動的に撮影一時停止状態 (STBY)に戻る。

MEMO

- 撮影中に記録先のメディアが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となったメディア内のクリップが再生されます。

プロキシ動画を同時に記録する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

CFastカードにメイン動画（RAW形式）を記録しながら、SDカードにプロキシ動画（MP4形式）を記録できます。プロキシ動画の記録信号形式*¹は、2K(2048×1080) YCbCr 4:2:0 8 bitで、ビットレート*²は35 Mbpsと比較的低いため、オフライン編集に向いています。オーディオ形式は、MPEG-4 AAC-LC（2チャンネル、16 bit）とリニアPCM（4チャンネル、16bit）から選択できます（[□ 109](#)）。

*¹ フレームレートは、メイン動画と同一です。

*² メイン動画の記録信号形式に応じて自動的に決まります。ビットレートの方式は、VBR（可変）固定です。



1 メイン動画の形式を「RAW(CFast)」に設定する（[□ 68](#)）



2 プロキシ動画の同時記録を有効にする

- ① 1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「サブ記録設定」を順に選ぶ。
- ② 「MP4(SDカード)」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



3 オーディオ形式を選ぶ（[□ 109](#)）



4 REC(記録開始／停止)ボタンを押して、記録開始／一時停止する

- メイン動画の記録開始と同時に、プロキシ動画の記録が開始される。
- もう一度RECボタンを押すと、メイン動画とともにプロキシ動画の記録が一時停止され、プロキシクリップがSDカードに記録される。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。

MEMO

- 同時記録中にメイン動画の記録が停止すると、プロキシ動画の記録も停止します。
- SDHCメモリーカードに記録するとき、クリップ内の映像ファイル（ストリーム）は約4 GB毎に分割されます。本機では連続して再生されます。
- HDR出力時（[□ 158](#)）は、プロキシ動画に「LUT：BT.709」のLUT（[□ 159](#)）が自動で適用されます。
- CFastカードスロットにカードが入っていないときは、プロキシ動画は記録できません。

特殊記録を行う

CAMERA MEDIA RAW MP4

次の4種類の特殊記録を行うことができます。

- スローモーション記録： 再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションの効果を得る。
- ブレ記録： 撮影開始時点の一定時間前から記録することで、撮影開始操作が遅れたときの撮り逃がしを防ぐ。
- フレーム記録： 1フレーム固定の映像を記録する。クリエイティブアニメを撮影するときなどに有効。
- インターバル記録： あらかじめ設定した記録間隔で、間欠的に記録を行う。フレーム数は1フレーム固定。自然や植物など動きの少ない被写体を撮影するとき有効。

■ スローモーション記録を行う

再生時のフレームレート*と異なるフレームレート（撮影フレームレート）で、プログレッシブ方式で記録できます。再生時のフレームレートより高いフレームレートで撮影し、再生するとスローモーション効果（最低1/5倍速）が得られます。音声は記録されません（ミュート）。ひとつのクリップに、再生時間で約6時間分以上の記録はできません。

* 記録信号形式で設定しているフレームレート。

設定可能な撮影フレームレートと撮影可能な時間（目安）

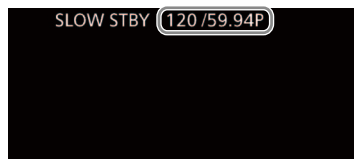
記録信号形式			撮影フレームレート	ひとつのクリップに撮影可能な時間（再生約6時間分）
フレームレート	解像度	カラーサンプリング		
59.94P	1920×1080	YCbCr 4:2:0 8 bit	119.88P	約3時間
29.97P				約1時間30分
23.98P				約1時間12分
24.00P			120P	約2時間30分
50.00P			100P	約1時間15分
25.00P				約1時間12分

設定する



1 スローモーション記録を有効にする

- ① 1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「記録モード」を順に選ぶ。
- ② 「スローモーション記録」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 画面に「SLOW STBY」が表示され、スローモーション記録モードになる。
 - 画面に、設定されているフレームレート（撮影フレームレート／再生フレームレート）が表示される。
 - 撮影フレームレートが119.88Pのときも、画面には「120」と表示される。



スローモーション記録モードで撮影する



1 RECボタンを押す

- 設定した撮影フレームレートで記録される。
- 画面に「●SLOW REC」が表示され、タリールンプが点灯する。



2 撮影を停止するとき もう一度RECボタンを押す

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。
- 画面に「SLOW STBY」が表示され、タリールンプは消灯する。
- 1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「記録モード」で、他の特殊記録を選ぶか「通常記録」を選ぶとスローモーション記録モードが終了する。

MEMO

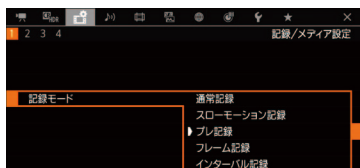
- インターバル記録、フレーム記録、ブレ記録と同時に使用することはできません。
- スローモーション記録モードで撮影中に、撮影フレームレートを変更することはできません。
- タイムコードはSDI端子、またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されません。
- システム周波数またはフレームレートを変更すると、スローモーション記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

スローモーション記録中のタイムコード

- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)で記録される。
- Free Run(フリーラン)に設定しているときにスローモーション記録モードにすると、強制的にRec Runに設定される。
- スローモーション記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

プレ記録を行う

プレ記録モードでは、REC(記録開始／停止)ボタンを押して撮影を開始する一定時間(3秒)前からの映像と音声を記録することができます。



- 1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「記録モード」を順に選ぶ。
- 2 「プレ記録」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 画面に「PRE REC STBY」が表示され、プレ記録モードになる。
- 3 REC(記録開始／停止)ボタンを押す。
 - 撮影が開始される。
 - 画面に「●PRE REC」が表示されて、タリールンプが点灯する。
- 4 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始／停止)ボタンを押す。
 - 撮影開始から、プレ記録時間分さかのぼった時点からの映像が記録される。
 - 画面に「PRE REC STBY」が表示され、タリールンプは消灯する。

MEMO

- スローモーション記録、インターバル記録、フレーム記録と同時に使用することはできません。
- システム周波数、フレームレート、または解像度/カラーサンプリングを変更すると、プレ記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

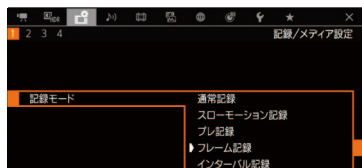
プレ記録中のタイムコード

- タイムコードの記録は、撮影開始操作からプレ記録時間分さかのぼった時点から行われる。
- Free Run(フリーラン)で記録される。
- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Runに設定される。
- プレ記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

■ フレーム記録を行う

1フレーム固定の映像を記録します。記録中、音声は記録されません(ミュート)。撮影時は、カメラ本体を三脚などに固定してリモートで操作することをおすすめします。

設定する



1 フレーム記録を有効にする

- ① 記録/メディア設定メニュー ▶ 「記録モード」を順に選ぶ。
- ② 「フレーム記録」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 画面に「FRM STBY」(FRMが点滅)が表示され、フレーム記録モードになる。

撮影する



1 フレーム記録モードで撮影する

- ① REC(記録開始/停止)ボタンを押す。
 - フレーム記録モードになり、画面に「●FRM REC」が表示されてタリーランプが点灯する。
 - 1フレームが記録され、画面の表示が「●FRM STBY」に変わる。
- ② 撮影したいシーンで①の操作を繰り返し行う。



2 撮影を停止するとき フレーム記録を無効にする

- ① 記録／メディア設定メニュー ▶ 「記録モード」を順に選ぶ。
- ② 「通常記録」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - フレーム記録モードが終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
 - 画面に「STBY」が表示され、タリールンプは消灯する。

MEMO

- インターバル記録、スローモーション記録、プレ記録と同時に使用することはできません。
- クリップの末尾に、フレーム記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- システム周波数、フレームレート、または解像度/カラーサンプリングを変更すると、フレーム記録モードは解除されます。

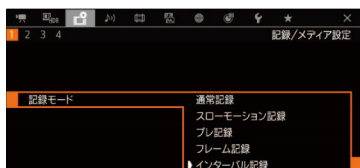
フレーム記録中のタイムコード

- Rec Run(レックラン)、またはRegen.(リジェネ)で記録される。
- Free Run(フリーラン)の状態ではフレーム記録モードにすると、強制的にRec Runに設定される。
- フレーム記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。
- タイムコードは、SDI端子またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されない。

■ インターバル記録を行う

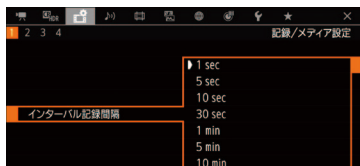
記録間隔をあらかじめ設定して撮影を行うと、間欠的に映像を自動記録できます。記録フレームは1フレーム固定です。記録中、音声は記録されません(ミュート)。

設定する



1 インターバル記録を有効にする

- ① 記録／メディア設定メニュー ▶ 「記録モード」を順に選ぶ。
- ② 「インターバル記録」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 画面に「INT STBY」(INTが点滅)が表示され、インターバル記録モードになる。



2 記録間隔を設定する

- ① 記録／メディア設定メニュー ▶ 「インターバル記録間隔」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかの時間を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

1秒*、5秒、10秒、30秒、1分*、5分、10分

* メニュー上、秒は「sec」、分は「min」と表示される。

インターバル記録モードで撮影する



1 REC(記録開始／停止)ボタンを押す

- 設定した記録間隔おきに、1フレームずつ自動的に記録される。
- タリールンプが点灯し、画面に「●INT REC」が表示される。



2 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始／停止)ボタンを押す

- 撮影が終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
- 画面に「INT STBY」(INTが点滅)が表示され、タリールンプは消灯する。
- 1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「記録モード」で、他の特殊記録を選ぶか「通常記録」を選ぶとインターバル記録モードが終了する。

MEMO

- フレーム記録、スローモーション記録、プレ記録と同時に使用することはできません。
- インターバル記録モードで撮影中に、記録間隔を変更することはできません。
- クリップの末尾に、インターバル記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- システム周波数、フレームレート、または解像度/カラーサンプリングを変更すると、インターバル記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

インターバル記録中のタイムコード

- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)で記録される。
- Free Run(フリーラン)の状態ではインターバル記録モードにすると、強制的にRec Runに設定される。
- インターバル記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。
- タイムコードは、SDI端子またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されない。

静止画を記録する

カメラモードで撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録することができます。静止画はSDカードB(SD CARD **B**)のみ記録できます。記録される静止画のサイズは次のとおりです。

動画の解像度	静止画サイズ	1枚あたりのファイルサイズ(目安)
4096×2160	2048×1080	約930 KB
3840×2160	3840×2160	約3080 KB
1920×1080	1920×1080	約880 KB

■ カメラモードで静止画を記録する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

カメラモードで、「Photo」を割り当てたアサインボタンを押して、静止画を記録できます。

例：カメラアサイン8ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合



1 カメラアサイン8ボタンに「Photo」を割り当てる (130)

FUNC



2 動画撮影一時停止中 静止画を記録する

- ① カメラアサイン8ボタンを押す。
 - 「**B**」と記録可能枚数が表示され、静止画がSDカードに記録される。
 - 記録中はSDカードBのSDカードアクセスランプが点灯する。

ご注意

SDカードBのSDカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードを取り出さない。

MEMO

- プレ記録モードのときは静止画を記録できません。
- ブラウザーリモートの動作中は、静止画を記録できません。
- 静止画を記録するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

静止画を再生する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

SDカードに記録した静止画を再生することができます。静止画はSDカードB(SD CARD **B**)のみ再生できません。

■ 静止画インデックス画面を表示する

静止画を再生するときは、メディアモードで静止画インデックス画面に切り換えます。

撮
影



1 POWER(電源)スイッチをMEDIAにする

2 静止画インデックス画面に切り換える (147)

■ 静止画を再生する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生にはカメラ本体の各種再生操作ボタンを使用します。カメラ本体のボタン操作では、▶/|| (再生／一時停止)、■ (停止)が行えるほか、ジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、再生する静止画を選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル (オレンジ色の枠) が移動するので、再生したい静止画に合わせる。



2 ▶/|| (再生／一時停止) ボタンを押す

- 静止画が再生される (1枚表示される)。



前の静止画／次の静止画に移動するとき

ジョイスティックを押すと次の静止画に移動する。

撮影日付などの撮影情報の表示をON/OFFするとき

DISP(ディスプレイ)ボタン、または「Display」を割り当てたアサインボタンを押す。

再生を終える (インデックス画面に戻る)とき

- (停止) ボタンを押す。

ご注意

- SDカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - SDカードを取り出さない。

MEMO

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 本機以外の製品で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工、ファイル名の変更をしたとき。

静止画を消去する

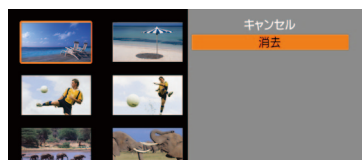
CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

不要な静止画を1枚ずつ消去できます。



- ① 消去する静止画を静止画インデックス画面で選ぶ。
- ② ジョイスティックを押す ▶ 「消去」を選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選択した静止画が消去される。
- ④ ジョイスティックを押す。

RC-V100(別売)でリモート撮影する

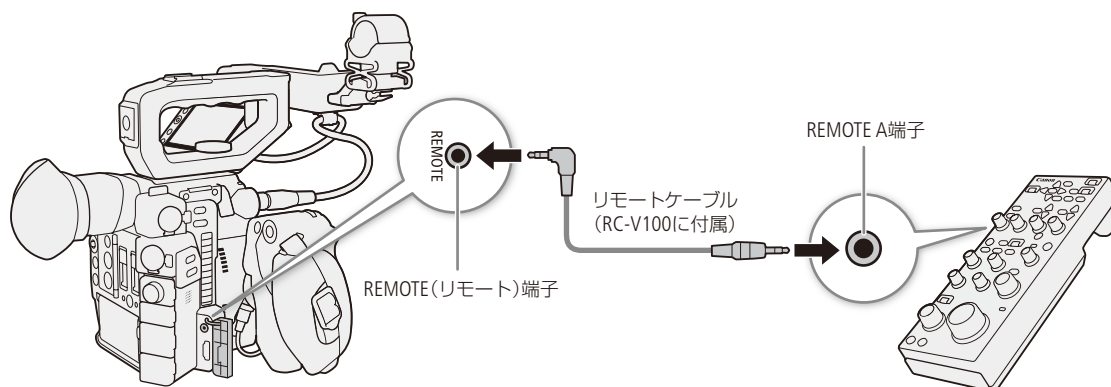
CAMERA

MEDIA

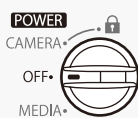
RAW

MP4

本機のREMOTE端子 (13) にリモートコントローラー RC-V100(別売)を接続すると、リモートで操作できます。電源の入/切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッターなどのカメラ設定や、ニー、シャープネスなどの画質調整ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。



撮影



1 POWER(電源)スイッチをOFFにして、RC-V100を本機につなぐ

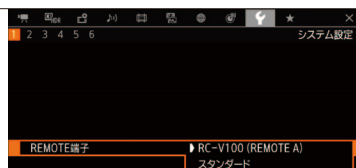


2 POWER(電源)スイッチをCAMERAにする



3 RC-V100を有効にする

- ① 1 システム設定メニュー ▶ 「REMOTE端子」を順に選ぶ。
- ② 「RC-V100 (REMOTE A)」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

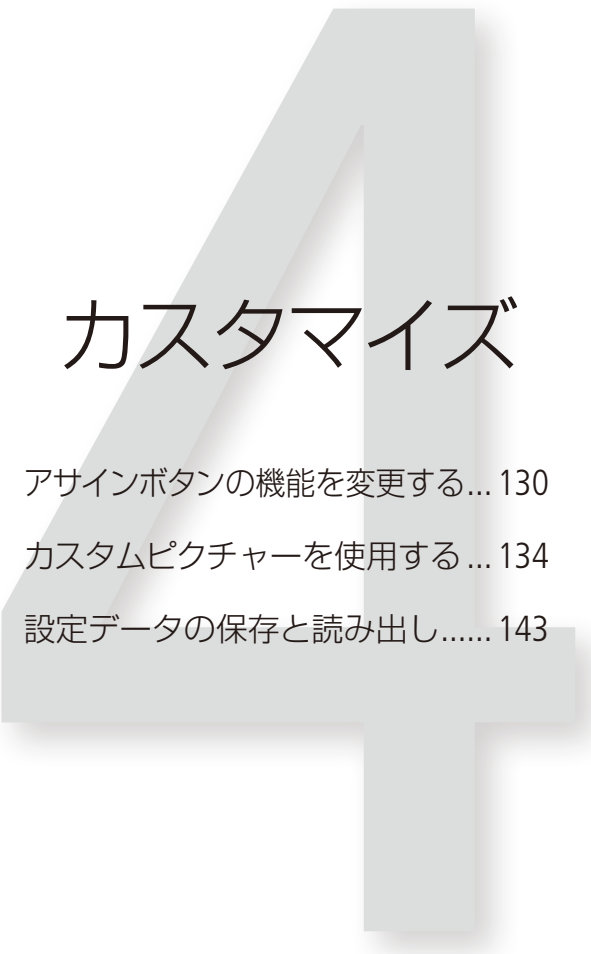


MEMO

本機で動作しないボタン/ダイヤル

- AGCボタン
- AUTO KNEEボタン
- AFボタン

- AUTO IRISボタンは、対応するEFレンズ (248) を装着しているときのみ使用可能です。
- ZOOMダイヤルは、ズーム調整に対応するEFシネマレンズ (248) を装着しているときのみ使用可能です。
- RC-V100の画質調整 (142) は、CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Activate Other Settings」が「On」のときのみ使用できます (136)。



カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する... 130

カスタムピクチャーを使用する... 134

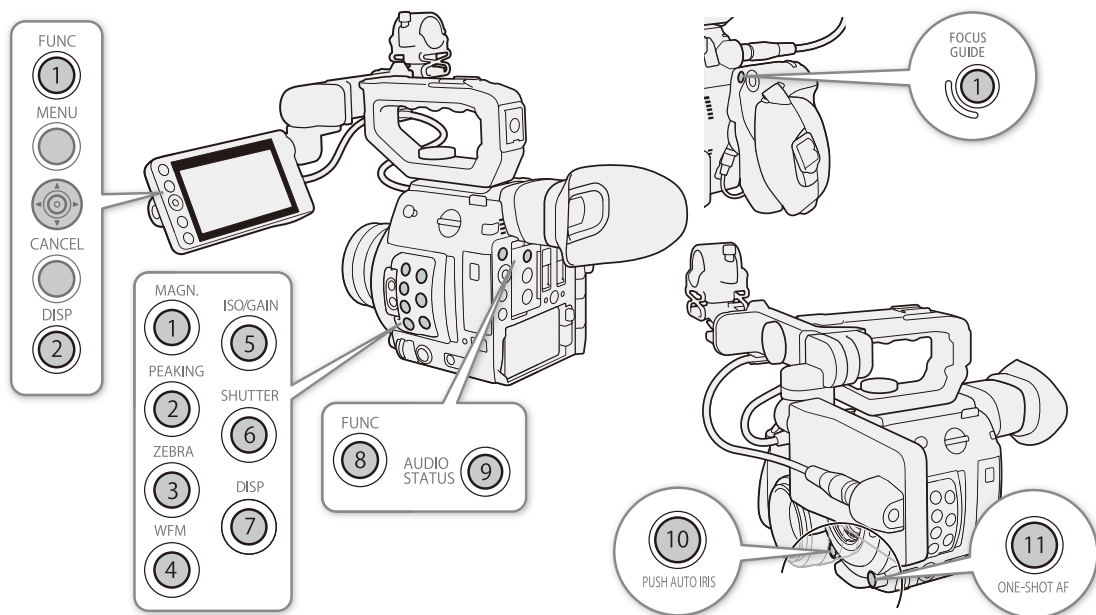
設定データの保存と読み出し..... 143

アサインボタンの機能を変更する

CAMERA MEDIA RAW MP4

カメラ本体に11個、LCDモニター LM-V1*に2個、カメラグリップGR-V1*に1個のアサインボタンがあり、リモートコントローラー RC-V100 (別売) や有機EL電子ビューファインダー EVF-V70 (別売) を取り付ければ、さらにそれぞれ4個のアサインボタンを使用できます。使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。なお、LM-V1やGR-V1などの装着状況によって、使用できるアサインボタンが異なります。

* C200は付属、C200Bは別売。



カメラアサインボタンとLCDモニターアサインボタン、カメラグリップアサイン1ボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。

アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
One-Shot AF	ワンショットAFを実行する。	●	
AFロック*	コンティニュアスAF中にフォーカス位置を固定する。	●	
顔検出AF	顔検出AFの顔優先／顔限定を切り換える。	●	
顔検出	顔検出の入／切を切り換える。	●	
追尾	追尾の入／切を切り換える。	●	
フォーカスガイド	デュアルピクセルフォーカスガイドの入／切を切り換える。	●	
ピーキング	ピーキングの入／切を切り換える。	●	
ピーキング：VIDEO端子	VIDEO端子のピーキングの入／切を切り換える。	●	
C200 ピーキング：VF	ファインダーのピーキングの入／切を切り換える。	●	
Magnification	拡大表示の入／切を切り換える。	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
C200 Magnification : VF+VIDEO端子	ファインダーとVIDEO端子の拡大表示の入／切を切り換える。	●	
C200B Magnification : VIDEO端子			
Magnification : SDI/HDMI	SDI端子またはHDMI OUT端子の拡大表示の入／切を切り換える。	●	
Push Auto Iris	プッシュオートアイリスを実行する。	●	
Irisモード	アイリスのモードを切り換える。	●	
Iris +	F値を調整する。押すたびに、絞りを開く。	●	
Iris -	F値を調整する。押すたびに、絞りを絞る。	●	
ND +	NDフィルターを正順（濃くなる方向）に切り換える。	●	
ND -	NDフィルターを逆順（薄くなる方向）に切り換える。	●	
AEシフト +	露出を明るめに調整する。	●	
AEシフト -	露出を暗めに調整する。	●	
バックライト	測光方式のバックライトの入／切を切り換える。	●	
スポットライト	測光方式のスポットライトの入／切を切り換える。	●	
ゼブラ	ゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
ゼブラ : VIDEO端子	VIDEO端子のゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
C200 ゼブラ : VF	ファインダーのゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
WFM	波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
C200 WFM : VF+VIDEO端子	ファインダーとVIDEO端子の波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
C200B WFM : VIDEO端子			
WFM : SDI	SDI端子の波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
LUT	適用するLUTを切り換える。	●	
LUT : VIDEO端子	VIDEO端子に適用するLUTを切り換える。	●	
C200 LUT : VF	ファインダーに適用するLUTを切り換える。	●	
LUT : SDI	SDI端子に適用するLUTを切り換える。	●	
White Balanceセット	ホワイトバランスセットの白取り込みを実行する。	●	
AWBホールド	オートホワイトバランスのホールドの入／切を切り換える。	●	
AWB AWB	ホワイトバランスの調整方法をオートホワイトバランスに変更する。	●	
 セットA /  セットB	ホワイトバランスの調整方法をセットAまたはセットBに変更する。	●	
 太陽光	ホワイトバランスの調整方法を太陽光に変更する。	●	
 電球	ホワイトバランスの調整方法を電球に変更する。	●	
K Kelvin	ホワイトバランスの調整方法を色温度に変更する。	●	
LCD LM-V1設定	 1 モニタリング設定メニューを表示する。	●	●
C200 VF設定	 2 モニタリング設定メニューを表示する。	●	●

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
EVF-V70設定	 3 モニタリング設定メニューを表示する。有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)装着時のみ。	●	●
オンスクリーン表示	端子からの出力映像に画面表示を重畳する／しないを切り換える。	●	●
Display	画面の表示レベルを切り換える。	●	●
マーカー	マーカーの入／切を切り換える。	●	
C200 マーカー：VF+VIDEO端子 C200B マーカー：VIDEO端子	ファインダーとVIDEO端子のマーカーの入／切を切り換える。	●	
マーカー：SDI/HDMI	SDI端子またはHDMI OUT端子のマーカーの入／切を切り換える。	●	
カラーバー	カラーバーの入／切を切り換える。	●	
Photo *	静止画を記録する。	●	
レックレビュー *	カメラモードのままで、最後に撮影したクリップを再生する。	●	
Time Code	 3 システム設定メニューを表示する。	●	
Time Codeホールド *	画面に表示されるタイムコード値を保持／保持解除を切り換える。	●	●
ヘッドホン+	ヘッドホンの音量を大きくする。	●	●
ヘッドホン-	ヘッドホンの音量を小さくする。	●	●
モニターチャンネル	 (ヘッドホン) 端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	●	●
オーディオレベル	オーディオレベルメーター表示の入／切を切り換える。	●	●
FUNC	FUNCボタンの機能を割り当てる。	●	
スローモーション記録	スローモーション記録モードに切り換える。	●	
Shutter	カメラダイレクト設定のシャッタースピード設定に切り換える。	●	
ISO/Gain	カメラダイレクト設定のISO感度／ゲイン設定に切り換える。	●	
White Balance	カメラダイレクト設定のホワイトバランス設定に切り換える。	●	
ステータス*	ステータス画面を表示する。	●	●
オーディオステータス	オーディオ専用のステータス画面を表示する	●	●
Custom Picture/HDR	 1 Custom Picture/HDR設定メニューを表示する	●	
マイメニュー	マイメニューを表示する。	●	
メディア初期化	メディア初期化メニューを表示する。	●	●
ユーザー設定*	任意のメニュー項目を表示する。	●	●

* アサインボタンのみの機能

機能を変更する

例：カメラアサイン8ボタンに「マーカ―」を割り当てる場合

MENU



FUNC



1 機能を割り当てる

- ① MENUボタンを押しながらカメラアサイン8ボタンを押す
 - カメラアサイン8ボタンに割り当てる機能選択画面が表示される。
 - 2 アサインボタンメニュー ▶ 「8」を選んでも表示できる。
- ② 「マーカ―」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

「ユーザー設定」を選んだとき

- 割り当てるメニュー項目を選ぶ画面になる。
- ジョイスティックで任意のメニュー項目を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- 「ユーザー設定」が選んだメニュー項目の名称 (先頭にMENUが付く) に変わる。



アサインボタンに割り当てた機能を使う

FUNC



必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押して項目を選び、ジョイスティックを押します。

MEMO

- アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます (215)。
- 1 システム設定メニュー ▶ 「リセット」 ▶ 「アサインボタン」で、アサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます (207)。

カスタムピクチャーを使用する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。カスタムピクチャーファイルは本機とSDカードに20セット保存でき、本機とSDカードとの間で相互にコピーすることもできます。カスタムピクチャーファイルの保存やコピーは、SDカードB (SD CARD **B**) のみ行えます。

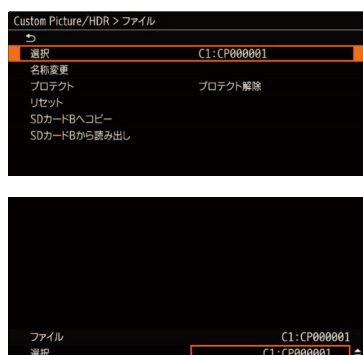
機能分類	機能	設定項目	📖
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	139
	ブラックガンマ	Black Gamma	140
	マスターペDESTAL	Black — Master Pedestal	139
	マスターブラック	Black — Master Black	140
	ニー	Knee	140
	セットアップ	Other Functions — Setup Level	141
	100%オーバー	Other Functions — Over 100%	142
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness — Level	140
	シャープネス水平帯域	Sharpness — H Detail Freq.	140
	シャープネスHVバランス	Sharpness — HV Detail Bal.	141
	シャープネスリミット	Sharpness — Limit	141
	シャープネスセレクト	Sharpness — Select	141
	ニーアパーチャー	Sharpness — Knee Aperture	141
	輝度適応シャープネス	Sharpness — Level Depend	141
	コアリングレベル	Sharpness — Coring Level	140
	輝度適応コアリング	Sharpness — Coring D-Ofst / Coring D-Curve	140
	ノイズリダクション	Noise Reduction	141
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	カラーマトリックス	Color Matrix	139
	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	140
	ニーサチュレーション	Knee — Saturation	140
	カラーゲイン	Color Matrix Tuning — Gain	141
	色相	Color Matrix Tuning — Phase	141
	色調	Color Matrix Tuning — R-G / R-B / G-R / G-B / B-R / B-G	141
	ホワイトバランス	White Balance	141

MEMO

- SDカードに保存したカスタムピクチャーファイルは、C200 / C200Bのみで使用可能です。

■ カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておく、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。カスタムピクチャーファイルの編集／登録、名称変更、プロテクト、コピーを行うときも、その対象となるカスタムピクチャーファイルを選びます。



1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

- ① Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「ファイル」 ▶ 「選択」を順に選ぶ。
 - カスタムピクチャーの選択画面が表示される。
 - 本機に保存されているカスタムピクチャーファイル (C1 ～ C20) が選択可能になる。
 - SDカードに入っているカスタムピクチャーファイルを使うときは、あらかじめ本機にコピーする (138)。
- ② ジョイスティックを上下に押して、いずれかのカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選んだカスタムピクチャーファイルに登録されている設定に調整される。
 - 選択しているガンマと、「Other Settings」で調整 (「Activate Other Settings」が「On」)時は が画面に表示される。

ガンマ、カラーマトリックスのプリセットについて

あらかじめ次の組み合わせのプリセットが用意されています。プリセットを使わないときは、 Custom Picture/HDR設定メニューでガンマ、カラーマトリックスを個別に選択できます。プリセット、またはガンマとカラーマトリックスを選んだ後、「Activate Other Settings」を「On」にすると「Other Settings」で詳細な設定を調整することができます。プリセットの色空間はBT.709設定です。

プリセット (Preset)	ガンマ (Gamma)	カラーマトリックス (Color Matrix)	特徴
Canon Log 3	Canon Log 3	Neutral	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log 3ガンマを使用。Canon Logの特徴を残したままダイナミックレンジを拡大した。
Canon Log	Canon Log	Cinema EOS Original	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log ガンマを使用。ダイナミックレンジが広く、ポストプロダクションに適した色調。
BT.709	Wide DR	Neutral	広いダイナミックレンジを実現。

MEMO

Canon LogなどのLogガンマを使用する

- ポストプロダクション処理を前提とするガンマで、撮像素子の特性を最大限に引き出す広いダイナミックレンジを実現できます。
- 撮影中、VIDEO端子、**C200** ファインダー、SDI端子の出力にLUTを適用し、モニタリングに適したガンマに変換できます。
- 撮影したクリップをポストプロダクション処理する際、LUT(ルックアップテーブル)*を適用できます。
* 最新のLUTデータについては、キャノンのホームページでご確認ください。

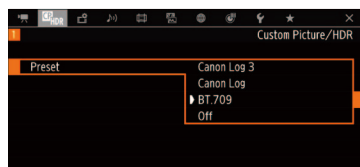
RC-V100リモートコントローラー (別売)を使うとき

- リモートコントローラー RC-V100 (別売) のCUSTOM PICT.ボタンを押して、**CP_{HDR}** Custom Picture/HDR設定メニューを表示することもできます。
- プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません (142)。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。大切なカスタムピクチャーファイルはSDカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、RC-V100で調整してください。

画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する

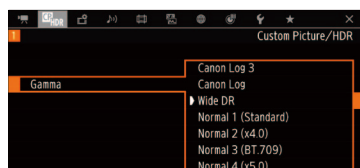
撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておく、次に使用するとき、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。

1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ (135)



2 プリセットを使用するとき プリセットを選ぶ

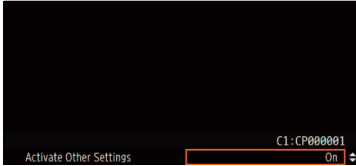
- ① **CP_{HDR}** 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Preset」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - プリセットを使用しないときは「Off」を選ぶ。



3 「Off」を選んだとき ガンマとカラーマトリックスを選ぶ

参考 ▶ **CP_{HDR}** 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Gamma」、「Color Matrix」 (139)

- ① **CP_{HDR}** 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Gamma」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 同様に**CP_{HDR}** 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Color Matrix」を順に選んで、カラーマトリックスを選択する。



4 画質調整の設定を行う

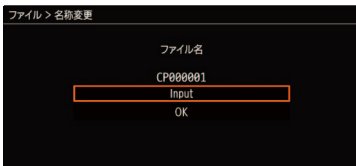
参考 ▶▶ CP_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Activate Other Settings」 (139)

例： Master Pedestal(マスターペデスタル)を調整する場合

- ① CP_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Activate Other Settings」を順に選ぶ。
- ② 「On」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ CP_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Other Settings」 ▶ 「Black」 ▶ 「Master Pedestal」を順に選ぶ。
- ④ ジョイスティックを上下に押して値を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

設定を初期設定に戻すとき

- ① CP_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「ファイル」 ▶ 「リセット」を順に選ぶ。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



5 カスタムピクチャーファイルの名前を設定する

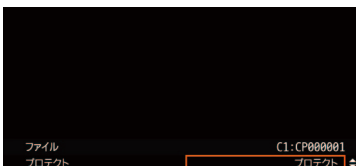
- ① CP_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「ファイル」 ▶ 「名称変更」を順に選ぶ。
- ② 「Input」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 8文字の英数字・記号で名前を入力し「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

参考 ▶▶ 「文字入力のしかた」(38)

- カスタムピクチャーファイルの名前が決定される。

カスタムピクチャーファイルをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーファイルをプロテクトすることができます。



- ① プロテクトするカスタムピクチャーファイルを選ぶ (135)。
 - ② CP_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「ファイル」 ▶ 「プロテクト」を順に選ぶ。
 - ③ 「プロテクト」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- カスタムピクチャー選択画面で表示されるカスタムピクチャーファイル名に  が表示されるようになる。

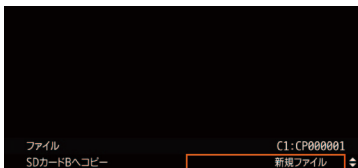
■ カスタムピクチャーファイルをコピーする

カスタムピクチャーファイルを本機とSDカードBとの間で相互にコピーすることができます。

SDカードBへコピー： 選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードBにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶことができる。

SDカードBから読み出し： 選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードBのカスタムピクチャーファイルで上書きする。

選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードにコピーする



- ① カスタムピクチャーファイルを選ぶ (📖 135)。
- ② 「SDカードBへコピー」を選ぶ。
- ③ SDカードB内のコピー先となるカスタムピクチャーファイル、または「新規ファイル」*を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - * SDカードB内のカスタムピクチャーファイルが20セット未満のときは、「新規ファイル」が表示される。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）がSDカードBにコピーされる。
 - 「新規ファイル」を選んだときは、自動的に最後に追加される。
- ⑤ ジョイスティックを押す。

選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードのカスタムピクチャーファイルで置き換える



- ① カスタムピクチャーファイルを選ぶ (📖 135)。
- ② 「SDカードBから読み出し」を選ぶ。
- ③ SDカードB内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選択中のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
- ⑤ ジョイスティックを押す。

■ カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字で記載しています。

設定項目／内容・設定値

Preset

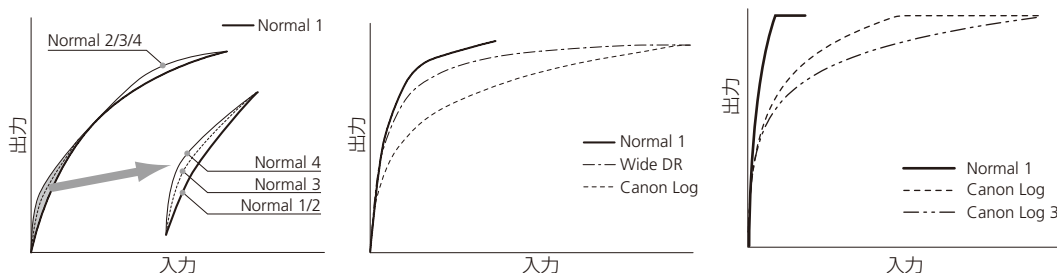
あらかじめ用意された標準的な設定。Canon LogなどのLogガンマを使用する設定は、ポストプロダクション処理が前提となる。ガンマ、色空間、カラーマトリックスの組み合わせは次のとおり。

Canon Log 3	: Canon Log 3 / BT.709 Gamut / Neutral
Canon Log	: Canon Log / BT.709 Gamut / Cinema EOS Original
BT.709	: Wide DR / BT.709 Gamut / Neutral
Off	

Gamma

Preset(プリセット)が「Off」のときに、映像全体のテイストを決めるガンマカーブを選択する。

Canon Log 3 :	Canon Logの特徴を残したまま、ダイナミックレンジを広くしたガンマ。ポストプロダクション処理が前提。
Canon Log :	ダイナミックレンジを広くとる。ポストプロダクション処理が前提。
Wide DR :	広いダイナミックレンジを確保。TVモニターに出力するとき。
Normal 1 (Standard) :	TVモニターで見るとき。
Normal 2 (x4.0) :	TVモニターで見るとき。Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影。
Normal 3 (BT.709) :	TVモニターで見るとき。Normal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。
Normal 4 (x5.0) :	TVモニターで見るとき。Normal 3に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。



Color Matrix

Preset(プリセット)が「Off」のときに、映像の色調を選択する。

Neutral :	忠実な色再現。
Production Camera :	映画制作作用の色再現。
Cinema EOS Original :	EOS C500の4K出力 (BT.709) と同等の色再現。
Video :	EOS C300 / C500でカスタムピクチャーをOffにしたときと同等の色再現。
Off :	色調を調整しない。

Activate Other Settings

設定値 : On, **Off** / 内容 : Other Settings(その他の設定)の調整の有効/無効を設定する。

Other Settings ▶ Black ▶ Master Pedestal*

設定値 : ± 50 (± 0)

黒のレベルを調整する。値を高くするほど暗部が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。

* 「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」を選択時は、無効。

設定項目／内容・設定値

Other Settings ▶ Black ▶ Master Black Red*, Master Black Green*, Master Black Blue*

設定値： ±50 (±0)

黒の色かぶりをRGB個別に補正する。

*「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」を選択時は、無効。

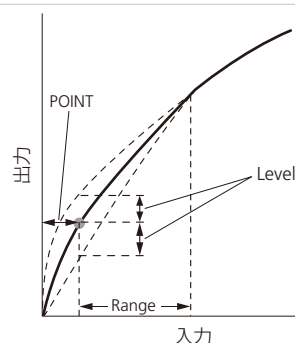
Other Settings ▶ Black Gamma ▶ Level, Range, Point

低輝度部のガンマを補正する。各値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」、「Wide DR」を選択時は、無効。

Level [±50 (±0)] : 基準ガンマからの高さ

Range [−20 ~ 50 (±0)] : Pointからの幅

Point [−20 ~ 50 (±0)] : 頂点の位置



Other Settings ▶ Low Key Satur. ▶ Activate, Level

低輝度領域の色の濃い／薄いを調整する。

Activate [On, Off] : Onにすると、ローキーサチュレーションによる調整を有効する。

Level [±50 (±0)] : 低輝度領域の色の濃さ、薄さを設定する。

Other Settings ▶ Knee ▶ Activate, Slope, Point, Saturation

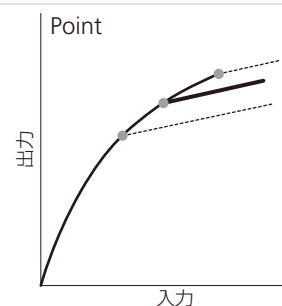
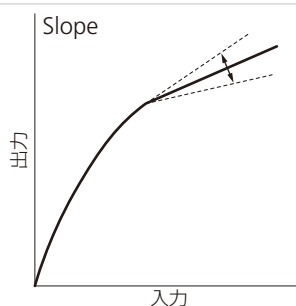
高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」、「Wide DR」を選択時は、無効。

Activate [On, Off] : Onにすると、ニーの調整を有効にする。

Slope [−35 ~ 50 (±0)] : ニーの傾き。

Point [50 ~ 109 (95)] : ニーポイント。

Saturation [±10 (±0)] : 高輝度部における色の濃さ・薄さ。



Other Settings ▶ Sharpness ▶ Level

設定値： −10 ~ 50 (±0) / 内容：輪郭強調のレベルを調整する。

Other Settings ▶ Sharpness ▶ H Detail Freq.

設定値： ±8 (±0)

水平の輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。

Other Settings ▶ Sharpness ▶ Coring Level, Coring D-Ofst, Coring D-Curve

輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する(コアリング)。輝度に応じてコアリングのレベルを変えることもできる(輝度適応コアリング)。

Coring Level [−30 ~ 50 (±0)] : コアリングのレベル。大きくすると、微かな輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。

Coring D-Ofst [0 ~ 50] : 最低輝度のコアリングレベル(レベルディペンド・オフセット)。

Coring D-Curve [0 ~ 8] : Coring LevelからCoring D-Ofstまでの変化のしかた(レベルディペンド・カーブ)。

設定項目／内容・設定値

Other Settings ▶ Sharpness ▶ HV Detail Bal.

設定値： ±8 (±0)

輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。

Other Settings ▶ Sharpness ▶ Limit

設定値： ±50 (±0) / 内容：輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。

Other Settings ▶ Sharpness ▶ Select

設定値： 0 ~ 15

Levelで設定した通常の輪郭強調に加えて、より高い周波数成分を含む輪郭強調をかけるときに設定する。数値が大きくなるほど高い周波数成分を含む輪郭強調のレベルが強くなる。通常の輪郭強調では鮮明になりにくい被写体を使用する。

Other Settings ▶ Sharpness ▶ Knee Aperture Gain, Knee Aperture Slope

二点より輝度が高い領域だけに輪郭強調をかける。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」、「Wide DR」、「EOS Std.」を選択時は、無効。

Knee Aperture Gain [0 ~ 9]： 輪郭強調の強さ。

Knee Aperture Slope [0 ~ 3 (1)]： 輪郭強調の傾きを0(なし)、1(急) ~ 3(なだらか)の4段階で設定する。

Other Settings ▶ Sharpness ▶ Level Depend Level, Level Depend Slope, Level Depend Offset

低輝度部分の輪郭強調を弱める。

Level Depend Level [0 ~ 50]： 処理対象の低輝度部分の輝度。

Level Depend Slope [0 ~ 3]： 低輝度と高輝度部との間の傾きを0(なし)、1(急) ~ 3(なだらか)の4段階で設定する。

Level Depend Offset [0 ~ 50]： 低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。

Other Settings ▶ Noise Reduction ▶ Level

設定値： Off, 1 ~ 12

ノイズを低減するノイズフィルターを選択する。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。

Other Settings ▶ White Balance ▶ R Gain, B Gain

ホワイトバランスのシフト量を調整する。

R Gain [±50 (±0)]： 赤色の濃淡を調整する。

B Gain [±50 (±0)]： 青色の濃淡を調整する。

Other Settings ▶ Color Matrix Tuning ▶ Gain, Phase, R-G, R-B, G-R, G-B, B-R, B-G

映像の色調を微調整する。

Gain [±50 (±0)]： 色の濃さを調整する。

Phase [±18 (±0)]： 色相を調整する。

R-G [±50 (±0)]： シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。

R-B [±50 (±0)]： シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。

G-R [±50 (±0)]： マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。

G-B [±50 (±0)]： マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。

B-R [±50 (±0)]： イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。

B-G [±50 (±0)]： イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。

Other Settings ▶ Other Functions ▶ Setup Level

設定値： ±50 (±0)

Black ▶ Master Pedestalで設定した黒レベルに付加するセットアップの調整量を設定する。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」を選択時は、無効。

設定項目／内容・設定値

Other Settings ▶ Other Functions ▶ Over 100%

100%を超える信号の出力のしかたを設定する。

Through： 信号をそのまま出力する。

Clip： 白レベルを100%でクリップする。

Press： 108%までの信号全体を100%に圧縮する。

ファイル ▶ 選択

設定値： **C1** ～ C20 / 内容：カスタムピクチャーファイルを選択する。

ファイル ▶ 名称変更

設定値： 8文字の英数字・記号 (**CP000001**) / 内容：カスタムピクチャーファイルの名前を変更する。

ファイル ▶ プロテクト

設定値： **プロテクト解除**、プロテクト / 内容：カスタムピクチャーファイルをプロテクトする。

ファイル ▶ リセット

設定値： **OK**、**キャンセル** / 内容：選択しているカスタムピクチャーファイルの設定を初期状態に戻す。

ファイル ▶ SDカードBへコピー、SDカードBから読み出し

現在選択しているカスタムピクチャーファイルをSDカード、または本機にコピーする。

SDカードBへコピー： 選択している本機内のカスタムピクチャーファイルをSDカードBにコピーする。

SDカードBから読み出し： SDカードB内のカスタムピクチャーファイルを本機にコピーし、選択しているカスタムピクチャーファイル（本機）を置き換える。

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続して、**[CP_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Activate Other Settings」]**を「On」にすると、次の項目をRC-V100から調整できます。

- BlackのMaster Pedestal、Master Black Red / Blue
- Black GammaのLevel
- KneeのSlope*、Point*
- SharpnessのLevel
- White BalanceのR Gain / B Gain

* KneeのActivateがOnのときのみ。

設定データの保存と読み出し

CAMERA

MEDIA

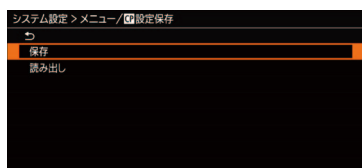
RAW

MP4

メニューで行った各種の設定情報（設定データ）をカメラ本体、またはSDカードに保存できます。設定データは、必要に応じて読み出して再利用できます。複数のカメラC200 / C200Bを同じ設定にするとき便利です。設定データの保存や読み出しは、SDカードB(SD CARD **B**)のみ行えます。

■ 設定データを保存する

メニュー設定やカスタムピクチャーを設定データとしてカメラ本体、またはSDカードに保存します。

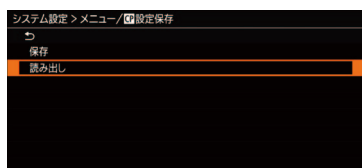


- ① 1 システム設定メニュー ▶ 「メニュー / **CP** 設定保存」 ▶ 「保存」を順に選ぶ。
- ② 「カメラ本体へ」または「SDカードBへ」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
 - 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、②で選んだ保存先に保存される。保存されている設定データは、現在の設定で上書きされる。
- ④ ジョイスティックを押す。

カスタマイズ

■ 設定データを読み込む

カメラ本体、またはSDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



- ① 1 システム設定メニュー ▶ 「メニュー / **CP** 設定保存」 ▶ 「読み出し」を順に選ぶ。
- ② 「カメラ本体から」または「SDカードBから」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
 - メニュー設定やカスタムピクチャーが、②で選んだ読み込み先から読み込んだ設定データの内容に設定される。
 - 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。

MEMO

保存されない設定

- 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「接続設定」の「暗号化キー」
- 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「FTP転送設定」▶ 「FTP：パスワード」
- 設定データを読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされます。
- C200 / C200Bの設定データのみ使用可能です。

5 再生

クリップを再生する..... 146

クリップを操作する..... 151

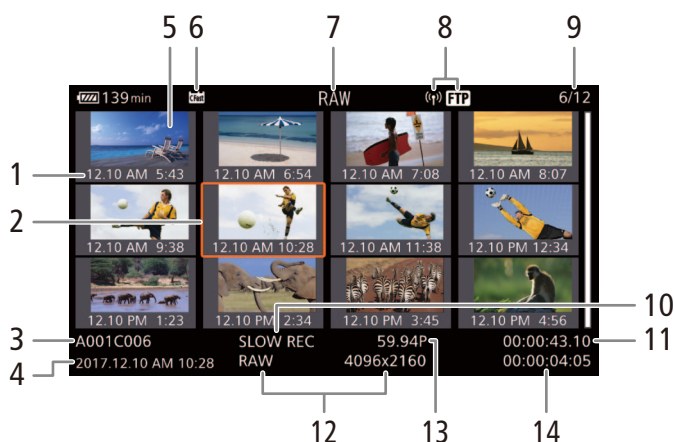
クリップを再生する

CAMERA MEDIA RAW MP4

ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」（□ 153）をご覧ください。

■ インデックス画面

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする（□ 27）と本機がメディアモードで起動します。本機の主記録形式がRAW形式のときはCFastカードに、MP4形式のときはSDカードに記録されているクリップのサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます。なお、クリップ撮影時のシステム周波数の設定が、本機の設定と異なると再生できません。本機のシステム周波数を再生するクリップと同じ設定にしてください（□ 68）。



3～4、8～12には、選択しているクリップの情報が表示されます。

- | | |
|---|--|
| 1 収録日（月日）と記録開始時間 | 9 クリップ番号／クリップ総数 |
| 2 カーソル（オレンジ色の枠） | 10 特殊撮影情報 <ul style="list-style-type: none">● 特殊撮影（インターバル記録、フレーム記録、スローモーション記録）で撮影されたクリップのときに、そのモード名が表示される。 |
| 3 カメラインデックス、リール番号、クリップ番号 <ul style="list-style-type: none">● MP4形式のときは、ファイル名が表示される（例：100-0006）。 | 11 記録開始フレームのタイムコード |
| 4 収録日（年月日）と記録開始時間 | 12 カラーサンプリングと解像度 <ul style="list-style-type: none">● RAW形式で撮影されたクリップのときは、カラーサンプリングではなく、「RAW」と表示される。 |
| 5 クリップのサムネイル | 13 フレームレート |
| 6 記録メディア <ul style="list-style-type: none">● SDカードの場合、現在選択しているカードをハイライト表示する。 | 14 記録時間 |
| 7 表示中の記録形式 <ul style="list-style-type: none">● 静止画のときは、「静止画」と表示される。 | |
| 8 ネットワーク機能 <ul style="list-style-type: none">● MP4形式のクリップをFTP転送するときに表示される。 | |

SDカードを切り換える



両方のSDカードスロットにSDカードを入れているときは、SLOT SELECT (スロット選択) ボタンを押して、再生するSDカードを切り換えることができます (55)。

インデックス画面を切り換える

インデックス画面に表示する内容を選んで、インデックス画面を切り換えることができます。次の3種類のインデックス画面に切り換えることができます。

RAW Index (RAW形式クリップインデックス画面) :

CFastカードに記録されているクリップのみを表示する。

MP4 Index (MP4形式クリップインデックス画面) :

選択中のSDカードに記録されているクリップのみを表示する。

Photo Index (静止画インデックス画面) :

SDカードB (SD CARD **B**) に記録されている静止画のみを表示する。



1 カメラ本体のINDEX (インデックス) ボタンを押す

- インデックス画面を表示中は、インデックスメニューが表示される。



2 ジョイスティックを上下に押して、いずれか選ぶ ▶ ジョイスティックを押す

- 選んだインデックス画面に切り換わる。

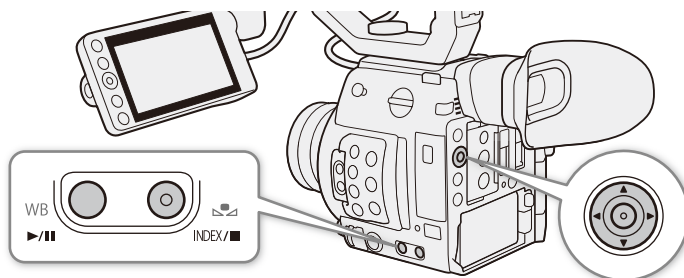
切り換えを中止するとき

「キャンセル」を押す。



再生する

インデックス画面で選んだクリップを再生します。再生にはカメラ本体の各種再生操作ボタンを使用します。カメラ本体のボタン操作では、▶/III(再生／一時停止)、■(停止)が行えるほか、ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、クリップを選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したいクリップに合わせる。



2 カメラ本体の▶/III(再生／一時停止)ボタンを押す

- 再生が始まる。
- 再度、▶/III(再生／一時停止)ボタンを押すと再生一時停止となる。

再生を終えるとき

カメラ本体の■(停止)ボタンを押す。

RAWクリップの再生時の画質について

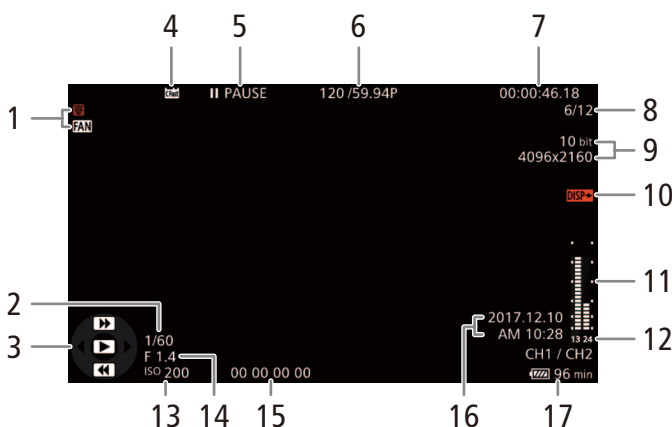
- ガンマ、色空間、カラーマトリックスは、それぞれWide DR、BT.709、Neutralとなる。
- カスタムピクチャーのActivate Other SettingsがOffのときと同様。

ご注意

アクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

再生時の画面表示



- 1 内部温度、ファン ▶▶ 67
- 2 シャッタースピード*1*2 ▶▶ 71
- 3 ジョイスティックガイド ▶▶ 150
- 4 記録メディア ▶▶ 51
- 5 再生状況

- ▶▶ PLAY 再生中
- || PAUSE 再生一時停止中
- ||▶▶ コマ送り
- ◀▶▶ コマ戻し
- F FWD x5 ▶▶▶ 早送り (5倍速)
- F FWD x15 ▶▶▶ 早送り (15倍速)
- F FWD x60 ▶▶▶ 早送り (60倍速)
- ◀◀ F REV x5 早戻し (5倍速)
- ◀◀ F REV x15 早戻し (15倍速)
- ◀◀ F REV x60 早戻し (60倍速)

- 6 撮影フレームレート* / フレームレート ▶▶ 68

* スローモーション記録で記録されたクリップのみ。

- 7 タイムコード ▶▶ 103
- 8 クリップ番号/クリップ総数
- 9 色深度と解像度 ▶▶ 68
 - MP4形式で撮影されたクリップのときは、カラーサンプリングと解像度が表示される。
- 10 画面表示出力 ▶▶ 160
- 11 オーディオレベルメーター *3
- 12 音声出力チャンネル ▶▶ 161
- 13 ISO感度/ゲイン*1*2 ▶▶ 74
- 14 F値*1*2 ▶▶ 78
- 15 ユーザービット*2 ▶▶ 105
- 16 収録日*4と記録開始時間*2*4
- 17 バッテリー残量の目安 ▶▶ 63

*1 4 モニタリング設定メニュー ▶ 「Custom Display」 ▶ 「カメラデータ」が「入」のときに表示される。

*2 RAW形式で記録されたクリップのみ。

*3 4 モニタリング設定メニュー ▶ 「Custom Display」 ▶ 「オーディオレベル」が「入」のときに表示される。

*4 4 モニタリング設定メニュー ▶ 「Custom Display」 ▶ 「日付/時刻」が「入」のときに表示される。

MEMO

- DISP(ディスプレイ)ボタン、または「Display」を割り当てたアサインボタン (130)を押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。

全表示 → ジョイスティックガイド非表示 → 全消去*

* 再生直後の再生状況とタイムコードや、クリップ番号/クリップ総数を除くほとんどの画面表示が消去される。

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送りなどの再生方法があります。操作は、カメラ本体の再生操作ボタンを使うか、ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで行います。ジョイスティックガイドは、DISP(ディスプレイ)ボタンまたは「Display」を割り当てたアサインボタンを押して表示を入/切できます。

機 能	操 作	ジョイスティック	説 明
早送り* ¹	再生中に	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。* ²
早戻し* ¹	再生中に	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	▶▶▶	押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し* ³	一時停止中に	◀◀◀	押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。

*¹ 操作中、画面が乱れることがあります。

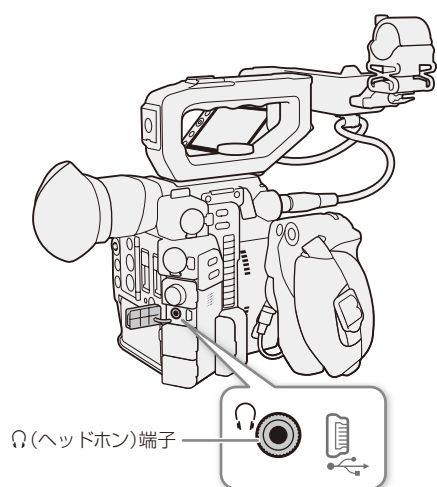
*² 画面に出る倍速表示は目安です。

*³ 「ビットレート」の圧縮方式がLong GOPの場合、コマの間隔はコマ送りのときより長くなり、約0.5秒です。

MEMO

- 特殊再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶▶/◀◀ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く



通常の再生中は、音声をヘッドホンやスピーカーで聞くことができます。音量は、**♪1** オーディオ設定メニュー ▶ 「ヘッドホン音量」、「スピーカー音量」で調整できます。アサインボタン(📖 130)で調整することもできます。音声は、SDI端子とHDMI OUT端子にも出力されます(📖 156)。

MEMO

- モニターするチャンネルの選択については、「音声出力チャンネルを選ぶ」(📖 161)をご覧ください。

クリップを操作する

CAMERA MEDIA RAW MP4

クリップ単位の操作や情報表示を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューはクリップの各種インデックス画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。

クリップメニュー一覧

メニュー項目	内容	インデックス画面		📖
		RAWクリップ	MP4クリップ	
キャンセル	クリップメニューを消す。	●	●	—
クリップ情報表示	クリップ情報画面を表示する。	●	●	152
クリップ修復 ^{*1}	クリップを修復する。	●	●	56
クリップ消去	クリップを消去する。	●	●	152
FTP転送	クリップをFTP転送する。	—	●	186

^{*1} 修復が必要なときのみ表示される。修復が必要なとき、クリップメニューは「キャンセル」と「クリップ修復」、「クリップ消去」のみ表示される。

クリップメニューで操作する

例：RAWクリップインデックス画面でクリップを消去する場合



1 操作するクリップを選ぶ



2 ジョイスティックを押す

- クリップメニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択しているクリップによって変わる。



3 クリップを消去する

- ① 「クリップ消去」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- 選択したクリップが消去される。



ご注意

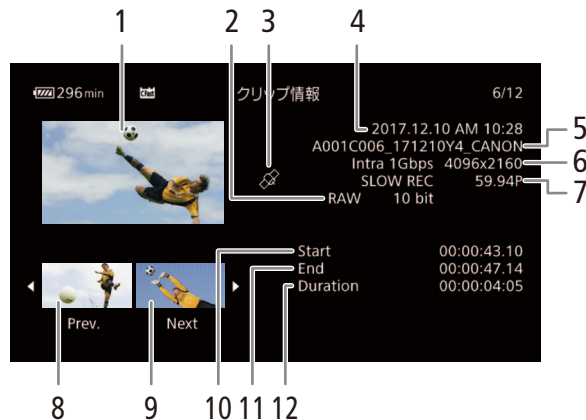
- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO

- MP4クリップを操作するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

クリップ情報を表示する

クリップメニューで「クリップ情報表示」を選択すると、選択しているクリップの情報を確認できます。クリップ情報画面でジョイスティックを左右に押すと、前／次のクリップに移動します。CANCELを押すと元の画面に戻ります。



- | | |
|--|--|
| 1 選択しているクリップのサムネイル (縮小画) | 7 特殊記録情報／フレームレート
● 特殊記録されたクリップのときは、「INT REC」、「FRM REC」、「SLOW REC」のいずれかが表示される。 |
| 2 カラーサンプリング ▶ 68
● RAW形式で撮影されたクリップのときは、「RAW」と色深度が表示される。 | 8 前のクリップのサムネイル |
| 3 GPS情報マーク ▶ 116 | 9 次のクリップのサムネイル |
| 4 撮影開始日時 | 10 記録開始フレームのタイムコード |
| 5 クリップファイル名 ▶ 64、66 | 11 記録終了フレームのタイムコード |
| 6 ビットレート／解像度 | 12 収録時間 |

クリップを消去する

CFastカード、またはSDカードに記録されたクリップを消去することができます。

1つのクリップを消去する



- 消去するクリップを選ぶ。
- クリップメニュー ▶ 「クリップ消去」を順に選ぶ。
- 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選択したクリップが消去される。
 - クリップの消去は中止できない。
- ジョイスティックを押す。

接 続

出力信号形式	154
外部のモニター／レコーダーを 接続する	156
音声出力を選択する	161
クリップを保存／現像する	163

出力信号形式

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

SDI端子やHDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります。また、SDI端子とHDMI OUT端子は、どちらか一方のみ出力されます。出力の切り換えは自動で行います。表内のビット数は、映像信号の有効ビット数です。

撮影時の記録信号形式と出力信号形式

記録信号形式			出力信号形式			
記録形式*1	フレーム レート*2	解像度	SDI端子*3		HDMI OUT端子*3	
			SDI出力*4		HDMI最大解像度*4	
			2048×1080 / 1920×1080	1920×1080	3840×2160	1920×1080
RAW	59.94P	4096×2160	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080*5 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080*5 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080*5 YCbCr 4:2:2 10 bit
	50.00P					
	29.97P					
	25.00P					
	24.00P					
	23.98P					
MP4	59.94P	3840×2160	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit*8		3840×2160 YCbCr 4:2:2 8 bit*6	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit*8
	50.00P	1920×1080			1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit*8	720×480(59.94Pのみ)*9 720×576(50.00Pのみ)*9
	29.97P					
	25.00P					
	24.00P					
	23.98P					

再生時の出力信号形式

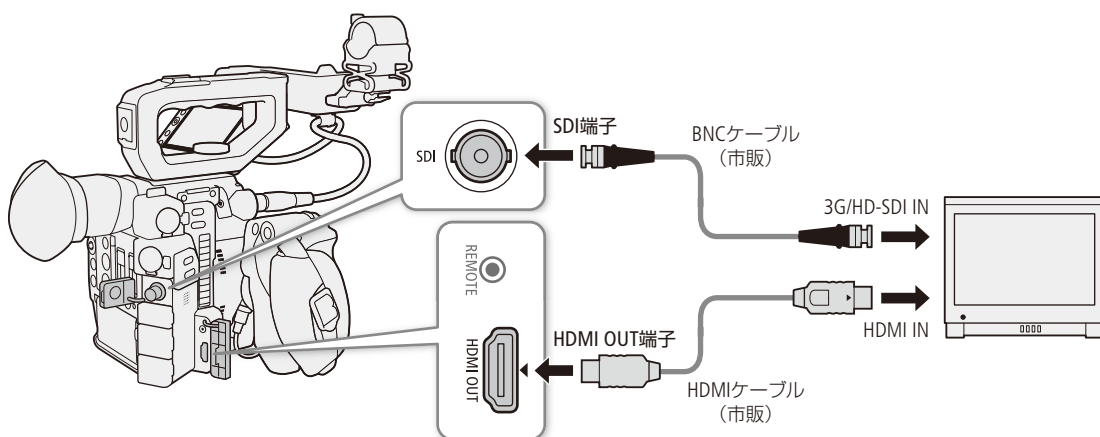
記録信号形式			出力信号形式			
記録形式*1	フレームレート*2	解像度	SDI端子*3		HDMI OUT端子*3	
			SDI出力*4		HDMI最大解像度*4	
			2048×1080 / 1920×1080	1920×1080	3840×2160	1920×1080
RAW	59.94P	4096×2160	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080*5 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080*5 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080*5 YCbCr 4:2:2 10 bit
	50.00P					
	29.97P					
	25.00P					
	24.00P					
	23.98P					
MP4	59.94P	3840×2160	1920×1080 YCbCr 4:2:2 8 bit		3840×2160*6 YCbCr 4:2:2 8 bit	1920×1080*5 YCbCr 4:2:2 8 bit 720×480(59.94Pのみ) 720×576(50.00Pのみ)
	50.00P	1920×1080			1920×1080 YCbCr 4:2:2 8 bit	
	29.97P					
	25.00P					
	24.00P	2048×1080*7			2048×1080 YCbCr 4:2:2 8 bit	
	23.98P		1920×1080*5 YCbCr 4:2:2 8 bit			

- *1  1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「主記録形式」の設定 (□ 68)。
- *2 出力信号形式のフレームレートは、記録信号形式と同じ (スローモーション記録時を除く)。
- *3 画面表示の重畳 (□ 160) が可能。ただし、HDMI OUT端子から4K(3840×2160)59.94P / 50.00P出力時は除く。SDI端子はピーキングなどアシスト表示が出力可能 (□ 91)。
- *4  2 システム設定メニュー ▶ 「HDMI最大解像度」(□ 157)、「SDI出力」(□ 156)の設定。
- *5 2048×1080の映像信号は、上下に黒い帯が追加される。
- *6 フレームレートが59.94Pまたは50.00Pのときは、YCbCr 4:2:0 8 bit。
- *7  1 記録／メディア設定メニュー ▶ 「サブ記録設定」で「MP4(SDカード)」を選択時のみ。
- *8 スローモーション記録時のみYCbCr 4:2:2 8 bit。
- *9 スローモーション記録時は除く。

外部のモニター／レコーダーを接続する

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考▶「出力信号形式」(P 154)）。

■ 接続のしかた



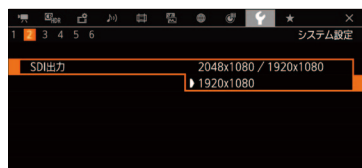
MEMO

- ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

■ SDI端子を使用する

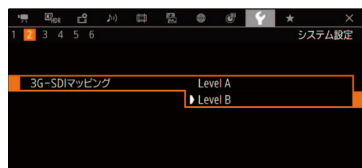
CAMERA MEDIA RAW MP4

SDI端子から出力される映像信号には、オーディオ信号（最大4チャンネル）とタイムコード信号、記録コマンドが重畳されます。SDI端子の映像信号には、マーカー、画面表示が重畳できるほか、拡大表示 (P 203) を行うこともできます。



1 SDI端子の出力モードを選ぶ

- ① 2 システム設定メニュー ▶ 「SDI出力」を順に選ぶ。
- ② 「2048×1080 / 1920×1080」または「1920×1080」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
2048×1080 /
1920×1080 : 2048×1080、または1920×1080の映像を出力する。
1920×1080 : 常に1920×1080の映像を出力する。記録信号形式の水平解像度が4096、または2048のときは上下に黒い帯が追加される。



2 SDI端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ

- ① 2 システム設定メニュー ▶ 「3G-SDIマッピング」を順に選ぶ。
- ② 「Level A」または「Level B」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - SMPTE ST 425-1規格のLevel A、またはLevel Bに準拠した信号が出力される。

外部レコーダーを接続して2K映像を記録する

CAMERA MEDIA RAW MP4

本機のSDI端子に接続した外部レコーダーに2K映像を記録できます。レコーダーの機能・操作については、レコーダーの説明書などをご覧ください。音声については「音声出力を選択する」(□ 161)をご覧ください。

MEMO

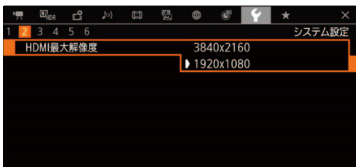
- SDI端子とHDMI OUT端子は同時に出力できません。SDI端子で出力するときは、HDMI OUT端子からHDMIケーブルを外してください。
- 接続するレコーダーによっては、設定した記録信号形式で記録できないことがあります。
- 本機と外部レコーダーを接続後、必ずためし撮りをして正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 4 記録／メディア設定メニュー ▶ 「記録コマンド」を「入」にして、本機と他機をSDI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作 (RECボタンの操作)と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。

HDMI OUT端子を使用する

CAMERA MEDIA RAW MP4

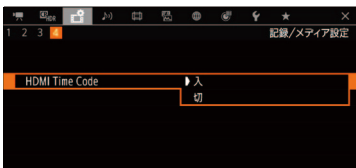
HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。出力にタイムコード (□ 198)や画面表示 (□ 160)、マーカ (□ 100)を重畳*できます。音声は2チャンネル、リニアPCM(16ビット、48kHz)で出力されます。出力チャンネルはメニューで選択できます (□ 161)。

* 4K(3840×2160) 59.94P / 50.00P時を除く。



1 HDMI OUT端子の出力モードを選ぶ

- ① 2 システム設定メニュー ▶ 「HDMI最大解像度」を順に選ぶ。
- ② 「3840×2160」または「1920×1080」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 カメラモードのとき 必要に応じて、タイムコードの重畳を有効にする

- ① 4 記録／メディア設定メニュー ▶ 「HDMI Time Code」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

MEMO

- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他の端子を使って接続してください。
- 4 記録／メディア設定メニューの「記録コマンド」と「HDMI Time Code」を「入」にして、本機と他機をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作 (RECボタンの操作)と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。タイムコードも重畳されます。

- 次の場合、HDMI OUT端子にタイムコードは重畳されません。

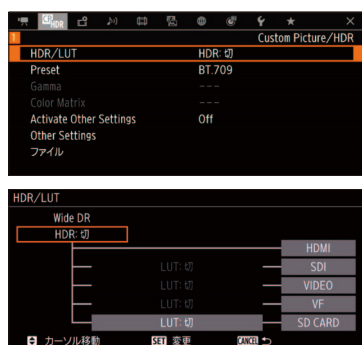
- メディアモードのとき。
- SD出力時。
- スローモーション記録時。
- インターバル記録
- フレーム記録

HDRで出力する

CAMERA MEDIA RAW MP4

RAW形式で撮影する場合、SDI端子またはHDMI OUT端子からHDR規格*に準拠したHDR映像をナローレンジ（ビデオレンジ）で出力できます。

* ITU-R BT.2100(PQ)

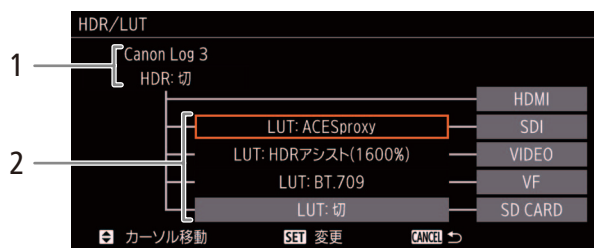


1 HDR出力を有効にする

- ① **CP** 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「HDMI/LUT」 ▶ 「HDMI : 切」を順に選ぶ。
- ② ジョイスティックを押す。
- ③ ジョイスティックを左右に押して、「HDMI : PQ」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- HDR出力をしないときは、「HDMI : 切」を選ぶ。

HDR出力とLUTの設定画面



- 1 HDMI OUT端子／SDI端子／VIDEO端子／**C200** ファインダー／SDカードへの出力映像のガンマカーブ*、またはHDR出力の設定値
- 2 SDI端子／VIDEO端子／**C200** ファインダー／SDカードに適用しているLUTの設定値

* カスタムピクチャーの「Preset」または「Gamma」で設定しているガンマカーブ

■ 出力映像にLUTを適用する

CAMERA MEDIA RAW MP4

カスタムピクチャーで特定のガンマを選択している場合、SDI端子、またはVIDEO端子／**C200** ファインダーの出力映像にLUTを適用して、標準的なガンマ／色空間に変換できます。映像出力端子に接続した外部モニターや本機の画面で映像を確認する際に使用します。端子からの出力映像の確認には、各色空間に準拠した表示装置が必要です。

選択できるLUT

「LUT」	ガンマ	色空間	内容
LUT : BT.709	Wide DR	BT.709	BT.709規格に準拠した外部モニターや本機の画面で確認するためのLUT。
LUT : HDRアシスト(1600%)*1	独自ガンマ	BT.709	BT.2100規格のHDR映像をVIDEO端子などに接続した機器で確認するためのLUT。1600%、400%のいずれかの輝度領域を、HDR対応ディスプレイに表示したときと同等に見えるように変換する。
LUT : HDRアシスト(400%)*1	独自ガンマ	BT.709	
LUT : ACESproxy*2 *3	ACESproxy	ACESproxy	ACESproxyに準拠する外部モニターで確認するためのLUT。フルレンジで出力する。

*1 VIDEO端子または**C200** ファインダーのみ。

*2 SDI端子のみ。

*3 **CP**_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Preset」 ▶ 「Canon Log 3」を選んだときのみ。

LUTを適用できるガンマの組み合わせ

CP_{HDR} Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Preset」で選択したガンマによって、LUTの適用可否と選択できるLUTが決まります。

カスタムピクチャー	選択できるLUT			
	LUT : BT.709	LUT : HDRアシスト (1600%)	LUT : HDRアシスト (400%)	LUT : ACESproxy
Canon Log 3	●	●	●	●
Canon Log	●	—	—	—
Wide DR	—	—	—	—



- ① **CP**_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「HDR/LUT」を順に選ぶ。
- ② ジョイスティックを上下に押して、LUTを適用する端子または出力先を選ぶ。
- ③ ジョイスティックを押す。
- ④ ジョイスティックを左右に押して、「LUT : BT.709」、「LUT : HDRアシスト (1600%)」、「LUT : HDRアシスト(400%)」、「LUT : ACESproxy」、「LUT : 切」*のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 選択できるLUTは、LUTを適用する端子または出力先、カスタムピクチャーのプリセットやガンマによって異なる。
 - 出力映像のガンマと色空間が変更される。
 - LUTを適用しないときは「LUT : 切」*を選ぶ。

* **C200** ファインダーとVIDEO端子は、**CP**_{HDR} 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「HDR/LUT」が「HDR : 切」のときに選択可能。

MEMO

ACESproxyの映像を出力する（オンセット・グレーディング）

SDI端子に「LUT：ACESproxy」のLUTを適用すると、ACESproxy準拠の映像に変換して出力できます。対応する表示装置でモニタリングすることにより、撮影現場でカラーグレーディング時の映像を確認しながら撮影できます（[図 22](#)）。

- 「LUT」を割り当てたアサインボタンで、適用するLUTを切り換えることもできます（[図 130](#)）。
- カスタムピクチャーのプリセットやガンマを変更すると、LUTの「設定」および各出力はすべて「LUT：切」になります。

出力映像に画面表示を重畳する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

SDI端子、HDMI OUT端子から出力される映像に画面表示を重畳することができます。この設定は、メモリーカードに記録される映像には影響しません。



① [図 5](#) モニタリング設定 ▶ 「オンスクリーン表示」を順に選ぶ。

② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- 画面に **DISP** が表示される*。

* カメラモードでは、[図 5](#) モニタリング設定 ▶ 「Custom Display2」 ▶ 「オンスクリーン表示」が「入」のときのみ表示される。

MEMO

- HDMI OUT端子から4K (3840×2160) 59.94P / 50.00Pを出力するときは、画面表示がHDMI OUT端子に重畳されません。
- 「オンスクリーン表示」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（[図 130](#)）。

音声出力を選択する

SDI端子やHDMI OUT端子、 Ω (ヘッドホン) 端子、スピーカーから音声を出力できます。音声を4チャンネルで記録したときは、記録メディアに記録した4チャンネルの音声のうち、 Ω (ヘッドホン) 端子やスピーカー *、HDMI OUT端子から出力される2チャンネルの音声は、メニューで選択します。

* モノラルで出力される。

音声の出力信号形式

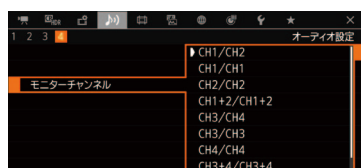
記録信号形式		撮影／再生時	
記録方式	量子化ビット数／ビットレート	SDI端子	HDMI OUT端子*
4ch リニアPCM	16 bit	4ch リニアPCM 24 bit	2ch リニアPCM 16 bit
2ch MPEG-4 AAC-LC	256 kbps		

* 4chの記録音声から出力するチャンネルを選択可能 (□ 162)。

音声出力チャンネルを選ぶ

CAMERA MEDIA RAW MP4

Ω (ヘッドホン) 端子やスピーカーの出力チャンネルを選ぶ



① Ω 4 オーディオ設定メニュー * ▶ 「モニターチャンネル」を順に選ぶ。

* メディアモードのときは、 Ω 1 オーディオ設定メニュー。

② 次のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

設定値	出力音声	
	L	R
CH1/CH2	CH1	CH2
CH1/CH1	CH1	CH1
CH2/CH2	CH2	CH2
CH1+2/CH1+2	CH1 + CH2 (ミックス)	CH1 + CH2 (ミックス)
CH3/CH4*	CH3	CH4
CH3/CH3*	CH3	CH3
CH4/CH4*	CH4	CH4
CH3+4/CH3+4*	CH3 + CH4 (ミックス)	CH3 + CH4 (ミックス)
CH1+3/CH2+4*	CH1 + CH3 (ミックス)	CH2 + CH4 (ミックス)

* 記録時の「MP4オーディオ形式」が「LPCM 16 bit 4CH」のときのみ。

- Ω 5 モニタリング設定 ▶ 「Custom Display 2」▶ 「モニターチャンネル」が「入」のときは、画面のオーディオレベルメーターの下に、選択した出力チャンネルが表示される。

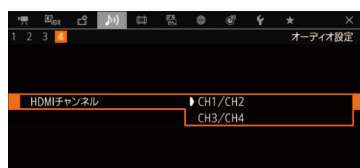
MEMO

- 「モニターチャンネル」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます。(□ 130)。

HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ

CAMERA MEDIA RAW MP4

カメラモードでHDMI OUT端子は、2チャンネルの音声出力できます。4チャンネルで記録／再生する音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルをメニューで選択できます。



- ① 4 オーディオ設定メニュー * ➤ 「HDMIチャンネル」を順に選ぶ。
* メディアモードのときは、 1 オーディオ設定メニュー。
- ② 「CH1/CH2」または「CH3/CH4」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

クリップを保存／現像する

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

■ MP4クリップを保存する

本機で撮影して記録したMP4クリップは、SDカードリーダーとソフトウェアData Import Utilityを使うと、パソコンに取り込むことができます。

ソフトウェアData Import UtilityはPIXELA社のホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアのダウンロードや最新の情報については、以下のPIXELA社ホームページをご覧ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_biz.html

その他のお問い合わせについては、キャノンお客様相談センターをご利用ください。

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- SDカードリーダーを使って、クリップをパソコンに取り込む。
- リレー記録 (□ 56)によって分割されたクリップを結合する。
- 4GB (□ 118)ごとに分割されたクリップを結合する。

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル) *をご覧くださいのうえ、Data Import Utilityでできることの詳細と動作環境をご確認ください。

* ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれる[Manual]フォルダをご覧ください。

インストールと使いかた

Data Import Utilityのインストール手順や使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル)をご覧ください。

■ RAWクリップを現像する

本機で撮影して記録したRAW形式のクリップは、現像ソフトウェアCinema RAW Developmentで現像して、DPX形式などの標準的なファイル形式の素材データに変換することによって、カラーグレーディングが可能となります。また、Canon RAW Pluginでノンリニア編集ソフトウェアに直接読み込むこともできます。Cinema RAW DevelopmentとCanon RAW Pluginは、キャノンのホームページからダウンロードできます。システム構成や最新の情報についてはキャノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。詳細な使いかたについては、ソフトウェアに付属の使用説明書 (PDF) *をご覧ください。

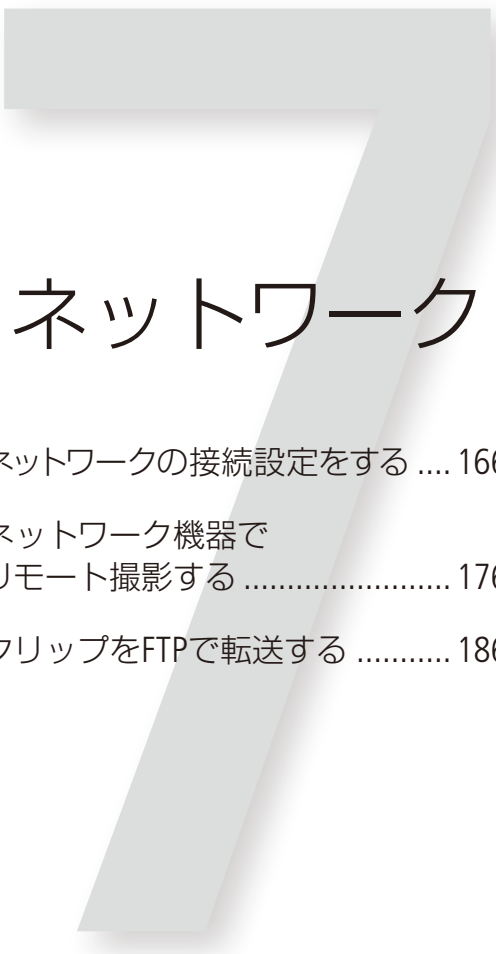
* ソフトウェアと一緒にインストールされます。

Cinema RAW Development (Windows用／ macOS用)

RAW クリップを現像して再生、およびRAW クリップを現像してエクスポートすることができます。

Canon RAW Plugin for Avid Media Access (Windows用／ macOS用)

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer (Windows / macOS) から、カメラで撮影してCFastカードに記録したクリップを直接読み込むことができます。



7 ネットワーク

ネットワークの接続設定をする 166

ネットワーク機器で
リモート撮影する 176

クリップをFTPで転送する 186

ネットワークの接続設定をする

Wi-Fiを使うか、品（イーサネット）端子を使って本機をネットワークに接続すると、以下のネットワーク機能を使用することができます。ここでは、ネットワークの接続設定のしかたについて説明します。ネットワークへの接続は、各ネットワーク機能を有効にしたときに行われます。ネットワークの接続設定の詳細は、それぞれ、「Wi-Fiで接続する」（167）、「イーサネットで接続する」（174）で説明します。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	イーサネット	Wi-Fi		167
			インフラストラクチャー ^{*1}	カメラアクセスポイント ^{*2}	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器から本機をリモート操作して撮影する。	●	—	●	176
FTP転送	撮影したクリップをネットワーク機器にFTP ^{*3} で転送する。	●	●	—	186

^{*1} アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。

^{*2} 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。

^{*3} ネットワークに接続した機器間でファイルを転送するための通信規約。File Transfer Protocolの略。

ネットワーク機能を使用する前に

本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

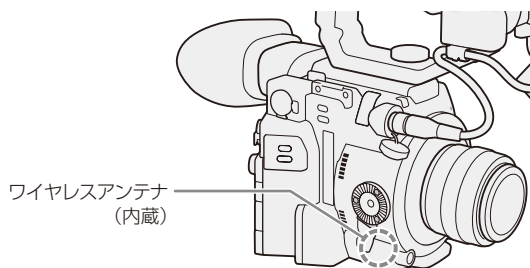
- ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワーク（EthernetおよびWi-Fi）の設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 送信するデータは暗号化されません。
- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていないWi-Fiやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- Wi-Fi接続するときは、安定した通信状態を保つために、カメラグリップ GR-V1（C200は付属、C200Bは別売）を外すことをおすすめします。
- ネットワーク機能を使用中は、CFastカードカバー／SDカードカバーを開けないでください。
- SDI端子、またはHDMI OUT端子に接続したケーブルやユニットケーブルを、ワイヤレスアンテナの近くに配置しないでください。通信に影響することがあります。



■ Wi-Fiで接続する

Wi-Fi接続について

本機は、Wi-Fi認証を受け(右のロゴマークがある)、無線LAN規格IEEE802.11a / b / g / nに対応するアクセスポイント*¹や携帯端末などと接続できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する恐れがあります。十分、ご注意ください。



Wi-Fiに接続するには、「カメラアクセスポイント」と「インフラストラクチャー」の2つの方式があり、ネットワーク機能によって使用する方式が異なります。インフラストラクチャー方式のときは、さらに4つの設定方法を選択できます。

カメラアクセスポイント

屋外などアクセスポイントのない環境で、カメラとWi-Fi対応機器を直接接続します。カメラがアクセスポイントの働き*¹をするので、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

インフラストラクチャー

WPS(プッシュボタン方式)*²：

パスワードなどの入力が必要な最も簡単な設定方法です。この方法で接続するときは、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。



WPS(PINコード方式)*²：

WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って設定できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索：

WPSに対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して設定できます。

マニュアル：

ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うとき、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。

*¹ カメラとWi-Fi対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

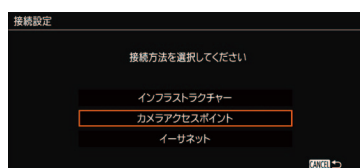
*² WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

ご注意

- IEEE802.11a/nの5 GHz帯の電波を使用する場合、地域によっては屋外、またはカメラアクセスポイントでの使用に法律上の制限が定められていることがあります。使用可能地域をご確認ください。使用可能地域については、基本ガイドの取り扱い上のご注意「使用可能な地域について」の記載をご覧ください。

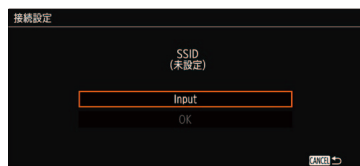
カメラアクセスポイントで接続する

カメラアクセスポイントの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 カメラアクセスポイントを選ぶ

- ① ④ 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「接続設定」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 接続設定先を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「編集」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「カメラアクセスポイント」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 SSIDを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② SSIDを入力する。

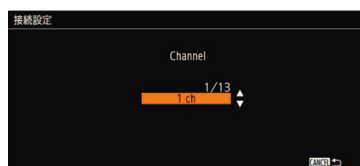
参考 ▶ 「文字入力のかた」(38)

- 入力したSSIDは接続時に必要となるため、メモしておく。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



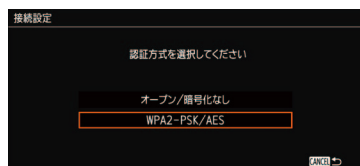
3 通信モードを選ぶ

- ① 「5 GHz」または「2.4 GHz」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



4 チャンネルを選ぶ

- ① チャンネルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 操作3で選んだ通信モードによって、選択できるチャンネルが異なる。



5 認証方式と暗号化方式を選ぶ

- ① 「オープン/暗号化なし」または「WPA2-PSK/AES」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 「オープン/暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。



6 暗号化キーを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 暗号化キーを入力する。

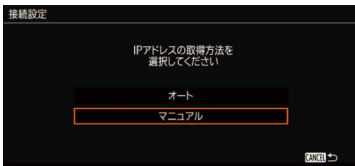
参考 ▶ 「文字入力のかた」(38)

- 入力した暗号化キーは接続時に必要となるため、メモしておく。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

7 TCP/IP設定を行う (169)

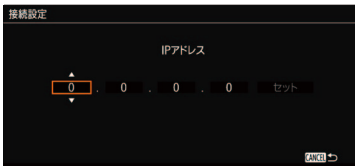
TCP/IPを設定する

ここでは、はじめにTCP/IPの設定を行い、次にネットワーク設定を保存します。TCP/IPの設定内容の詳細については、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方にお問い合わせください。



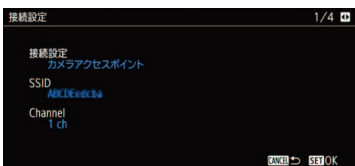
1 IPアドレスの取得方法を選ぶ

- ① いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - オート： 自動で設定する。
 - マニュアル： IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを手動で設定する。
- 「オート」を選んだときは操作3に進む。



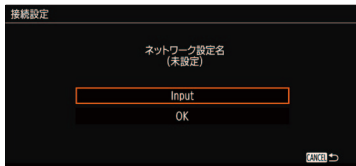
2 マニュアルを選んだとき IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを入力する

- ① ジョイスティックを上下に押して1番目の数字を選び、ジョイスティックを押す。
 - カーソルが2番目の数字に移動する。
- ② ①の操作を繰り返して、4つの数字をすべて設定する。
- ③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、ジョイスティックを押す。
 - IPアドレスが設定される。
- ④ IPアドレスと同じ要領でサブネットマスクとデフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを入力する。
 - カメラアクセスポイント (168) で接続するときは、IPアドレスとサブネットマスクを入力して操作3に進む。



3 設定内容を確認する

- ① ジョイスティックを左右に押して確認画面を切り換え、設定内容を確認する。
- ② ジョイスティックを押す。



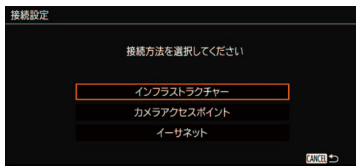
4 ネットワーク設定名を入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - キーボード画面が表示される。
- ② ネットワーク設定名を入力する。

参考 ▶ 「文字入力のしかた」(38)
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ⑤ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ネットワークの設定が保存される。選んだ設定番号にネットワーク設定が保存されている場合、新しい設定で上書きされる。

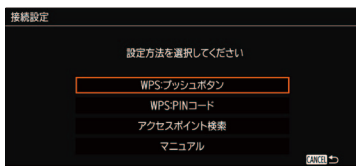
インフラストラクチャーで接続する

インフラストラクチャー方式で接続するにはアクセスポイントが必要です。



1 インフラストラクチャーを選ぶ

- ① ④ 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「接続設定」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 接続設定先を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「編集」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「インフラストラクチャー」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 Wi-Fi設定方法を選ぶ

- ① いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 各設定方法のページを参照して、以降の操作を行う。
 「WPS：プッシュボタン」(171)
 「WPS：PIN コード」(171)
 「アクセスポイント検索」(172)
 「マニュアル」(172)

WPSで接続する

WPSのプッシュボタン方式、またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、カメラの画面に表示される8桁の識別番号 (PINコード) を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼働している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合

1 本機 「WPS：プッシュボタン」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す



2 アクセスポイント WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧ください。アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合



1 本機 「WPS：PINコード」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す

- 7～8秒すると画面にPINコードが表示される。



2 アクセスポイント WPS (PINコード方式) の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

- * 多くのアクセスポイントは、Webブラウザから設定します。
- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機 操作2から2分以内にジョイスティックを押す

- アクセスポイントへの接続を開始する。
- 「接続中です」の画面が出ているときにCANCELを押すと、接続を中止する。
- 接続が完了すると、IPアドレスの取得方法選択画面が表示される。

4 本機 TCP/IP設定を行う (169)

MEMO

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS (プッシュボタン方式) でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS (PINコード方式)、またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

カメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、パスワードを入力して接続します。設定されているパスワードについては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。ネットワークの管理者にお問い合わせください。

アクセスポイントを選ぶ



1 「アクセスポイント検索」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す

- 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSIDと暗号化状態などの情報が表示される。



2 アクセスポイントを選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押して、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

3 暗号化キーを入力する

- アクセスポイントの認証方式／暗号化方式が「オープン／暗号化なし」のときは、この操作は不要。
- アクセスポイントの認証方式に従って、以降の操作を行う。

「オープン／WEP」、「共有キー」または「WPS-PSK,WPA2-PSK」の場合
「マニュアルで接続する」(172)の操作5～6と同じ要領で設定する。

4 TCP/IP設定を行う (169)

マニュアルで接続する

マニュアルでアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 「マニュアル」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す



2 SSIDを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② SSIDを入力する。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(38)
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



3 認証方式を選ぶ

- ① 「オープン」、「共有キー」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

4 暗号化方式を選ぶ

「オープン」を選んだとき

- ① 「WEP」または「暗号化なし」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 「暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。

「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選んだとき

- ① 「TKIP」または「AES」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



5 暗号化方式が「WEP」または「共有キー」のとき

WEPインデックスを選んでジョイスティックを押す



6 暗号化キーを入力する

- ① 「Input」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - キーボード画面が表示される。
- ② 暗号化キーを入力する。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(38)
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - IPアドレスの取得方法選択画面が表示される。

7 TCP/IP設定を行う (169)

MEMO

パスワードに使用可能な文字と文字数

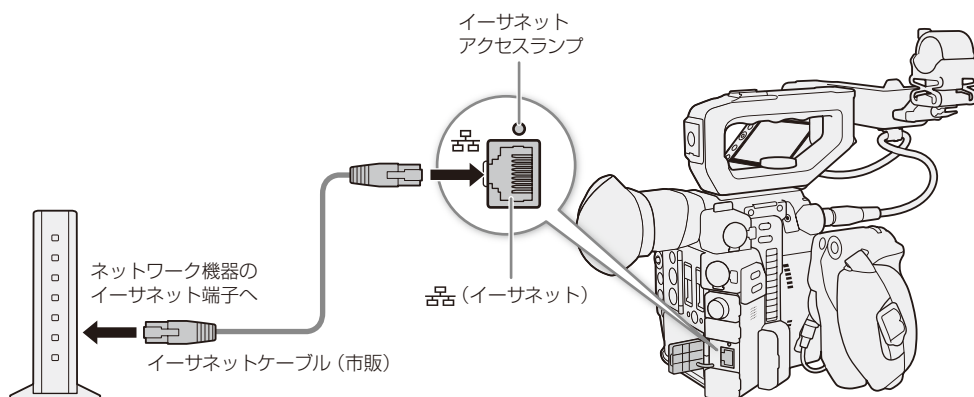
パスワード	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ～ 63文字	64文字

*1 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z および記号。

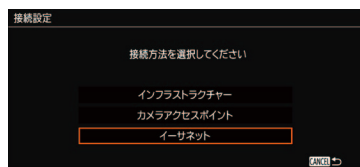
*2 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F。

イーサネットに接続する

本機の  (イーサネット) とネットワーク機器をイーサネットケーブル (市販) で接続し、本機をネットワークに接続する方法です。イーサネットケーブルには、ギガビット対応でシールド性能の高い、カテゴリ 5e 以上の STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを使用してください。



1 本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する



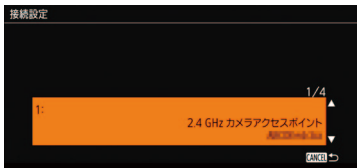
2 イーサネットを選ぶ

- ①  1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「接続設定」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 接続設定先を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「編集」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「イーサネット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

3 TCP/IP設定を行う (169)

■ ネットワーク接続設定を選ぶ

保存されているネットワーク接続設定から1つを選んで、ネットワークへの接続を簡単に行うことができます。ネットワークの新規設定を行った直後は、新規設定したネットワーク設定番号が自動的に選択されるため、この操作を行う必要はありません。

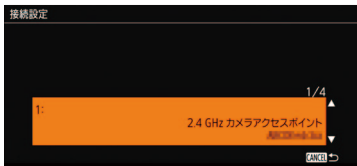


1 接続設定先を選ぶ

- ① ④ 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「接続設定」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 接続設定先を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

■ ネットワーク接続設定を確認／変更する

現在、選んでいるネットワーク接続設定の内容を確認し、必要に応じて変更できます。設定変更には、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。



1 接続設定先を選ぶ

- ① ④ 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「接続設定」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 接続設定1～4を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 接続設定を変更する

- ① 「編集」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 「インフラストラクチャー」、「カメラアクセスポイント」または「イーサネット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

「インフラストラクチャー」を選んだとき

「インフラストラクチャーで接続する」(□ 170)の操作2と同じ要領で設定する。

「カメラアクセスポイント」を選んだとき

「カメラアクセスポイントで接続する」(□ 168)の操作2～7と同じ要領で設定する。

「イーサネット」を選んだとき

「イーサネットで接続する」(□ 174)の操作1、3と同じ要領で設定する。

ネットワーク機器でリモート撮影する

Wi-Fi、またはイーサネットで本機をネットワークに接続すれば、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザから本機をリモートで操作して、動画を撮影することができます（ブラウザリモート）。

撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2が可能なほか、記録メディアやバッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

*1 OS、Webブラウザなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 ホワイトバランス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、アイリス、フォーカス、ズームなどが調整可能。

■ リモート設定を行う

CAMERA

MEDIA

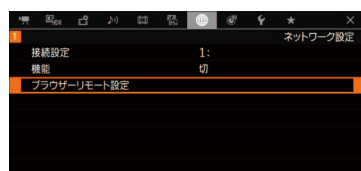
RAW

MP4

ネットワークに接続した機器のWebブラウザからブラウザリモートにアクセスするときには使用するポート番号とカメラIDを設定します。

ポート番号：HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。

カメラID：ビデオカメラ固有の文字列を設定しておく、ブラウザリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のビデオカメラを識別することができます。



1 「ブラウザリモート設定」を選ぶ

- ① ④ 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「ブラウザリモート設定」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 ポート番号を選ぶ

- ① 「Port No.」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して、Port No.の1番目の数字にカーソルを移動する。
- ③ ジョイスティックを上下に押してPort No.の1番目の数字を選び、ジョイスティックを押す。
 - カーソルが2番目の数字に移動する。
- ④ ③の操作を繰り返して、5つの数字をすべて設定する。
- ⑤ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、ジョイスティックを押す。



3 カメラIDを入力する

- ① 「カメラID」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 「Input」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 8文字以内のカメラIDを入力する。
 - 参考 ▶ 「文字入力のしかた」(P.38)
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

■ ブラウザーリモートを起動する

CAMERA MEDIA RAW MP4

携帯端末などネットワークに接続した機器*1のWebブラウザ *2からブラウザーリモートを起動します。現在のリモート設定の詳細は、ステータス画面で確認できます (□ 219)。

*1 カメラアクセスポイントで接続した機器を含む。OS、Webブラウザなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 JavaScript (ジャバスクリプト)に対応し、Cookie(クッキー)が有効になっている必要があります。

1 本機 ネットワークの接続設定を選ぶ (□ 175)

- Wi-Fiのカメラアクセスポイント (□ 168)、またはイーサネット (□ 174)を使用する。
- イーサネットを使用するときは、本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する。



2 ブラウザーリモートを選ぶ

- ① 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「機能」 ▶ 「ブラウザーリモート」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 本機がカメラアクセスポイントのときは、AP Remoteが表示される。
 - 本機がイーサネットを使用しているときは、品 Remoteが表示される。
 - ブラウザーリモートの接続準備が完了すると、AP Remoteまたは品 Remoteが黄色から白色に変わる。



3 本機 必要に応じて、ブラウザーリモートのネットワーク設定を確認する

- ① 「ステータス」を割り当てたアサインボタンを押す (□ 212)。
- ② ジョイスティックを左右に押して、ネットワーク設定ステータス画面に切り換える。
 - Wi-Fiのカメラアクセスポイントを使用するときは「ネットワーク 1/4」画面でカメラのSSIDを、ブラウザーリモートを使うときは「ネットワーク 4/4」画面でカメラのURLを、それぞれ確認する。
- ③ 再度「ステータス」を割り当てたアサインボタンを押して、ステータス画面を閉じる。

4 携帯端末など カメラに接続する

- ① Wi-Fiまたはイーサネットのネットワーク設定を行い、カメラに接続する。
 - Wi-Fiのときは、操作3で確認したブラウザーリモートのSSIDを使用して接続する。

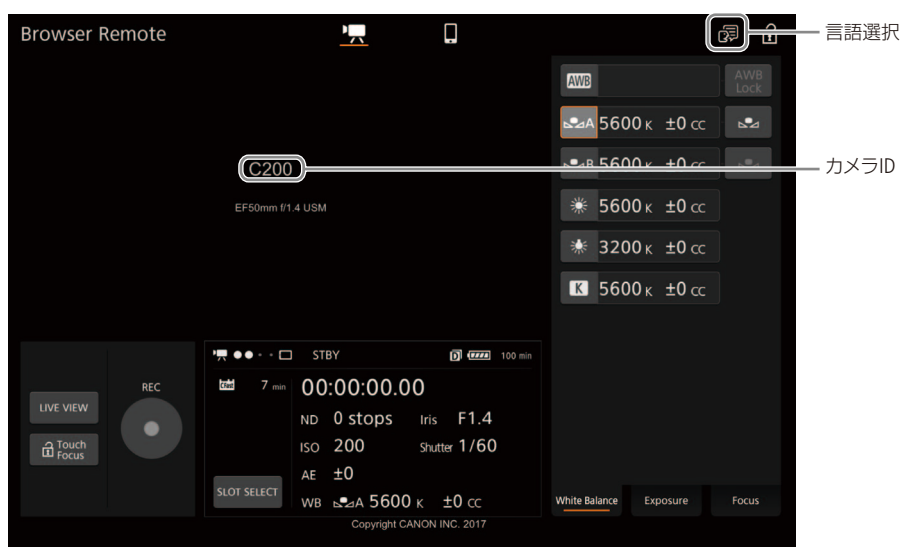
5 携帯端末など Webブラウザを起動する

6 携帯端末など 操作3で確認したURLを入力して、ブラウザーリモートを起動する

- ブラウザーリモートの画面が表示される。
- ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモート画面の●●●●が、順に点灯→順に消灯を繰り返す。

7 携帯端末など カメラIDを確認し、言語を変更する

- ① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。
- ② を押して表示されるリストから、ブラウザーリモートの表示言語を選ぶ。



8 本機 撮影後、ブラウザーリモートを終了する

- ①  ネットワーク設定メニュー ▶ 「機能」 ▶ 「切」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 画面の Remoteまたは Remoteが消え、ブラウザーリモートが無効になる。

MEMO

- カラーバーを表示中は、ライブビュー映像が表示されません。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- ビデオカメラに「Camera ID」を設定していない場合、カメラIDはブラウザーリモート画面に表示されません。
- ブラウザーリモートで選んだ言語と異なる言語をパソコンなどで設定している場合は、正しく表示されないことがあります。

■ リモート撮影する

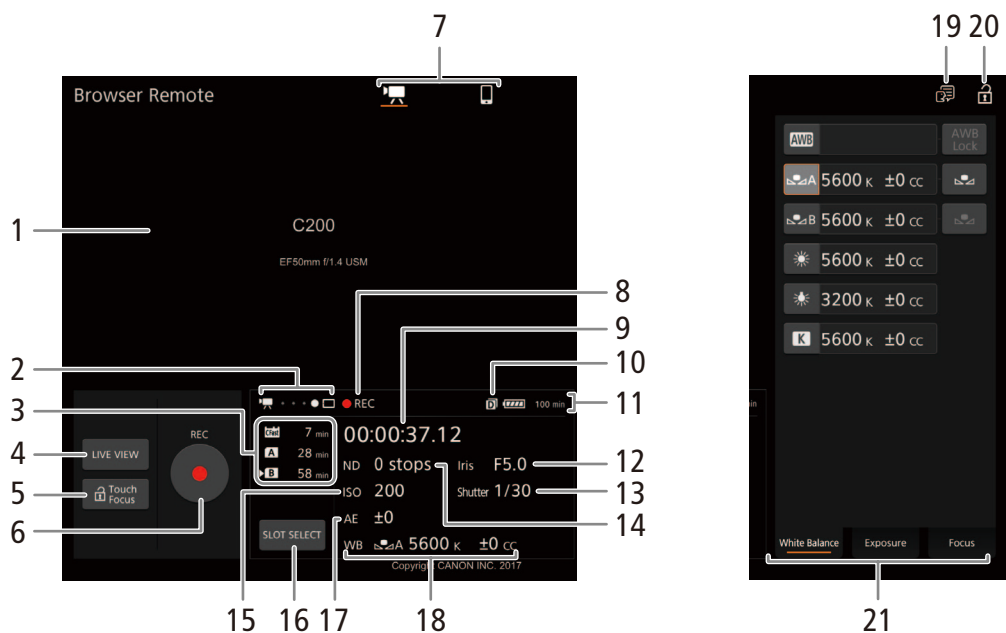
ブラウザーリモートの操作画面には、「詳細操作画面」、「簡易操作画面」があります。

MEMO

- ブラウザーリモートは、マルチタッチ操作には対応していません。

詳細操作画面

タブレットなど画面が比較的大きい携帯端末を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能の説明ページをご覧ください。

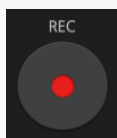


- 1 ライブビュー映像表示エリア
 - カメラのライブビュー映像を表示する。映像を表示していないときは、カメラID(□ 176)とレンズ情報が表示される。
- 2 ブラウザーリモート接続状態表示*
- 3 CFastカードとSDカードの状態／撮影可能時間
- 4 LIVE VIEW(ライブビュー)ボタン
 - 押すとライブビュー映像が表示される。
- 5 (🔒) Touch Focus(タッチフォーカスロック)ボタン
- 6 REC(記録開始／停止)ボタン
- 7 画面切り換えボタン
 - (📺) (詳細操作画面)、(📱) (簡易操作画面)のいずれかに切り換える。
- 8 撮影状態 (□ 62) ／記録コマンド状態
- 9 タイムコード* (□ 103)

- 10 ダブルスロット記録* (56)
- 11 バッテリー残量とバッテリー残時間* (63)
- 12 F値 / T値
- 13 シャッタースピード
- 14 NDフィルター
- 15 ISO感度 / ゲイン
- 16 SLOT SELECT (スロット選択) ボタン (55)
- 17 AEシフト
- 18 ホワイトバランス
- 19 言語選択
 - 一部の画面やメッセージの表示言語を選ぶ。
- 20 (キーロック) ボタン
 - ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。
 (キーロック) を押すとロックは解除される。本体側の操作はロックされない。
- 21 カメラ設定変更エリア / 切り換えタブ
 - White Balance (ホワイトバランス)、Exposure (露出)、Focus (フォーカス)、Zoom (ズーム) の各調整を切り換える。

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

撮影する



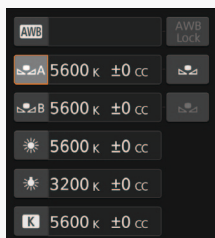
1 REC (記録開始 / 停止) ボタンを押す

- 撮影が開始され、撮影状態表示が「● REC」に変わる。RECボタン中央の●が赤色に変わる。
- 撮影中は、タイムコードが歩進する。
- 再度、RECボタンを押すと撮影を終了し、撮影状態表示が「STBY」に変わる。

ホワイトバランスを調整する

White Balance

1 White Balanceタブに切り換える



2 いずれかの設定方法を選ぶ

- 「AWB」を選んだときは、以降の操作は不要。



3 (A、またはB) を選んだとき 基準白色を取り込んで登録する

- ① グレーカードや白い無地の被写体をモニター画面の中央に写し、「(A/B)」を押す。
 - 「(A/B)」または「(A/B)」が早く点滅し、点灯に変わったら調整完了。

5600 K ±0 CC

4 AWB / A / B以外を選んだとき 微調整する

- ① 設定方法の右の色温度／色補正値を選ぶ。
- ② 「K」タブ、または「CC」タブを選ぶ。
- ③ 色温度、または色補正値を選ぶ。

MEMO

- 設定方法がAWBの場合、「AWB Lock」を押すと一時的にAWB動作を停止します。もう一度押すと再開します。

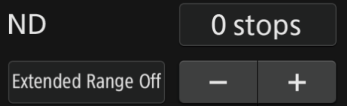
露出を調整する

Exposureタブに切り換える

Exposure

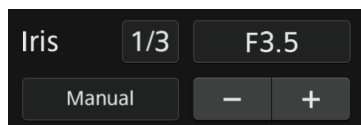
1 Exposureタブに切り換える

NDフィルターを切り換える



- ① 必要に応じて「Extended Range On」または「Extended Range Off」を選んで、ND濃度拡張の設定を変更する。
- ② ND設定値を押してリストから選ぶか、「-」または「+」を押してNDフィルターを選ぶ。
 - NDフィルターが変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

アイリスを調整する

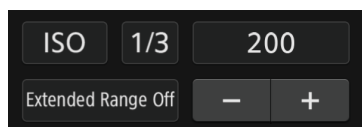


- ① 「Manual」を選んでアイリスモードをマニュアルにする
 - オートアイリス対応レンズ装着時のみ設定可能。
 - 「Automatic」を選ぶと自動調整になる。以降の操作は不要。
- ② 調整時の刻み幅（段）を「1/2」、「1/3」、「1/2 Fine」、「1/3 Fine」から選ぶ。
 - 「1/2 Fine」または「1/3 Fine」を選ぶと、レンズの最小の刻み幅で調整できる（画面上は、選択した1/2、または1/3の刻み幅で表示する）。
- ③ F値を押してリストから値を選ぶか、「-」または「+」を押してF値を調整する。
 - F値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
 - F値を押したあと、「-」または「+」で調整することもできる。
 - EFシネマレンズを装着したときは、T値が表示されます。

MEMO

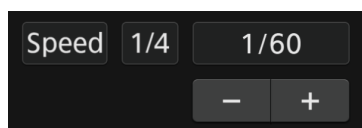
- 「PUSH AUTO IRIS」を押すと、一時的にオートでアイリスを調整することができます。調整中はマニュアルでの調整はできません。
- EFシネマレンズの内蔵エクステンダーを使用しているときは、F値を選んで調整できません。

ISO感度／ゲインを調整する



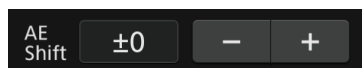
- ① 必要に応じて、「ISO」または「Gain」を選ぶ。
- ② 必要に応じて、「Extended Range On」または「Extended Range Off」を選んで、感度拡張の設定を変更する。
- ③ 調整時の刻み幅を選ぶ。
- ④ ISO感度／ゲインの値を押してリストから値を選ぶか、「－」または「＋」を押して値を調整する。
 - ISO感度、またはゲインの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

シャッタースピードを調整する



- ① シャッタースピードのモードを、「Speed」、「Angle」、「Clear Scan」、「Slow」、「Off」から選ぶ。
- ② 「Speed」を選んだときは、調整時の刻み幅（段）を「1/3」または「1/4」から選ぶ。
- ③ シャッタースピードの値を押してリストから値を選ぶ。
- ④ 必要に応じて、「－」または「＋」を押して値を調整する。
 - シャッタースピードの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

露出を調整する（AEシフト）



- ① 補正量、または「－」、「＋」を押す。
 - AEシフトの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

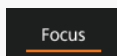
フォーカスを調整する

準備する



1 レンズのフォーカス設定をオートにする (88)

- モニター画面にAFが表示される。

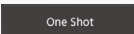
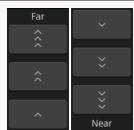


2 Focusタブに切り換える

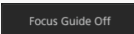
MEMO

- レンズのフォーカス設定をマニュアルにしていると、ブラウザーリモートからフォーカス調整できません。なお、レンズによっては、フォーカス調整できないことがあります。

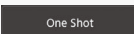
マニュアルで調整する

	1 AFモードに「One Shot」を選ぶ
	2 いずれかのフォーカス操作ボタンを押して、ピントを合わせる ● Nearのボタン（、、）を押すと至近方向に調整し、Farのボタン（、、）を押すと無限方向に調整します。 ● 調整量は押すボタンによって異なり、／は小、／は中、／は大です。

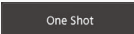
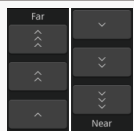
デュアルピクセルフォーカスガイドを使う

	1 「Focus Guide Off」を「On」にして、フォーカスガイド表示を「On」にする ● 画面にフォーカスガイド枠（サブ枠を除く）が表示される。
---	---

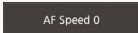
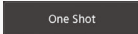
ワンショットAFで調整する

	1 AFモードに「One Shot」を選ぶ
	2 「ONE-SHOT AF」を押す ● 画面に白いAF枠が表示され、自動的にフォーカスが調整される。 ● 枠は、ピントが合うと緑色に、フォーカス調整できないと赤色に変わり、その後数秒で消える。 ● 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選択できる。

AFブーストMFで調整する

	1 AFモードに「AF-Boosted MF」を選ぶ
	2 フォーカス操作ボタンを押して、ピントを調整する ● 「マニュアルで調整する」と同じ要領で操作する。 ● フォーカス位置が自動調整領域に入ると、自動的にピント合わせ行う。 ● 自動調整領域以外、または「AF Lock」でピントが固定されているときは、マニュアルで調整できる。 ● 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選択できる。 ● 「ONE-SHOT AF」ボタンが「AF Lock」に変わる。 ● 「AF Lock」を押すと、ピントが固定される。もう一度押すと解除される。

コンティニュアスAFで調整する

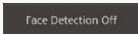
	1 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選ぶ
	2 AFモードに「Continuous」を選ぶ ● 画面に白い枠 (AF枠) が表示され、継続したピント合わせを行う。 ● 「ONE-SHOT AF」ボタンが「AF Lock」に変わる。 ● 「AF Lock」を押すと、ピントが固定される。もう一度押すと解除される。 ● 「AF Lock」でピントが固定されているときは、マニュアルで調整できる。

AF枠の位置を変更する

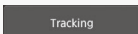
ブラウザーリモートのライブビュー表示上でタッチした位置にAF枠を移動させることができます。

	1 AF枠位置に「Selectable」を選ぶ
	2 「  Touch Focus」ボタンがロック解除状態であることを確認する
	3 ライブビュー表示上で被写体をタッチする ● タッチした位置に、AFモードで選んだオートフォーカス機能に応じたAF枠が表示される。

顔を検出してフォーカスを合わせる

	1 「Face Detection Off」を「On」にして、顔検出を「On」にする
	2 顔検出AFのモードを「Face Priority」または「Face Only」から選ぶ
	3 カメラの画角に人物が入ると顔を検出する ● 検出したすべての顔に枠が表示され、メインの被写体と判断した顔の枠に◀と▶が付く。 ● メインの被写体以外の枠をタッチすると、タッチした枠がメインの被写体になる。
	4 マニュアル、またはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

選んだ被写体を追尾する

	1 「Tracking」を選び、追尾を有効にする
	2 ライブビュー画面上で被写体をタッチする ● タッチした被写体に追尾する。「Cancel Tracking」を選ぶと解除する。

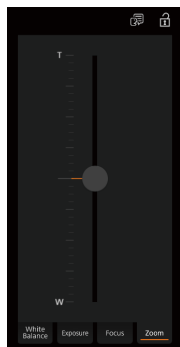
3 マニュアル、またはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

MEMO

- デュアルピクセルフォーカスガイドがONで、カメラ側でサブ枠表示を「入」にしていると、顔検出と追尾は使用できません。

ズームを調整する

ズーム調整に対応するEFシネマレンズ、またはパワーズームアダプタ PZ-E1(別売)に対応したEFレンズ(□ 248)を装着しているときは、ズームを調整できます。レンズの詳細についてはレンズの説明書をご覧ください。

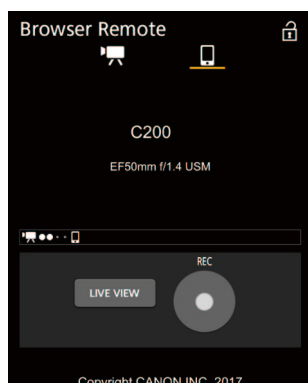


- ① レンズのズーム設定をSERVO*にする。
 - ② Zoomタブに切り換える。
 - ③ ズームスライダーを上下にドラッグして、ズームを調整する。
- * PZ-E1はPZ(パワーズーム)。

MEMO

- 低速で操作すると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

簡易操作画面



画面切り換えタブで「簡易操作」を選ぶと表示されます。スマートホンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときに使用します。簡易操作画面では、REC(記録開始/停止)、LIVE VIEW(ライブビュー)の入/切、画面切り換え、 (キーロック)のみ行うことができます。

クリップをFTPで転送する

本機に記録したMP4クリップやプロキシ動画（Proxy）を、FTPサーバーにまとめて転送できます。以下では、FTPサーバーがあらかじめ起動され、正しく動作していることを前提に説明しています。

FTP転送の準備をする

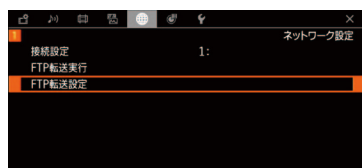
CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

転送先となるFTPサーバーに接続するための設定や、転送先のフォルダー生成や同名ファイルの扱いなどの詳細設定を行います。設定内容の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



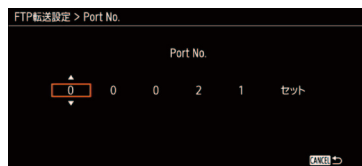
1 「FTP転送設定」を選ぶ

- ① 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「FTP転送設定」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



2 FTPサーバー名、FTPユーザー名、FTPパスワード、転送先フォルダーを入力する

- ① 「FTPサーバー」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② FTPサーバー名を入力する。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(38)
- ③ 同様に、FTPユーザー名、FTPパスワード、転送先フォルダーを入力する。



3 ポートNo.を入力する

- ① 「Port No.」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 176ページの操作2と同じ要領でFTPポートを入力する。
- ③ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



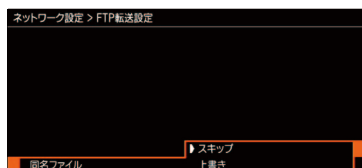
4 「パッシブモード」を選ぶ

- ① いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
入： パッシブモードで通信する。ファイアウォールの内側からFTP転送を行うときなどに使用する。
切： アクティブモードで通信する。通常はこのモードを使用する。



5 「日付フォルダー生成」を選ぶ

- ① 「日付フォルダー生成」を選ぶ。
- ② 「入」または「切」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 「入」にすると、FTPサーバーの転送先フォルダーに日付のフォルダー（「YYYYMMDD ¥HHMMSS」）を自動的に作成し、その中にファイルを転送する。



6 「同名ファイル」を選ぶ

- ① 「同名ファイル」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
スキップ： 転送先に同じ名前のファイルがあるとき、そのファイルを転送しない。
上書き： 転送先に同じ名前のファイルがあっても、上書きする。

MEMO

- 現在のFTPサーバー設定とFTP転送設定の詳細は、ステータス画面で確認できます (P.220)。

クリップをFTPで転送する

CAMERA MEDIA RAW MP4

SDカードに記録されたプロキシ動画を、FTPサーバーに転送します。

1つのクリップを転送する



- ① ネットワークの接続設定を選ぶ (P.175)。
 - Wi-Fiのインフラストラクチャー (P.170)またはイーサネット (P.174)を使用する。
 - イーサネットを使用するときは、本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する。
- ② 転送するクリップを選ぶ。
- ③ クリップメニュー ▶ 「FTP転送」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ネットワーク接続方法に応じたアイコンが画面に表示される (P.146)。ネットワークの接続が完了すると、アイコンが黄色から白色に変わる。
 - FTPサーバーとの接続が完了すると画面に「FTP」(白色)が表示され、選択したクリップのファイルが転送される。
- 転送を中止するとき CANCELを押す。
 - 転送が終了すると、画面の「FTP」(白色)が「FTP」(黄色)に変わり、消える。
- ⑤ ジョイスティックを押す。

クリップをまとめて転送する



- ① 転送するクリップがあるインデックス画面を出す (147)。
- ② ネットワークの接続設定を選ぶ (175)。
 - Wi-Fiのインフラストラクチャー (170)またはイーサネット (174)を使用する。
 - イーサネットを使用するときは、本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する。
- ③ 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「FTP転送実行」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「選択」、「すべて」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

「選択」を選んだとき

- ① 転送するクリップを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ② ①を繰り返し、転送するクリップをすべて選ぶ。
 - ③ MENUボタンを押す。
 - ⑤ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される (146)。
 - FTPサーバーとの接続が完了すると画面に**FTP** (白色)が表示され、表示しているインデックス画面内のクリップのファイルが転送される。
- 転送を中止するとき CANCELを押す。
- 現在のファイルの転送が終了後、FTP転送が中止される。
 - 転送が終了すると、画面の**FTP** (白色)が**FTP** (黄色)に変わり、消える。
- ⑥ ジョイスティックを押す。

ご注意

- ファイル転送中は、次のことを守ってください。通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
 - SDカードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - 転送先に不要なファイルが残っているときは、内容を十分に確認してから、削除してください。

MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。

メニュー

メニュー一覧..... 190

メニュー一覧

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(33)をご覧ください。

メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面上側に次のメニューのアイコンが表示されます。

カメラモードのとき

MENU

カメラ設定メニュー (194)

(撮影時のカメラ設定)

1ページ

- Irisモード
- Irisステップ
- Irisファイン
- Zoom連動F値補正
- ND濃度拡張

2ページ

- Shutterモード
- Shutterステップ
- ISO/Gain
- ISO/Gain感度拡張
- ISOステップ
- Gainステップ

3ページ

- 測光方式
- AEシフト
- AEレスポンス
- ショックレスWB
- AWBレスポンス

4ページ

- AFモード
- AF枠位置
- AF枠サイズ
- AFスピード適用条件
- AFスピード
- AFレスポンス

5ページ

- 顔検出
- 顔検出AF
- 本体グリップズーム
- 本体グリップズームスピード

6ページ

- ABB
- カラーバー
- カラーバータイプ
- 周辺光量補正
- 色収差補正

Custom Picture/HDR設定メニュー

(196)

(画質のカスタマイズ)

1ページ

- HDR/LUT
- Preset
- Gamma
- Color Matrix
- Activate Other Settings
- Other Settings
- ファイル

記録/メディア設定メニュー (197)

(記録設定、記録メディア操作)

1ページ

- メディア初期化
- 主記録形式
- システム周波数
- 記録モード
- インターバル記録間隔
- サブ記録設定

2ページ

- フレームレート
- 解像度/カラーサンプリング
- MP4オーディオ形式

3ページ

- リレー記録
- ダブルスロット記録

4ページ

- メタデータ
- 記録コマンド
- HDMI Time Code
- ファイル番号

オーディオ設定メニュー (198)

(音声の入出力設定)

1ページ

- CH1/CH2 Input選択
- CH2 Input
- CH3/CH4 Input選択
- CH1/CH2 ALCリンク
- CH3/CH4 ALCリンク

2ページ

- 録音レベル CH3
- CH3レベル
- 録音レベル CH4
- CH4レベル
- 録音レベル CH3/CH4
- CH3/CH4 レベル

3ページ

- INPUT 1 Micトリミング
- INPUT 1 Mic Att.
- INPUT 2 Micトリミング
- INPUT 2 Mic Att.
- INPUT 1/2 リミッター
- MIC Att.
- MICローカット

4ページ

- 1 kHzトーン
- ヘッドホン音量
- モニターチャンネル
- HDMIチャンネル

 モニタリング設定メニュー (□ 200)
(画面／端子出力設定)

1ページ

- └ LCD LM-V1明るさ
- └ LCD LM-V1コントラスト
- └ LCD LM-V1カラー
- └ LCD LM-V1シャープネス
- └ LCD LM-V1輝度

2ページ

- └ **C200** VF明るさ
- └ **C200** VFコントラスト
- └ **C200** VFカラー
- └ **C200** VFシャープネス
- └ **C200** VF輝度
- └ **C200** VFアイセンサー

3ページ*1

- └ EVF-V70明るさ
- └ EVF-V70コントラスト
- └ EVF-V70カラー
- └ EVF-V70シャープネス
- └ EVF-V70輝度
- └ EVF-V70アイセンサー

4ページ*2

- └ 白黒：VIDEO端子
- └ **C200** 白黒：VF

5ページ*3

- └ オンスクリーン表示
- └ Custom Display1
- └ Custom Display2
- └ 表示単位系

 アシスト設定メニュー (□ 203)
(アシスト表示設定)

1ページ

- └ フォーカスガイド
- └ フォーカスガイドサブ枠表示

2ページ

- └ ピーキング：VIDEO端子
- └ **C200** ピーキング：VF
- └ ピーキング選択
- └ ピーキング1
- └ ピーキング2
- └ ピーキング有効時白黒

3ページ

- └ Magnification：VF+VIDEO端子*4
- └ Magnification：SDI/HDMI
- └ Magnification有効時白黒

4ページ

- └ ゼブラ：VIDEO端子
- └ **C200** ゼブラ：VF
- └ ゼブラ選択
- └ ゼブラ1レベル
- └ ゼブラ2レベル

5ページ

- └ WFM：VF+VIDEO端子*4
- └ WFM：SDI
- └ WFMタイプ
- └ WFM Gain
- └ WFM Yポジション
- └ WFM ラインセレクト

6ページ

- └ マーカー：VF+VIDEO端子*4
- └ マーカー：SDI/HDMI
- └ センターマーカー
- └ 水平マーカー
- └ グリッドマーカー
- └ アスペクトマーカー
- └ マーカーアスペクト比
- └ マーカー カスタムアスペクト比

7ページ

- └ セーフティーゾーンマーカー
- └ マーカー セーフティーゾーン基準
- └ マーカー セーフティーゾーン面積

 ネットワーク設定メニュー (□ 205)
(ネットワーク設定)

1ページ

- └ 接続設定
- └ 機能
- └ ブラウザリモート設定

 アサインボタンメニュー (□ 206)

1ページ

- └ カメラ1
- └ カメラ2
- └ カメラ3
- └ カメラ4
- └ カメラ5
- └ カメラ6
- └ カメラ7

2ページ

- └ カメラ8
- └ カメラ9
- └ カメラ10
- └ カメラ11

3ページ

- └ 本体グリップ1

4ページ

- └ LCD LM-V1 1
- └ LCD LM-V1 2

5ページ

- └ EVF-V70 1
- └ EVF-V70 2
- └ EVF-V70 3
- └ EVF-V70 4

6ページ

- └ RC-V100 1
- └ RC-V100 2
- └ RC-V100 3
- └ RC-V100 4

*1 **C200B** 2ページ

*2 **C200B** 3ページ

*3 **C200B** 4ページ

*4 **C200B** に「VF+」は含まない。

🔧 システム設定メニュー (📖 207)
(リセット、日時、言語など)

1ページ

- ― リセット
- ― メニュー / **CP** 設定保存
- ― タイムゾーン
- ― 日付/時刻
- ― 日時スタイル
- ― 言語 
- ― REMOTE端子

2ページ

- ― HDMI最大解像度
- ― SDI出力
- ― 3G-SDIマッピング

3ページ

- ― Time Code モード
- ― Time Code Run
- ― Time Code DF/NDF
- ― Time Code 設定
- ― User Bit タイプ

4ページ

- ― 電子ダイヤル (カメラ)
- ― 電子ダイヤル (本体グリップ)
- ― 電子ダイヤル方向 (カメラ)
- ― 電子ダイヤル方向 (本体グリップ)
- ― SELECTダイヤル方向 (EVF-V70)
- ― キーロック
- ― RECボタン (カメラ)
- ― RECボタン (本体グリップ)

5ページ

- ― LED
- ― ファン
- ― レックレビュー
- ― GPS自動時刻設定

6ページ

- ― 電源オフ時のレンズ収納
- ― アワーメーターリセット
- ― Firmware

★ マイメニュー (📖 209)

1ページ

- ― 編集

2ページ

- ― 編集

3ページ

- ― 編集

4ページ

- ― 編集

5ページ

- ― 編集

メディアモードのとき

MENU

記録/メディア設定メニュー (197)

(記録設定、記録メディア操作)

1ページ

- メディア初期化
- システム周波数

オーディオ設定メニュー (198)

(音声の出力設定)

1ページ

- ヘッドホン音量
- スピーカー音量
- モニターチャンネル
- HDMIチャンネル

モニタリング設定メニュー (200)

(画面／端子出力設定)

1ページ

- LCD LM-V1明るさ
- LCD LM-V1コントラスト
- LCD LM-V1カラー
- LCD LM-V1シャープネス
- LCD LM-V1輝度

2ページ

- C200** VF明るさ
- C200** VFコントラスト
- C200** VFカラー
- C200** VFシャープネス
- C200** VF輝度
- C200** VFアイセンサー

3ページ*1

- EVF-V70明るさ
- EVF-V70コントラスト
- EVF-V70カラー
- EVF-V70シャープネス
- EVF-V70輝度
- EVF-V70アイセンサー

4ページ*2

- オンスクリーン表示
- Custom Display

アシスト設定メニュー (203)

(アシスト表示設定)

1ページ

- WFM : VF+VIDEO端子*3
- WFM : SDI
- WFMタイプ
- WFM Gain
- WFM Yポジション
- WFM ラインセレクト

ネットワーク設定メニュー (205)

(ネットワーク設定)

1ページ

- 接続設定
- FTP転送実行
- FTP転送設定

アサインボタンメニュー (206)

1ページ

- カメラ1
- カメラ2
- カメラ3
- カメラ4
- カメラ5
- カメラ6
- カメラ7

2ページ

- カメラ8
- カメラ9
- カメラ10
- カメラ11

3ページ

- 本体グリップ1

4ページ

- LCD LM-V1 1
- LCD LM-V1 2

5ページ

- EVF-V70 1
- EVF-V70 2
- EVF-V70 3
- EVF-V70 4

6ページ

- RC-V100 1
- RC-V100 2
- RC-V100 3
- RC-V100 4

システム設定メニュー (207)

(リセット、日時、言語など)

1ページ

- リセット
- メニュー / **CP** 設定保存
- タイムゾーン
- 日付/時刻
- 日時スタイル
- 言語 **EN**
- REMOTE端子

2ページ

- HDMI最大解像度
- SDI出力
- 3G-SDIマッピング

3ページ

- SELECTダイヤル方向 (EVF-V70)

4ページ

- LED
- ファン速度

*1 **C200B** 2ページ

*2 **C200B** 3ページ

*3 **C200B** に「VF+」は含まない。

■ メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。ページ数は、カメラモードのときです。メディアモードのときのページ数は、「メニューの階層」のメディアモードのとき (193) または設定項目の右側をご覧ください。

📷 カメラ設定メニュー

CAMERA MEDIA RAW MP4

設定項目／内容・設定値		📖
1	Irisモード* アイリスのモードを設定する。 オート： アイリスをオートで調整する。 マニュアル： アイリスをマニュアル、またはプッシュオートアイリスで調整する。 * 対応EFレンズ装着時のみ (193)	79
	Irisステップ 設定値：1/2段、 1/3段 アイリス設定時の刻み幅を設定する。	79
	Irisファイン 設定値：入、 切 / 内容：ファインにすると、1/3段より細かい刻み幅で設定できる。	79
	Zoom連動F値補正 設定値：入、 切 ズーム操作によりF値が変化するレンズを使用時、入にすると、設定したF値を保つように絞りを補正する。ただし、絞りが動作するのにともない、若干の輝度のばらつきと動作音が発生する。切にすると、望遠側にズームするに従って、徐々にF値が大きくなる(暗くなる)。輝度変化は少なく、絞りの動作音は発生しない。	—
	ND濃度拡張 設定値：入、 切 / 内容：入にすると、NDの濃度に8 stopsと10 stopsが追加される。	77
2	Shutterモード シャッタースピードのモードを設定する。 スピード ： 秒数で設定。 アングル： 開角度で設定。 クリアスキャン： 周波数で設定。 スロー： フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で指定。 切： フレームレートの初期設定のシャッタースピード。	71
	Shutterステップ 設定値：1/3段、 1/4段 / 内容：シャッタースピード設定時の刻み幅を設定する。	72
	ISO/Gain 設定値： ISO 、Gain / 内容：感度の設定方法をISO感度とゲインから選ぶ。	75
	ISO/Gain感度拡張 設定値：入、 切 / 内容：入にすると、設定できるISO感度／ゲインが拡張できる。	74
	ISOステップ 設定値：1段、 1/3段 / 内容：ISO感度設定時の刻み幅を選ぶ。	75

設定項目／内容・設定値		📖
2	Gainステップ	75
	ゲイン設定時の刻み幅を選ぶ。 ノーマル ： 3 dB ファイン ： 0.5 dB	
3	測光方式	82
	絞りを自動調整するときの測光方式を設定する。 バックライト ： 逆光時の暗部をより明るく制御する。 スタンダード ： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト ： スポットの明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	
	AEシフト	81
	設定値：+2.0、+1.75、+1.5、+1.25、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、 ±0 、-0.25、-0.5、-0.75、-1.0、-1.25、 -1.5、-1.75、-2.0 絞りを自動調整するときの明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正を行う。	
	AEレスポンス	80
	設定値：ハイ、 ノーマル 、ロー 絞りを自動調整するときのAEの応答性を選ぶ。次のEFシネマレンズ装着時を除く。 ・CN7×17 KAS S/E1 ・CN20×50 IAS H/E1	
	ショックレスWB	83
	設定値：入、 切 / 内容：入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。	
	AWBレスポンス	86
	設定値：ハイ、 ノーマル 、ロー / 内容：オートホワイトバランスのときの応答性を選ぶ。	
4	AFモード	88
	オートフォーカスのモードを設定する。 ワンショット ： ワンショットAFによる自動調整が可能となる。 AFブーストMF ： 手動で大まかに調整すると、合焦付近は自動的に調整される。 連続 ： 継続したAF動作による自動調整が可能となる。	
	AF枠位置	96
	設定値： 可動 、中央固定 / 内容：AF枠の移動可否を選ぶ。「可動」にするとAF枠の位置を移動可能。	
	AF枠サイズ	96
	設定値： 大 、小 / 内容：AF枠のサイズを選ぶ。	
	AFスピード適用条件	94
	設定値： 常時 、記録中 / 内容：「AFスピード」の設定が常に有効か、記録中のみ有効かを選ぶ。	
	AFスピード	94
	設定値：+2、+1、 0 、-1～-7 / 内容：オートフォーカスの調整速度を選ぶ。	
	AFレスポンス	94
	設定値：+3、+2、+1、 0 、-1、-2、-3 / 内容：オートフォーカスの応答性を選ぶ。	
5	顔検出	96
	設定値：入、 切 / 内容：入にすると顔検出が有効になる。	

設定項目／内容・設定値		📖
5	顔検出AF	96
顔検出AFで顔が検出されないときの動作を選ぶ。 顔優先： AFモードの設定に応じた調整方法で調整する。 顔限定： ピントが固定される（マニュアルフォーカス）。		
	本体グリップズーム	99
設定値：入、 切 / 内容：入にすると、カメラ本体のグリップのジョイスティックでズームを操作できる。		
	本体グリップズームスピード	99
設定値：1～16(8) / 内容：ズームスピード（固定速）を16段階で選ぶ。値が大きいくほど高速になる。		
6	ABB	58
設定値： キャンセル 、OK / 内容：オートブラックバランスを実行する。		
	カラーバー	114
設定値：入、 切 / 内容：入にすると、カラーバーを表示する。		
	カラーバータイプ	114
設定値： SMPTE 、EBU、ARIB / 内容：カラーバーのタイプを選ぶ。		
	周辺光量補正	42
設定値：入、 切 / 内容：入にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを補正する。		
	色収差補正	42
設定値：入、 切 / 内容：入にすると、レンズの特性によって生じる色ずれや色にじみを補正する。		

CP HDR Custom Picture/HDR設定メニュー

CAMERA MEDIA RAW MP4

設定項目／内容・設定値		📖
1	HDR/LUT	158、159
HDR出力の設定値：HDR：PQ、 HDR：切 「HDR：PQ」にすると、SDI端子またはHDMI OUT端子からHDR規格に準拠したHDR映像を出力する。 LUTの設定値：[CP Preset(プリセット)：Canon Log 3時のSDI端子]LUT：BT.709、LUT：ACESproxy、 LUT：切 [CP Gamma(ガンマ)：Canon Log 3 / Canon Log時のSDI端子]LUT：BT.709、 LUT：切 [HDR設定時のVIDEO端子と C200 VF(ファインダー)] LUT：BT.709 、LUT：HDRアシスト(1600%)、LUT：HDRアシスト(400%) [CP Gamma(ガンマ)：Canon Log 3時のVIDEO端子と C200 VF(ファインダー)]LUT：BT.709、LUT：HDRアシスト(1600%)、 LUT：HDRアシスト(400%)、 LUT：切 [CP Gamma(ガンマ)：Canon Log 3時以外のVIDEO端子と C200 VF(ファインダー)]LUT：BT.709、 LUT：切 各出力先に適用するLUTを選ぶ。HDRやカスタムピクチャーのプリセット、ガンマの設定によって、選択できる項目が異なる。		
	Preset	139
あらかじめ用意された、プリセット（色空間、ガンマ、カラーマトリックスの組み合わせ）を選ぶ。		
	Gamma	139
プリセットを使用しないときに、ガンマを個別に選ぶ。		

設定項目／内容・設定値		📖
1	Color Matrix	139
	プリセットを使用しないときに、カラーマトリックスを個別に選ぶ。	
	Activate Other Settings	139
	設定値：On、 Off ／内容：Onにすると、Other Settingsで詳細な調整が可能になる。	
	Other Settings	139
	設定値：On、 Off ／内容：Presetで選んだ設定に対して、さらに詳細な調整を行う。	
	ファイル	142
	カスタムピクチャーファイルの操作を行う。	

📁 記録/メディア設定メニュー

CAMERA MEDIA RAW MP4

設定項目／内容・設定値		📖
1	メディア初期化 ▶ CFast、SDカードA、SDカードB	54
	設定値： キャンセル 、OK ／ [SDカード選択時] 完全初期化 、高速初期化 CFast、SDカードA、またはSDカードBの各スロットに入っているカードを初期化する。SDカードのときは、完全初期化と高速初期化を選択可能。	
	主記録形式*1	68
	設定値：RAW (CFast)、 MP4 (SDカード) ／内容：メイン動画の記録形式と記録先 (出力先) を選ぶ。	
	システム周波数	68
	設定値： 59.94 Hz 、50.00 Hz、24.00 Hz ／内容：システム周波数を選ぶ。	
	記録モード*1	119
	設定値：[主記録形式：MP4時] 通常記録 、スローモーション記録、ブレ記録、フレーム記録、インターバル記録 [主記録形式：RAW時] 通常記録 特殊記録を行うときは、使用する特殊記録のいずれかを選ぶ。通常の記録に戻すときは「通常記録」を選ぶ。	
	インターバル記録間隔*1	122
	設定値： 1 、5、10、30 sec、1、5、10 min ／内容：インターバル記録の記録時間間隔を選ぶ。	
	サブ記録設定*1	118
	設定値：MP4 (SDカード)、 切 「MP4 (SDカード)」を選ぶと、メイン動画 (RAW形式) と同時にサブ (プロキシ) 動画を記録できる。	
2	フレームレート*1	68
	設定値：[59.94 Hz時] 59.94P 、29.97P、23.98P ／ [50.00 Hz時] 50.00P 、25.00P ／ [24.00 Hz時] 24.00P フレームレートを選ぶ。システム周波数の設定によって選択できる値が異なる。	
	解像度/カラーサンプリング*1	68
	設定値：[RAW時] 4096×2160 12 bit、4096×2160 10 bit ／ [MP4時] 3840×2160 YCC420 8 bit 、1920×1080 YCC420 8 bit 解像度とカラーサンプリングを選ぶ。記録モードとフレームレートの設定によって選択できる値が異なる。	
	MP4オーディオ形式*1	109
	設定値： AAC 16 bit 2CH 、LPCM 16 bit 4CH ／内容：MP4形式で記録したときのオーディオ形式を選ぶ。	

設定項目／内容・設定値		📖
3	リレー記録* ¹	56
	設定値：入、 切 ／内容：リレー記録の入／切を切り換える。	
	ダブルスロット記録* ¹	56
	設定値：入、 切 ／内容：ダブルスロット記録の入／切を切り換える。	
4	メタデータ* ¹ ▶ カメラインデックス	64
	設定値： A ～ Z クリップファイル名を構成する「カメラインデックス」を設定する。カメラごとに異なる文字を設定する。	
	メタデータ* ¹ ▶ リール番号	64
	設定値： 001 ～999 ／ セット 、リセット クリップファイル名を構成する「リール番号」の初期値を設定する。記録メディアごとに異なる番号を設定する。	
	メタデータ* ¹ ▶ クリップ番号	64
	設定値： 001 ～999 [セット 、リセット] ／内容：クリップファイル名を構成する「クリップ番号」の初期値を設定する。	
	メタデータ* ¹ ▶ ユーザー定義	64
	設定値： A ～ Z 、 0 ～ 9 からなる5文字の文字列 (CANON) クリップファイル名を構成する「ユーザー定義」を設定する。	
	記録コマンド* ¹	157
	設定値：入、 切 入にして、本機と他機をSDI端子、またはHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（RECボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。HDMI OUT端子のときは、同時に📷 4 記録／メディア設定メニュー ▶ 「HDMI Time Code」を「入」にする。	
	HDMI Time Code* ¹	157
	設定値：入、 切 ／内容：入にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳する。	
	ファイル番号* ¹	66
	MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ。 オートリセット： ファイル番号は100-0001。またはSDカード内に記録されているMP4クリップ／静止画のファイルの続きの番号になる。 通し番号 ： ファイル番号は最後に記録したMP4クリップ／静止画のファイルの続きの番号になる。	

*¹ カメラモードのみ。

🎵 オーディオ設定メニュー

CAMERA MEDIA RAW MP4

設定項目／内容・設定値		📖
1	CH1/CH2 Input選択* ¹ 、CH3/CH4 Input選択* ¹	109
	設定値： INPUT 端子、MIC端子、モノラルマイク ／内容：CH1 ／ CH2、またはCH3 ／ CH4に録音する入力音声を選ぶ。	
	CH2 Input* ¹	109
	チャンネル2として記録する入力音声を選ぶ。 INPUT 2 ： INPUT1入力をCH1にINPUT2入力をCH2に録音する。 INPUT 1 ： INPUT1入力をCH1 ／ CH2の両方に録音する。	

設定項目／内容・設定値		📖
1	CH1/CH2 ALCリンク* ¹ 、CH3/CH4 ALCリンク* ¹	111
	設定値：連動、 独立 INPUT端子、またはMIC(マイク)端子が同じ音声入力に設定されている場合、連動にするとINPUT端子のCH1とCH2、またはCH3とCH4の録音レベル調整を連動させることができる。	
	スピーカー音量* ²	150
	設定値：切、1～15(8) / 内容：スピーカーの音量を調整する。	
2	録音レベル CH3* ¹ 、録音レベル CH4* ¹ 、録音レベル CH3/CH4* ¹	111
	設定値： オート 、マニュアル / 内容：CH3、CH4、またはCH3 / CH4の録音レベルの調整方法を選ぶ。	
	CH3レベル* ¹ 、CH4レベル* ¹ 、CH3/CH4 レベル* ¹	111
	設定値：0～100(50) / 内容：CH3、CH4、またはCH3 / CH4の録音レベルを手動で設定する。	
3	INPUT 1 Micトリミング* ¹ 、INPUT 2 Micトリミング* ¹	112
	設定値：+12 dB、+6dB、 0 dB 、-6 dB、-12 dB 外部マイク (INPUT1端子、またはINPUT2端子)の入力感度を調整する。	
	INPUT 1 Mic Att.* ¹ 、INPUT 2 Mic Att.* ¹	112
	設定値：入、 切 / 内容：入にすると、外部マイク (INPUT1端子、またはINPUT2端子)にアッテネーター (20 dB)がかかる。	
	INPUT 1/2 リミッター * ¹	111
	設定値：入、 切 / 内容：録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを防止できる。	
	MIC Att.* ¹	112
	設定値：入、 切 / 内容：入にすると、外部マイク (MIC端子)にアッテネーター (20 dB)がかかる。	
	MICローカット* ¹	112
	設定値：入、 切 外部マイク (MIC端子)の特性を選ぶ。入にすると、風の影響を受ける屋外で撮影するとき、風によるノイズを低減する。	
4	1 kHz トーン* ¹	114
	設定値：-12 dB、-18 dB、-20 dB、 切 / 内容：カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	
	ヘッドホン音量 (メディアモード時 1ページ)	150
	設定値：切、1～15(8) / 内容：ヘッドホンの音量を調整する。	
	モニターチャンネル (メディアモード時 1ページ)	161
	設定値： CH1/CH2 、CH1/CH1、CH2/CH2、CH1+2/CH1+2、CH3/CH4、CH3/CH3、CH4/CH4、CH3+4/CH3+4、CH1+3/CH2+4 ヘッドホンの出力チャンネル (L/R)を選ぶ。「CH1+2」はCH1とCH2のミックスした信号であることを示す。 「CH1+3」、「CH3+4」なども同様。	
	HDMIチャンネル (メディアモード時 1ページ)	162
	設定値： CH1/CH2 、CH3/CH4 / 内容：4チャンネルの音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルを選ぶ。	

*¹ カメラモードのみ。*² メディアモードのみ。

☰ モニタリング設定メニュー

CAMERA MEDIA RAW MP4

設定項目／内容・設定値		📖
1	LCD LM-V1明るさ	45
	設定値：－99 ～＋99(±0) / 内容：LCDモニター LM-V1の明るさを調整する。	
	LCD LM-V1コントラスト	45
	設定値：－99 ～＋99(±0) / 内容：LCDモニター LM-V1のコントラストを調整する。	
	LCD LM-V1カラー	45
	設定値：－20 ～＋20(±0) / 内容：LCDモニター LM-V1のカラーを調整する。	
	LCD LM-V1シャープネス	45
	設定値：1 ～4(2) / 内容：LCDモニター LM-V1のシャープネスを調整する。	
	LCD LM-V1輝度	45
	設定値：ノーマル、＋1、＋2 / 内容：LCDモニター LM-V1のバックライトの明るさを選ぶ。	
2	C200 VF明るさ	45
	設定値：－99 ～＋99(±0) / 内容：ファインダーの明るさを調整する。	
	C200 VFコントラスト	45
	設定値：－99 ～＋99(±0) / 内容：ファインダーのコントラストを調整する。	
	C200 VFカラー	45
	設定値：－20 ～＋20(±0) / 内容：ファインダーのカラーを調整する。	
	C200 VFシャープネス	45
	設定値：1 ～4(2) / 内容：ファインダーのシャープネスを調整する。	
	C200 VF輝度	45
	設定値：ハイ、ノーマル / 内容：ファインダーの輝度を選ぶ。	
	C200 VFアイセンサー	44
	設定値：入、切 / 内容：ファインダーの自動点灯・消灯機能を入／切する。	
3*3	EVF-V70明るさ	—
	設定値：－99 ～＋99(±0) / 内容：EVF-V70の明るさを調整する。	
	EVF-V70コントラスト	—
	設定値：－99 ～＋99(±0) / 内容：EVF-V70のコントラストを調整する。	
	EVF-V70カラー	—
	設定値：－20 ～＋20(±0) / 内容：EVF-V70のカラーを調整する。	
	EVF-V70シャープネス	—
	設定値：1 ～4(2) / 内容：EVF-V70のシャープネスを調整する。	
	EVF-V70輝度	—
	設定値：ハイ、ノーマル / 内容：EVF-V70の輝度を選ぶ。	

設定項目 / 内容・設定値		📖
3*3	EVF-V70アイセンサー	—
	設定値：入、切 / 内容：入の場合、撮影時に約30秒間（再生時は約10秒間）接眼しないと、EVF-V70の輝度を下げる。	
4*4	C200 白黒：VF*1、白黒：VIDEO端子*1	45
	設定値：入、切 / 内容：ファインダー、VIDEO端子の出力を白黒にする。	
	Custom Display*2 ▶ オーディオレベル	149
	設定値：入、切 / 内容：クリップの再生画面にオーディオレベルメーターを表示する。	
	Custom Display*2 ▶ 日付/時刻	149
	設定値：入、切 / 内容：クリップ/静止画の再生画面に日時を表示する。	
	Custom Display*2 ▶ カメラデータ	149
	設定値：入、切 入にすると、クリップの再生画面にカメラデータ（シャッタースピード、F値、ISO感度/ゲイン）を表示する。	
5*5	オンスクリーン表示 (メディアモード時 4ページ*4)	62
	設定値：入、切 / 内容：映像を出力する端子に画面表示を重畳する DISP (画面表示出力) アイコンを表示する。	
	Custom Display*1 ▶ 測光方式、Custom Picture/HDR、焦点距離、ND Filter、フォーカスモード、キーロック、AEシフト、露出バー、White Balance、Iris、ISO/Gain、Shutter、ピーキング、Magnification、LUT、レンズ	62
	設定値：入、切 [測光方式]： 測光方式がバックライト、またはスポットライトのときに、それぞれ または アイコンを表示する。 [Custom Picture/HDR]： カスタムピクチャーのプリセットや アイコンを表示する。 [焦点距離]： 焦点距離を表示する。 [ND Filter]： NDフィルターの設定を表示する。 [フォーカスモード]： ワンショットAF枠、AFブーストMF枠、コンティニュアスAF枠、顔検出枠を表示する。レンズのフォーカスモードスイッチの設定に応じて AF または MF アイコンを表示する。 [キーロック]： (キーロック) アイコンを表示する。 [White Balance]： ホワイトバランスの設定を表示する。 [AEシフト]： AEシフトの設定（シフト値）を表示する。 [露出バー]： 露出バーを表示する。 [Iris]： アイリスの設定（F値、T値）を表示する。 [ISO/Gain]： ISO感度/ゲインの設定を表示する。 [Shutter]： シャッタースピードの設定を表示する。 [ピーキング]： PEAK1 / PEAK2 (ピーキング) アイコンを表示する。 [Magnification]： MAGN. (拡大表示) アイコンを表示する。 [LUT]： LUTが有効のときに LUT アイコンを表示する。 [レンズ]： 装着したレンズと通信を行えないときに LENS (レンズ) アイコンを表示する。	
	Custom Display2*1 ▶ バッテリー残量、記録可能時間	62
	設定値：警告、ノーマル、切 バッテリー残量、または記録可能時間の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。	
	Custom Display2*1 ▶ 記録モード、Time Code、リール番号/クリップ番号、インターバルカウンター	62
	設定値：入、切 [記録モード]： 撮影状態（記録モード）を表示する。 [Time Code]： タイムコードを表示する。 [リール番号/クリップ番号]： リール番号とクリップ番号を表示する。 [インターバルカウンター]： インターバル記録のカウントダウン表示を行う。	

設定項目／内容・設定値		📖
5*5	Custom Display2*1 ▶ 静止画記録可能枚数	62
設定値：警告、ノーマル、切 / 内容：静止画記録可能枚数の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。		
	Custom Display2*1 ▶ 温度/ファン、解像度/カラーサンプリング、フレームレート、映像出力	62
設定値：入、切 [温度/ファン]： 内部温度が高温時に  アイコンを、ファンが回転中に  アイコンを表示する。 [解像度/カラーサンプリング]： 解像度とカラーサンプリングを表示する。 [フレームレート]： フレームレートを表示する。 [映像出力]： SDI端子の出力がOFFのときに、  アイコンを表示する。		
	Custom Display2*1 ▶ オンスクリーン表示、記録コマンド、User Bit、モニターチャンネル	62
設定値：入、切（「記録コマンド」の初期値は「入」） [オンスクリーン表示]： 映像を出力する端子に画面表示を重畳する  (画面表示出力) アイコンを表示する。 [記録コマンド]： 記録コマンド状態を表示する。 [User Bit]： ユーザービットを表示する。 [モニターチャンネル]： 音声出力チャンネルを表示する。		
	Custom Display2*1 ▶ オーディオレベル、ネットワーク機能、GPS	62
設定値：入、切 [オーディオレベル]： オーディオレベルメーターと  (オーディオリミッター) アイコンを表示する。 [ネットワーク機能]：  (無線LAN) アイコンを表示する。 [GPS]：  (GPS) アイコンを表示する。		
	Custom Display2*1 ▶ 日付/時刻	62
設定値：日付/時刻、時刻、日付、切 / 内容：日時の表示のしかたを選ぶ。		
	表示単位系*1	—
設定値：Meters、Feet / 内容：GPSの高度の表示単位を選ぶ。		

*1 カメラモードのみ。

*2 メディアモードのみ。

*3  2ページ

*4  3ページ

*5  4ページ

アシスト設定メニュー

CAMERA MEDIA *1 RAW MP4

*1 メディアモード時はWFMのみ。

設定項目／内容・設定値		📖
1	フォーカスガイド	89
	設定値：入、 切 / 内容：デュアルピクセルフォーカスガイドを表示する。	
	フォーカスガイドサブ枠表示	90
	設定値：入、 切 / 内容：「入」にすると、フォーカスガイドのサブ枠を表示する。	
2	ピーキング：VIDEO端子、 C200 ピーキング：VF	91
	設定値：入、 切 / 内容：VIDEO端子、ファインダーにピーキングを出力する。	
	ピーキング選択	91
	設定値： ピーキング1 、ピーキング2 / 内容：表示するピーキングの種類を選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ カラー	91
	設定値： ホワイト 、レッド、イエロー、ブルー / 内容：ピーキング1の色を選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ Gain	91
	設定値： 切 、1 ～ 15 (8) / 内容：ピーキング1のゲインを選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ 周波数	91
	設定値：1 ～ 4 (2) / 内容：ピーキング1の周波数を選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ カラー	91
	設定値： ホワイト 、 レッド 、イエロー、ブルー / 内容：ピーキング2の色を選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ Gain	91
	設定値： 切 、1 ～ 15 (15) / 内容：ピーキング2のゲインを選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ 周波数	91
	設定値：1 ～ 4 (1) / 内容：ピーキング2の周波数を選ぶ。	
	ピーキング有効時白黒	91
	設定値：入、 切 入にすると、ピーキング使用時に、画面を自動的に白黒にする。記録される映像や外部出力には影響しない。	
3	C200 Magnification：VF+VIDEO端子、 C200B Magnification：VIDEO端子、Magnification：SDI/HDMI	91
	設定値：入、 切 / 内容：ファインダー、VIDEO端子やSDI端子、またはHDMI OUT端子に拡大表示を出力する。	
	Magnification有効時白黒	91
	設定値：入、 切 入にすると、拡大表示使用時に、画面を自動的に白黒にする。記録される映像や外部出力には影響しない。	
4	ゼブラ：VIDEO端子、 C200 ゼブラ：VF	102
	設定値：入、 切 / 内容：VIDEO端子やファインダーにゼブラを出力する。	

設定項目／内容・設定値		📖
4	ゼブラ選択 表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 ゼブラ1 ： 設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 ゼブラ2 ： 設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 ゼブラ1+2 ： ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	102
	ゼブラ1レベル 設定値：5±5% ～ 95±5% (70±5%) ゼブラパターン1の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	102
	ゼブラ2レベル 設定値：0% ～ 100% / 内容：ゼブラパターン2の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	102
5	C200 WFM：VF+VIDEO端子、 C200B WFM：VIDEO端子、WFM：SDI (メディアモード時 1ページ) 設定値：入、切 / 内容：ファインダーとVIDEO端子、またはSDI端子に波形モニター (WFM) を出力する。	115
	WFMタイプ (メディアモード時 1ページ) 設定値： ライン 、ライン+スポット、ラインセレクト、フィールド、RGB、YpPr / 内容：波形モニターのタイプを選ぶ。	115
	WFM Gain (メディアモード時 1ページ) 設定値： 1x 、2x / 内容：波形モニターの波形の倍率を選ぶ。	115
	WFM Yポジション (メディアモード時 1ページ) 設定値： 0% 、15%、30%、45%、50% 波形モニターの倍率が2xのときに、縦軸 (輝度) の表示開始輝度 (%) を選択する。	115
	WFM ラインセレクト (メディアモード時 1ページ) 設定値：[垂直解像度1080時] 0 ～ 540 ～ 1079 (1ライン刻み)、[垂直解像度2160時] 0 ～ 1080 ～ 2158 (2ライン刻み) 波形を表示するライン (赤い横線) の位置を選ぶ。	115
6	C200 マーカー：VF+VIDEO端子、 C200B マーカー：VIDEO端子、マーカー：SDI/HDMI 設定値：入、切 / 内容：ファインダー、VIDEO端子やSDI端子、またはHDMI OUT端子にマーカーを表示する。	100
	センターマーカー、水平マーカー、グリッドマーカー、アスペクトマーカー 設定値：イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、ホワイト、 切 各マーカーの色を選ぶ。切にすると、そのマーカーは表示されない。	100
	マーカーアスペクト比 設定値：4:3、13:9、14:9、16:9、1.375:1、1.66:1、1.75:1、1.85:1、1.90:1、2.35:1、 2.39:1 、カスタム アスペクトマーカーの縦横比を選ぶ。「カスタム」を選ぶと「カスタムアスペクト比」で選んだ縦横比になる。	100
	マーカー カスタムアスペクト比 設定値： 1.00:1 ～ 9.99:1 / 内容：アスペクトマーカーの任意の縦横比を設定する。	100
7	セーフティーゾーンマーカー 設定値：イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、ホワイト、 切 / 内容：セーフティーゾーンを表示する。	100
	マーカー セーフティーゾーン基準 設定値： 映像全体 、アスペクトマーカー領域 / 内容：セーフティーゾーンの基準領域を選ぶ。	100
	マーカー セーフティーゾーン面積 設定値：80%、90%、92.5%、 95% / 内容：セーフティーゾーンの面積 (基準領域に対する割合) を選ぶ。	100

ネットワーク設定メニュー

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

設定項目／内容・設定値		📖
1	接続設定 設定値：1～4 インフラストラクチャー方式、カメラアクセスポイント方式、またはイーサネット方式の設定・変更を行う。 設定は4つまで保存できる。	166
	機能 設定値： 切 、ブラウザーリモート / 内容：ネットワーク機器からのリモート撮影を有効にする。	177
	ブラウザーリモート設定*1 ▶ Port No. 設定値：1～65535の数字 (80) ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートを起動するとき使用するポート番号を設定する。	176
	ブラウザーリモート設定*1 ▶ カメラID 設定値：英数字、記号8文字の文字列 (C200) / 内容：カメラ固有の文字列を設定する。	176
	FTP転送実行*2 設定値： 選択 、すべて / 内容：FTP転送を実行する。	188
	FTP転送設定*2 ▶ FTPサーバー 設定値：32文字以内の文字列（未設定） / 内容：FTPサーバー名を設定する。	186
	FTP転送設定*2 ▶ FTP：ユーザー名 設定値：32文字以内の文字列（未設定） / 内容：FTPサーバーのユーザー名を設定する。	186
	FTP転送設定*2 ▶ FTP：パスワード 設定値：32文字以内の文字列（未設定） / 内容：FTPサーバーのパスワードを設定する。	186
	FTP転送設定*2 ▶ 転送先フォルダー 設定値：152文字以内の文字列 (<i>I</i>) / 内容：FTPサーバー側の転送先となるフォルダーパスを設定する。	186
	FTP転送設定*2 ▶ Port No. 設定値：1～65535の数字 (21) / 内容：FTPのポート番号を設定する。	186
	FTP転送設定*2 ▶ パッシブモード 設定値： 入 、 切 / 内容：FTPの通信モードを選ぶ。	186
	FTP転送設定*2 ▶ 日付フォルダー生成 設定値： 入 、 切 / 内容：「入」を選ぶと、FTP転送を行ったときにFTPサーバーに日付フォルダーを作成する。	186
	FTP転送設定*2 ▶ 同名ファイル 設定値： スキップ 、 上書き 転送先に同じ名前のファイルがあるときの動作を、スキップ（そのファイルを転送しない）と上書き（同名ファイルを上書きする）から選ぶ。	186

*1 カメラモードのみ。

*2 メディアモードのみ。

設定項目／内容・設定値		📖
1	アサインボタン ▶ カメラ1 ～ 7 アサインボタン ▶ カメラ8 ～ 11 アサインボタン ▶ 本体グリップ1 アサインボタン ▶ LCD LM-V1 1 ～ 2 アサインボタン ▶ EVF-V70 1 ～ 4 アサインボタン ▶ RC-V100 1 ～ 4 本体のアサインボタンに機能を割り当てる。 初期値： [カメラ] 1： Magnification、2： ピーキング、3： ゼブラ、4： WFM、5： ISO/Gain、6： Shutter、 7： Display、8： FUNC、9： オーディオステータス、10： Push Auto Iris、 11： One-Shot AF [本体グリップ] 1： フォーカスガイド [LCD LM-V1] 1： FUNC、2： Display [EVF-V70] 1： FUNC、2： EVF-V70設定、3： Magnification、4： (未設定) [リモートコントローラー] 1： Magnification、2： ピーキング、3： ゼブラ、4： WFM 設定値： 各アサインボタンに機能を割り当てる。次の機能を割り当てることができる。各機能の詳細について (📖 130)。 (未設定)、One-Shot AF、AFロック、顔検出AF、顔検出、追尾、フォーカスガイド、ピーキング、 ピーキング：VIDEO端子、C200 ピーキング：VF、Magnification、C200 Magnification：VF+VIDEO端子、 C200B Magnification：VIDEO端子、Magnification：SDI/HDMI、Push Auto Iris、Irisモード、Iris+、Iris-、ND+、 ND-、AEシフト+、AEシフト-、バックライト、スポットライト、ゼブラ、ゼブラ：VIDEO端子、 C200 ゼブラ：VF、WFM、C200 WFM：VF+VIDEO端子、C200B WFM：VIDEO端子、WFM：SDI、LUT、 LUT：VIDEO端子、C200 LUT：VF、LUT：SDI、White Balanceセット、AWBホールド、AWB AWB、📷セットA、 📷セットB、☀太陽光、💡電球、K Kelvin、LCD LM-V1設定、C200 VF設定、EVF-V70設定、オンスクリーン表示、 Display、マーカー、C200 マーカー：VF+VIDEO端子、C200B マーカー：VIDEO端子、マーカー：SDI/HDMI、 カラーバー、Photo、レックレビュー、Time Code、Time Codeホールド、ヘッドホン+、ヘッドホン-、 モニターチャンネル、オーディオレベル、FUNC、スローモーション記録、Shutter、ISO/Gain、White Balance、 ステータス、オーディオステータス、Custom Picture/HDR、マイメニュー、メディア初期化、ユーザー設定	130

🔧 システム設定メニュー

CAMERA MEDIA RAW MP4

設定項目／内容・設定値		📖
1	リセット ▶ 全設定、カメラ設定*1、アサインボタン 設定値： キャンセル 、OK [全設定]： アワーメーターを除く本機の設定を初期状態に戻す。 [カメラ設定]： ホワイトバランス、アイリス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピード、カメラ設定メニュー、カスタムピクチャーの各設定を初期状態に戻す。 [アサインボタン]： アサインボタンの機能割り当て設定を初期状態に戻す。	224、133
	メニュー / CP 設定保存 ▶ 保存 設定値：カメラ本体へ、SDカードBへ メニュー設定とカスタムピクチャーファイル（本機に保存されている9セット）を、カメラ本体、またはカードに保存する。	143
	メニュー / CP 設定保存 ▶ 読み出し 設定値：カメラ本体から、SDカードBから メニュー設定とカスタムピクチャーファイルを、カメラ本体またはカードから読み出す。	143
	タイムゾーン 設定値：UTC -12:00 ～ +14:00 (UTC+09:00 トウキョウ) / 内容：タイムゾーンを設定する。	—
	日付/時刻 設定値：日付・時間 / 内容：日付と時間を設定する。	32
	日時スタイル 設定値： YMD 、YMD/24H、MDY、MDY/24H、DMY、DMY/24H / 内容：日時の表示のしかたを選ぶ。	32
	言語 設定値： 日本語 、English / 内容：表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	—
	REMOTE端子 REMOTE端子に接続するリモコンのタイプを選ぶ。 RC-V100(REMOTE A)： リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続するときに選ぶ。 スタンダード ： RC-V100以外のリモコン（市販）を接続するときに選ぶ。	127
2	HDMI最大解像度 設定値：3840×2160、 1920×1080 / 内容：HDMI OUT端子に出力する信号を選ぶ。	157
	SDI出力 設定値：2048×1080 / 1920×1080、 1920×1080 / 内容：SDI端子に出力する信号を選ぶ。	156
	3G-SDIマッピング 設定値：Level A、 Level B SDI端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425-1規格のLevel A、またはLevel Bに準拠した信号が出力される。	156
3	Time Code モード*1 タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 Preset ： 「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen. ： メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	103

設定項目／内容・設定値		📖
3	Time Code Run* ¹	103
モードがPresetのときに歩進方法を選ぶ。 Rec Run : 記録時に歩進する。 Free Run : 記録に関係なく常に歩進する。		
	Time Code DF/NDF* ¹	104
設定値 : DF 、NDF ドロップフレーム (DF)、またはノンドロップフレーム (NDF)を切り換える。なお、フレームレートが29.97P、59.94P以外のときはNDFに固定される。		
	Time Code 設定* ¹	103
設定値 : 00:00:00:00 ~ 23:59:59:29 [変更 、リセット、キャンセル] / 内容 : タイムコードの初期値を設定する。		
	User Bit タイプ* ¹	105
設定値 : 設定 、時刻、日付 / 内容 : ユーザービットを、8桁の任意の16進数 (設定)、時刻、日付のいずれかで設定する。		
4	電子ダイヤル (カメラ) * ¹ 、電子ダイヤル (本体グリップ) * ¹	76
設定値 : Iris 、ISO/Gain、切 カメラ本体、または本体グリップの電子ダイヤルに割り当てる機能を選ぶ。		
	電子ダイヤル方向 (カメラ) * ¹ 、電子ダイヤル方向 (本体グリップ) * ¹ 、SELECTダイヤル方向 (EVF-V70) * ² (メディアモード時 3ページ)	76
設定値 : リバース、 ノーマル / 内容 : 各ダイヤルの操作方向を選ぶ。		
	キーロック* ¹	61
設定値 : すべてのボタン、 RECボタン以外 POWER (電源) スイッチを  (キーロック) にしたときの動作を選ぶ。		
	RECボタン (カメラ) * ¹ 、RECボタン (本体グリップ) * ¹	—
設定値 : 無効、 有効 / 内容 : 各RECボタンの有効／無効を選ぶ。		
	ファン速度* ³	67
設定値 : ハイ、 ロー / 内容 : メディアモードのときの、冷却ファンの回転速度を選ぶ。		
5	LED ▶ タリーランプ (前面) * ¹ 、タリーランプ (背面) * ¹ 、メディアアクセス (CFast)、メディアアクセス (SDカード)、  (イーサネット) (メディアモード時 4ページ)	60
設定値 : 入 、切 [タリーランプ (前面)、タリーランプ (背面)] : 「入」にすると、撮影中にタリーランプが点灯する。 [メディアアクセス (CFast)、メディアアクセス (SDカード)] : 「入」にすると、CFastカード／SDカードにアクセスしたときに、それぞれのアクセスランプが点灯する。 [ (イーサネット)] : 「入」にすると、イーサネットによるネットワーク処理中に点灯／点滅する。		
	ファン* ¹ ▶ モード	67
設定値 : オート、 常時 / 内容 : カメラモードにおける冷却ファンの動作方法を選ぶ。		
	ファン* ¹ ▶ ファン速度 (常時)	67
設定値 : ハイ、 ロー / 内容 : ファンモードが「常時」のときの、冷却ファンの回転速度を選ぶ。		
	レックレビュー * ¹	117
レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 クリップ先頭から : クリップの先頭からすべて。 最終4 sec : クリップの最後の4秒間のみ。		

設定項目／内容・設定値		📖
5	GPS自動時刻設定*1*4 設定値：入、切 / 内容：GPSから得られる時刻情報を使って、本機の「日付/時刻」を自動的に設定する。	116
6	電源オフ時のレンズ収納*1 設定値：入、切 次のレンズを使用時、レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できる。 • EF40mm F2.8 STM • EF-S 24mm F2.8 STM • EF50mm F1.8 STM	—
	アワーマーターリセット*1 設定値：キャンセル、OK カメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。アワーマーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	218
	Firmware*1 ▶ カメラ 設定値：バージョン番号 / 内容：ファームウェアのバージョン。	—
	Firmware*1 ▶ レンズ 設定値：バージョン番号 / 内容：本機に装着したEFレンズのファームウェアの更新を行う。	41

*1 カメラモードのみ。

*2 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)装着時のみ。

*3 メディアモードのみ。

*4 GPSレシーバー GP-E2(別売)装着時のみ。

★マイメニュー

CAMERA MEDIA RAW MP4

設定項目／内容・設定値		📖
1～5	編集 ▶ 登録 マイメニューに任意のメニュー項目を登録する。	35
	編集 ▶ 並べ換え マイメニュー内で、選択したメニュー項目を並べ換える。	36
	編集 ▶ 消去 設定値：キャンセル、OK / 内容：マイメニュー内の選択したメニュー項目を消去する。	37
	編集 ▶ 設定初期化 設定値：キャンセル、OK / 内容：マイメニュー内のすべてのメニュー項目を消去する。	37
	編集 ▶ メニュー名変更 設定値：8文字の英数字・記号 (CAMERA-1～5) / 内容：選択しているマイメニューの名前を設定する。	37

その他

ステータス画面を表示する.....	212	アクセサリ紹介.....	241
トラブルシューティング.....	221	主な仕様.....	243
エラーメッセージ.....	229	索引.....	250
安全上のご注意.....	234	保証書と修理対応.....	255
取り扱い上のご注意／ 日常のお手入れ.....	236		

ステータス画面を表示する

撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステータス画面は、外部モニター（[156](#)）に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示できます。なお、一部のステータス画面は英語で表示されます。

■ 操作のしかた CAMERA MEDIA RAW MP4

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。

例：カメラアサイン8ボタンに「ステータス」を割り当てて、操作する場合

	1 カメラアサイン8ボタンに「ステータス」を割り当てる（ 130 ）
	2 カメラアサイン8ボタンを押す ● ステータス画面が表示される。 ● 最後にステータス画面を消したときの画面が表示される。 ● AUDIO STATUSボタン（15）を押すと、オーディオ専用のステータス画面が表示される。
	3 ジョイスティックを左右に押す ● 右に押すと次の画面に、左に押すと前の画面に、ステータス画面が切り換わる。
	4 カメラアサイン8ボタンを再度押す ● ステータス画面が消える。 ● MENU（メニュー）ボタンを押しても、ステータス画面が消え、メニューが表示される。

ステータス画面の詳細については、各画面のページをご覧ください。

ガンマ／色空間／カラーマトリックスステータス画面	113
カスタムピクチャステータス画面	113
カメラステータス画面	114
アサインボタンステータス画面	115
オーディオステータス画面	116
メディアステータス画面	117
端子出力ステータス画面	117
記録ステータス画面	118
メタデータステータス画面	118
バッテリー／アワーマーターステータス画面	118
ネットワーク設定ステータス画面	119
GPS情報表示ステータス画面* ¹	120

*¹ 本機にGPSレシーバー GP-E2（別売）を取り付けたときのみ表示されます。

■ ガンマ／色空間／カラーマトリックスステータス画面

CAMERA MEDIA RAW MP4

	Output :	Gamma :	Color Space :	Color Matrix :
1	CFast	RAW	RAW	RAW
	SD CARD	Wide DR	BT.709	Neutral
2	SDI	---	---	---
	HDMI	Wide DR	BT.709	Neutral
3	VIDEO	Wide DR	BT.709	Neutral
	VF	Wide DR	BT.709	Neutral
4	Custom Picture	Other Settings	Off	

- 1 CFastカード／SDカードのガンマ／色空間／カラーマトリックス
- 2 SDI端子／HDMI OUT端子のガンマ／色空間／カラーマトリックス
- 3 VIDEO端子／C200 ファインダーのガンマ／色空間／カラーマトリックス
- 4 カスタムピクチャーのActivate Other Settingsの状態（有効／無効）

■ カスタムピクチャーステータス画面

CAMERA MEDIA RAW MP4

現在選択しているカスタムピクチャーファイルの設定内容を表示します。

	Data 1/2	2/22
1	CP000001	
2	Black	MP ±0
3	Master Black	R ±0 G ±0 B ±0
4	Black Gamma	Lvl ±0 Range ±0 Point ±0
5	Low Key Satur.	Off Lvl ±0
6	Knee	On Slp ±0 P 95 Sat ±0
7	Sharpness	Lvl ±0 HD Frq ±0 HV Bal ±0
	Lim ±0 Sel 0	
	Coring	Lvl ±0 Ofst 0 Curve 0
	Knee Apt.	Gain 0 Slope 1
	Lvl Dpnd	Lvl 0 Slope 0 Ofst 0
	Data 2/2	3/22
8	CP000001	
9	Noise Reduction	Off
10	White Balance	R Gain ±0 B Gain ±0
	Color Matrix	Gain ±0 Phase ±0
		R-G ±0 G-R ±0 B-R ±0
		R-B ±0 G-B ±0 B-G ±0
11	Other Functions	Setup Level ±0
12		Over 100% Through

- 1 カスタムピクチャーファイル名 ▶▶ 142
- 2 ブラック ▶▶ 139
- 3 マスターブラック ▶▶ 140
- 4 ブラックガンマ ▶▶ 140
- 5 ローキーサチュレーション ▶▶ 140
- 6 ニー ▶▶ 140
- 7 シャープネス ▶▶ 140
- 8 ノイズリダクション ▶▶ 141
- 9 ホワイトバランス ▶▶ 141
- 10 カラーマトリックスチューニング ▶▶ 141
- 11 セットアップレベル ▶▶ 141
- 12 オーバー 100% ▶▶ 142

■ カメラステータス画面

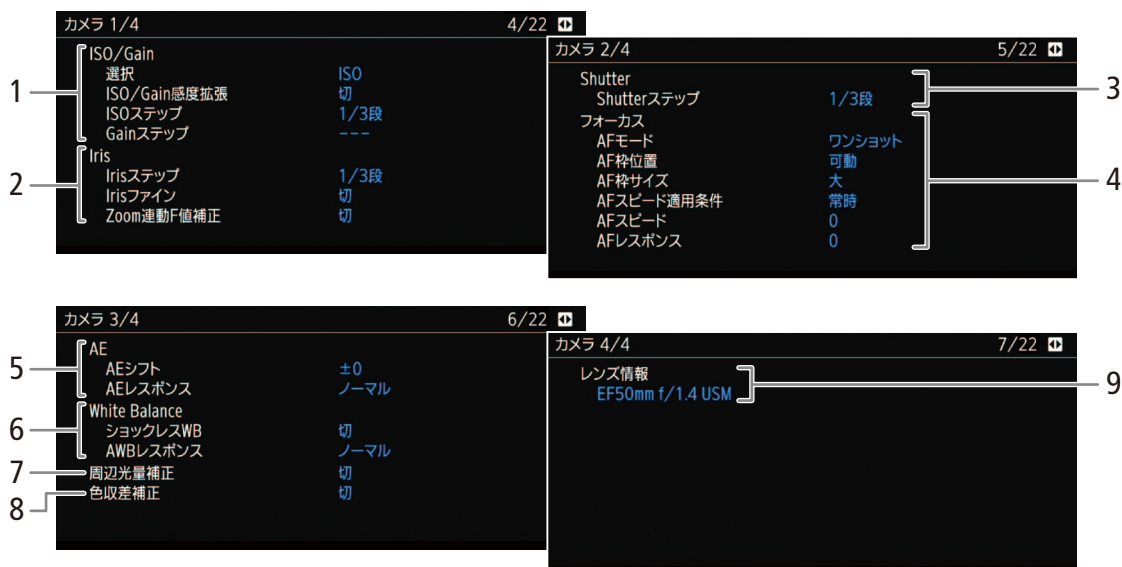
CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

ISO感度／ゲイン、アイリス、シャッタースピードや周辺光量補正などの撮影設定とレンズ型名情報を表示します。



1 ISO感度／ゲイン ▶▶ 74

選択、感度拡張、ISOステップ、ゲインステップ

2 アイリス ▶▶ 78

アイリスステップ、アイリスファイン、
ズーム連動F値補正

3 シャッタースピード ▶▶ 71

シャッターステップ

4 AF(オートフォーカス) ▶▶ 87

AFモード、AF枠位置、AF枠サイズ、
AFスピード適用条件、AFスピード、AFレスポンス

5 AE(自動露出) ▶▶ 81

AEシフト、AEレスポンス

6 ホワイトバランス ▶▶ 83

ショックレスホワイトバランス、AWBレスポンス

7 周辺光量補正 ▶▶ 42

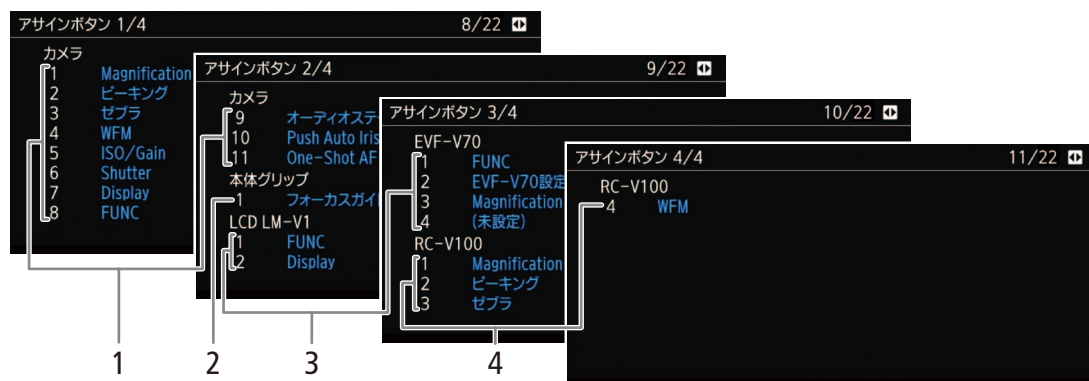
8 倍率色収差補正 ▶▶ 42

9 レンズ型名情報 ▶▶ 40

■ アサインボタンステータス画面

CAMERA MEDIA RAW MP4

アサインボタンに割り当てられている機能の一覧を表示します。(130)



オーディオステータス画面

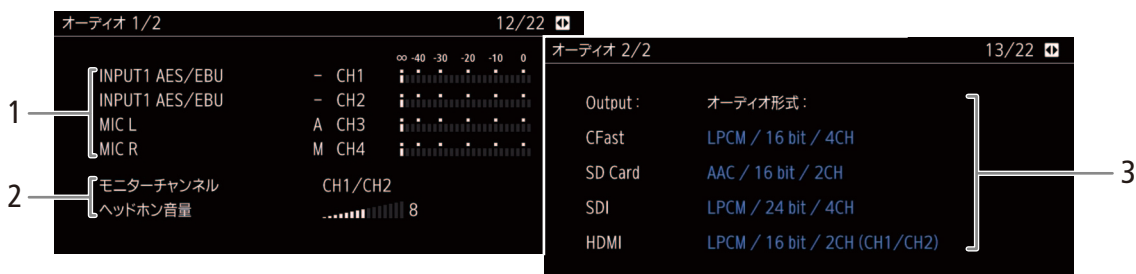
CAMERA

MEDIA

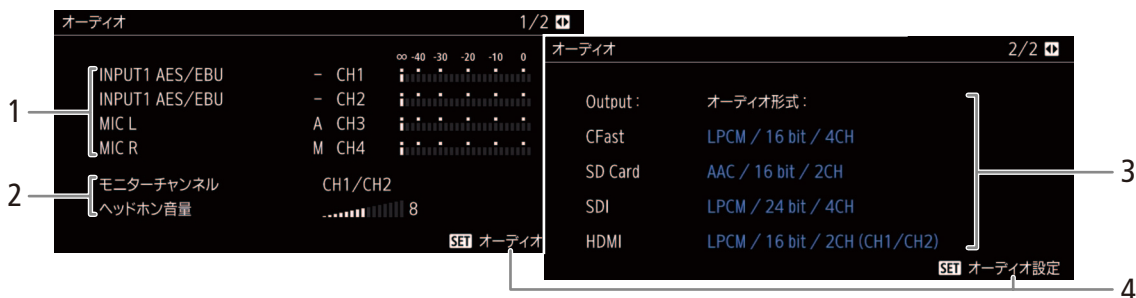
RAW

MP4

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。



オーディオステータスボタンで表示したとき



メディアモードのとき



1 入力音声と録音レベルモード (CH1 ~ CH4)

▶▶ 106

2 モニターチャンネルとヘッドフォン音量

3 カードに記録、または端子に出力する音声の量子化ビット数とチャンネル数 (109, 161)

CFast / SDカード、SDI端子、HDMI OUT端子

4 1 オーディオ設定メニュー * (198)

* AUDIO STATUSボタンで表示したときのみ。

メディアステータス画面

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

CFastカードスロットと2つのSDカードスロットの記録メディアの状態を表示します（[P.51](#)）。

The screen displays the status of three media slots. SD Card A (CLASS 10) has a capacity of 47.7 GB, with 642 MB used and 177 min remaining recording time. SD Card B (CLASS U3) has a capacity of 16.2 GB, with 324 MB used and 59 min remaining recording time, and a speed class of 16412. CFast has a capacity of 64.0 GB, with 6.12 GB used and 7 min remaining recording time.

メディア	容量	記録済み	残り記録可能	記録可能時間	静止画記録可能枚数	スピードクラス
SDカードA CLASS 10	47.7 GB	642 MB	177 min			
SDカードB CLASS U3	16.2 GB	324 MB	59 min		16412枚	
CFast	64.0 GB	6.12 GB	7 min			

- 1 SDカードA / B、CFastカード
- 2 カードの総容量
- 3 カードの使用量
- 4 カードの記録可能時間
- 5 SDカードBの静止画記録可能枚数
- 6 SDカードのスピードクラス
- 7 カードの使用量の目安

MEMO

- カードによっては、CFastカード、またはSDカードの総容量が、カードに記載の容量より少なく表示されることがあります。

端子出力ステータス画面

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

映像出力端子の設定内容を表示します。特殊記録モードのときは、特殊記録のモードと設定内容についても表示します。メディアモードでは、HDMI OUT端子 / SDI端子の出力状態、オンスクリーン表示について表示します。

The screen displays the output status of various terminals. HDMI is set to 1920x1080p, YCC422 2CH/PCM. SDI is set to 3G-SDI. On-Screen Display is set to Off. HDMI Time Code is set to On. User Bit is set to Type.

端子出力	設定内容
HDMI	HDMI 1920x1080p YCC422 2CH/PCM
SDI	ステータス 3G-SDIマッピング ---
オンスクリーン表示	切
HDMI Time Code	入
User Bit	タイプ

- 1 HDMI OUT端子の出力状態 ▶▶ [P.157](#)
- 2 SDI端子出力 ▶▶ [P.156](#)
出力状態*、3G-SDIマッピング
* 表示されるビット数は映像信号のビット数。
- 3 オンスクリーン表示 ▶▶ [P.160](#)
- 4 HDMI Time Code ▶▶ [P.157](#)
- 5 ユーザービット ▶▶ [P.105](#)
タイプ

記録ステータス画面

CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

映像記録の設定内容を表示します。



- 1 解像度/カラーサンプリング ▶ 68
- 2 ビットレート ▶ 68
- 3 リレー記録 ▶ 56
- 4 特殊記録設定 ▶ 119
- 5 フレーム記録/インターバル記録の記録フレーム数 ▶ 121、122
- 6 インターバル記録の記録間隔 ▶ 122
- 7 ファイル番号 ▶ 66

メタデータステータス画面

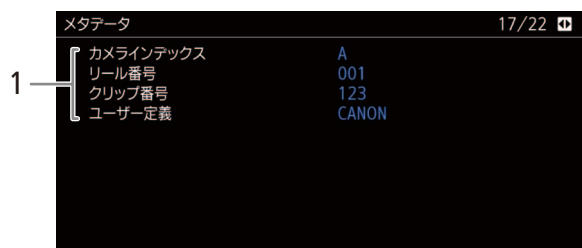
CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

RAWクリップのクリップファイル名などを表示します (64)。



- 1 クリップファイル名
カメラインデックス、リール番号、クリップ番号、ユーザー定義

バッテリー/アワーマーターステータス画面

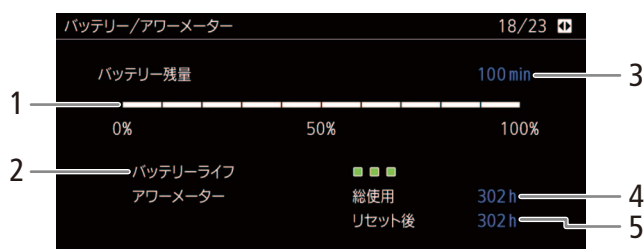
CAMERA

MEDIA

RAW

MP4

バッテリーの残量やバッテリーライフを表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使用時間を表示します。

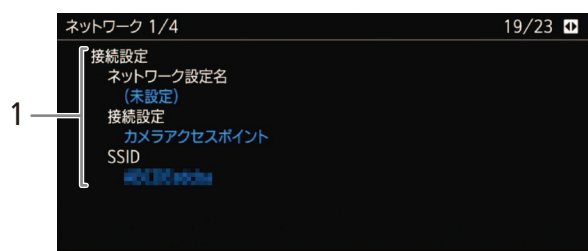


- 1 バッテリーの残量 ▶ 26
- 2 バッテリーライフ
- 3 撮影可能時間 ▶ 246
- 4 購入時からの使用時間 ▶ 209
- 5 リセット後の使用時間 ▶ 209

■ ネットワーク設定ステータス画面

CAMERA MEDIA RAW MP4

ネットワーク関係の設定内容を表示します。メディアモードでは、接続設定、TCP/IP設定、FTP転送設定について表示します。



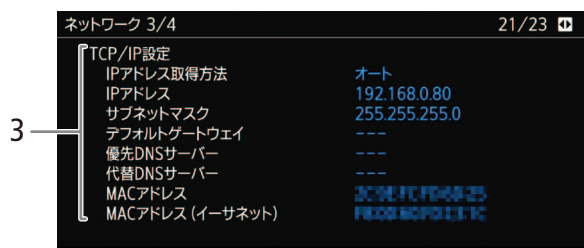
1 接続設定 ▶ 166

ネットワーク設定名、接続設定、SSID



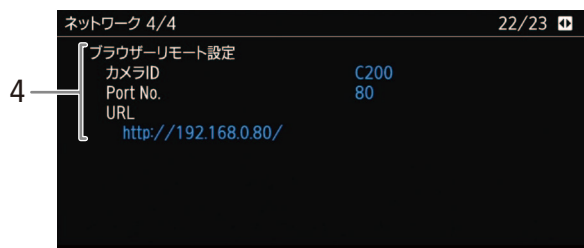
2 接続設定 ▶ 166

認証/暗号化方式、WEPインデックス暗号化キー、通信モード周波数、カメラアクセスポイントのチャンネル



3 TCP/IP設定 ▶ 169

IPアドレスの取得方法、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、MACアドレス、MACアドレス (イーサネット)

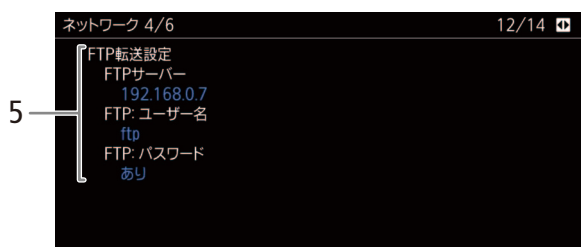


4 ブラウザーリモート設定 ▶ 176

カメラID、Port No.、URL

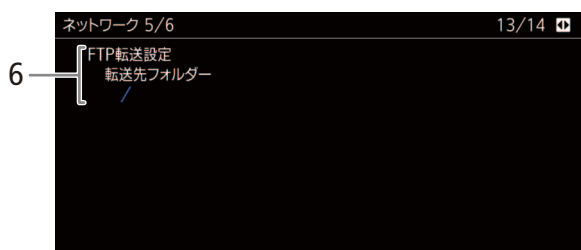
ステータス画面を表示する

メディアモードのとき



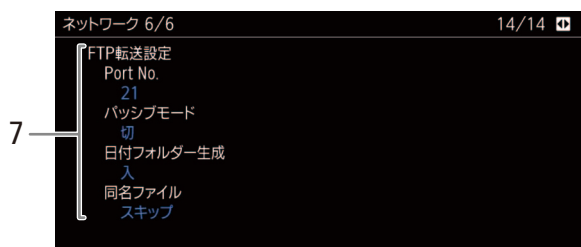
5 FTP転送設定 ▶ 186

FTPサーバー、FTP：ユーザー名、FTP：パスワード設定の有無



6 FTP転送設定 ▶ 186

転送先フォルダー



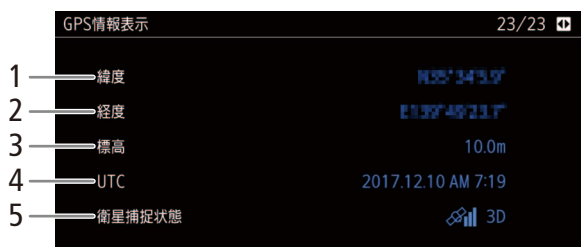
7 FTP転送設定 ▶ 186

Port No.、パッシブモード、日付フォルダー生成、同名ファイル

GPS情報表示ステータス画面

CAMERA MEDIA RAW MP4

GPSレシーバー GP-E2 (別売) を装着しているときは、GPSから取得した位置情報などを表示することができます。



1 緯度

2 経度

3 標高

4 UTC(協定世界時)

5 衛星捕捉状態、信号強度



トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、お客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

■ 電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	24
起動直後に電源が自動的に切れる	● 本機で使用できないバッテリーを取り付けた。本機に対応するバッテリーに交換する。	241
バッテリーが充電できない。	● バッテリーの温度が0℃未満になったか、または40℃を超えている。0℃未満のときはバッテリーを温めてから、40℃を超えたときは放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	24
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命の可能性もある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。	218

■ 撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
カメラ本体の操作が利かない。	● カメラグリップの接続プラグがしっかりと接続されていない。カメラグリップを取り付けるときは、接続プラグが奥までしっかり差し込まれていることを確認する。カメラグリップの角度を変えると、接続プラグがしっかり接続されていることを確認する。 ● POWER(電源)スイッチを🔒(キーロック)にしていると、すべての操作、またはRECボタン以外の操作が無効になる*。POWER(電源)スイッチをCAMERAにする。 * 📌4 システム設定メニュー ▶ 「キーロック」で変更可能。	47 61
RECボタンを押しても録画しない。	● CFastカードやSDカードに空き容量がない。または999クリップ記録されている。別のCFastカードやSDカードと入れ換える。または不要なクリップを消すか、記録されているクリップをバックアップして初期化する。 ● 📌4 システム設定メニュー ▶ 「RECボタン (カメラ)」、「RECボタン (本体グリップ)」で、カメラ本体、カメラグリップ、またはモニターユニットのRECボタンが無効になっている。有効にする。 ● 特殊記録が有効になっている。特殊記録を行わないときは、📌1 記録/メディア設定メニュー ▶ 「記録モード」を「通常記録」に設定する。 ● リモートコントローラー RC-V100(別売)を操作中は、記録を開始/停止できないことがある。RC-V100の操作を中断してから、RECボタンを押す。	52 163 152 — 197 —
RECボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● RECボタンを押してから、録画の開始/終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	📖
ピントが合わない。	● オートフォーカスでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。	87
	● AFモードがAFブーストMFのときは、合焦付近（AFブーストMF枠が白色に変わる）まで手動で調整する。	93
	● C200 ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。	44
	● レンズが汚れているのでお手入れする。	240
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
画面に赤、緑、青の輝点が出る。	● ブラックバランス調整を行うと改善することがある。高度な精密技術で作られている撮像素子（CMOSセンサー）が、宇宙線などの影響を受けると、まれに画面上に小さな輝点（赤、緑、青）ができることがある。これは、撮像素子の原理によるもので、故障ではない。なお、次の場合は画面上に生じる輝点が見えやすくなる。 ・高温の場所で使用するとき。 ・ISO感度／ゲインが高いとき。 ・シャッタースピードのモードがスローのとき。	58
画面に通常出ない映像が出て、動画を正しく記録できない。	● 消耗したバッテリーを装着し、ACアダプターをつないで動画記録中に、ACアダプターが抜かれた。または、停電した。ACアダプターを再度つないで本機の電源を入れ直すか、十分に充電したバッテリーと交換する。	25
		26
動画の「● REC」／「STBY」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてカードを初期化する。	52 163 54
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	163 54
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性があるので、お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップの消去ができない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	53
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてカードを初期化する。	163 54
静止画を消せない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	53

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面に🔴 (赤色)が出る。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	24
画面に❓ (赤色)が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● 5 システム設定メニュー ▶ 「LED」 ▶ 「タリーランプ (前面)」、 「タリーランプ (背面)」を「入」にする。	208
タリーランプが速く点滅する。	⚡⚡⚡⚡⚡ (1秒に4回の点滅) ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● CFastやSDカードA、SDカードBに空き容量がない。別のCFastやSDカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	24 52 152 裏表紙
タリーランプがゆっくり点滅する。	⚡⚡⚡⚡ (1秒に1回の点滅) ● CFastやSDカードの空き容量が少なくなっている。SDカードは、記録中でないスロットのSDカードを別のカードと入れ換える。	52
画面に🔴🔴 (赤色)が出る。	● SDカードエラー。電源を切り、SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、クリップ／静止画をバックアップしてSDカードを初期化する。 ● SDカードに空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、クリップと静止画を消す。	53 54 152 126
撮影を中断してもアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップを記録メディアに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面に🟡 (黄色)が出る。	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	—
画面に🔴 (赤色)が出る。	● 画面に🟡 (黄色)が出ている状態で、さらに内部温度が高くなった。 ● カメラモードで 5 システム設定メニュー ▶ 「ファン」 ▶ 「モード」が「常時」かつ「ファン速度 (常時)」が「ハイ」か、またはメディアモードで 4 システム設定メニュー ▶ 「ファン速度」が「ハイ」のときは、本機の電源を切り、温度が下がるまで使用を中止する。 ● カメラモードで 5 システム設定メニュー ▶ 「ファン」 ▶ 「モード」が「オート」の場合、撮影中に冷却ファンが停止しているときは自動的に冷却ファンが起動する (画面に FAN が出る)。	67
画面に FAN (赤色)が出る。	● 冷却ファンが故障した可能性がある。約10分後に電源が強制的に切れる。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
画面に LENS が出る。	● レンズと正常に通信できない。	—
画面に 🔋 (赤色)が出る。	● 充電型リチウム電池の残量がない。 ● メニューやカスタムピクチャーの設定をSDカードに保存して、充電型リチウム電池を充電する。メニューなどの設定データを本機に読み込む。	— 143 239

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
VIDEO端子に接続した機器の画面がつかない。	● カメラ本体とVIDEO端子をユニットケーブル（C200は付属、C200Bは別売）で正しく接続する。	29
画面に、ピーキング／ゼブラ／WFMの表示、拡大表示、白黒表示が行われない。	● ピーキング、ゼブラ、WFM、拡大表示、白黒の各出力設定を行う。	203
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	24
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、 🔧1 システム設定メニュー ➤ 「リセット」 ➤ 「全設定」を行う。アワーマーター（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。	24
画面にノイズが出る。	● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50 Hzのときは1/50秒*、または1/100秒を、60 Hzのときは1/60秒、または1/120秒を設定する。 * フレームレートによっては選択できない。	71
音声記録されない。	● INPUT端子をAES/EBUにしてアナログ信号を入力したか、またはINPUT端子をANALOGにしてデジタル信号を入力した。INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチを正しく設定する。	108
	● INPUT 1端子やINPUT 2端子を使用するときはXLRコネクタで、MIC（マイク）端子を使用するときはφ3.5mmステレオミニプラグで正しく接続する。	107
	● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT 1 / INPUT 2端子切り換えスイッチを「MIC+48V」に切り換えていない。	108
音声が極端に小さい。	● INPUT 1端子やINPUT 2端子、MIC（マイク）端子を使用時、録音レベル切り換えスイッチを「M（マニュアル）」にしている、録音レベルをしばっている。画面のオーディオレベルメーターで確認しながら適正なレベルに調整する。	110
	● マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。	112
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルをマニュアルで調整する。	110

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
メモリーカードが入らない。	● CFastカードはCFastカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれぞれ正しい向きで入れる。	52 53
CFastカードに動画を記録できない。	● 対応しているCFastカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、CFastカードを本機で初期化する。 ● CFastカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFastカードの不要なクリップを消すか、別のCFastカードと入れ換える。	51 54 152 52
SDカードに動画、静止画を記録できない。	● 対応しているSDカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、SDカードを本機で初期化する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 静止画を記録するとき、SDカードがSD CARD A に入っている。SDカードをSD CARD B に入れる。 ● SDカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画と静止画を消す。 ● ファイル番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいSDカードを入れて、📷 4 記録／メディア設定メニュー ▶ 「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	51 54 54 53 152 126 66
CFastカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。CFastカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、CFastカードを初期化する。	163 54
SDカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。SDカードに記録されているプロキシクリップと静止画をバックアップしたあと、SDカードを完全初期化する。	163 54
リモートコントローラー RC-V100 (別売) または市販のリモコンが動作しない。	● 📶 1 システム設定メニュー ▶ 「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100 (REMOTE A)」に、市販のリモコンのときは「スタンダード」に設定する。 ● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。 ● 📺 HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ▶ 「Activate Other Settings」が「Off」、または選択しているカスタムピクチャーファイルがプロテクトされていると、RC-V100からカスタムピクチャーの設定を調整できない。「Activate Other Settings」を「On」にしてプロテクトを解除する。	127 — 134

他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するとき、テレビやアンテナケーブルからACアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	156
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。 ● MP4クリップ／静止画インデックス画面を表示中にUSB接続を行う。	—
MP4形式の動画／静止画をパソコンに取り込めない。	● カードリーダーなどを使って取り込む。 ● SDカードに記録されているMP4クリップ／静止画が多すぎる。総数が以下になるように消して、カードリーダーなどを使って取り込む（Windows：2500未満。macOS：1000未満）。	—
SDI端子に映像と音が出ない。	● HDMI OUT端子にHDMIケーブルが接続されている。HDMIケーブルを抜く。 ● 本機の出力信号に合わせて、外部機器の設定を行う。	156
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
ファインダー、VIDEO端子にピーキングや白黒表示、拡大表示、ゼブラ、WFM、マーカーが表示されない。	● ピーキングや白黒表示、拡大表示、ゼブラ、WFM、マーカーの各出力設定を行う。	203
SDI端子に拡大表示、WFM、マーカーが表示されない。	● 拡大表示、WFM、マーカーの各出力設定を行う。	203 204
HDMI OUT端子に拡大表示、マーカーが表示されない。	● 拡大表示、マーカーの各出力設定を行う。	203 204

■ ネットワーク接続

お使いのネットワーク機器の説明書も併せてご覧ください。

はじめに確認してください

- ☐ アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
- ☐ ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
- ☐ パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
- ☐ 本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントに接続できない。	● 電波状況が悪いが、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。カメラグリップ GR-V1を外して、再度ネットワーク設定を行う。それでも解決しないときは、「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 ● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。 ● Wi-Fi接続をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、本機からアクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。	166 228 166 —
Wi-Fiのカメラアクセスポイントで、本機に接続できない。	● 電波状況が悪いが、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。カメラグリップ GR-V1を外して、再度ネットワーク設定を行う。それでも解決しないときは、「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 ● 本機的全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。再度、設定を行う。	166 228 168
イーサネットに接続できない。	● イーサネットケーブルには、カテゴリ 5e以上のSTPケーブルを使用する。 ● 別のイーサネットケーブルで接続する。 ● 本機的全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。初期設定で接続するか、再度設定を行う。 ● 本機と接続しているネットワーク機器が正しく動作しているか確認する。1000BASE-Tで通信するときはギガビットに対応したネットワーク機器を使用する。	— — 174 —
ブラウザーリモートが起動できない。	● ④1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「機能」で「ブラウザーリモート」を選ぶ。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機のネットワーク設定ステータス画面4/4でブラウザーリモートを起動するためのURLを確認する。	177 219
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートの画面が正しく表示されない。	● ブラウザーリモートが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。キャッシュのホームページで動作環境を確認する。 ● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。 ● Webブラウザーの設定で、ブラウザーリモートに関係するキャッシュやCookieなどを消去してから、ブラウザーリモートを再起動する。	— — —

Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

アクセスポイントの設置場所について

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機を使用する部屋に設置してください。
- 本機との間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機にできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天の屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れることがあります。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 本機と同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼動していると、通信速度が遅くなります。

本機やアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにC200またはC200Bを2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、無線LANのチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。なお、メッセージの冒頭に、「CFast」、「SDカードA」、「SDカードB」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	原因と対処	📖
CFast(SDカードA) (SDカードB) 空き容量がありません	● メモリーカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● SDカードA(SDカードB)に空き容量がないため記録を開始できない。もう一方のスロットに切り換えてから撮影する。	52 152 55
CFast(SDカードA) (SDカードB) 空き容量がわずかです	● カードの空き容量が少なくなっている。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● SDカードAとSDカードBを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中ではないスロットのSDカードを別のカードと入れ換える。	52 53
SDカードA(SDカードB) カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	54
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、CFastカードカバー、またはSDカードカバーが開いていた。メモリーカードを入れたらカードカバーを閉じる。	52
カメラとレンズの通信不良です レンズの接点を清掃してください	● レンズ接点が汚れているので、本機とレンズが通信できない。画面に LENS アイコンが表示される。レンズの接点を柔らかい布などでふく。	—
CFast(SDカードA) (SDカードB) 記録を中止しました	● 管理情報が壊れたか、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	52 53 裏表紙
CFast クリップ数がいっぱいです	● 記録中のメモリーカードがクリップ数の上限(999個)に達した。別のカードと入れ換える。	52
本体グリップの接続を確認してください	● カメラグリップ GR-V1が正しく取り付けられていない可能性がある。GR-V1の接続を確認する。	47
SDカードA(SDカードB) このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラス4以下のSDカードがスロットに入っている。使用可能なSDカードを入れる。	51
SDカードA(SDカードB) 現在の動画記録設定に対応していないカードです	● UHSスピードクラス3非対応のSDカードがスロットに入っており、「主記録形式」を「MP4(SDカード)」にして「解像度/カラーサンプリング」を「3840×2160 YCC420 8bit」に設定している。UHSスピードクラス3対応のSDカードに入れ換えるか、「解像度/カラーサンプリング」を「1920×1080 YCC420 8bit」に変更する。	51
再生できません	● メモリーカード内のクリップが異なるシステム周波数で記録されている。本機のシステム周波数を、記録されているクリップと同じにする。 ● 管理情報が壊れたか、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてカードを出し入れする。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	52 裏表紙
使用中のレンズにこの機能が対応していません	● 選択中の機能がレンズに対応していないため、この機能を使用できない。	—
操作は無効です	● メモリーカードが入っていないときに、RECボタンを押した。	—
データを修復できませんでした	● クリップを修復できなかった。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、修復に失敗したクリップを消去する。 ● カードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消去する。	163 152

メッセージ	原因と対処	📖
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはありますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、カメラ本体またはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	241 裏表紙
バッテリーパックを取り換えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	24
CFast(SDカードA) (SDカードB) バッファオーバーです 記録を中止しました	● メモリーカードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。推奨のカードを入れる。	51
CFast(SDカードA) (SDカードB) 非対応メディアです	● 容量が600MB以下のCFastカード、または256MB以下のSDカードを使用できない。別のカードと入れ換える。	52 53
CFast(SDカードA) (SDカードB) ファイル名が作成できません	● クリップ番号が最大になったときに、RECボタンを押した。クリップをバックアップしてカードを初期化するか、クリップをすべて消す。	163 152
CFast(SDカードA) (SDカードB) ファイル名が作成できません	● 静止画のファイル番号が最大になったときに、「Photo」を割り当てたアサインボタンを押した。📁 4 記録／メディア設定メニュー ➤ 「ファイル番号」を「オートリセット」にしてカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	66 54 126
ファンエラー	● 冷却ファンが故障した可能性がある。約10分後に電源が強制的に切れる。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
信号形式の設定が変わりました 設定を確認してください	● 記録／メディア設定メニューの変更に伴い、信号形式の設定のいずれかが自動的に変更された。設定を確認する。	—
レンズエラー 電源を入れなおしてください	● 本機とレンズの通信エラーが発生した。本機の電源を入れ直す。	—
レンズエラー フレームレートを変更してください	● 現在設定しているフレームレートに非対応のレンズが装着された。フレームレートを変更する。	68
CFast(SDカードA) (SDカードB)にアクセス中 です 取り出さないでください	● メモリーカードにアクセス中に、カードカバーをあけた。カードカバーを閉める。	52
CFast(SDカードA) (SDカードB)を確認 してください	● メモリーカードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● メモリーカードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えて [AS] または [AS] / [BS] が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。[CFAST] または [A] / [B] が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	52 53 — 51 163 54
CFast(SDカードA) (SDカードB) データの確認と初期化をお勧めします	● 次の理由によりカードを使用できない。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 ・カードに異常があるため、記録・再生できない。 ・カードの情報が取得できない。 ・パソコンなど他の機器で初期化されている。 ・カード内にパーティションが設定されている。 ● 本機とファームウェアが異なるカメラで初期化されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、本機でこのカードを初期化する。	163 54

メッセージ	原因と対処	📖
SDカード A(B)→SDカード B(A) 切り換えました	● リレー記録、またはスロット切り換え操作 (SLOT SELECTボタンを押す)により、記録先がSDカード AからSDカード B(SDカード BからSDカード A)に切り換わった。	—
SDカード A(B)→SDカード B(A) まもなく切り換えます	● SDカード A(SDカード B)の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。	—
SDスロット 切り換えできません	● 撮影中など、SDカードスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押した。撮影終了後にSDカードスロットを切り換える。	55
Lens firmware update Firmware update failed. Try updating again.	● レンズのファームウェアの更新が正常に終了しなかった。再度アップデートを行う。	41
NDの枚数が変わりました フォーカスを確認してください	● 8 stopsと10 stopsは、NDフィルターの枚数が他の濃度と異なるため、ピントがずれることがある。フォーカスを調整する。	87
静止画とMP4クリップの総数が多すぎます USBケーブルをぬいてください	● SDカードに記録されているMP4クリップ／静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す (Windows : 2500未満。macOS : 1000未満)。その後、USBケーブルを接続し直す。	152
RAW以外への出力／サブ記録映像のノイズが増えます	● 主記録形式が「RAW(CFast)」で、カスタムピクチャーのガンマが「Canon Log」、「Canon Log 3」以外に設定されている。この設定では、プロキシ動画 (SDカード)、またはSDI端子出力の映像にノイズが増える。RAW以外で記録するときは、主記録形式を記録する形式に設定する。	68
パワースームアダプター 電源を確認してください	● パワースームアダプターの電池残量が少ない。電池を入れ換える。	—
パワースームアダプター 温度が上昇したため操作できません	● パワースームアダプターの温度が上昇している。温度が下がるまで、使用を中止する。	—

■ ネットワーク機能使用時

インフラストラクチャーの場合は、お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も併せてご覧ください。

メッセージ	原因と対処	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	● アクセスポイント検索を実行したが見つからなかった。アクセスポイントが正常に動作しているか確認して、もう一度接続を行う。 ● アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、見つからない。ステルス機能を無効にする。 ● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。本機のステータス画面「ネットワーク設定 3/4」で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	— — 219
接続できませんでした	● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	— 237
転送できなかったファイルがあります	● ファイルシステムが壊れている、または本機以外の製品で記録したクリップを転送した。それらのファイルやクリップをSDカードから消去して、再度FTP転送を行う。 ● 転送先のフォルダーに同じファイル名のファイルがある。ファイルを移動する、またはファイル名を変更するか、📶 1 ネットワーク設定メニュー ▶ 「FTP転送設定」 ▶ 「同名ファイル」を「上書き」にする。	152 186 187
ネットワーク機能が正しく動作していません	● ネットワーク機能にハードウェアエラーが発生した。本機の電源を入れ直す。それでも解決しないときは、キャノンお客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
Wi-Fiの接続が切れました	● Wi-Fi接続中に、接続先のアクセスポイント、またはパソコンなどのネットワーク機器に異常が発生した。接続先を確認して、もう一度、接続を行う。 ● 通信状態が悪くなったため無線ネットワークの接続が切断された。しばらく待つか、周囲にある電子機器を停止する。またはそれらから離れて、もう一度接続する。	166 166
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPSのプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	170
FTPサーバーに接続できません	● FTPサーバーに接続できなかった。本機のFTPサーバー設定を確認する。	186
FTPサーバーにファイルを転送できません	● FTPサーバーにファイルを転送できなかった。FTPサーバーの記憶装置（ハードディスクなど）に空き容量があるか確認する。	—
FTPサーバーにログインできません	● FTPサーバーにログインできなかった。本機の「FTP転送設定」の「FTP：ユーザー名」と「FTP：パスワード」を確認する。	186
FTP通信中にエラーが発生しました ファイル転送は完了していません	● FTPファイル転送中に、通信エラーが発生した。ネットワーク機器と本機の電源を入れ直し、再度FTP転送を行う。	—
IP アドレスが重複しています	● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワーク内にあった。IPアドレスが重複している他機、または本機のIPアドレスを変更する。	169

メッセージ	原因と対処	📖
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「マニュアル」で行い、IP アドレスを「マニュアル」で設定する。	172
	● DHCP サーバーを確認する。 ・DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。	—
	● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」以外に設定する。	169
	● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。	175
	● DNS サーバーを確認する。 ・DNS サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・DNS サーバーにIP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。	—
	● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	169
LANケーブルが接続されていません	● イーサネットで接続時に、イーサネットケーブルが接続されていなかった。本機またはネットワーク機器のイーサネット端子にケーブルが接続されていることを確認する。	174
Wi-Fiの暗号化キーが違います	● 認証方式に「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、または「共有キー」を選んだとき、または暗号化方式にWEPを選択したときに、入力した暗号化キー（AESやTKIP、またはWEPキー）の文字数／桁数が正しくない。AESやTKIPを英数字で入力するときは、8～63文字で、16進数で入力するときは、64文字で入力する。WEPキーを英数字で入力するときは、5文字（64bit時）、または13文字（128bit時）で、16進数で入力するときは、10桁（64bit時）、または26桁（128bit時）で入力する。	174
Wi-Fi の暗号化方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	173
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	173
WPSで接続できませんでした もう一度操作してください	● WPS起動後に2分経過したため、アクセスポイントに接続できなかった。もう一度、WPS接続を行う。	170
	● WPS（プッシュボタン方式）で接続するときは、あらかじめアクセスポイントの説明書をご覧になり、アクセスポイントがWPS起動状態になるまで、WPSのボタンを押してください。	170
	● アクセスポイントの暗号化方式がWEPに設定されている。WPSで接続する場合、暗号化方式がWEPのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの暗号化方式を変更するか、WPS以外の接続方法で接続する。	170

ネットワーク機器の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因と対処	📖
A User is already accessing the server. Try again later. [Retry]	● 他のネットワーク機器が、すでにビデオカメラに接続している。他機の接続を解除してから「Retry」をタッチする。	—
これ以上調整できません	● ブラウザリモートでフォーカスを調整するとき、レンズが無限端、または至近端に達しても、さらに操作を行った。	—

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

 **警告** 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。

感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。

指定外の電源は使わない。

バッテリーチャージャーやACアダプターを使うときは、次のことに注意する。

- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーやACアダプターに触れない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 電源に長時間つないだままにしない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 0℃～40℃の範囲外で充電しない。

バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 液漏れしたものは使わない。
液漏れて身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。

- 指定外の製品で使わない。
- 熱したり、火中投入しない。
- 指定外の製品で充電しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

C200 ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

レンズやレンズを付けたカメラは、レンズキャップを外した状態で放置しない。

光がレンズを通して焦点を結び、火災の原因となります。

使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。

長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

乳幼児の手の届くところに置かない。

ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。



禁止



強制



禁止

 注意 傷害を負う可能性がある内容です。



禁止

ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

けがやカメラの故障の原因となります。

製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。



強制

三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

取り扱い上のご注意／日常のお手入れ

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことや、カメラ本体の日常のお手入れについて説明しています。

■ カメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が悪くなり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーを向けない

カメラやファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体、またはファインダーの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズを外して、ボディキャップを取り付けてください。ファインダーを使用しないときは、ファインダーキャップを取り付けてください。

LCDモニターを...

つかんでもちあげない → LCDモニターの接合部が破損することがあります。

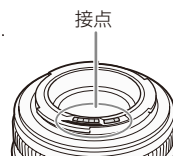
無理に収納しない → 正しい位置に戻してから収納しないと破損することがあります。

カメラのレンズ接点に手で触れない

接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとカメラが正しく動作しなくなることがあります。

レンズを取り外したときは・・・

接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となり、カメラやレンズが正確に動作しないことがあります。



Wi-Fi機能について

使用可能な地域について

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみ使用いただけます。国外ではご使用になれません。

電波に関するご注意

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。
- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

2.4 DS/OF 4 この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

次の事項を行うと、法律で罰せられます。

本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

- 医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼす可能性があります。

- 36-64チャンネルは、電波法により屋外での使用が禁止されています。

- 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

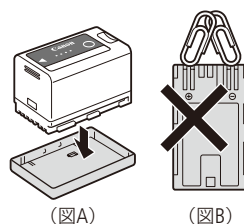
■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。バッテリーの端子は、乾いた布、または綿棒などで定期的に清掃してください。

保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（図B）。



正しく残量表示されないときは

バッテリーを使い切ってからフル充電してください。ただし、バッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り換えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーパックの見分けかた

ショート防止用端子カバーには□の穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって□の穴から見える色が異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

海外で使用するときは

海外でも付属のバッテリーチャージャーやACアダプター（AC100～240V 50/60 Hzまでの電源に対応）を使用できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- バッテリーチャージャーやACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ メモリーカード

データはバックアップする

カメラ本体／メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

- ① 電源を切る
- ② ACアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化／初期化（ 54）を行った後、本機にボディキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化／初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態ですると故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

付属の電源コードは本製品のみ使用する

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。



- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ カメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

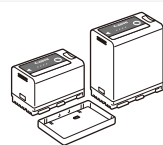
レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブローで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

LCDモニターについて

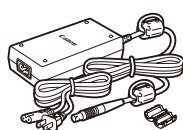
- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

アクセサリ紹介

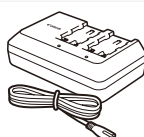
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、**キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします**。なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、**弊社では一切責任を負いかねます**。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、**保証の対象外となり有償とさせていただきます**。あらかじめご了承ください。



バッテリーパック
BP-A30*1、BP-A60*1



ACアダプター CA-A10



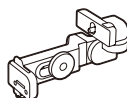
バッテリーチャージャー
CG-A10



バッテリーチャージャー
CG-A20とコンパクトパワーアダ
プター CA-CP200B(CG-A20用)



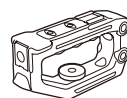
LCDモニター LM-V1



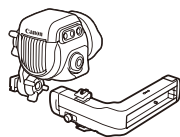
LCDアタッチメントユニット
LA-V1



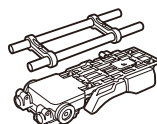
カメラグリップ GR-V1



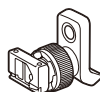
ハンドルユニット HDU-2



有機EL電子ビューファインダー
EVF-V70*2



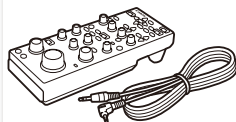
ショルダーサポート
ユニット SU-15



クランプベース CL-V2



ロッドクランプ RD-1



リモートコントローラー
RC-V100



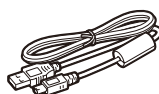
GPSレシーバー
GP-E2



ユニットケーブル
UN-5(50 cm) / UN-10(100 cm)



三脚ベース
TB-1



USBケーブル
(インターフェースケーブル)
IFC-400PCU

*1 このバッテリーパックは、カメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位（目安）で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。

*2 本機に装着するときは、クランプベース CL-V2(別売)が必要です。

ご注意

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、「バッテリー通信エラー」のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

MEMO

レンズマウント交換サービスについて

本機のEFレンズマウントをPLレンズマウントに交換することができます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

主な仕様

■ C200 / C200B本体

システム	
記録方式	動画： RAW時： 映像記録方式： Cinema RAW Light 音声記録方式： リニアPCM、16 bit、48 kHz、4 ch ファイルフォーマット： CRM (Canon Raw Movie：キヤノン独自フォーマット) MP4時： 映像圧縮方法： MPEG-4 AVC / H.264 音声記録方式： MPEG-4 AAC-LC、16 bit、48 kHz、2 ch リニアPCM、16 bit、48 kHz、4 ch ファイルフォーマット： MP4 静止画： DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法： JPEG
記録／再生信号形式	メイン動画： RAW時： ビットレート： 1 Gbps 解像度： 4096×2160 カラーサンプリング*： 10 bit / 12 bit フレームレート： 59.94P、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P * フレームレートに応じて使用できる値が異なる。 MP4時： ビットレート： 150 Mbps / 35 Mbps 解像度： 3840×2160、1920×1080 カラーサンプリング： 4:2:0 8 bit フレームレート： 59.94P、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P サブ動画： ビットレート： 35 Mbps Long GOP 解像度： 2048×1080 カラーサンプリング： 4:2:0 8 bit フレームレート： 59.94P、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P
記録メディア	メイン動画： CFastカード、CFast 2.0規格準拠 SD / SDHC / SDXCメモリーカード* (2スロット) サブ動画／静止画： SD / SDHC / SDXCメモリーカード* (サブ動画：2スロット/ 静止画：スロットBのみ) * カスタムピクチャーファイル、設定データの保存／読み込みにも使用。
撮像素子	スーパー 35mm相当、CMOS (単板) 有効画素： 水平解像度が4096 / 2048のとき：約885万画素 (4096×2160) 水平解像度が3840 / 1920のとき：約829万画素 (3840×2160)
ファインダー	C200 ワイドカラー有機ELファインダー (0.46型、約177万ドット、視野率100%)
レンズマウント	キヤノンEFマウント、キヤノンEFレンズ群対応 (EF-Sレンズ、EFシネマレンズを含む)
35mmフィルム換算時の焦点距離	水平解像度が4096 / 2048のとき： 実焦点距離* × 約1.460** 水平解像度が3840 / 1920のとき： 実焦点距離* × 約1.534** * レンズの焦点距離 ** 変換係数
周辺光量補正／倍率色収差補正	キヤノンEFレンズ群で可能* * 一部のレンズは対応していません。

システム	
シャッタースピード (71)	スピード (1/3段ステップ、1/4段ステップ)、アングル、クリアスキャン、スロー、切
アイリス	マニュアル、プッシュオートアイリス、オートアイリス ステップ (1/2段、1/3段、ファイン)
ISO感度／ゲイン	ISO感度： 100*、125*、160 ～ 25600、32000* ～ 102400* ステップ (1段、1/3段) * 感度拡張時のみ。 ゲイン： -6 dB ～ 54 dB (ノーマル：3 dBステップ)、 -2 dB ～ 54 dB (ファイン：0.5 dBステップ)
NDフィルター	内蔵 (OFF、2 stops、4 stops、6 stops、8 stops*、10 stops*)、電動式 * 「ND濃度拡張」使用時のみ。
露出	AEシフト、測光方式 (スタンダード、スポットライト、バックライト)
ホワイトバランス	セットA、セットB、プリセット設定 (太陽光 約5600K、電球 約3200K)*、色温度設定 (2000K ～ 15000K)、AWB * 色温度は目安です。 色温度 (K) / 色補正值 (CC) による微調整 (ホワイトバランスセット、AWB以外)
フォーカス	調整方法： マニュアル、ワンショットAF、AFプーストMF、コンティニュアスAF、 顔検出AF、追尾 AF方式： デュアルピクセルCMOS AF、コントラストAF
感度	59.94 Hz F10 (2048×1080 / 59.94P時)、 50.00 Hz F11 (2048×1080 / 50.00P時) いずれも、ISO800、2000ルクス、反射率89.9 %時
S/N	53 dB (Typical、 59.94 Hz 3840×2160 / 29.97P時、 50.00 Hz 3840×2160 / 25.00P時) いずれもHDMI OUT端子出力、Canon Log 3ガンマ、ISO800時
被写体照度	59.94 Hz 0.45ルクス (シャッタースピード1/30秒時) 50.00 Hz 0.38ルクス (シャッタースピード1/25秒時) いずれもISO25600、F1.2レンズ装着時でかつ100%出力時
Wi-Fi	無線LAN規格： IEEE802.11b / g / n (2.4 GHz帯) IEEE802.11a / n (5 GHz帯) 接続方法： インフラストラクチャー (WPS：プッシュボタン方式、WPS：PINコード方式、 アクセスポイント検索、マニュアル)、カメラアクセスポイント 認証方式： オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化方式： WEP-64、WEP-128、TKIP、AES 最大伝送速度 (規格値)*： 11 Mbps (IEEE802.11b) 54 Mbps (IEEE802.11a / g) 150 Mbps (IEEE802.11n) * 理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。
マイク	モノラルエレクトレットコンデンサーマイク
静止画サイズ	3840×2160、2048×1080、1920×1080

入・出力端子	
SDI端子	BNCジャック（出力のみ）、0.8 Vp-p / 75 Ω、不平衡 3G-SDI (SMPTE 424、425、ST 299-2準拠) HD-SDI (SMPTE 292、ST 299-1準拠) エンベデッドオーディオ、タイムコード (VITC / LTC) HDR出力 (PQ)、LUT (BT.709、ACESproxy) アシスト表示 (画面表示、拡大表示、WFM)
HDMI OUT端子	HDMIコネクタ、出力のみ、タイムコード、HDR出力 (PQ) アシスト表示 (画面表示、拡大表示)
INPUT1端子 INPUT2端子	XLR (バランス) (①シールド、②ホット、③コールド)、2系統 アナログ (MIC時) : -60 dBu (マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 600 Ω / Att. : 20 dB アナログ (LINE時) : +4 dBu (マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 10 kΩ デジタル (AES/EBU) : AES3規格 (48 kHz、24 bit、2 ch) / 110Ω
MIC (マイク) 端子	φ3.5mmステレオミニジャック -72 dBV (マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 5.6 kΩ Att. : 20 dB
Ω (ヘッドホン) 端子	φ3.5 mmステレオミニジャック -∞~-8 dBV (16 Ω負荷、ボリュームMin ~ Max) / 50 Ω以下
USB端子	mini-B、Hi-Speed USB、出力のみ
REMOTE端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
品 (イーサネット) 端子	Ethernet (イーサネット)、1000BASE-T対応
VIDEO端子	LCDモニター LM-V1*、または有機EL電子ビューファインダー EVF-V70 (別売) の接続専用。 出力のみ。 * C200は付属、C200Bは別売。
カメラグリップ接続端子	カメラグリップの接続プラグ専用

電源その他	
電源電圧	DC 14.4 V (バッテリーパック)、DC 16.7 V (DC IN)
消費電力	C200 19.3 W (59.94P記録時、MP4 : 3840×2160 / RAW : 4096×2160) 18.5 W (50.00P記録時、MP4 : 3840×2160 / RAW : 4096×2160) いずれもSDI端子、ファインダー、LCDモニター LM-V1使用時。 C200B 17.5 W (59.94P記録時、MP4 : 3840×2160 / RAW : 4096×2160) 16.6 W (50.00P記録時、MP4 : 3840×2160 / RAW : 4096×2160) いずれもSDI端子使用時。
動作温度	0 °C ~ +40 °C

電源その他

外形寸法（幅×高さ×奥行き）

C200

カメラ本体のみ：約144×153×179 mm
カメラグリップ GR-V1装着時：約178×153×204 mm
カメラ本体、ハンドルユニット HDU-2、LCDモニター LM-V1、LCDアタッチメントユニット LA-V1、カメラグリップ GR-V1、マイクホルダー装着時：約335×275×275 mm

C200B

カメラ本体のみ：約144×146×137 mm
サムレスト、マイクホルダー装着時：約169×209×137 mm

撮影時総重量

C200

カメラ本体、ハンドルユニット HDU-2、LCDモニター LM-V1、LCDアタッチメントユニット LA-V1、カメラグリップ GR-V1、マイクホルダー、アイカップ、六角穴付きボルト1本使用時*：
約2745 g
* いずれもバッテリーパックBP-A30、CFastカード1枚、ユニットケーブル1本を含む

C200B

カメラ本体、サムレスト、マイクホルダー使用時*：
約1630 g
* いずれもバッテリーパックBP-A30、CFastカード1枚を含む

本体質量（本体のみ）

C200 約1430 g

C200B 約1335 g

連続撮影時間

C200

59.94P記録時（MP4：3840×2160 / RAW：4096×2160）：
約125分（BP-A30使用時）、約270分（BP-A60使用時）
50.00P記録時（MP4：3840×2160 / RAW：4096×2160）：
約130分（BP-A30使用時）、約280分（BP-A60使用時）

C200B

59.94P記録時（MP4：3840×2160 / RAW：4096×2160）：
約145分（BP-A30使用時）、約310分（BP-A60使用時）
50.00P記録時（MP4：3840×2160 / RAW：4096×2160）：
約155分（BP-A30使用時）、約325分（BP-A60使用時）

付属品

C200 LCDモニター LM-V1

パネル	4.0型カラー液晶、アスペクト比 16:9、約123万ドット、視野率 100%、静電容量方式タッチパネル
VIDEO端子	カメラ本体の接続専用
外形寸法	約120 mm× 75 mm× 37 mm
質量	約185 g

C200 LCDアタッチメントユニット LA-V1

特長	着脱可能、回転可能
外形寸法	約143 mm× 117 mm× 75 mm
質量	約255 g

C200 カメラグリップ GR-V1

特長	着脱可能、6° 刻みで回転可能、操作ボタン／ダイヤル
外形寸法	約60 mm× 124 mm× 75 mm
質量	約260 g

C200 ハンドルユニット HDU-2

特長	着脱可能、固定補助金具、汎用取り付け穴
外形寸法	約44 mm× 81 mm× 156 mm
質量	約220 g

ACアダプター CA-A10

定格入力	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz 100 VA (AC 100 V) ～ 124 VA (AC 240 V)
定格出力	DC16.7 V、3.0 A
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約73×40×139 mm
質量	約450 g

	バッテリーチャージャー CG-A20	コンパクトパワーアダプター CA-CP200B
定格入力	DC 24 V 1.8 A	AC 100 ～ 240 V、50 / 60 Hz 90 VA (AC 100 V) ～ 120 VA (AC 240 V)
定格出力	DC 16.7 V、1.5 A	DC 24 V、1.8 A
使用温度	0℃～+40℃	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約100×24×100 mm	約67.5×37×134 mm
質量	約145 g	約290 g

バッテリーパック BP-A30

使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0℃～+40℃
公称電圧	DC 14.4 V

バッテリーバック BP-A30

公称容量	3100 mAh / 45 Wh
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約41.5×45.1×69.7 mm
質量	約225 g

対応レンズと機能

ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細については、お客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

レンズ	カメラからのアイリス調整			カメラからのズーム調整
	マニュアル	プッシュオート	オート	
EFレンズ	●	●	—	—
オートアイリスに対応するEFレンズ	●	●	●	●*
CN20x50 IAS H/E1	●	●	●	●
CN7x17 KAS S/E1	●	●	●	●
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●
CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●
デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ	—	—	—	—

* パワーズームアダプター PZ-E1 (別売)に対応したレンズのみ

レンズ	カメラからのフォーカス調整					フォーカスガイド
	マニュアル	ワンショット	コンティニュアス	顔検出AF	追尾	
EFレンズ	●	●	●	●	●	●
オートアイリスに対応するEFレンズ	●	●	●	●	●	●
CN20x50 IAS H/E1	●	—	—	—	—	—
CN7x17 KAS S/E1	●	●	●	●	●	●
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●	●	●
CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●	●	●
デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ	—	—	—	—	—	●

オートアイリスに対応するEFレンズ

- EF-S 10-18mm F4.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-55mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-135mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 55-250mm F4-5.6 IS STM
- EF24-105mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-135mm F3.5-5.6 IS USM

デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ

- CN-E14mm T3.1 L F
- CN-E24mm T1.5 L F
- CN-E35mm T1.5 L F
- CN-E50mm T1.3 L F
- CN-E85mm T1.3 L F
- CN-E135mm T2.2 L F

■ 動画の記録可能時間の目安

メイン動画（CFastカード）

容量 \ ビットレート	1 Gbps
64 GB	約5分
128 GB	約15分
256 GB	約30分

メイン動画、プロキシ動画（SDカード）

容量 \ ビットレート	150 Mbps	35 Mbps
8 GB	約5分	約25分
16 GB	約10分	約55分
32 GB	約25分	約120分
64 GB	約55分	約240分
128 GB	約110分	約485分

■ バッテリーの充電時間の目安

充電時間の目安

バッテリーパック	BP-A30(付属)	BP-A60(別売)
充電時間* (バッテリーチャージャー CG-A20を使用時)	約170分	約300分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

索引

ア

アイカップ	44
アイリス	78
アクセサリ	241
アサインボタン	130
アワーメーター	209、218
イーサネット	174
色空間	135、139、159
色深度	68
インターバル記録	122
インフラストラクチャー	167
エラーメッセージ	229
オーディオステータス画面	216
オーディオリミッター	111
オートアイリス	81
音声出力チャンネル	161
音声を記録する	106
音声をモニターする	113
オンセット・グレーディング	160

カ

解像度	68
外部マイク／外部ライン入力機器を接続する	107
外部レコーダーを接続する	157
カウントアップ方式	103
顔検出AF	96
拡大表示	91
カスタムピクチャー	134
カメラアクセスポイント	167
カメラグリップ	19、46
カメラダイレクト設定	70
カラーサンプリング	68
カラーバー	114
キーロック	61
吸気口	13
記録信号形式	68
記録メディア	
：初期化する	54
：CFastカードを入れる	52
：CFastカードを取り出す	53
：SDカードを入れる／出す	53
：SDカードスロットを切り換える	55

クリップ

：インデックス画面	146
：クリップ情報を表示する	152
：現像する	163
：再生する	148
：修復する	56
：消去する	152
：保存する	163
クリップ番号	61、64
クリップファイル名	64
ゲイン	74
結露	240
コンティニュースAF	93

サ

再生

：クリップを再生する	146
：静止画を再生する	125

撮影

：動画を撮影する	60
撮影フレームレート	119
サブ記録	118
サムレスト	46
三脚に取り付ける	46
システム周波数	68
シャッタースピード	71
周辺光量補正	42
修理対応	255
出力信号形式	154
ジョイスティックガイド	150
仕様	243

消去

：クリップを消去する	152
：静止画を消去する	126

使用時間	209、218
焦点距離	62
ショルダーストラップ	48
ズーム	99、185
ステータス画面	212
スローモーション記録	119

静止画	
：記録する	124
：再生する	125
：消去する	126
接続	
：外部モニター／レコーダーを接続する	156
：ヘッドホンでモニターする	113
設定データ	143
ゼブラパターン	102
測光方式	82

タ

タイムコード	103
タイムコードホールド	104
タリーランプ	60、208
端子カバーを取り付ける／取り外す	49
追尾	98
テストトーン	114
デュアルピクセルCMOS AF	3
デュアルピクセルフォーカスガイド	89
電源	
：コンセントに接続する	26
：バッテリーパックを使う	24
電源を入れる／切る	27
トラブルシューティング	221
ドロップフレーム	104

ナ

ノンドロップフレーム	104
------------	-----

ハ

排気口	12
倍率色収差補正	42
波形モニター	115
バッテリー	
：残量を確認する	26、218
：充電時間	249
：充電する	24
：使用時間	246
：本体に取り付ける／取り外す	25
ハンドルユニット	20、28

ピーキング	91
日付・時刻	32
ビットレート	68
ファイル番号の付けかたを選ぶ	66
C200 ファインダーを使う	44
ファン	67
フォーカス	87
フォーカスアシスト	89
プッシュオートアイリス	80
ブラウザーリモート	176
ブラックバランス	58
フリーラン	103
フリッカーを抑える	73
ブレ記録	120
フレーム記録	121
フレームレート	68
プロキシ動画	118
ヘッドホン端子	113、150
保存	
：クリップを保存する	163
ホワイトバランス	83
：色温度／色補正值 (CC) 調整	85
：色温度設定	85
：プリセット設定	85
：ホワイトバランスセット	84

マ

マーカー	100
マイク	107
マイクの感度	112
マイクホルダー	20、48
マイメニュー	35
メイン動画	68
メッセージ	229
メニュー	
：基本操作	33
：メニュー一覧	190

ヤ

ユーザービット	105
ユニットケーブル	10、29

ラ

リール番号	64
量子化ビット数	106
冷却ファン	67
レックラン	103
レックレビュー	117
レンズ	40
レンズファームウェア	41
録音レベル調整	110
露出補正	81

ワ

ワンショットAF	92
----------	----

番号

2K	118
4K	51
4Kワークフロー	21
24.00 Hz	68
50.00 Hz	68
59.94 Hz	68

その他

ABB	58
ACESproxy	22、160
ACアダプター	26
AEシフト	81
AFスピード	94
AF枠	96
Att.	112
Canon Log / Canon Log 3	139
CFastカード	51
Cinema RAW Development	163
Cinema RAW Light	2、68
DC IN端子	27
EFシネマレンズ	248
EFレンズマウント	40
EVF-V70	50
FOCUS GUIDE	89
FTP転送	186
F値	78

Gamma	139
GPS	116
HDMI OUT端子	157
HDR	158
INPUT端子	106
ISO感度	74
LCDアタッチメントユニット	18、29
LCDモニター	29、43
LUT	159
MIC(マイク)端子	107
ND濃度拡張	77
NDフィルター	77
POWER(電源)スイッチ	27
Preset	135、139
PUSH AUTO IRIS	80
RAW	8、68
REMOTE(リモート)端子	13
SDカード	51、53
VIDEO端子	29
Wi-Fi	166
WPS	167
品 (イーサネット)端子	174
Ω(ヘッドホン)端子	113、150

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- キヤノンは、様々な国/地域で登録されている CFast 2.0™ 商標の公認ライセンシーです。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

C200 / C2008は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA) で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

保証書と修理対応

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。ここでは修理対応について説明しています。

修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内にお買い求めの販売店、もしくは弊社修理受付窓口までご持参いただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費および諸掛かりはお客様のご負担となります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

修理対応期間について

カメラの修理対応期間は、製造打ち切り後7年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

修理を依頼されるときは

修理についてはお買い求めの販売店、もしくはお客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

使用方法／修理に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006 (全国共通)

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用にならない方は03-5428-1208をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

CINEMA EOS SYSTEMホームページ

CINEMA EOS SYSTEMのホームページを開いています。最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

CINEMA EOS SYSTEM製品情報

canon.jp/cinema-eos

キヤノン サポートページ

canon.jp/support

■本書の記載内容は2017年9月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6